

# *ScanSnap*

## 活用ガイド (Windows 編)

# 目次

本書の読み方.....	5
安全に正しくお使いいただくために.....	6
商標および登録商標.....	7
開発・販売元.....	8
連続する操作の表記.....	9
本書に掲載している画面.....	10
Windows 8.1 / Windows 8 をお使いの方へ.....	11
本書での略記.....	12
原稿の読み取り方法.....	14
クイックメニューから操作を選択する.....	16
ファイル管理ソフトで管理する.....	22
名刺を整理整頓する.....	23
指定したフォルダーで管理する.....	26
メールに添付する.....	28
メールソフトの設定.....	31
プリンターで印刷してコピー機代わりにする.....	33
デジタル書棚で管理する.....	35
メモやイメージデータをまとめて管理する.....	38
レシートの情報を家計簿に入力する.....	39
モバイル機器に保存する.....	41
Dropbox フォルダーに保存する.....	45
活字原稿を Evernote に保存する (PDF ファイル).....	47
手書き文字を含む原稿を Evernote に保存する (JPEG ファイル).....	49
Google ドキュメントに保存する.....	51
Salesforce Chatter に投稿する.....	54
SugarSync の同期フォルダーに保存する.....	57
Word / Excel / PowerPoint 文書に変換する.....	59
ABBYY FineReader for ScanSnap の文字変換機能.....	61
SharePoint で管理する.....	64
ピクチャフォルダで管理する (JPEG ファイル).....	66
読み取り設定の操作.....	68
読み取り設定で読み取る.....	69
読み取り設定の管理.....	72
読み取り設定を追加する.....	73
読み取り設定を変更する.....	75
読み取り設定の名前を変更する.....	77
読み取り設定の表示順を変更する.....	79
読み取り設定を削除する.....	81
ScanSnap Folder の操作.....	83
ScanSnap Folder で読み取る.....	84
ScanSnap Folder の有効 / 無効を切り替える.....	89
e-文書法に対応した原稿の読み取り (iX500 / S1500 / S1500M).....	90

e-スキャンモードで読み取る (iX500 / S1500 / S1500M)	92
<b>目的別読み取り条件</b>	<b>95</b>
片面だけを読み取る (iX500 / S1500 / S1500M / S1300i / S1300 / S300)	96
カラー原稿をグレーまたは白黒で読み取る	97
カラー原稿を高圧縮する	98
白紙ページを削除する (SV600 除く)	99
文字列の傾きを補正する	100
原稿の向きを回転する	102
裏写りを軽減する	104
照明の影響を軽減する (SV600)	106
かすれや白飛びを軽減する (SV600)	108
文字列のゆがみを補正する (SV600)	110
複数の PDF ファイルに分割して保存する	112
本を片面ページずつ分割して保存する (SV600)	114
検索可能な PDF ファイルを作成する	115
PDF ファイルにキーワードを設定する	118
マーカーの引き方	121
PDF ファイルにパスワードを設定する	123
PDF/A ファイルを作成する	128
自動的に原稿の読み取りを開始する (SV600)	130
<b>イメージデータの修正 (SV600)</b>	<b>134</b>
原稿を読み取った場合	135
書き込んだ指を塗りつぶす (原稿を読み取ったとき)	136
本を読み取った場合	140
本のゆがみを補正する	141
見開きのページを分割する	145
書き込んだ指を塗りつぶす (本を読み取ったとき)	148
一度に複数の原稿を読み取った場合	151
イメージデータの向きを修正する	152
切り出し範囲を修正する	155
必要なイメージデータを追加する	157
不要なイメージデータを削除する	159
<b>ScanSnap Manager の設定</b>	<b>162</b>
読み取り条件の設定方法	163
クイックメニューの設定方法	165
表示モードの変更	166
表示順の変更	167
お気に入りアプリケーションへの追加	170
連携するアプリケーションの設定変更	171
連携する任意のアプリケーションの管理	172
アプリケーションを追加する	173
アプリケーションの設定を変更する	177
アプリケーションを削除する	178
カスタム原稿サイズの管理	179
原稿サイズを追加する	180
原稿サイズの設定を変更する	182
原稿サイズを削除する	184
アプリケーションの自動連携	185

連携方法を切り替える .....	188
ScanSnap を 2 台接続した場合 (SV600) .....	189
ScanSnap を無線 LAN に接続して使用する場合 (iX500 / iX100) .....	191
<b>ScanSnap Organizer を使う .....</b>	<b>192</b>
基本的な操作手順 .....	193
ファイルを管理する .....	195
ファイルを編集する (SV600) .....	197
ファイルを活用する .....	198
<b>CardMinder を使う .....</b>	<b>199</b>
名刺ファイリングOCRをお使いのお客様へ .....	201
基本的な操作手順 .....	202
名刺データをほかのアプリケーションと連携する .....	205
名刺データを検索する .....	206
CardMinder の簡易検索ツールバーで検索する .....	207
CardMinder Viewer で検索する .....	208
名刺データにファイルを添付する .....	209
<b>楽<sup>2</sup>ライブラリ Smart を使う .....</b>	<b>210</b>
<b>ScanSnap オンラインアップデート .....</b>	<b>212</b>



## 本書の読み方

- 「安全に正しくお使いいただくために」(6 ページ)
- 「商標および登録商標」(7 ページ)
- 「開発・販売元」(8 ページ)
- 「連続する操作の表記」(9 ページ)
- 「本書に掲載している画面」(10 ページ)
- 「Windows 8.1 / Windows 8 をお使いの方へ」(11 ページ)
- 「本書での略記」(12 ページ)

## 安全に正しくお使いいただくために

添付の安全上のご注意には、ScanSnap を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。ScanSnap をお使いになる前に安全上のご注意を必ずお読みになり、理解されたうえで ScanSnap をお使いください。

## 商標および登録商標

Microsoft、Windows、Windows Vista、Excel、PowerPoint、Outlook、SharePoint、Windows Live、および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Word は、米国 Microsoft Corporation の製品です。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、および Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

ABBYY™ FineReader™ Engine © ABBYY. OCR by ABBYY

ABBYY および FineReader は、いくつかの法域で登録されている場合がある ABBYY Software Ltd. の商標です。

Evernote は、Evernote Corporation の登録商標または商標です。

Google、Google ドキュメント、Android、および Google Play は、Google Inc. の登録商標または商標です。

Salesforce、Salesforce ロゴ、および Salesforce CRM は米国その他の国における米セールスフォース・ドットコム（salesforce.com, inc.）の登録商標または商標です。

Wi-Fi、Wi-Fi Protected Setup、および Wi-Fi Protected Setup ロゴは、Wi-Fi Alliance の商標です。

ScanSnap、ScanSnap ロゴ、ScanSnap Manager、ScanSnap Organizer、CardMinder、および楽<sup>2</sup>ライブラリは、株式会社 PFU の日本における登録商標または商標です。

その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

## 開発・販売元

株式会社 PFU

〒 212-8563 神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地 (ソリッドスクエア東館)

TEL : 044-540-4538

© PFU LIMITED 2013-2014

## 連続する操作の表記

本文中の操作手順で、連続する操作手順を「→」でつなげて記載しています。

例：「スタート」メニュー→「コンピューター」を選択します。

## 本書に掲載している画面



本書では、iX500 を接続した場合の画面を例に掲載しています。



Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

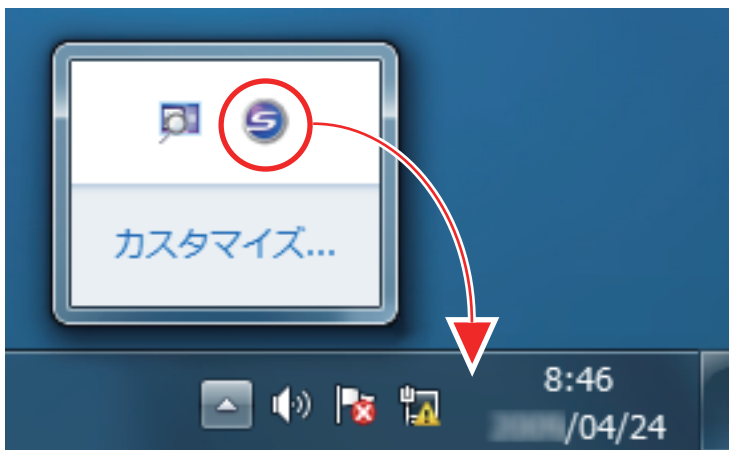
本書では、Windows 7 の画面を例として説明します。


オペレーティングシステムによって、表示される画面および操作が異なる場合があります。

### 通知領域のアイコン

ScanSnap Manager のアイコン  は、画面右下の通知領域にある  をクリックして表示されるメニューに表示されます。

通知領域に ScanSnap Manager のアイコン  を常に表示させるには、ScanSnap Manager のアイコン  を通知領域にドラッグ&ドロップしてください。



本書では、通知領域に ScanSnap Manager のアイコン  を常に表示させた場合を例に説明します。


# Windows 8.1 / Windows 8 をお使いの方へ

ScanSnap の各アプリケーションの起動およびコントロールパネルの表示は、すべてのアプリ画面から行います。

すべてのアプリ画面は、以下の手順で表示できます。

## Windows 8.1 の場合

1. スタート画面左下にある  をクリックします。

 は、マウスを動かさずと表示されます。

## Windows 8 の場合

1. スタート画面を右クリックします。
2. アプリバーから「すべてのアプリ」をクリックします。



## 本書での略記

本書では、ScanSnap の各機種を表記する場合は、「カラー イメージ スキャナ ScanSnap」を省略して記載します。

また、以下の名称についても省略して記載しています。

本文中の表記	名称
Windows 8.1	Windows® 8.1 operating system 日本語版 Windows® 8.1 Pro operating system 日本語版 Windows® 8.1 Enterprise operating system 日本語版
Windows 8	Windows® 8 operating system 日本語版 Windows® 8 Pro operating system 日本語版 Windows® 8 Enterprise operating system 日本語版
Windows 7	Windows® 7 Starter operating system 日本語版 Windows® 7 Home Premium operating system 日本語版 Windows® 7 Professional operating system 日本語版 Windows® 7 Enterprise operating system 日本語版 Windows® 7 Ultimate operating system 日本語版
Windows Vista	Windows Vista® Home Basic operating system 日本語版 Windows Vista® Home Premium operating system 日本語版 Windows Vista® Business operating system 日本語版 Windows Vista® Enterprise operating system 日本語版 Windows Vista® Ultimate operating system 日本語版
Windows XP	Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 Windows® XP Professional operating system 日本語版
Windows	Windows 8.1、Windows 8、Windows 7、Windows Vista、および Windows XP
Microsoft Office	Microsoft® Office
Word	Microsoft® Word 2013 Microsoft® Word 2010 Microsoft® Office Word 2007
Excel	Microsoft® Excel® 2013 Microsoft® Excel® 2010 Microsoft® Office Excel® 2007
PowerPoint	Microsoft® PowerPoint® 2013 Microsoft® PowerPoint® 2010 Microsoft® Office PowerPoint® 2007
SharePoint	Microsoft® SharePoint® Server 2010 日本語版 Microsoft® Office SharePoint® Server 2007 日本語版 Microsoft® SharePoint® Foundation 2010 日本語版 Microsoft® Windows® SharePoint® Services 3.0 日本語版
Internet Explorer	Windows® Internet Explorer®
Windows Live メール	Windows Live™ メール
Windows メール	Microsoft® Windows® メール



本文中の表記	名称
Outlook	Microsoft® Outlook® 2013 Microsoft® Outlook® 2010 Microsoft® Office Outlook® 2007
Outlook Express	Microsoft® Outlook® Express
.NET Framework	Microsoft® .NET Framework
Adobe Acrobat	Adobe® Acrobat®
Adobe Reader	Adobe® Reader®
やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap	やさしく家計簿 エントリー 2 for ScanSnap やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap
ABBYY FineReader for ScanSnap	ABBYY FineReader for ScanSnap™ 本書では、ScanSnap に添付されている ABBYY FineReader for ScanSnap の使用を前提にして説明しております。特に指定がない場合は、ScanSnap に添付されている ABBYY FineReader for ScanSnap のことを指します。 また、予告なくバージョンを変更する可能性があります。あらかじめご了承ください。本書の説明が実際の画面と異なる場合は、ABBYY FineReader for ScanSnap のユーザーズガイドを参照してください。
Google ドキュメント	Google ドキュメント™
Android	Android®
ScanSnap	パーソナル ドキュメント スキャナ ScanSnap シリーズ(*1)
A3 キャリアシート	ScanSnap A3 キャリアシート

\*1 : ScanSnap N1800 シリーズは含みません。

# 原稿の読み取り方法

ScanSnap で原稿を読み取る方法について説明します。

ScanSnap には、以下の読み取り方法があります。イメージデータの使用目的に合わせて、読み取り方法を選択してください。

- 「クイックメニューを使用した読み取り」(14 ページ)
- 「読み取り設定を使用した読み取り」(14 ページ)
- 「ScanSnap Folder を使用した読み取り」(15 ページ)
- 「e-文書法に対応した読み取り」(15 ページ)

## ヒント

SV600 の場合、ショートカットキー（キーボードショートカット）の変換に対応したフットペダルを使用することでも、原稿の読み取りができます。

詳細は、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

## クイックメニューを使用した読み取り

ScanSnap で原稿を読み取ったあと、表示されるメニューの中からアプリケーションを選択するだけで、イメージデータの保存、メール送信、印刷、アプリケーション連携、またはクラウド連携ができます。

デフォルトでは、この読み取り方法が設定されています。

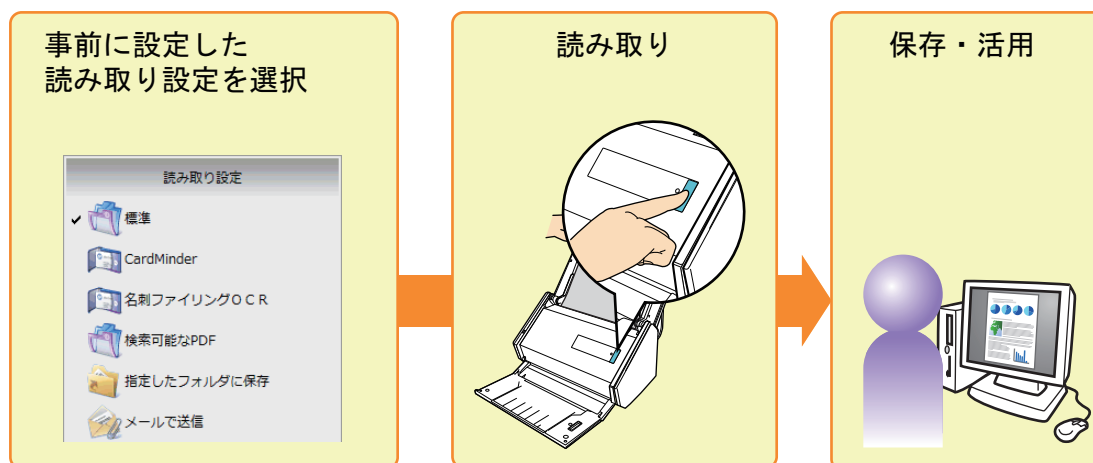


詳細は、「クイックメニューから操作を選択する」(16 ページ)を参照してください。

## 読み取り設定を使用した読み取り

事前に設定した読み取り設定（読み取り条件と連携するアプリケーション）を選択し、ScanSnap の [Scan] ボタンを押すだけで、原稿を読み取ってアプリケーションと連携できます。

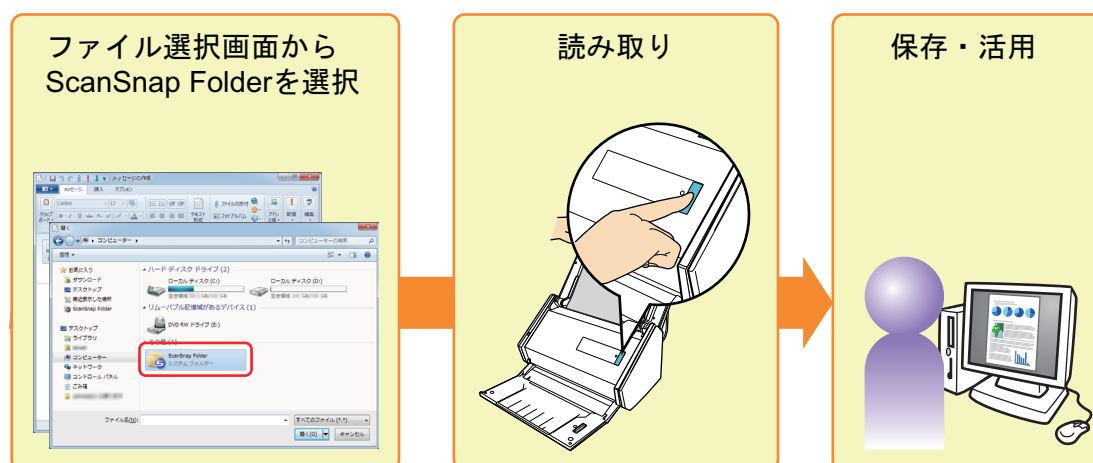
繰り返し同じ読み取り条件で、原稿を読み取りたい場合に使用すると便利です。



詳細は、「読み取り設定の操作」(68 ページ)を参照してください。

## ScanSnap Folder を使用した読み取り

アプリケーションのファイル選択画面から ScanSnap Folder を選択すると、ScanSnap から原稿を読み取れるようになります。読み取った原稿のファイルは、アプリケーションでダイレクトに利用できます。



詳細は、「ScanSnap Folder の操作」(83 ページ)を参照してください。

## e-文書法に対応した読み取り

e-文書法（通称）に基づき、イメージデータを e-文書として利用できる形にして保存する読み取り方法です。

詳細は、「e-文書法に対応した原稿の読み取り (iX500 / S1500 / S1500M)」(90 ページ)を参照してください。

# クイックメニューから操作を選択する

クイックメニューを使用すると、初めての方でもすぐに ScanSnap を使いこなせます。



クイックメニューからアプリケーションを選択するだけで、以下のような要望を実現します。

- 「イメージデータの活用」(16 ページ)
- 「アプリケーションとの連携」(18 ページ)
- 「クラウドサービスとの連携」(20 ページ)

## イメージデータの活用

読み取った資料をみんなで共有したい。



### 指定したフォルダに保存

ネットワーク上の共有フォルダーにイメージデータのファイルを保存して、関係者でデータを共有したり、ファイルの保存先情報をメールに自動的に記載して、簡単に関係者にお知らせしたりできます。

## 手元にある紙の資料をメールで関係者に送りたい。



### メールで送信

イメージデータのファイルをメールに添付して、関係者に送信できます。

#### 重要

メールに添付できるファイル数は、10 個までです。

読み取り条件に以下が設定されている場合、複数枚の原稿を読み取ると、複数のファイルが作成されず。読み取る原稿の枚数に注意してください。

- ファイル形式の選択：JPEG (\*.jpg)
- 「設定ページごとに PDF ファイルを作ります」チェックボックスにチェックが付いている

## 紙の資料をコピーしたい。



### プリンタで印刷

イメージデータをプリンターで印刷できます。

## モバイル機器に資料を保存したい。



### モバイルに保存

コンピュータと接続しているモバイル機器に、イメージデータを保存できます。

保存されたファイルは、PDF ファイルおよび JPEG ファイルが閲覧可能なアプリケーションで参照できます。

.NET Framework 3.0 がインストールされている場合に表示されます。

.NET Framework 3.0 は、.NET Framework 3.5 (SP1 以降) にも含まれています。オペレーティングシステムを最新の状態にアップデートして、.NET Framework 3.5 (SP1 以降) を使用することを推奨します。

.NET Framework 4 以降をインストール済みの場合でも、.NET Framework 3.0 は含まれていないため .NET Framework 3.0 を別途インストールする必要があります。

## カタログやパンフレットをデータ化して保存したい。



### ピクチャフォルダに保存

データ化したカタログやパンフレットをピクチャフォルダに直接保存できます。

## アプリケーションとの連携

読み取った資料を整理および管理したい。



### このコンピュータに保存

イメージデータが ScanSnap Organizer で指定したフォルダーに保存され、ScanSnap Organizer でイメージデータの整理および管理ができます。

ScanSnap Organizer がインストールされている場合に表示されます。

大量の名刺を整理整頓したい。



### CardMinder

名刺のイメージデータが CardMinder に登録され、CardMinder で名刺の情報を管理できます。

CardMinder がインストールされている場合に表示されます。



### 名刺ファイリングOCR

名刺のイメージデータが名刺ファイリングOCRに登録され、名刺ファイリングOCRで名刺の情報を管理できます。

名刺ファイリングOCRがインストールされている場合に表示されます。

### ヒント

CardMinder または名刺ファイリングOCRと連携する場合は、ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブ→「画質の選択」に、「自動解像度」または「スーパーファイン」を設定することを推奨します。「エクセレント」を設定した場合は連携できません。

身のまわりにある紙の資料をデータ化して、手軽に整理整頓したい。



### 楽<sup>2</sup>ライブラリ Smart に保存

PDF ファイルとしてデータ化した資料を楽<sup>2</sup>ライブラリ Smart に保存して、整理整頓できます。

楽<sup>2</sup>ライブラリ Smart 体験版または楽<sup>2</sup>ライブラリ Smart がインストールされている場合に表示されます。



### 楽<sup>2</sup>ライブラリに保存

PDF ファイルとしてデータ化した資料を楽<sup>2</sup>ライブラリに保存して、整理整頓できます。

楽<sup>2</sup>ライブラリ パーソナル（V5.0 以降推奨 / 別売）がインストールされている場合に表示されます。



### 楽<sup>2</sup>ライブラリ（年賀はがきデスク）に保存

PDF ファイルとしてデータ化した資料を楽<sup>2</sup>ライブラリの年賀はがきデスクに保存して、整理整頓できます。

楽<sup>2</sup>ライブラリ パーソナル（V5.0L30 以降 / 別売）がインストールされている場合に表示されます。

## 身のまわりにある紙の資料をデータ化して、手軽に整理整頓したい（Magic Desktop）。



### Magic Desktop に保存

データ化した資料を Magic Desktop に保存して、整理整頓できます。

Magic Desktop 体験版または Magic Desktop がインストールされている場合に表示されます。

## レシートに記載されている品名や金額を家計簿に入力するのが面倒だ。



### やさしく家計簿に保存

レシートの内容を、家計簿の支出明細に自動的に入力できます。

やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap がインストールされている場合に表示されます。

## 紙の資料の内容を引用したい。



### Word 文書に変換



### Excel 文書に変換



### PowerPoint(R) 文書に変換

イメージデータをテキスト認識し、Word 文書 / Excel 文書 / PowerPoint 文書に変換できます。ABBY FineReader for ScanSnap（5.0 以降）がインストールされている場合に表示されます。

#### ヒント

ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブ→「画質の選択」の設定は、「自動解像度」または「スーパーファイン」を推奨します。



## SharePoint に連携して資料を共有したい。



### SharePoint に保存

SharePoint にイメージデータを保存できます。

Scan to Microsoft SharePoint がインストールされている場合に表示されます。

## クラウドサービスとの連携

## Dropbox に連携して資料を活用したい。



### Dropbox に保存

Dropbox フォルダにイメージデータのファイルを保存できます。

Dropbox for Windows 1.1.45 以降がインストールされている場合に表示されます。

## Evernote に連携して資料（活字原稿）を活用したい。



### ドキュメントを Evernote に保存

Evernote に PDF ファイルを保存できます。

Evernote for Windows 3.5 以降がインストールされている場合に表示されます。

## Evernote に連携して資料（手書き文字を含む原稿）を活用したい。



### 手書きメモを Evernote に保存

Evernote に JPEG ファイルを保存できます。

Evernote for Windows 3.5 以降がインストールされている場合に表示されます。

## Google ドキュメントに連携して資料を活用したい。



### Google ドキュメント(TM)に保存

Google ドキュメントに PDF ファイルを保存できます。

.NET Framework 3.0 がインストールされている場合に表示されます。

.NET Framework 3.0 は、.NET Framework 3.5（SP1 以降）にも含まれています。オペレーティングシステムを最新の状態にアップデートして、.NET Framework 3.5（SP1 以降）を使用することを推奨します。

.NET Framework 4 以降をインストール済みの場合でも、.NET Framework 3.0 は含まれていないため .NET Framework 3.0 を別途インストールする必要があります。



## Salesforce Chatter に連携して資料を活用したい。



### Salesforce Chatter に投稿

Salesforce Chatter にイメージデータのファイルを投稿できます。投稿したファイルは、Salesforce CRM で活用できます。

.NET Framework 3.0 がインストールされている場合に表示されます。

.NET Framework 3.0 は、.NET Framework 3.5 (SP1 以降) にも含まれています。オペレーティングシステムを最新の状態にアップデートして、.NET Framework 3.5 (SP1 以降) を使用することを推奨します。

.NET Framework 4 以降をインストール済みの場合でも、.NET Framework 3.0 は含まれていないため .NET Framework 3.0 を別途インストールする必要があります。

## SugarSync に連携して資料を活用したい。



### SugarSync に保存

SugarSync の同期フォルダーにイメージデータのファイルを保存できます。


SugarSync Manager for Windows 1.9.28 以降がインストールされている場合に表示されます。

### ヒント

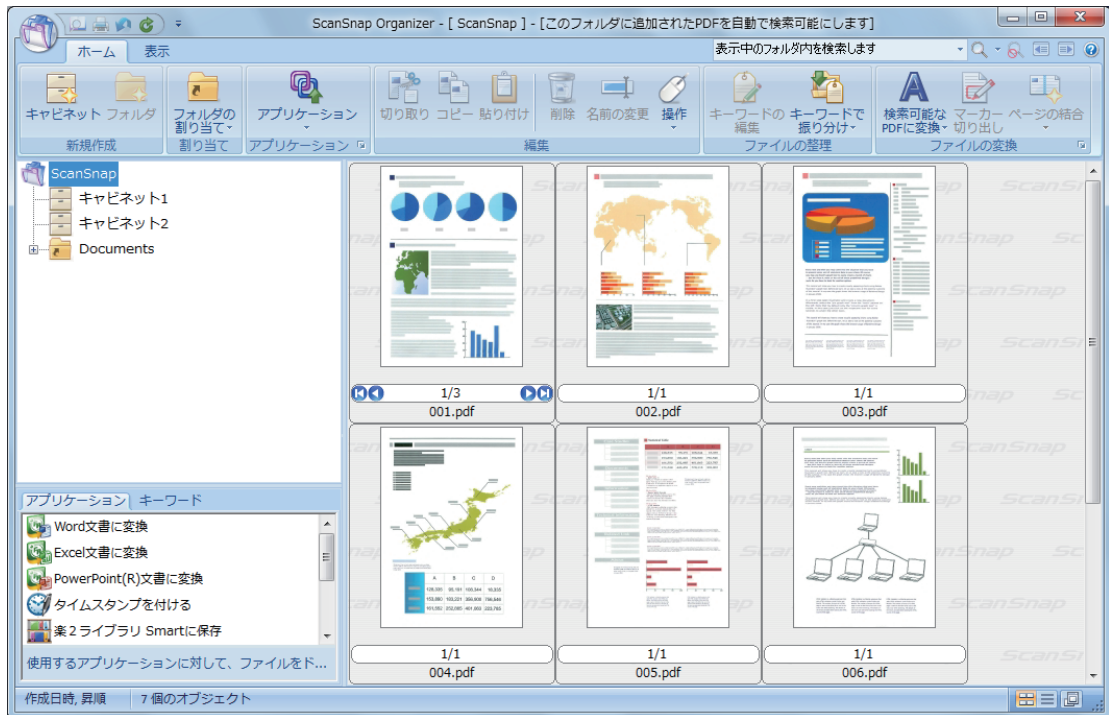
クイックメニューに任意のアプリケーションを追加できます。詳細は、「[連携する任意のアプリケーションの管理](#)」(172 ページ)を参照してください。

# ファイル管理ソフトで管理する

ScanSnap Organizer に、イメージデータを保存する方法について説明します。

1. クイックメニューで、「このコンピュータに保存」アイコン  をクリックします。

⇒ 「ScanSnap Organizer」画面が表示されます。



## 重要

- クイックメニュー表示中は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。ScanSnap Organizer に連携してから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動、削除、および名前の変更などの操作をしないでください。

## ヒント

- ScanSnap Organizer の機能や使用方法の詳細は、「ScanSnap Organizer を使う」(192 ページ)および ScanSnap Organizer のヘルプを参照してください。
- 読み取り設定を使って連携することもできます。詳細は、「読み取り設定の操作」(68 ページ)を参照してください。
- ScanSnap Organizer と自動連携できます。詳細は、「アプリケーションの自動連携」(185 ページ)を参照してください。

# 名刺を整理整頓する

名刺のイメージデータや情報を、CardMinder または名刺ファイリングOCRに登録する方法について説明します。

## 重要

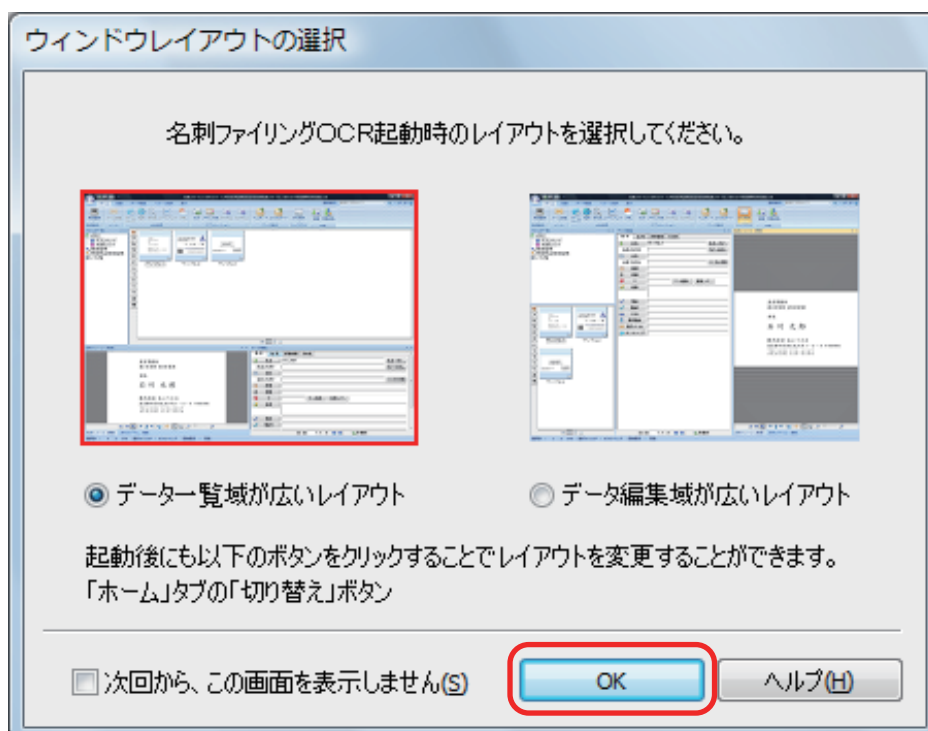
- イメージデータを CardMinder または名刺ファイリングOCRに登録する場合は、読み取り条件の「白紙ページを自動的に削除します」の設定は無効になり、白紙ページは削除されません。
- CardMinder または名刺ファイリングOCRに一度に登録できるイメージデータは、以下のとおりです。
  - iX500 / S1500 / S1500M / S1300i / S1300 / S300 の場合  
白紙ページを含めて、500 枚（1000 ページ）
  - iX100 / S1100 / SV600 の場合  
白紙ページを含めて、1000 ページ

1. クイックメニューで、「CardMinder」アイコン  または「名刺ファイリング

OCR」アイコン  をクリックします。

- CardMinder の場合  
⇒ 「CardMinder」画面が表示されます。手順 4.に進んでください。
- 名刺ファイリングOCRの場合  
⇒ 「ウィンドウレイアウトの選択」画面が表示されます。

2. レイアウトを確認して [OK] ボタンをクリックします。



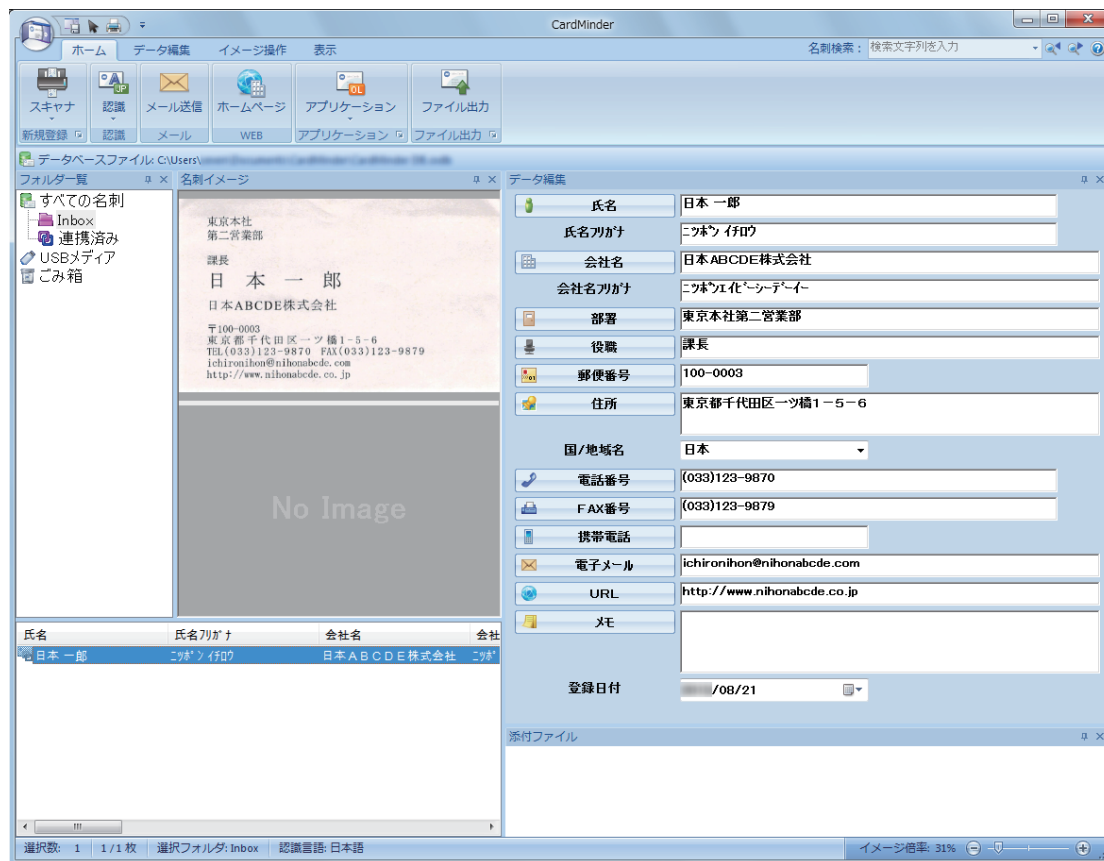
⇒ チュートリアルが表示されます。

### 3. チュートリアルの内容を確認したあと、画面を閉じてください。

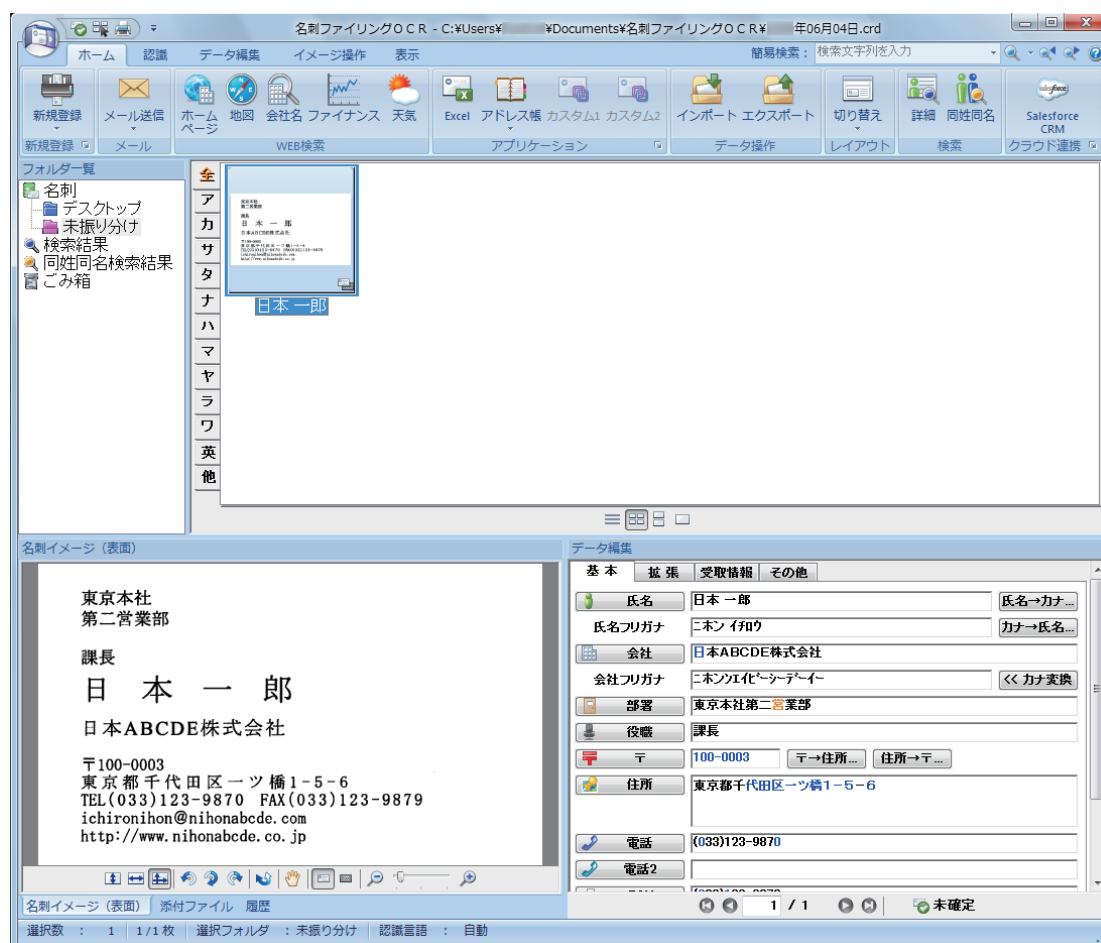
⇒ メインウィンドウが表示されます。

### 4. 読み取った名刺のイメージデータを確認します。

- CardMinder の場合



- 名刺ファイリングOCRの場合



## 重要

- クイックメニュー表示中は、ScanSnap で名刺の読み取りを開始できません。CardMinder または名刺ファイリングOCRに連携してから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動、削除、および名前の変更などの操作をしないでください。

## ヒント

- CardMinder の機能や使用方法の詳細は、「[CardMinder を使う](#)」(199 ページ)および CardMinder のヘルプを参照してください。
- 名刺ファイリングOCRの機能や使用方法の詳細は、名刺ファイリングOCRのユーザーズガイドおよびヘルプを参照してください。
- 読み取り設定を使って連携することもできます。詳細は、「[読み取り設定の操作](#)」(68 ページ)を参照してください。
- CardMinder または名刺ファイリングOCRと自動連携できます。詳細は、「[アプリケーションの自動連携](#)」(185 ページ)を参照してください。

## 指定したフォルダーで管理する

指定したフォルダーに、イメージデータを保存する方法について説明します。

ネットワーク上の共有フォルダーにイメージデータを保存すると、関係者でデータを共有できます。また、ファイルの保存先情報をメール本文に自動的に記載できるので、簡単に関係者にお知らせできます。


### ヒント

連携するメールソフトは、既定のプログラムとして設定したメールソフトが使用されます。

既定のプログラムとして設定したメールソフトでも、正しく連携されないことがあります。正しく連携されない場合は、お使いのメールソフトの発売元にお問い合わせください。

連携するメールソフトの設定方法は、「メールソフトの設定」(31 ページ)を参照してください。



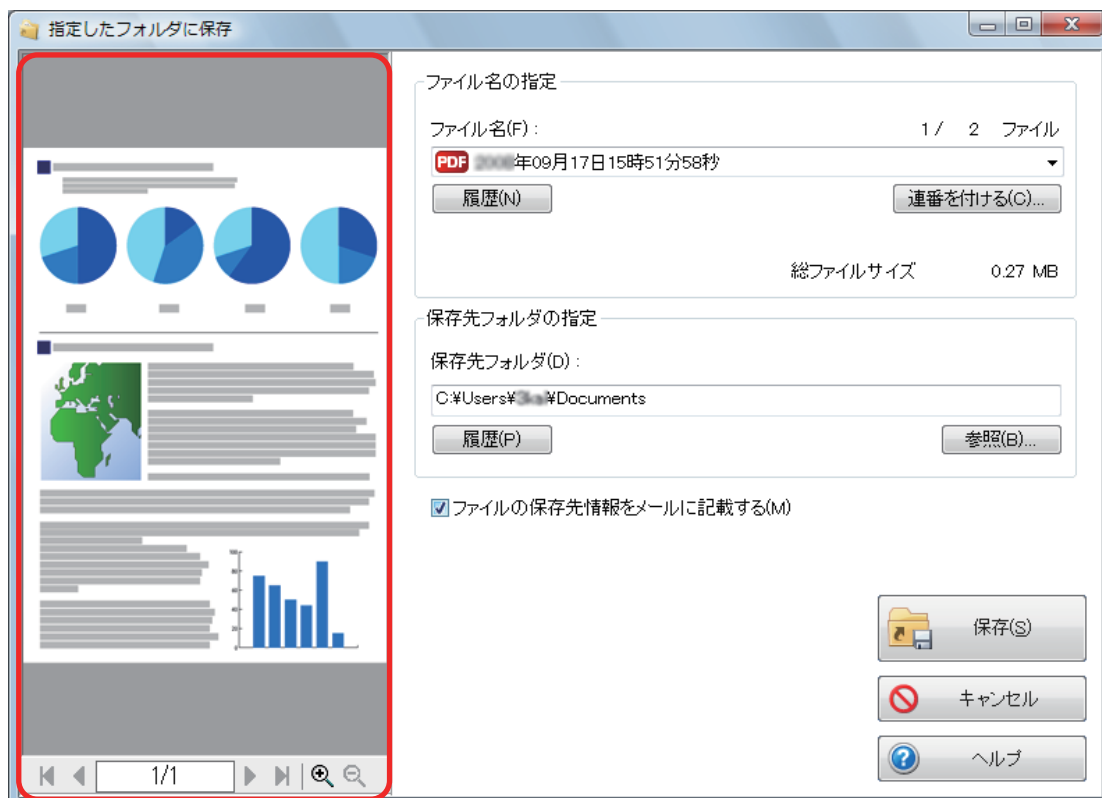
1. クイックメニューで、「指定したフォルダに保存」アイコン  をクリックします。

⇒ 「指定したフォルダに保存」画面が表示されます。

2. プレビューで読み取り結果を確認します。

「指定したフォルダに保存」画面では、ファイル名や保存先フォルダーを変更したり、ファイルの保存先情報をメールに記載するかどうかを設定したりできます。

「指定したフォルダに保存」画面の詳細は、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。



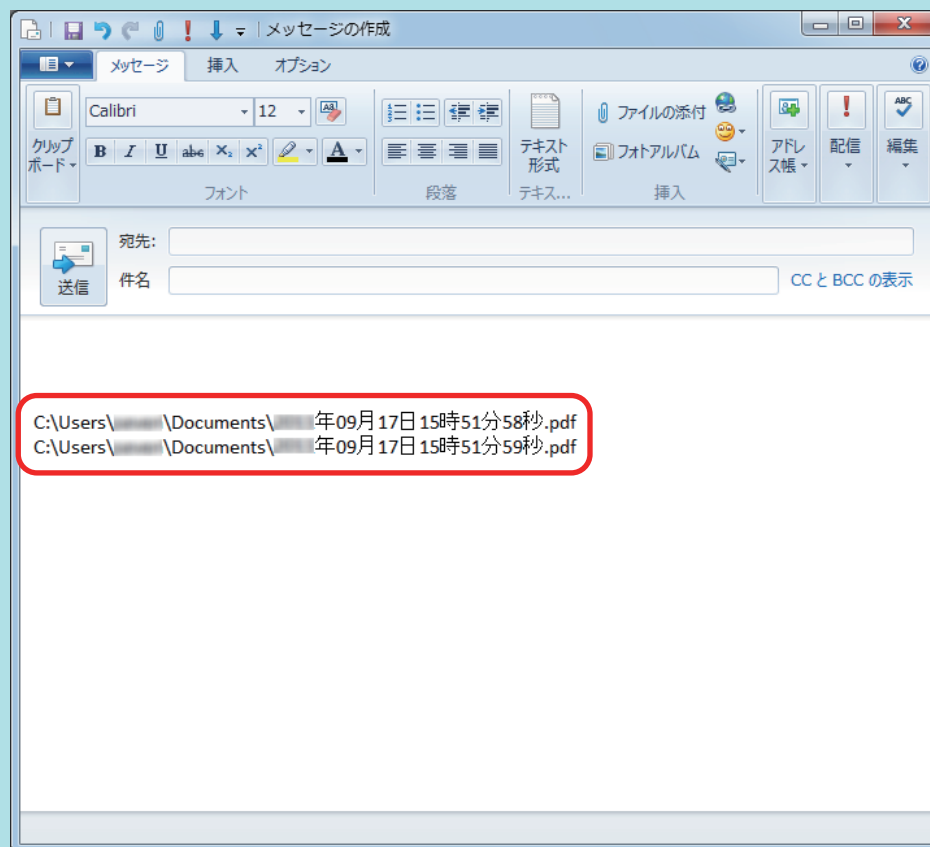
プレビュー

### 3. [保存] ボタンをクリックします。

⇒ 指定したフォルダーにファイルが保存されます。

#### ヒント

「指定したフォルダに保存」画面で、「ファイルの保存先情報をメールに記載する」チェックボックスにチェックを付けた場合は、ファイルの保存先情報がメールの本文に記載された状態で、新規メッセージ画面が表示されます。



#### 重要

- クイックメニューを表示してから「指定したフォルダに保存」画面を閉じるまでの間は、ScanSnapで原稿の読み取りを開始できません。「指定したフォルダに保存」画面を閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニューを表示してから「指定したフォルダに保存」画面を閉じるまでの間は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動、削除、および名前の変更などの操作をしないでください。

#### ヒント

読み取り設定を使って連携することもできます。詳細は、「読み取り設定の操作」(68 ページ)を参照してください。


# メールに添付する

イメージデータをメールに添付する方法について説明します。

## ヒント

連携するメールソフトは、既定のプログラムとして設定したメールソフトが使用されます。  
既定のプログラムとして設定したメールソフトでも、正しく連携されないことがあります。正しく連携されない場合は、お使いのメールソフトの発売元にお問い合わせください。  
連携するメールソフトの設定方法は、「[メールソフトの設定](#)」(31 ページ)を参照してください。



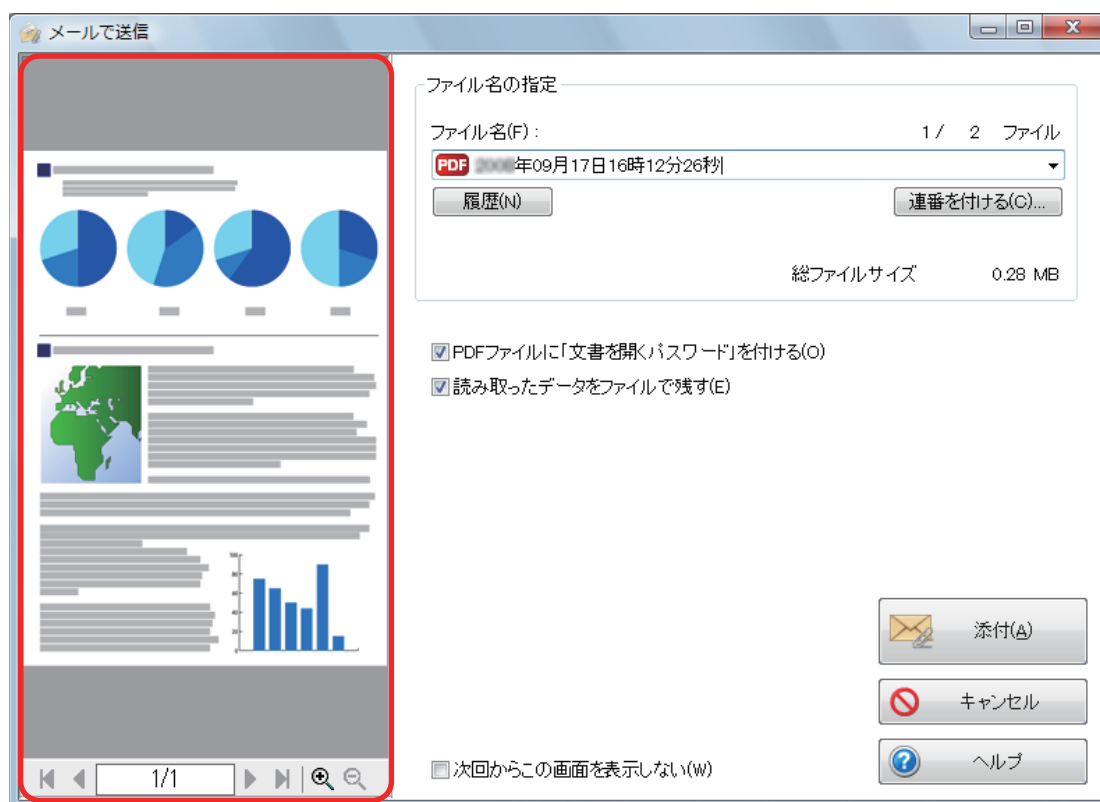
1. クイックメニューで、「メールで送信」アイコン  をクリックします。  
⇒ 「メールで送信」画面が表示されます。

## ヒント

「メールで送信」画面を表示しない設定にできます。「メール送信」画面を表示しない設定にした場合は、ファイルがメールに添付された状態で、新規メッセージ画面が表示されます。  
設定の変更方法については、「[連携するアプリケーションの設定変更](#)」(171 ページ)を参照してください。

2. プレビューで読み取り結果を確認します。

「メールで送信」画面では、イメージデータをメールに添付するときの設定ができます。  
「メールで送信」画面の詳細は、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

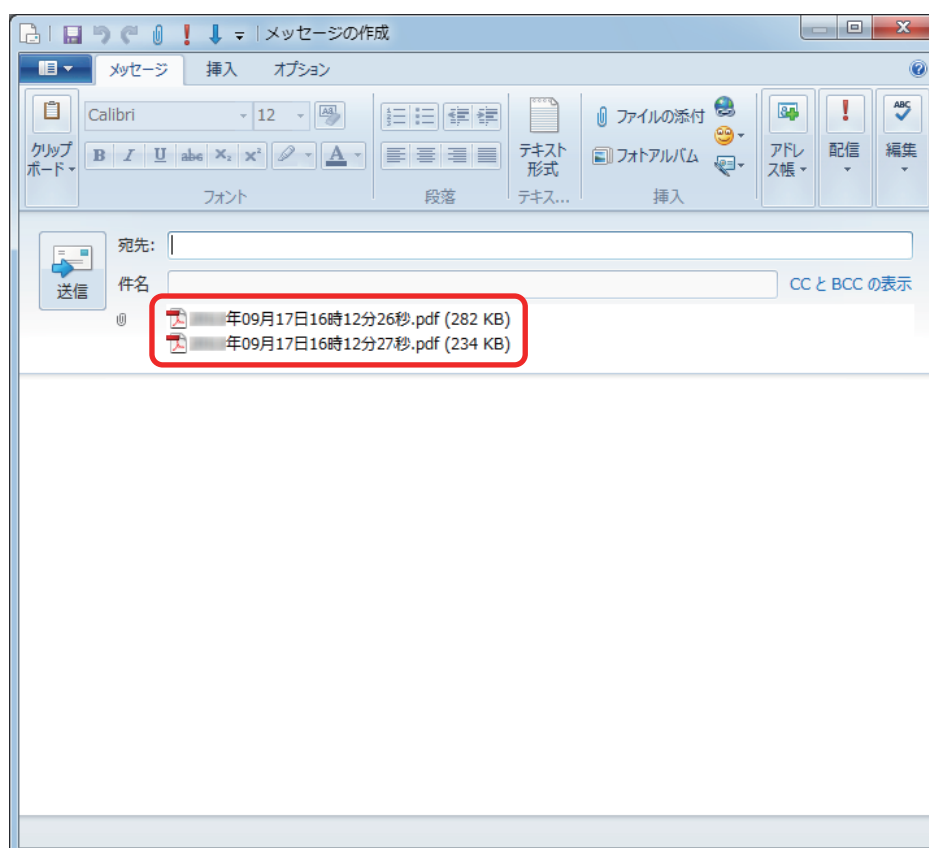


プレビュー



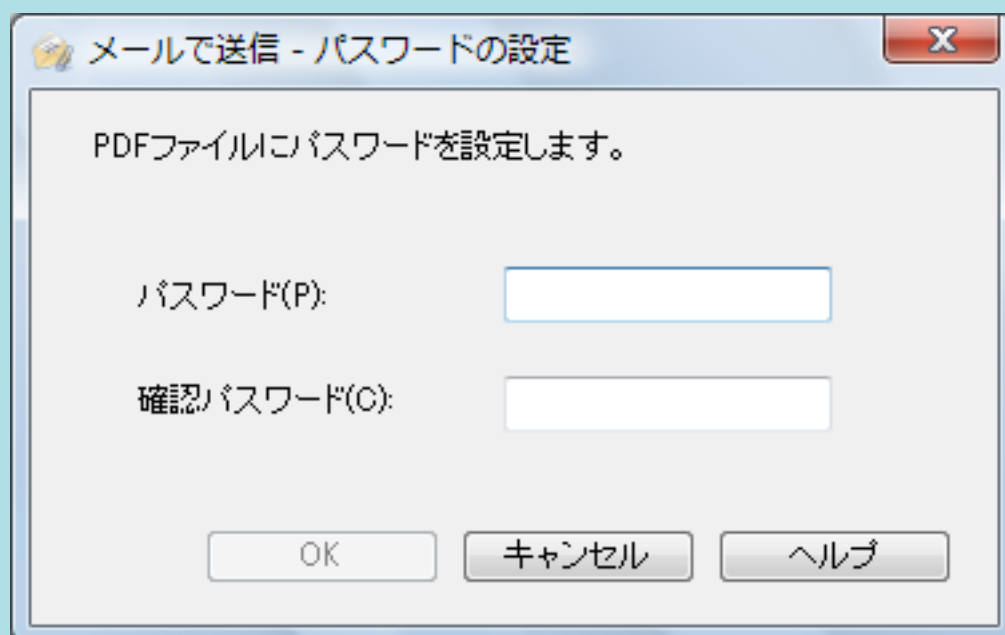
### 3. [メールに添付] ボタンをクリックします。

⇒ ファイルがメールに添付された状態で、新規メッセージ画面が表示されます。



#### ヒント

「メールで送信 - 設定」画面または「メールで送信」画面で、「PDF ファイルに「文書を開くパスワード」を付ける」チェックボックスにチェックを付けた場合は、[添付] ボタンをクリックすると、以下の「メールで送信 - パスワードの設定」画面が表示されます。



パスワードを入力して、[OK] ボタンをクリックしてください。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、パスワードを設定せずに処理を続行するかどうか確認するメッセージが表示されます。PDF ファイルにファイルを開くパスワードを付けない場合は [はい] ボタンをクリックしてください。

### 重要

- クイックメニューを表示してから「メールで送信」画面を閉じるまでの間は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。「メールで送信」画面を閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニューを表示してから「メールで送信」画面を閉じるまでの間は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動、削除、および名前の変更などの操作をしないでください。


### ヒント

- 「メールで送信」に関する設定を変更できます。詳細は、「[連携するアプリケーションの設定変更](#) (171 ページ)」を参照してください。
- 読み取り設定を使って連携することもできます。詳細は、「[読み取り設定の操作](#) (68 ページ)」を参照してください。
- ScanSnap Folder を使って、メールにイメージデータを添付することもできます。詳細は、「[ScanSnap Folder の操作](#) (83 ページ)」を参照してください。

## メールソフトの設定

連携するメールソフトの設定方法は、以下のとおりです。

### Windows 8.1 の場合

1. スタート画面左下にある  をクリックし、「既定のプログラム」の「既定のプログラムの設定」をクリックします。  
⇒ 「既定のプログラムを設定する」画面が表示されます。
2. 「プログラム」の中から連携するメールソフトを選択します。
3. 「すべての項目に対し、既定のプログラムとして設定する」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

### Windows 8 の場合

1. スタート画面を右クリックし、アプリバーの「すべてのアプリ」→「既定のプログラム」の「既定のプログラムの設定」をクリックします。  
⇒ 「既定のプログラムを設定する」画面が表示されます。
2. 「プログラム」の中から連携するメールソフトを選択します。
3. 「すべての項目に対し、既定のプログラムとして設定する」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

### Windows 7 / Windows Vista の場合

1. 「スタート」メニュー→「既定のプログラム」→「既定のプログラムの設定」をクリックします。  
⇒ 「既定のプログラムを設定します」画面が表示されます。
2. 「プログラム」の中から連携するメールソフトを選択します。
3. 以下を選択し、[OK] ボタンをクリックします。
  - Windows 7 : 「すべての項目に対し、既定のプログラムとして設定する」
  - Windows Vista : 「このプログラムを既定として設定する」

## Windows XP の場合

Internet Explorer の「ツール」メニュー→「インターネットオプション」→「プログラム」タブ→「電子メール」で設定されているメールソフトに連携されます。

設定されていない場合は、連携するメールソフトを「電子メール」に設定してください。ここで設定できるメールソフトと連携できます。

## 動作確認できているメールソフト

- Windows Live メール
- Windows メール (Windows Vista)
- Outlook 2013 / 2010 / 2007
- Becky! Internet Mail Ver.2 (2.65.05)
- Thunderbird version 24.2.0

# プリンターで印刷してコピー機代わりにする


イメージデータをプリンターで印刷する方法について説明します。

プリンターに連携すると、ScanSnap をコピー機のように利用できます。

## 重要

- 原稿の読み取り方法や原稿の状態によっては、原稿を読み取るときに原稿の端の影が映って、イメージデータに線が入ることがあります。この状態でプリンターに連携すると、線が入ったイメージデータが印刷されます。
- 「プリンターで印刷」画面の「印刷品質」が「標準」の場合、イメージデータは、ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブ→「画質の選択」の設定にかかわらず、常に 150dpi の解像度で印刷されます。



1. クイックメニューで、「プリンターで印刷」アイコン  をクリックします。  
⇒ 「プリンターで印刷」画面が表示されます。

## ヒント

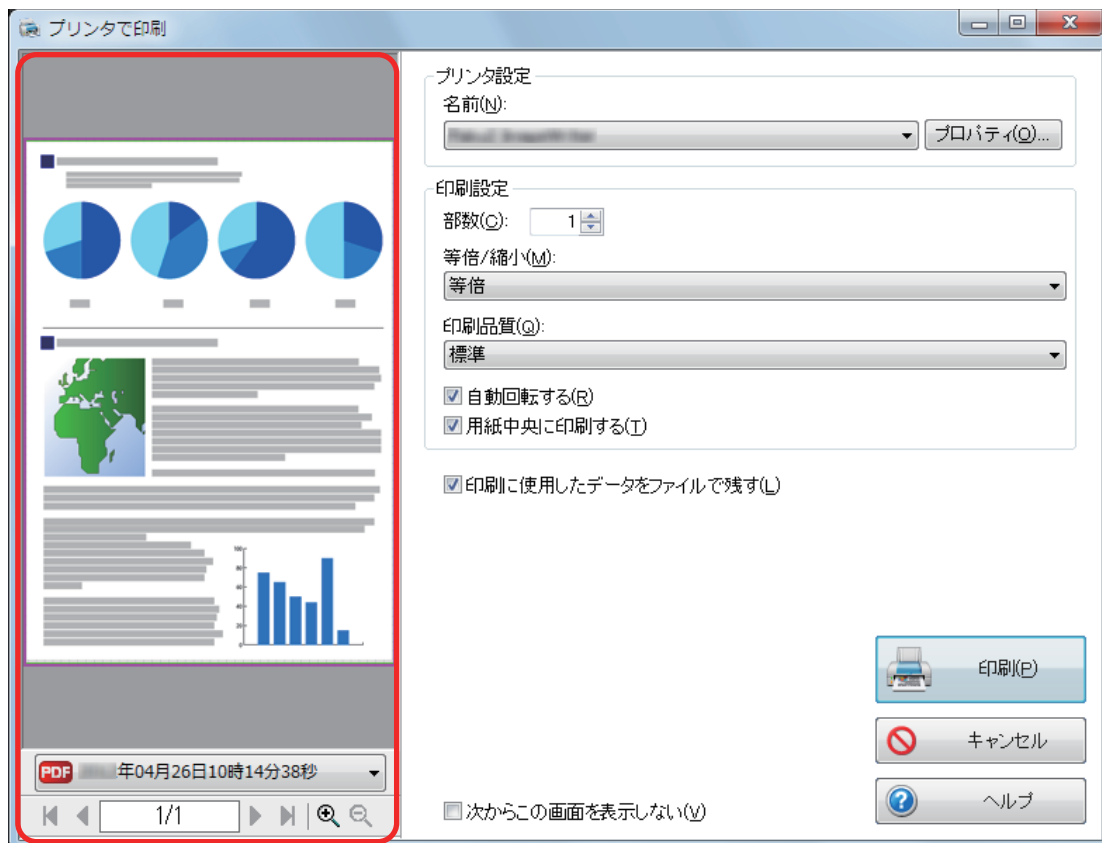
「プリンターで印刷」画面が表示されないよう設定できます。「プリンターで印刷」画面が表示されないよう設定した場合は、直接印刷が実行されます。

設定の変更方法については、「[連携するアプリケーションの設定変更](#)」(171 ページ)を参照してください。

2. プレビューで読み取り結果を確認します。

「プリンターで印刷」画面では、印刷するプリンター、印刷部数、イメージデータの印刷サイズ、および読み取り条件の「イメージの保存先」にファイルを残すかどうかを設定できます。

「プリンターで印刷」画面の詳細は、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。



プレビュー

### 3. [印刷] ボタンをクリックします。

⇒ イメージデータが印刷されます。

#### 重要

- クイックメニューを表示してから「プリンタで印刷」画面を閉じるまでの間は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。「プリンタで印刷」画面を閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニューを表示してから「プリンタで印刷」画面を閉じるまでの間は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動、削除、および名前の変更などの操作をしないでください。

#### ヒント

- 「プリンタで印刷」に関する設定を変更できます。詳細は、「[連携するアプリケーションの設定変更](#)」(171 ページ)を参照してください。
- 読み取り設定を使って連携することもできます。詳細は、「[読み取り設定の操作](#)」(68 ページ)を参照してください。

# デジタル書棚で管理する


イメージデータを PDF ファイルとして、以下に保存する方法について説明します。


- 楽<sup>2</sup>ライブラリ Smart
- 楽<sup>2</sup>ライブラリ

## 重要

イメージデータを楽<sup>2</sup>ライブラリ Smart または楽<sup>2</sup>ライブラリに保存する場合、ScanSnap Manager の以下の設定が無効になります。

- 読み取った PDF ファイルに電子署名・タイムスタンプを付けます (SV600 除く)
- 読み取り後、ファイル名を変更します
- カラー高圧縮

1. クイックメニューで、「楽<sup>2</sup>ライブラリ Smart に保存」アイコン 、「楽<sup>2</sup>ラ

イブラリに保存」アイコン 、または「楽<sup>2</sup>ライブラリ (年賀はがきデスク)

に保存」アイコン  をクリックします。

- 楽<sup>2</sup>ライブラリ Smart の場合  
バインダーを選択する画面が表示されます。
  - 既存のバインダーに保存する場合  
対象のバインダーを選択してから、[選択されたバインダ] ボタンをクリックしてください。
  - 新規のバインダーに保存する場合  
[新しいバインダ] ボタンをクリックしてください。



表示された画面に従って操作を進めると、ScanSnap で作成された PDF ファイルが楽<sup>2</sup>ライブラリ Smart に保存されます。

- 楽<sup>2</sup>ライブラリの場合  
楽<sup>2</sup>ライブラリ が起動され、ScanSnap で作成された PDF ファイルが楽<sup>2</sup>ライブラリ に保存されます。
- 楽<sup>2</sup>ライブラリ（年賀はがきデスク）の場合  
年賀はがきデスクが起動され、読み取った年賀はがきの PDF ファイルが保存されます。

### 重要

- クイックメニューを表示してから楽<sup>2</sup>ライブラリ Smart、楽<sup>2</sup>ライブラリ、または楽<sup>2</sup>ライブラリ（年賀はがきデスク）への取り込み処理をしている間は、原稿の読み取りを開始できません。楽<sup>2</sup>ライブラリ Smart、楽<sup>2</sup>ライブラリ、または楽<sup>2</sup>ライブラリ（年賀はがきデスク）にイメージデータを保存してから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニューを表示してから楽<sup>2</sup>ライブラリ Smart、楽<sup>2</sup>ライブラリ、または楽<sup>2</sup>ライブラリ（年賀はがきデスク）への取り込み処理をしている間は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動、削除、および名前の変更などの操作をしないでください。

### ヒント

- SV600 の場合、本を読み取って「楽<sup>2</sup>ライブラリ Smart に保存」に連携すると、本の中身だけでなく、表紙や背表紙も読み取って、コンピュータ上で実物の本を再現できます。詳細は、かんたんガイドを参照してください。
- 楽<sup>2</sup>ライブラリ Smart の機能や使用方法の詳細は、「楽<sup>2</sup>ライブラリ Smart を使う」(210 ページ) および 楽<sup>2</sup>ライブラリ Smart を使おう！を参照してください。
- 楽<sup>2</sup>ライブラリの機能や使用方法の詳細は、楽<sup>2</sup>ライブラリ ユーザーズガイドを参照してください。
- 「楽<sup>2</sup>ライブラリ Smart に保存」または「楽<sup>2</sup>ライブラリに保存」に関する設定を変更できます。詳細は、「連携するアプリケーションの設定変更」(171 ページ)を参照してください。
- 読み取り設定を使って連携することもできます。詳細は、「読み取り設定の操作」(68 ページ)を参照してください。



- ScanSnap Folder を使って、楽<sup>2</sup>ライブラリ Smart または楽<sup>2</sup>ライブラリにイメージデータを保存することもできます。詳細は、「[ScanSnap Folder の操作](#)」(83 ページ)を参照してください。
- 楽<sup>2</sup>ライブラリ Smart または楽<sup>2</sup>ライブラリと自動連携できます。詳細は、「[アプリケーションの自動連携](#)」(185 ページ)を参照してください。

# メモやイメージデータをまとめて管理する

イメージデータを PDF ファイルまたは JPEG ファイルとして、Magic Desktop に保存する方法について説明します。

## 重要

イメージデータを Magic Desktop に保存する場合、ScanSnap Manager の以下の設定が無効になります。

- 読み取った PDF ファイルに電子署名・タイムスタンプを付けます（SV600 除く）
- 読み取り後、ファイル名を変更します
- カラー高圧縮



## 1. クイックメニューで、「Magic Desktop」アイコン をクリックします。

⇒ Magic Desktop が起動され、ScanSnap で作成されたイメージデータが Magic Desktop に保存されます。

## 重要

- クイックメニュー表示中は、原稿の読み取りを開始できません。Magic Desktop にイメージデータを保存してから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動、削除、および名前の変更などの操作をしないでください。

## ヒント

- Magic Desktop の使い方については、[Magic Desktop を使おう！](#)を参照してください。
- 読み取り設定を使って連携することもできます。詳細は、[「読み取り設定の操作」\(68 ページ\)](#)を参照してください。
- ScanSnap Folder を使って、Magic Desktop にイメージデータを保存することもできます。詳細は、[「ScanSnap Folder の操作」\(83 ページ\)](#)を参照してください。
- Magic Desktop と自動連携できます。詳細は、[「アプリケーションの自動連携」\(185 ページ\)](#)を参照してください。

# レシートの情報を家計簿に入力する

レシートのイメージデータや情報を、やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap に登録する方法について説明します。

## 重要

やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap に連携するには、事前に、レシートの情報を登録する家計簿ファイルを作成しておく必要があります。家計簿ファイルの作成方法については、やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap 操作説明書を参照してください。



1. クイックメニューで、「やさしく家計簿に保存」アイコンをクリックします。  
⇒ やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap が起動されます。
2. 読み取ったレシートのイメージデータと認識結果を確認します。

やさしく家計簿 エントリー-2 - 家計簿名: [ ]

ファイル(E) 編集(E) ツール(I) 表示(V) ヘルプ(H)

よくある質問 操作説明

支出を入力する

支出一覧 直近の1週間に入力された支出データを表示しています。

入力区分	日付	店舗	費目	内訳	合計

未処理レシート追加 1

手入力追加

修正

削除

レシート画像

合計

\*日付 店舗 \*合計 \*費目 内訳

年 0月 9日 [ ] 6,300 未設定

明細 \*印は、必須入力項目です。

*品名	*価格	*費目	内訳
ネクタイ	3,150	未設定	
Yシャツ	2,100	未設定	
靴下	1,050	未設定	

ABC百貨店  
TEL:00-0000-0000

領収証

ネクタイ ¥3,150  
Yシャツ ¥2,100  
靴下 ¥1,050

小計 3点 ¥6,300  
合計 ¥6,300

\*支払い方法 現金 明細合計 6,300

行挿入 行削除

明細を家計簿に保存

保存 キャンセル

## 重要

- クイックメニュー表示中は、ScanSnap でレシートの読み取りを開始できません。やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap に連携してから、次のレシートの読み取りを開始してください。

- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動、削除、および名前の変更などの操作をしないでください。

#### ヒント

- やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap の機能や使用方法の詳細は、やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap 操作説明書およびやさしく家計簿 エントリー for ScanSnap のヘルプを参照してください。
- 読み取り設定を使って連携することもできます。詳細は、「[読み取り設定の操作](#)」(68 ページ)を参照してください。
- ScanSnap Folder を使って、やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap にイメージデータを保存することもできます。詳細は、「[ScanSnap Folder の操作](#)」(83 ページ)を参照してください。
- やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap と自動連携できます。詳細は、「[アプリケーションの自動連携](#)」(185 ページ)を参照してください。

# モバイル機器に保存する

イメージデータを PDF ファイルまたは JPEG ファイルとして、モバイル機器に保存する方法について説明します。

## 重要


- コンピュータに接続できるモバイル機器は、1 台だけです。
- 本機能を使用するには、接続するモバイル機器に ScanSnap Connect Application がインストールされている必要があります。各モバイル機器用の ScanSnap Connect Application は、アプリケーションマーケット（App Store または Google Play）からダウンロードしてください。


モバイル機器用の ScanSnap Connect Application が動作するオペレーティングシステムは、以下を参照してください。

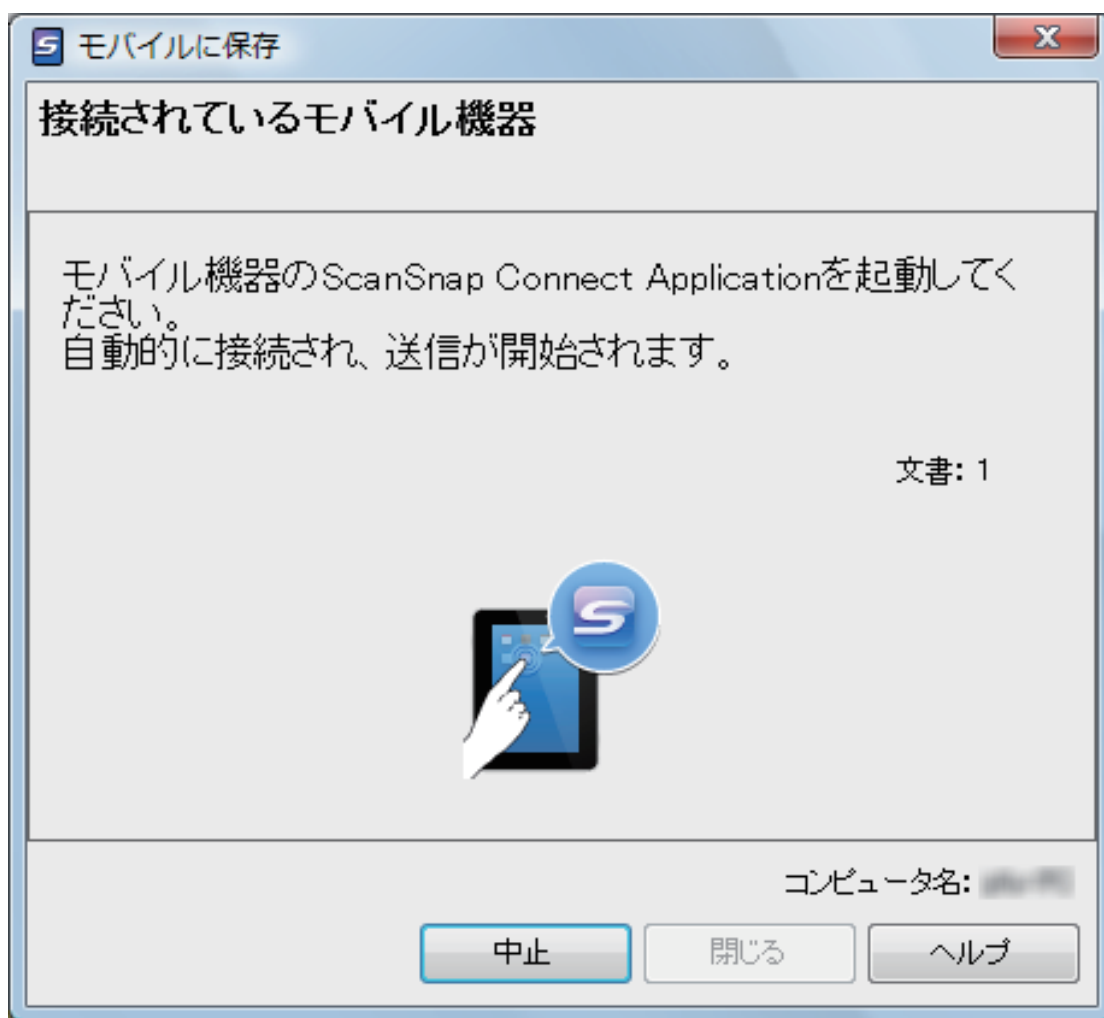
<http://scansnap.fujitsu.com/jp/>

- モバイル機器に一度に保存できるイメージデータのファイル数およびファイルサイズは、以下のとおりです。
  - ファイル数：100 まで
  - ファイルサイズ：2048M バイト

## ヒント

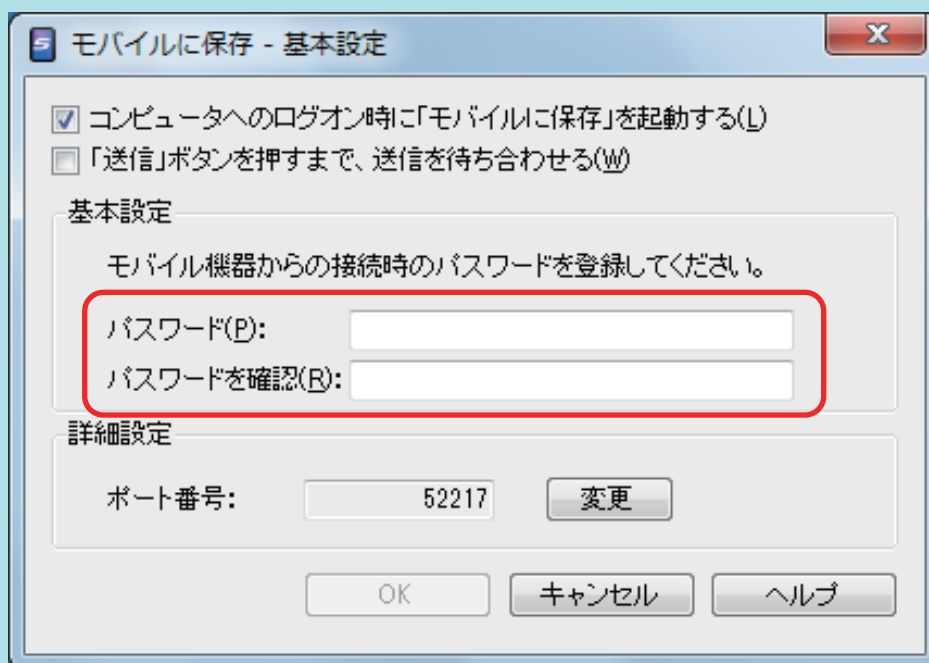
「モバイルに保存」が起動中は、画面右下にある通知領域にアイコン  が表示されます。詳細は、モバイルに保存のヘルプを参照してください。

1. クイックメニューで、「モバイルに保存」アイコン  をクリックします。  
⇒ 「モバイルに保存」画面が表示されます。



### ヒント

- 「モバイルに保存」を初めて起動すると表示される画面で [OK] ボタンをクリックすると、「モバイルに保存 - 基本設定」画面が表示されます。「モバイルに保存 - 基本設定」画面では、モバイル機器と接続するためのパスワードを設定してください。そのほかの設定項目の詳細は、モバイルに保存のヘルプを参照してください。

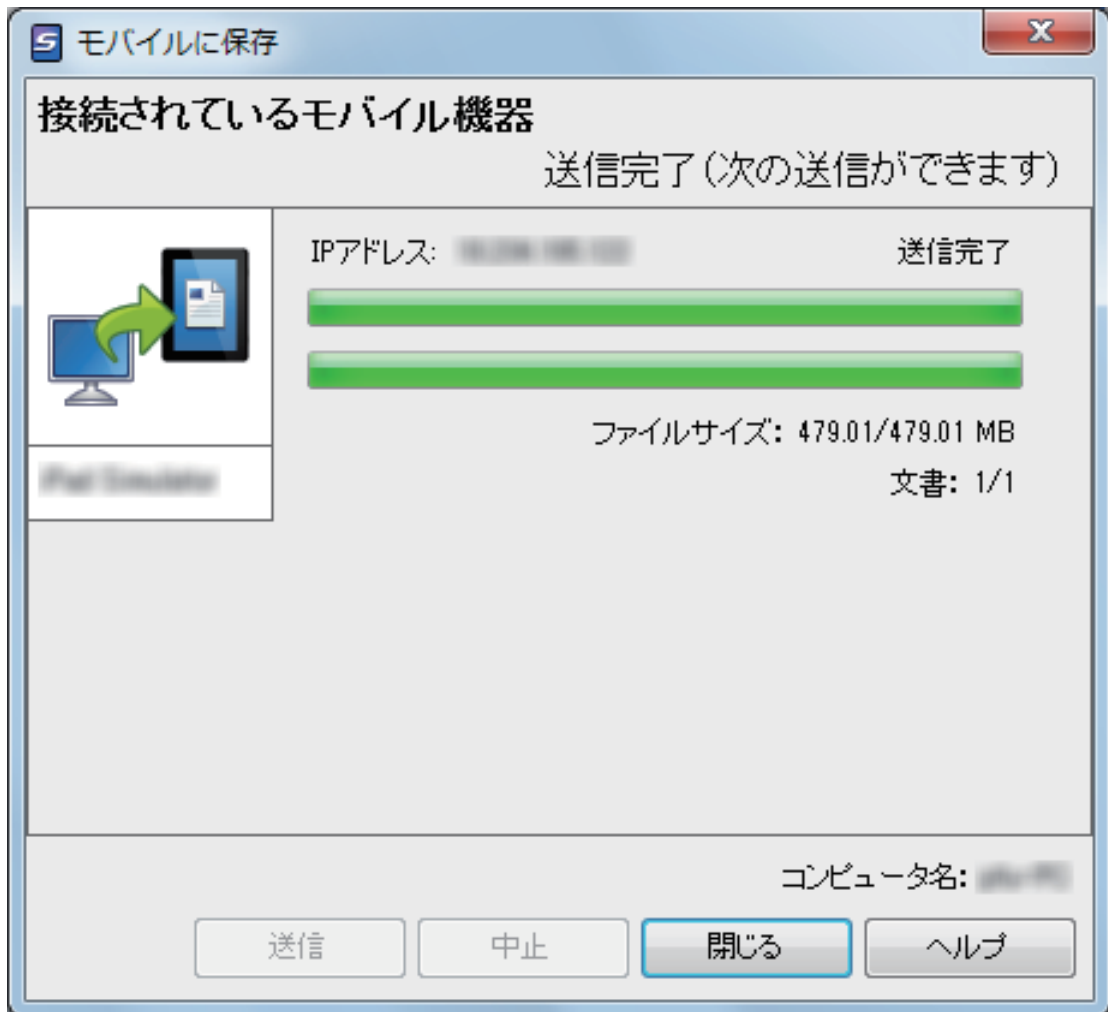


- ファイアウォールのブロックの警告が表示されることがあります。表示された場合は、「アクセスを許可する」や「解除する」などの処理を続行するボタンをクリックしてください。

## 2. モバイル機器からコンピュータに接続します。

モバイル機器からコンピュータへの接続方法については、使用しているモバイル機器の ScanSnap Connect Application ユーザーズガイドを参照してください。

- ⇒ モバイル機器とコンピュータが接続されると、「モバイルに保存」画面にコンピュータと接続中のモバイル機器が表示され、イメージデータがモバイル機器に送信されます。



### ヒント

「モバイルに保存 - 基本設定」画面の「[送信] ボタンを押すまで、送信を待ち合わせる」チェックボックスにチェックを付けた場合は、「モバイルに保存」画面に [送信] ボタンが表示されます。[送信] ボタンをクリックすると、イメージデータがモバイル機器に送信されます。

## 3. イメージデータの送信が完了したら、[閉じる] ボタンをクリックして「モバイルに保存」画面を閉じます。

### ヒント

「モバイルに保存」画面は、モバイル機器とコンピュータの接続が解除されると自動的に閉じられます。

### 重要

- クイックメニュー表示中は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。モバイルに保存に連携してから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動、削除、および名前の変更などの操作をしないでください。

### ヒント

- モバイル機器側の機能および使用方法の詳細は、使用しているモバイル機器の ScanSnap Connect Application ユーザーズガイドを参照してください。
- 「モバイルに保存」に関する設定を変更できます。詳細は、「[連携するアプリケーションの設定変更](#) (171 ページ)を参照してください。
- 読み取り設定を使って連携することもできます。詳細は、「[読み取り設定の操作](#)」(68 ページ)を参照してください。
- モバイルに保存と自動連携できます。詳細は、「[アプリケーションの自動連携](#)」(185 ページ)を参照してください。



# Dropbox フォルダーに保存する

イメージデータを PDF ファイルまたは JPEG ファイルとして、Dropbox フォルダーに保存する方法について説明します。

## 重要


- Dropbox のアカウントを取得する必要があります。
- Dropbox フォルダーに一度に保存できるイメージデータのファイル数は、100 ファイルまでです。

## ヒント

Dropbox for Windows をインストールしたあと、Dropbox に初めてログインしたときに、Dropbox フォルダーが作成されます。

Dropbox フォルダーは、Dropbox で使用する同期専用のフォルダーです。



1. クイックメニューで、「Dropbox に保存」アイコン  をクリックします。  
⇒ 「Dropbox に保存」画面が表示されます。

## ヒント

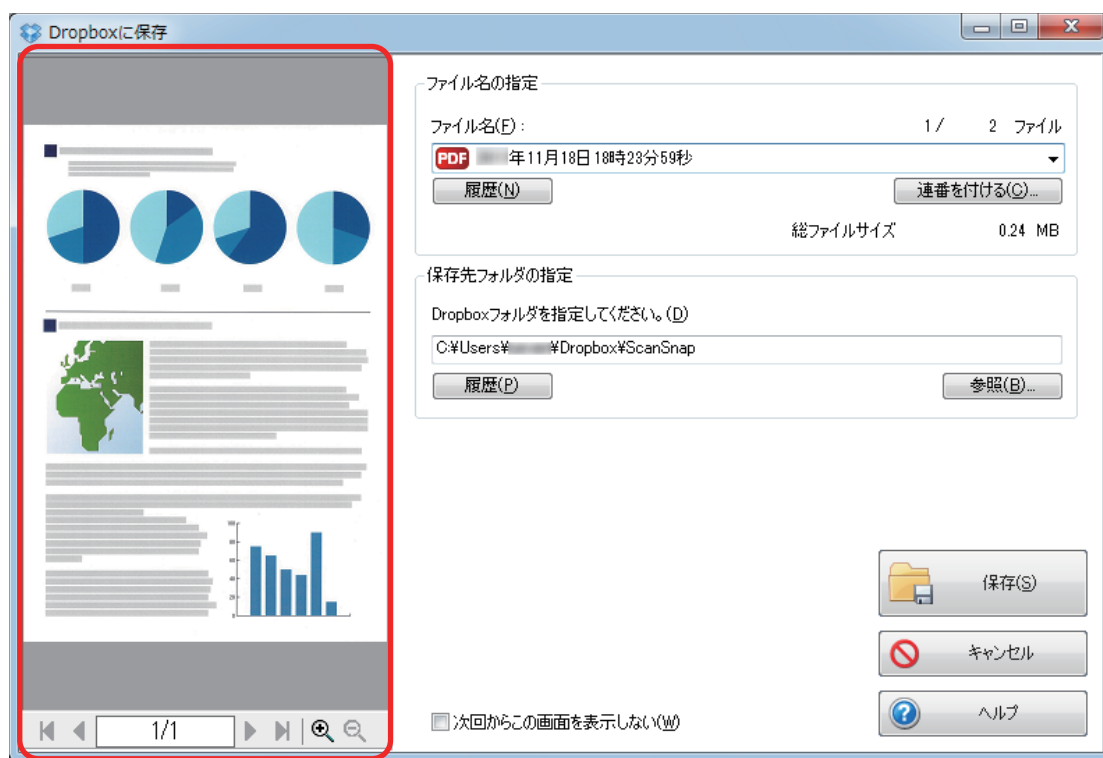
「Dropbox に保存」画面を表示しない設定にできます。「Dropbox に保存」画面を表示しない設定にした場合は、イメージデータが直接 Dropbox フォルダーに保存されます。

設定の変更方法については、「[連携するアプリケーションの設定変更](#)」(171 ページ)を参照してください。

2. プレビューで読み取り結果を確認します。

「Dropbox に保存」画面では、ファイル名を変更したり、Dropbox フォルダーを指定したりできます。

「Dropbox に保存」画面の詳細は、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。



プレビュー

**重要**

ファイルの保存先に Dropbox フォルダー以外を指定した場合、保存されたファイルは Dropbox と同期の対象になりません。

**3. [保存] ボタンをクリックします。**

⇒ イメージデータが、Dropbox フォルダーに保存されます。

**重要**

- クイックメニューを表示してから「Dropbox に保存」画面を閉じるまでの間は、原稿の読み取りを開始できません。「Dropbox に保存」画面を閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動、削除、および名前の変更などの操作をしないでください。

**ヒント**

- 「Dropbox に保存」に関する設定を変更できます。詳細は、「[連携するアプリケーションの設定変更](#)」(171 ページ)を参照してください。
- 読み取り設定を使って連携することもできます。詳細は、「[読み取り設定の操作](#)」(68 ページ)を参照してください。
- ScanSnap Folder を使って、Dropbox にイメージデータを保存することもできます。詳細は、「[ScanSnap Folder の操作](#)」(83 ページ)を参照してください。

# 活字原稿を Evernote に保存する (PDF ファイル)

イメージデータを PDF ファイルとして、Evernote に保存する方法について説明します。

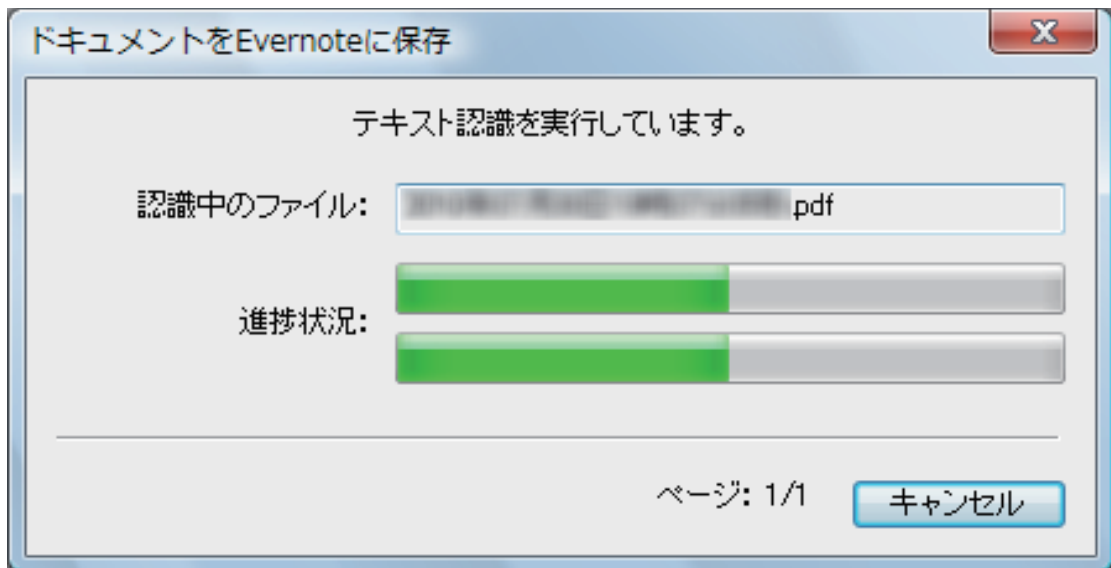
検索可能な PDF ファイルに変換してから Evernote に保存すると、Evernote で文書が検索できます。

## 重要

- Evernote のアカウントを作成 (無料または有料) する必要があります。
- ファイルを Evernote に保存する場合は、Evernote for Windows にサインインしておく必要があります。

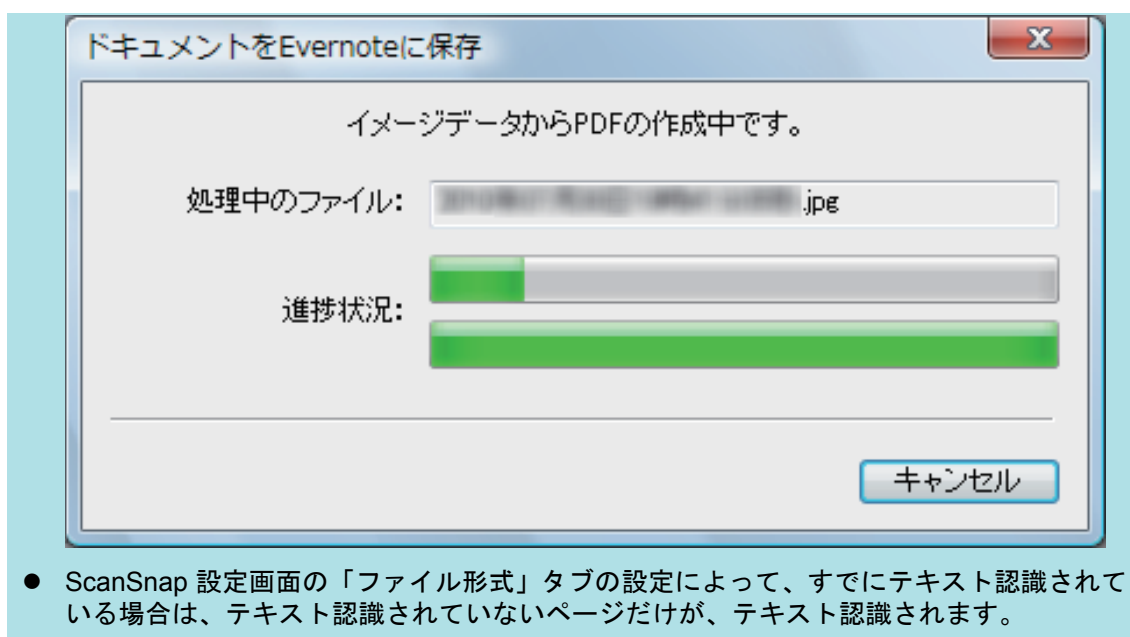
1. クイックメニューで、「ドキュメントを Evernote に保存」アイコン  をクリックします。

⇒ テキスト認識されます。テキスト認識中は、以下の画面が表示されます。



## ヒント

- ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブ→「ファイル形式の選択」の設定が「JPEG(\*.jpg)」の場合は、JPEG ファイルから PDF ファイルが作成されます。JPEG ファイル 1 つにつき、1 つの PDF ファイルが作成されます。  
PDF ファイルの作成中は、以下の画面が表示されます。



- ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブの設定によって、すでにテキスト認識されている場合は、テキスト認識されていないページだけが、テキスト認識されます。

⇒ Evernote for Windows が起動され、PDF ファイルが Evernote に保存されます。

### 重要

- クイックメニュー表示中は、原稿の読み取りを開始できません。Evernote に PDF ファイルを保存してから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動、削除、および名前の変更などの操作をしないでください。

### ヒント

- ファイルを Evernote に保存したあとも、ScanSnap 設定画面の「保存先」タブ→「イメージの保存先」に設定されているフォルダーに、Evernote に保存したイメージデータと同一のファイルが残ります。不要な場合は、削除してください。
- 「ドキュメントを Evernote に保存」に関する設定を変更できます。詳細は、「[連携するアプリケーションの設定変更](#)」(171 ページ)を参照してください。
- 読み取り設定を使って連携することもできます。詳細は、「[読み取り設定の操作](#)」(68 ページ)を参照してください。
- ScanSnap Folder を使って、Evernote にイメージデータを保存することもできます。詳細は、「[ScanSnap Folder の操作](#)」(83 ページ)を参照してください。

# 手書き文字を含む原稿を Evernote に保存する (JPEG ファイル)

イメージデータを JPEG ファイルとして、Evernote に保存する方法について説明します。

JPEG ファイルを Evernote に保存すると、手書き文字を含むすべての文字情報が Evernote 上でテキスト認識され、Evernote で文書が検索できます。

## 重要

- Evernote のアカウントを作成 (無料または有料) する必要があります。
- ファイルを Evernote に保存する場合は、Evernote for Windows にサインインしておく必要があります。

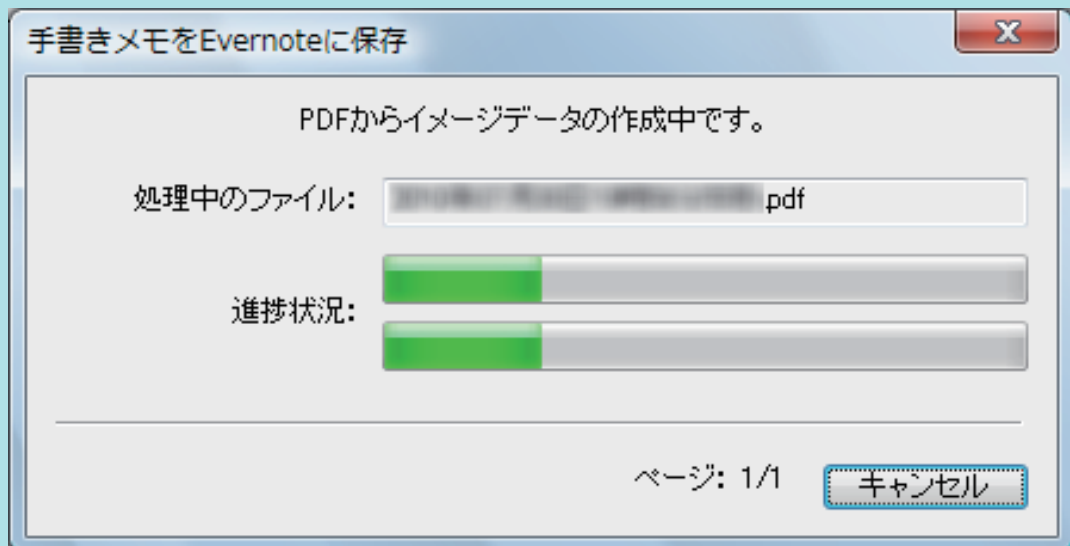
1. クイックメニューで、「手書きメモを Evernote に保存」アイコン  をクリックします。

⇒ Evernote for Windows が起動され、JPEG ファイルが Evernote に保存されます。

## ヒント

- ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブ→「ファイル形式の選択」の設定が「PDF(\*.pdf)」の場合は、PDF ファイルから JPEG ファイルが作成されます。PDF ファイル 1 ページにつき、1つの JPEG ファイルが作成されます。

JPEG ファイルの作成中は、以下の画面が表示されます。



- ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブ→「ファイル形式の選択」の設定が「PDF(\*.pdf)」の場合、Evernote に保存されるファイル名には、自動的に 4 桁の連番が追加されます。

例： ファイル名が「ScanSnap」の場合

ScanSnap\_0001、ScanSnap\_0002、ScanSnap\_0003…

- ファイルを Evernote に保存したあとも、ScanSnap 設定画面の「保存先」タブ→「イメージの保存先」に設定されているフォルダーに、Evernote に保存したイメージデータと同一のファイルが残ります。不要な場合は、削除してください。

### 重要

- クイックメニュー表示中は、原稿の読み取りを開始できません。Evernote に JPEG ファイルを保存してから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動、削除、および名前の変更などの操作をしないでください。

### ヒント

- 読み取り設定を使って連携することもできます。詳細は、「[読み取り設定の操作](#)」(68 ページ)を参照してください。
- ScanSnap Folder を使って、Evernote にイメージデータを保存することもできます。詳細は、「[ScanSnap Folder の操作](#)」(83 ページ)を参照してください。

# Google ドキュメントに保存する

イメージデータを PDF ファイルとして、Google ドキュメントに保存する方法について説明します。

## 重要

- Google のアカウントを作成（無料）する必要があります。
- 「Google ドキュメント(TM)に保存」は、インターネットに接続するときに認証が必要なプロキシ環境下では使用できません。

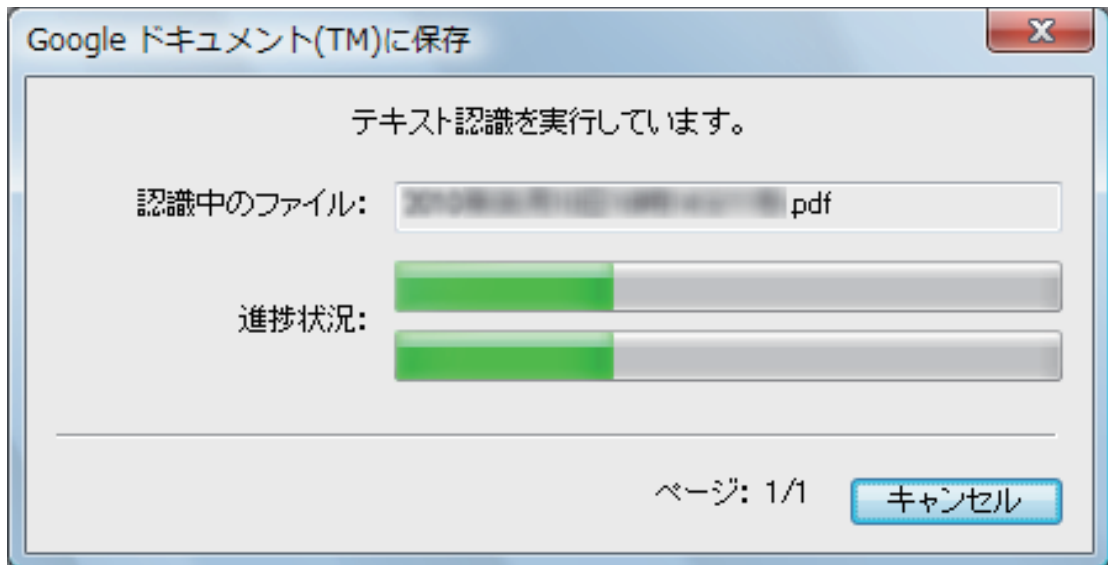


1. クイックメニューで、「Google ドキュメント(TM)に保存」アイコンをクリックします。  
⇒ 「Google ドキュメント(TM)に保存」画面が表示されます。
2. 「メール」および「パスワード」を入力して [OK] ボタンをクリックします。

## 重要

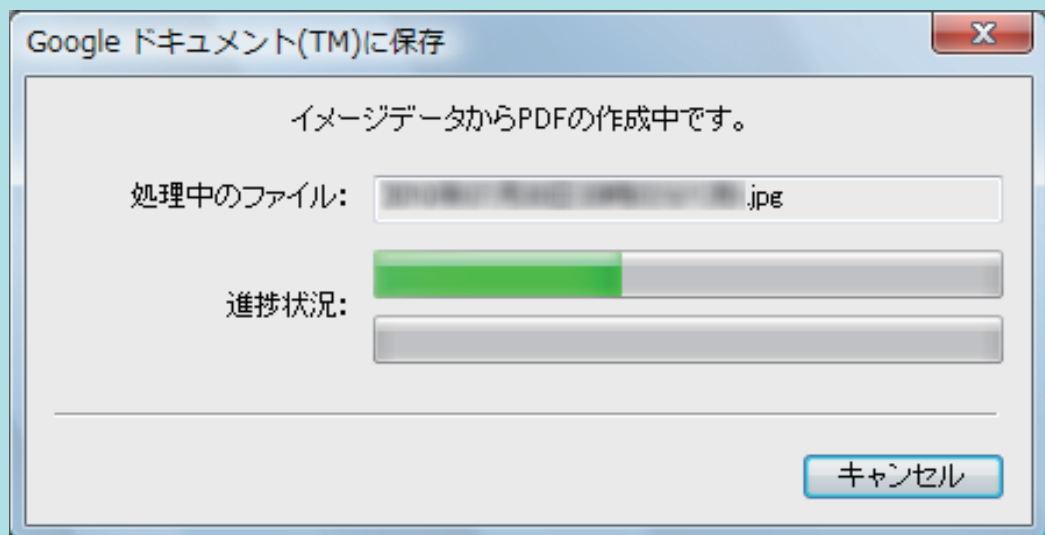
コンピュータを共用している場合、「アカウント情報を保存する」チェックボックスにチェックを付けると、第三者が自動的に Google ドキュメントにログインできるようになります。そのため、「アカウント情報を保存する」チェックボックスにチェックを付けしないでください。

⇒ テキスト認識されます。テキスト認識中は、以下の画面が表示されます。



#### ヒント

- ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブ→「ファイル形式の選択」の設定が「JPEG(\*.jpg)」の場合は、JPEG ファイルから PDF ファイルが作成されます。JPEG ファイル 1 つにつき、1 つの PDF ファイルが作成されます。PDF ファイルの作成中は、以下の画面が表示されます。

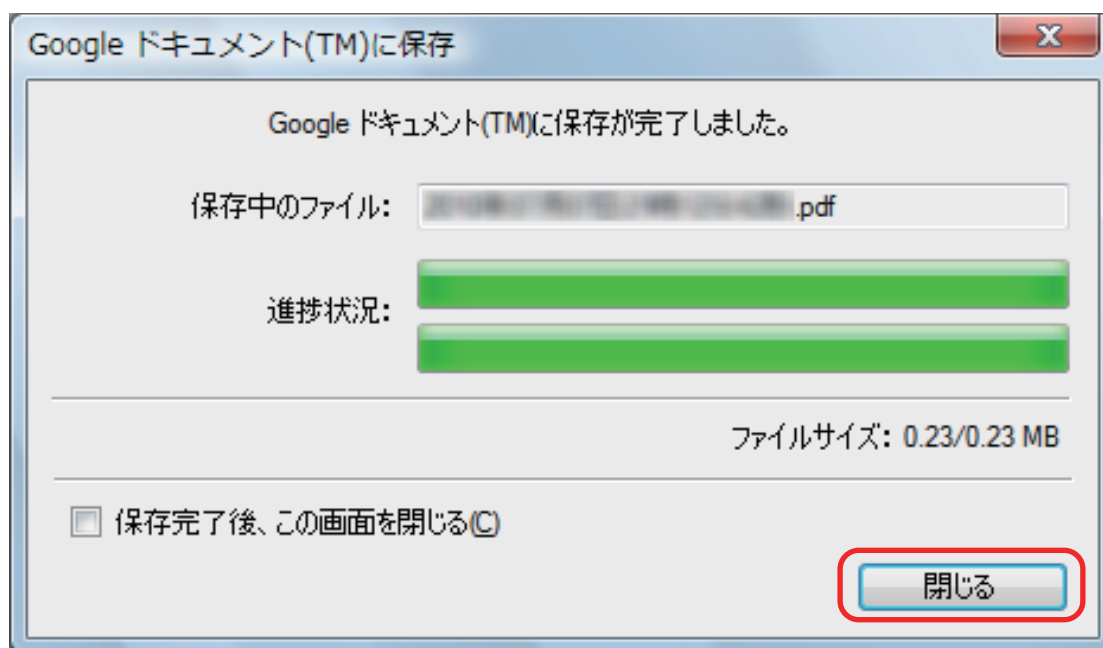


- ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブの設定によって、すでにテキスト認識されている場合は、テキスト認識されていないページだけが、テキスト認識されます。

⇒ Google ドキュメントに PDF ファイルの保存が開始されます。

3. 保存が完了したら、[閉じる] ボタンをクリックして、「Google ドキュメント(TM)に保存」画面を閉じます。





PDF ファイルの保存完了後、Google ドキュメントのサイトは起動されません。保存した PDF ファイルを確認する場合は、Web ブラウザを起動し Google ドキュメントにログインして確認してください。

#### 重要

- クイックメニュー表示中は、原稿の読み取りを開始できません。Google ドキュメントに PDF ファイルを保存してから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動、削除、および名前の変更などの操作をしないでください。

#### ヒント

- 「Google ドキュメント(TM) に保存」に関する設定を変更できます。詳細は、「[連携するアプリケーションの設定変更](#)」(171 ページ)を参照してください。
- 読み取り設定を使って連携することもできます。詳細は、「[読み取り設定の操作](#)」(68 ページ)を参照してください。
- ScanSnap Folder を使って、Google ドキュメントにイメージデータを保存することもできます。詳細は、「[ScanSnap Folder の操作](#)」(83 ページ)を参照してください。

# Salesforce Chatter に投稿する

イメージデータを PDF ファイルまたは JPEG ファイルとして、Salesforce Chatter に投稿する方法について説明します。

## 重要

- Salesforce CRM のライセンス契約が別途必要です。
- 連携可能な Salesforce のエディションは以下のとおりです。
  - Unlimited
  - Enterprise
- Salesforce Chatter に一度に投稿できるイメージデータのファイル数は、100 ファイルまでです。
- 「Salesforce Chatter に投稿」は、インターネットに接続するときに認証が必要なプロキシ環境下では使用できません。



1. クイックメニューで、「Salesforce Chatter に投稿」アイコン  をクリックします。

⇒ 「Salesforce Chatter に投稿 - ログイン」画面が表示されます。

2. 「ユーザ名」および「パスワード」を入力して [OK] ボタンをクリックします。

「セキュリティトークン」は、必要に応じて入力してください。

## 重要

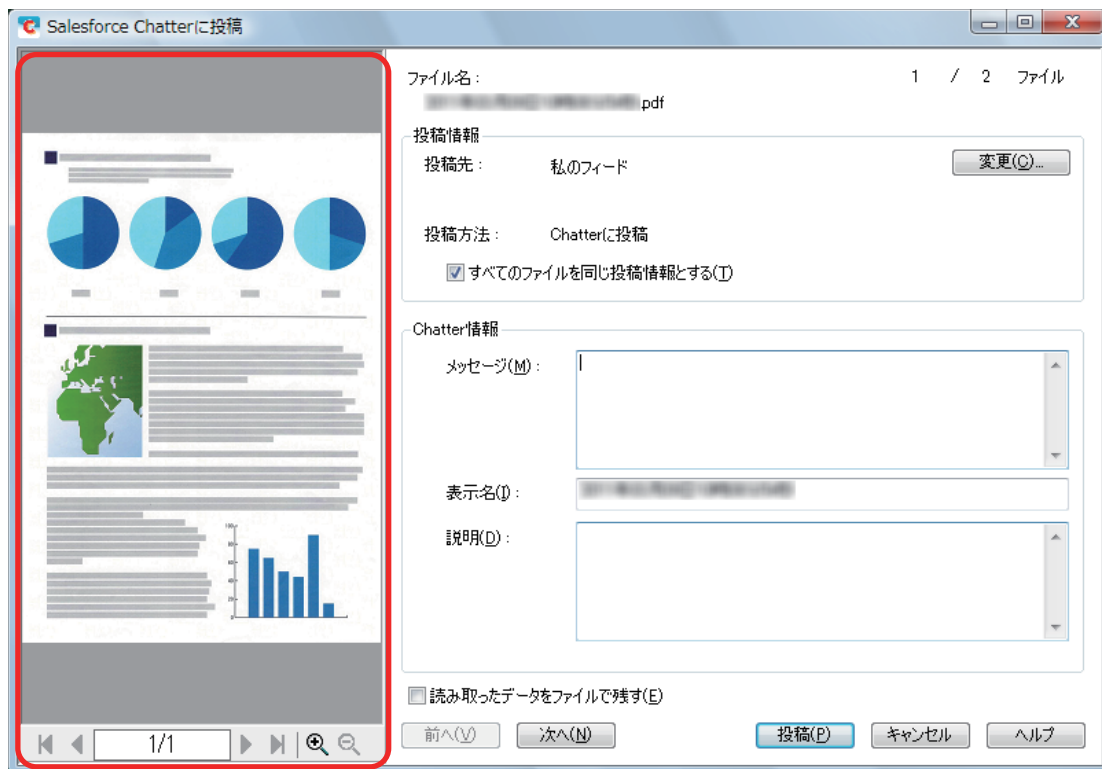
コンピュータを共用している場合、「アカウント情報を保存する」チェックボックスにチェックを付けると、第三者が自動的に Salesforce にログインできるようになります。そのため、「アカウント情報を保存する」チェックボックスにチェックを付けしないでください。

⇒ 「Salesforce Chatter に投稿」画面が表示されます。

3. プレビューで読み取り結果を確認します。

「Salesforce Chatter に投稿」画面では、Salesforce Chatter に投稿するときの設定ができます。

「Salesforce Chatter に投稿」画面の詳細は、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

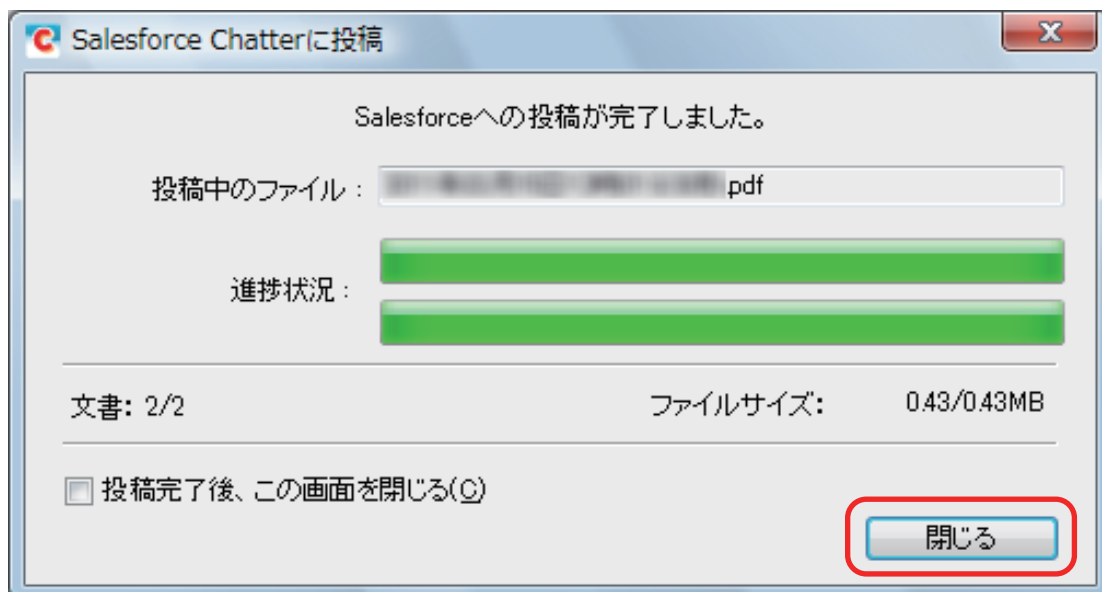


プレビュー

**4. [投稿] ボタンをクリックします。**

⇒ Salesforce Chatter にイメージデータの投稿が開始されます。

**5. イメージデータの投稿が完了したら、[閉じる] ボタンをクリックして、「Salesforce Chatter に投稿」画面を閉じます。**



イメージデータの投稿完了後、Salesforce のサイトは起動されません。保存したイメージデータを確認する場合は、Web ブラウザを起動し Salesforce にログインして確認してください。

**重要**

- クイックメニューを表示してから「Salesforce Chatter に投稿」画面を閉じるまでの間は、原稿の読み取りを開始できません。「Salesforce Chatter に投稿」画面を閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動、削除、および名前の変更などの操作をしないでください。

**ヒント**

- 「Salesforce Chatter に投稿」に関する設定を変更できます。詳細は、「[連携するアプリケーションの設定変更](#)」(171 ページ)を参照してください。
- 読み取り設定を使って連携することもできます。詳細は、「[読み取り設定の操作](#)」(68 ページ)を参照してください。
- ScanSnap Folder を使って、Salesforce Chatter にイメージデータを投稿することもできます。詳細は、「[ScanSnap Folder の操作](#)」(83 ページ)を参照してください。

# SugarSync の同期フォルダーに保存する

イメージデータを PDF ファイルまたは JPEG ファイルとして、SugarSync の同期フォルダーに保存する方法について説明します。


## 重要

- SugarSync のアカウントを取得する必要があります。
- SugarSync の同期フォルダーに一度に保存できるイメージデータのファイル数は、100 ファイルまでです。

## ヒント

SugarSync Manager for Windows をインストールしたあと、SugarSync に初めてログインしたときに、My SugarSync が作成されます。

My SugarSync とは、SugarSync で使用する同期専用のフォルダーです。

1. クイックメニューで、「SugarSync に保存」アイコン  をクリックします。  
⇒ 「SugarSync に保存」画面が表示されます。

## ヒント

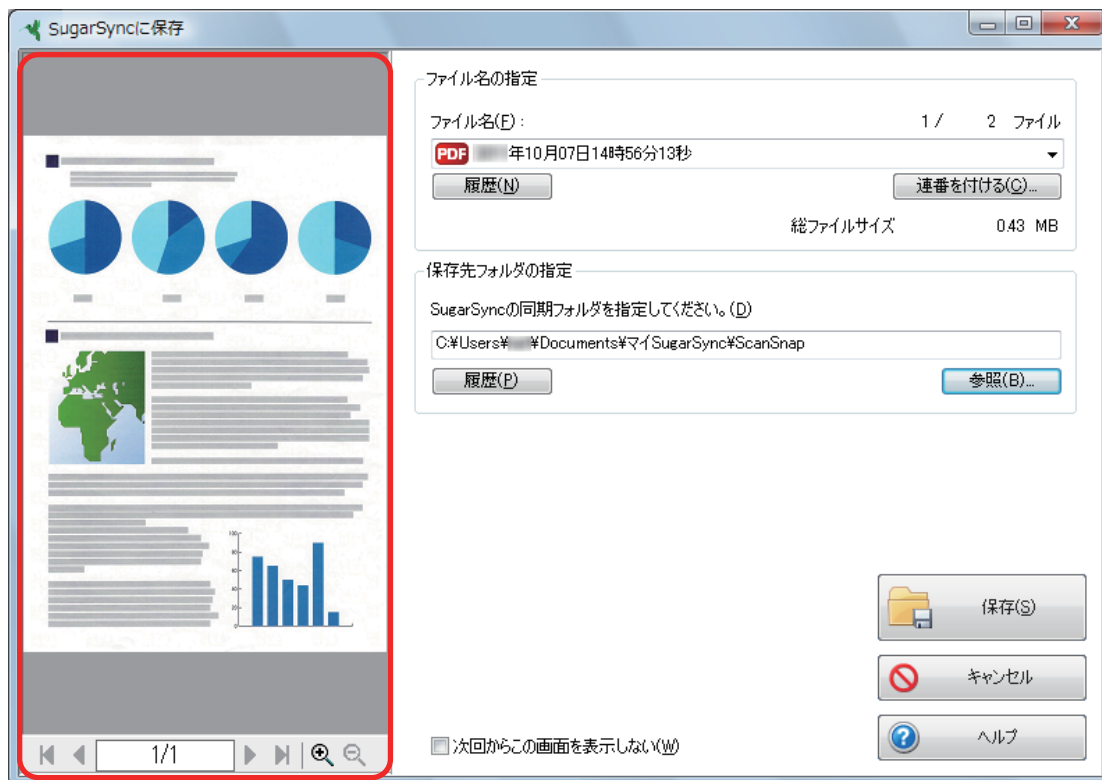
「SugarSync に保存」画面を表示しない設定にできます。「SugarSync に保存」画面を表示しない設定にした場合は、イメージデータが直接 SugarSync の同期フォルダーに保存されます。

設定の変更方法については、「[連携するアプリケーションの設定変更](#)」(171 ページ)を参照してください。

2. プレビューで読み取り結果を確認します。

「SugarSync に保存」画面では、ファイル名を変更したり、SugarSync の同期フォルダーを指定したりできます。

「SugarSync に保存」画面の詳細は、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。



プレビュー

**重要**

ファイルの保存先に SugarSync の同期フォルダー以外を指定した場合、保存されたファイルは SugarSync と同期の対象になりません。

**3. [保存] ボタンをクリックします。**

⇒ イメージデータが、SugarSync の同期フォルダーに保存されます。

**重要**

- クイックメニューを表示してから「SugarSync に保存」画面を閉じるまでの間は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。「SugarSync に保存」画面を閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニューを表示してから「SugarSync に保存」画面を閉じるまでの間は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動、削除、および名前の変更などの操作をしないでください。

**ヒント**

- 「SugarSync に保存」に関する設定を変更できます。詳細は、「[連携するアプリケーションの設定変更](#)」(171 ページ)を参照してください。
- 読み取り設定を使って連携することもできます。詳細は、「[読み取り設定の操作](#)」(68 ページ)を参照してください。
- ScanSnap Folder を使って、SugarSync にイメージデータを保存することもできます。詳細は、「[ScanSnap Folder の操作](#)」(83 ページ)を参照してください。



# Word / Excel / PowerPoint 文書に変換する

ScanSnap に添付されている ABBYY FineReader for ScanSnap を使用して、イメージデータを、Word / Excel / PowerPoint 文書に変換する方法について説明します。

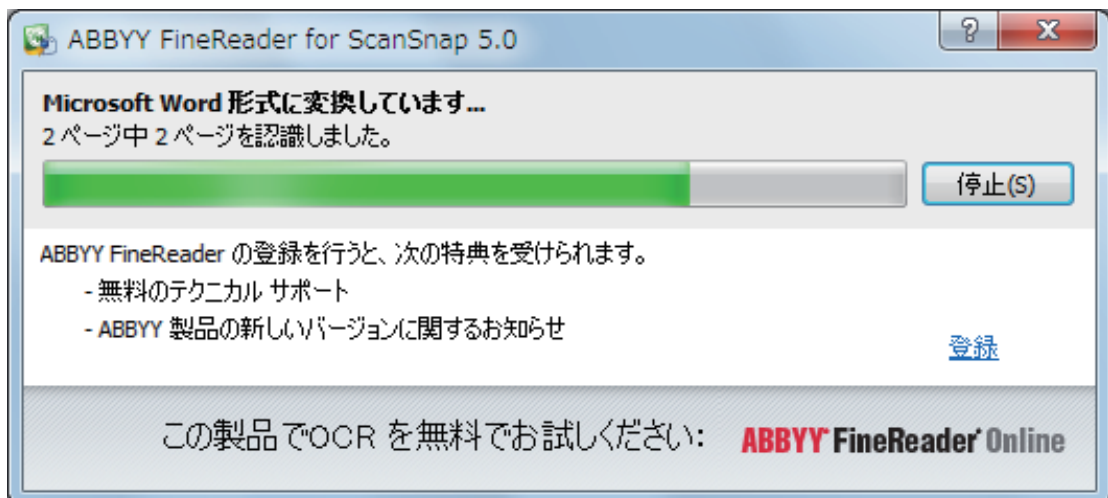
## 重要

- 変換後のイメージデータは、以下のファイル形式で保存されます。
  - Word 文書に変換：DOCX 形式 (.docx)
  - Excel 文書に変換：XLSX 形式 (.xlsx)
  - PowerPoint 文書に変換：PPTX 形式 (.pptx)
- Word / Excel / PowerPoint 文書に変換した結果を表示または確認するには、Word、Excel、および PowerPoint のユーザー登録やライセンス認証を完了し、使用可能な状態にしてください。
- ABBYY FineReader for ScanSnap が対応しているアプリケーションおよびそのバージョンは、ABBYY FineReader for ScanSnap のユーザーズガイドを参照してください。また、アプリケーションをインストール後、使用可能な状態にしてください。
- Word、Excel、および PowerPoint を使用中に、本機能を実行しないでください。また、本機能を実行中に Word、Excel、および PowerPoint を使用しないでください。これらを同時に実行すると「呼び出し先が呼び出しを拒否しました」などのメッセージが表示され、変換結果が表示されない場合があります。
- ABBYY FineReader for ScanSnap の文字変換機能の詳細は、「[ABBYY FineReader for ScanSnap の文字変換機能](#)」(61 ページ)を参照してください。

## 1. クイックメニューで、「Word 文書に変換」アイコン 、「Excel 文書に変換」

アイコン 、または「PowerPoint(R) 文書に変換」アイコン  をクリックします。

⇒ 以下の画面が表示され、イメージデータの Word 文書、Excel 文書、または PowerPoint 文書への変換が開始されます。



⇒ 変換が完了すると、Word、Excel、または PowerPoint が起動され、変換結果が表示されます。

### 重要

- クイックメニュー表示中は、ScanSnap で原稿の読み取りを開始できません。処理を完了してから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動、削除、および名前の変更などの操作をしないでください。

### ヒント

- 「Word 文書に変換」、「Excel 文書に変換」、または「PowerPoint(R) 文書に変換」に関する設定を変更できます。詳細は、「[連携するアプリケーションの設定変更](#)」(171 ページ)を参照してください。
- 読み取り設定を使って連携することもできます。詳細は、「[読み取り設定の操作](#)」(68 ページ)を参照してください。



## ABBYY FineReader for ScanSnap の文字変換機能


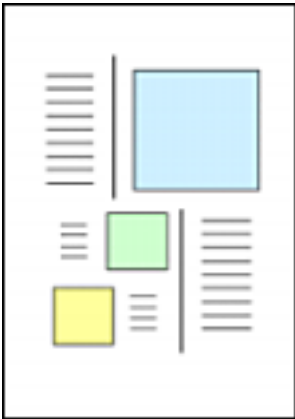
ABBYY FineReader for ScanSnap の文字変換機能について説明します。


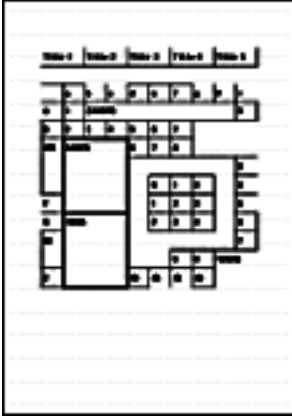

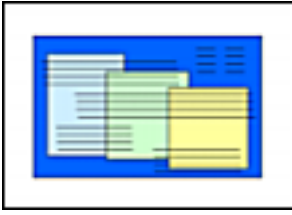
### ABBYY FineReader for ScanSnap の概要

ABBYY FineReader for ScanSnap は、ScanSnap 専用のアプリケーションです。ScanSnap で作成した PDF ファイルだけ変換できます。Adobe Acrobat やそのほかのアプリケーションで作成した PDF ファイルは変換できません。

### 文字変換機能の特性

文字変換機能には、以下のような特性があります。変換処理をする前に、対象となる原稿を確認してください。

変換アプリケーション	変換に適している原稿	変換に適していない原稿
Word 文書に変換	1~2組の、レイアウトが単純な原稿 	カタログ、雑誌、および新聞のような、図、表、および文書が複雑に入り混じったレイアウトの原稿 

変換アプリケーション	変換に適している原稿	変換に適していない原稿
Excel 文書に変換	<p>すべての罫線が、表の外枠まで届いている単純な表を含む原稿</p> 	<p>以下を含む原稿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 罫線で仕切られていない表</li> <li>● 間仕切りが多い複雑な表</li> <li>● 表の中に表があるような入り組んだ表</li> <li>● 図</li> <li>● グラフ</li> <li>● 写真</li> <li>● 縦書きの文章を含む原稿</li> </ul> 
PowerPoint(R) 文書に変換	<p>背景が白または薄い色の一色で、文字と単純な図表で構成された原稿</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 文字が図や絵と複雑に入り組んだ原稿</li> <li>● 文字の背景に写真や模様のある原稿</li> <li>● 文字よりも背景の色が濃い原稿</li> </ul> 

## 原稿どおりに再現できない情報

以下の情報は、原稿どおりに再現できない場合があります。変換結果を、Word、Excel、またはPowerPointで確認し、必要に応じて編集してから使用することを推奨します。

- 文字のサイズおよびフォント
- 文字間隔および行間隔
- 下線付き文字、ボールド文字（太字）、イタリック文字
- 上下添え字

## 正しく文字認識できない原稿（文字）

以下の原稿（文字）は、正しく文字認識できない場合があります。この場合、カラーモードを変更したり、解像度（画質）を上げたりして読み取ると、認識できることがあります。

- 手書き文字を含んだ原稿
- 小さな文字（10ポイント未満）の原稿
- 傾いた原稿

- 指定された言語以外で書かれた原稿
- 文字の背景が不均一色の原稿  
例：網掛けされている文字
- 装飾文字が多い原稿  
例：影、白抜きなどの装飾がされている文字
- 文字の背景に模様がある原稿  
例：絵や図と重なっている文字
- 下線や罫線に接触している文字が多い原稿
- 複雑なレイアウトの原稿や、ノイズが多い原稿  
(認識処理に非常に時間がかかる場合があります)

## そのほかの注意事項

- 用紙サイズが大きい長尺原稿を Word 文書に変換する場合は、Word で利用できる最大用紙サイズに変換されることがあります。
- Excel 文書に変換する場合は、認識結果が 65536 行を超えると、それ以降の結果は保存されません。
- Excel 文書に変換する場合は、原稿全体のレイアウト、図、グラフ、および表の高さ / 幅の情報は再現されません。表と文字列だけが再現されます。
- PowerPoint 文書に変換する場合は、背景の色および模様は再現されません。
- 原稿の向きを上下逆さま / 横向きにすると、正しく変換できません。「[原稿の向きを回転する](#)」(102 ページ)を使用するか、原稿の向きを正しくセットして読み取ってください。
- 裏写り軽減を有効にしている場合は、認識率が低下することがあります。その場合は、以下の手順で無効にしてください。


右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」→「読み取りモード」タブ→[オプション] ボタンをクリックすると表示される「読み取りモードオプション」画面で、「裏写りを軽減します」チェックボックスのチェックを外します (SV600 の場合は、「読み取りモードオプション」画面の「画質」タブに、「裏写りを軽減します」チェックボックスがあります)。

# SharePoint で管理する

イメージデータを、簡単な操作で SharePoint に保存する方法について説明します。

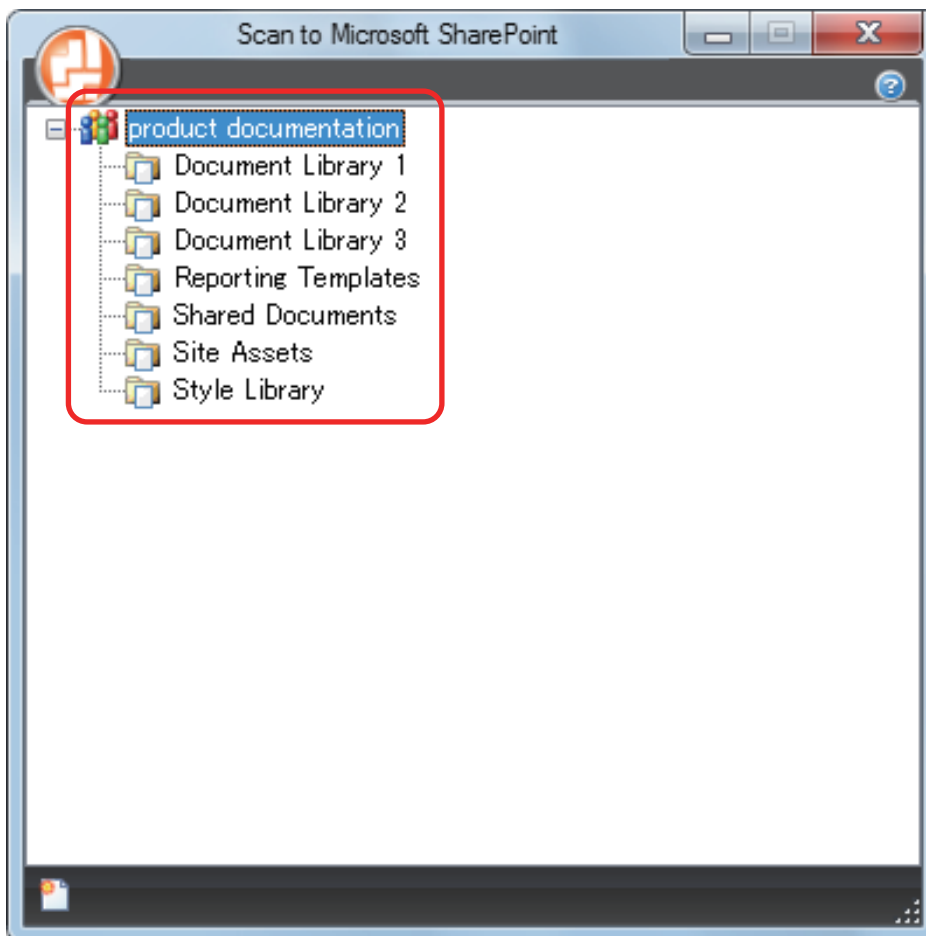
## 重要

- 大きいサイズのデータを SharePoint に保存する場合、SharePoint 側の設定を変更する必要があります。SharePoint 側の設定を変更する方法は、ご利用先のシステム管理者へご確認ください。
- Scan to Microsoft SharePoint を初めて起動するときは、SharePoint のサイトを登録する必要があります。一度登録すれば、次回以降は Scan to Microsoft SharePoint を起動すると自動的に接続されます。詳細は、Scan to Microsoft SharePoint のユーザーズガイドを参照してください。

1. クイックメニューで、「SharePoint に保存」アイコン  をクリックします。

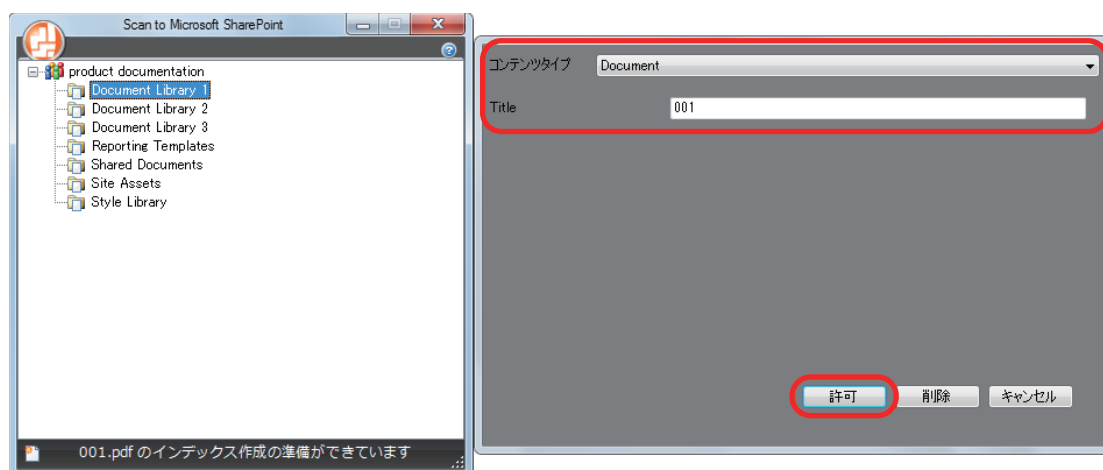
⇒ Scan to Microsoft SharePoint が起動されます。

2. サイトツリーペインから、イメージデータを保存するドキュメントライブラリを選択します。



⇒ インデックスペインが表示されます。

3. タイトルなどの情報を入力し、[許可] ボタンをクリックします。



⇒ イメージデータが、指定したドキュメントライブラリに保存されます。

### 重要

- クイックメニュー表示中は、原稿の読み取りを開始できません。Scan to Microsoft SharePoint に連携してから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動、削除、および名前の変更などの操作をしないでください。

### ヒント

- Scan to Microsoft SharePoint の詳細は、Scan to Microsoft SharePoint のユーザーズガイドを参照してください。
- 「SharePoint に保存」に関する設定を変更できます。詳細は、「[連携するアプリケーションの設定変更](#)」(171 ページ)を参照してください。
- 読み取り設定を使って連携することもできます。詳細は、「[読み取り設定の操作](#)」(68 ページ)を参照してください。

## ピクチャフォルダで管理する (JPEG ファイル)


イメージデータを JPEG ファイルとして、ピクチャフォルダに保存する方法について説明します。

### ヒント

デフォルトでは、以下のフォルダーが「ピクチャフォルダ」として設定されています。

- Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista の場合  
ドライブ名 (例 : C) : ¥Users ¥ (ユーザー名) ¥Pictures ¥ScanSnap
- Windows XP の場合  
ドライブ名 (例 : C) : ¥Documents and Settings ¥ (ユーザー名) ¥My Documents ¥My Pictures ¥ScanSnap



1. クイックメニューで、「ピクチャフォルダに保存」アイコン  をクリックします。

⇒ 「ピクチャフォルダに保存」画面が表示されます。

### ヒント

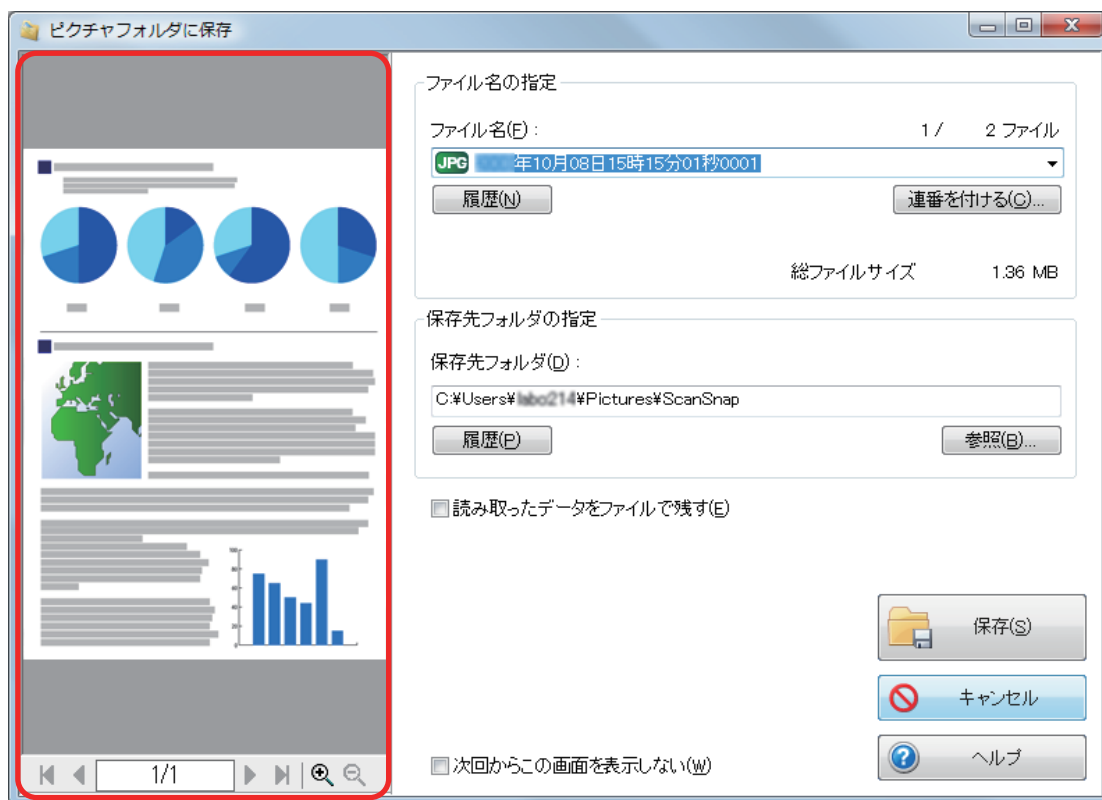
「ピクチャフォルダに保存」画面を表示しない設定にできます。「ピクチャフォルダに保存」画面を表示しない設定にした場合は、イメージデータが直接ピクチャフォルダに保存されます。

設定の変更方法については、「[連携するアプリケーションの設定変更](#)」(171 ページ)を参照してください。

2. プレビューで読み取り結果を確認します。

「ピクチャフォルダに保存」画面では、ファイル名や保存先フォルダーを変更したり、読み取り条件の「イメージの保存先」にファイルを残すかどうかを設定したりできます。

「ピクチャフォルダに保存」画面の詳細は、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。



プレビュー

### 3. [保存] ボタンをクリックします。

⇒ イメージデータが、ピクチャフォルダに保存されます。

#### 重要

- クイックメニューを表示してから「ピクチャフォルダに保存」画面を閉じるまでの間は、ScanSnapで原稿の読み取りを開始できません。「ピクチャフォルダに保存」画面を閉じてから、次の原稿の読み取りを開始してください。
- クイックメニューを表示してから「ピクチャフォルダに保存」画面を閉じるまでの間は、別のアプリケーションを使用して、イメージデータの移動、削除、および名前の変更などの操作をしないでください。

#### ヒント

- 「ピクチャフォルダに保存」に関する設定を変更できます。詳細は、「[連携するアプリケーションの設定変更](#)」(171 ページ)を参照してください。
- 読み取り設定を使って連携することもできます。詳細は、「[読み取り設定の操作](#)」(68 ページ)を参照してください。

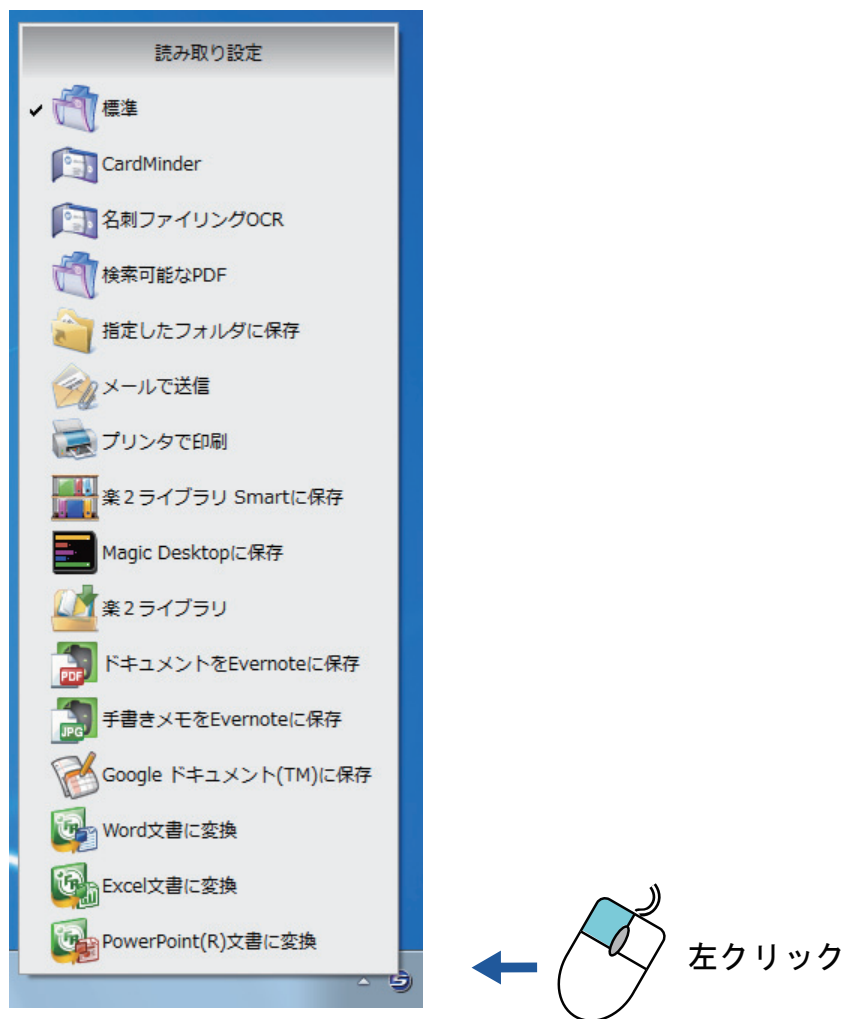
# 読み取り設定の操作

読み取り設定について説明します。

よく使う読み取り条件を、事前に読み取り設定として設定しておくことで、読み取り設定を選択するだけで、目的にあった読み取り条件に切り替えられます。

読み取り設定は、最大 20 個まで管理できます。

読み取り設定は、ScanSnap Manager のアイコン  を左クリックすると表示される左クリックメニューから選択できます。



## 左クリックメニューの例

- 読み取り設定を使って原稿を読み取る方法  
「読み取り設定で読み取る」(69 ページ)
- イメージデータの使用目的に合わせて、読み取り設定の読み取り条件を設定する方法  
「読み取り条件の設定方法」(163 ページ)

## ヒント

- 読み取り設定を使用する場合は、ScanSnap 設定画面の、「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている必要があります。
- ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」でも、読み取り設定を選択できます。



## 読み取り設定で読み取る

読み取り設定を使って原稿を読み取る方法について説明します。

ここでは、読み取った原稿のファイルを ScanSnap Organizer に保存する場合を例に説明します。

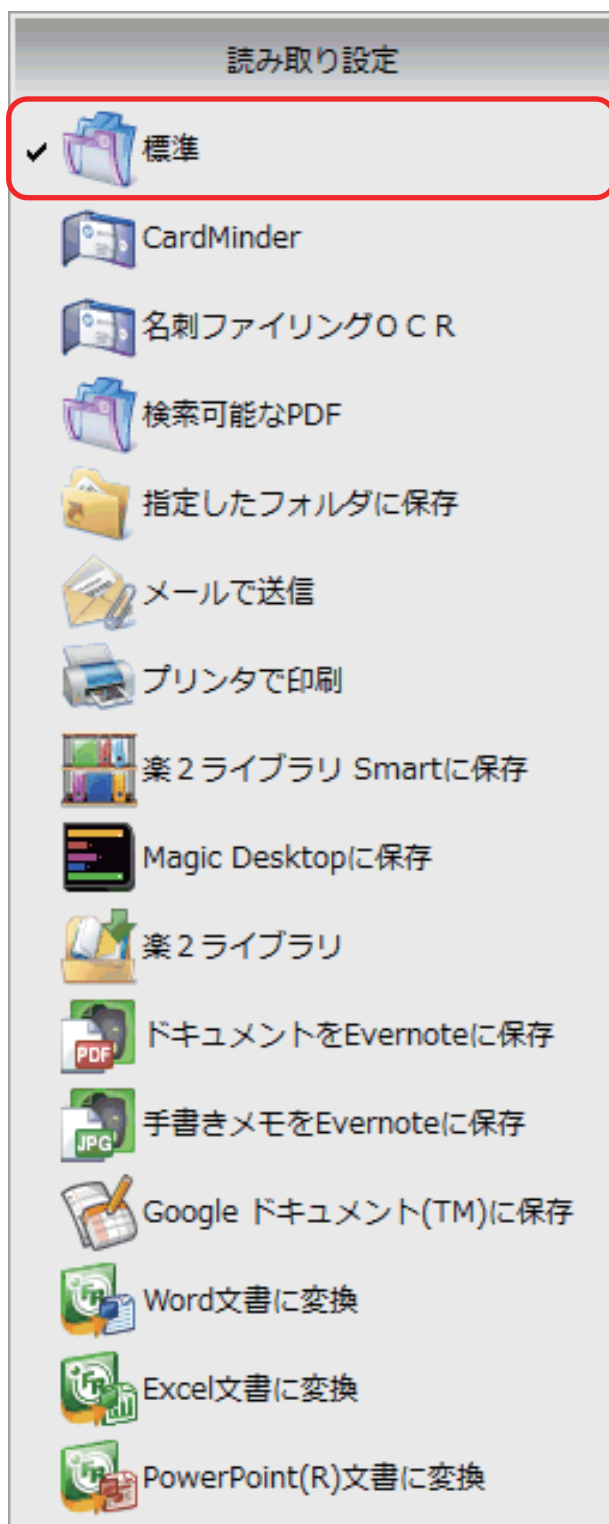
1. 右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。  
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。
2. 「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックを外します。



### ヒント

1 台のコンピュータに、SV600 とそのほかの ScanSnap を接続している場合は、使用する ScanSnap を切り替えるドロップダウンリストが表示されます。詳細は、「ScanSnap を 2 台接続した場合 (SV600)」(189 ページ) を参照してください。

3. [OK] ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。
4. 左クリックメニューから、「標準」を選択します。



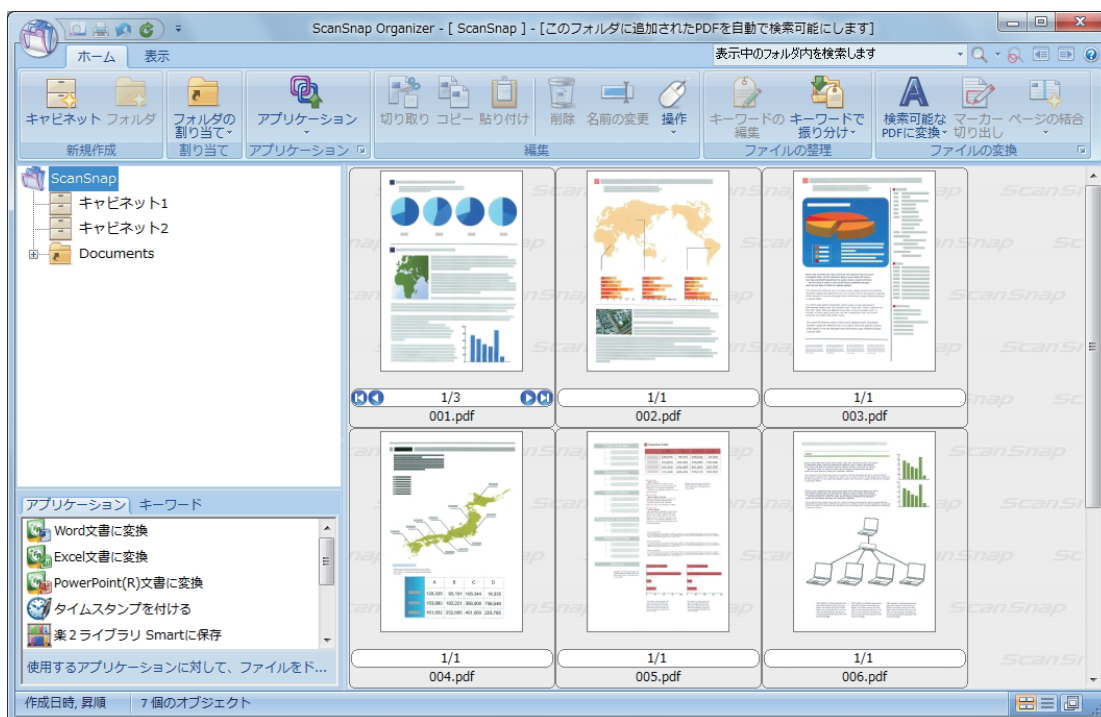
#### ヒント

1 台のコンピュータに、SV600 とそのほかの ScanSnap を接続している場合は、ScanSnap ごとの左クリックメニューが表示されます。その場合は、使用する機種種の左クリックメニューから読み取り設定を選択してください。

## 5. ScanSnap で原稿を読み取ります。

原稿の読み取り方法は、かんたんガイドを参照してください。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、「ScanSnap Organizer」画面が表示されます。



## 読み取り設定の管理

読み取り設定の管理方法について説明します。

読み取り設定の追加、変更、および削除方法は、以下を参照してください。

- 「読み取り設定を追加する」(73 ページ)
- 「読み取り設定を変更する」(75 ページ)
- 「読み取り設定の名前を変更する」(77 ページ)
- 「読み取り設定の表示順を変更する」(79 ページ)
- 「読み取り設定を削除する」(81 ページ)

### ヒント

1 台のコンピュータに、SV600 とそのほかの ScanSnap を接続している場合は、ScanSnap ごとに設定を変更できます。詳細は、「ScanSnap を 2 台接続した場合 (SV600)」(189 ページ) を参照してください。

## 読み取り設定を追加する

読み取り設定を追加する方法について説明します。

読み取り設定は、「標準」を含めて最大 20 個まで保存できます。

1. 右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。  
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。
2. 「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックを外します。
3. 各タブで読み取り条件を設定します。  
各タブの詳細は、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

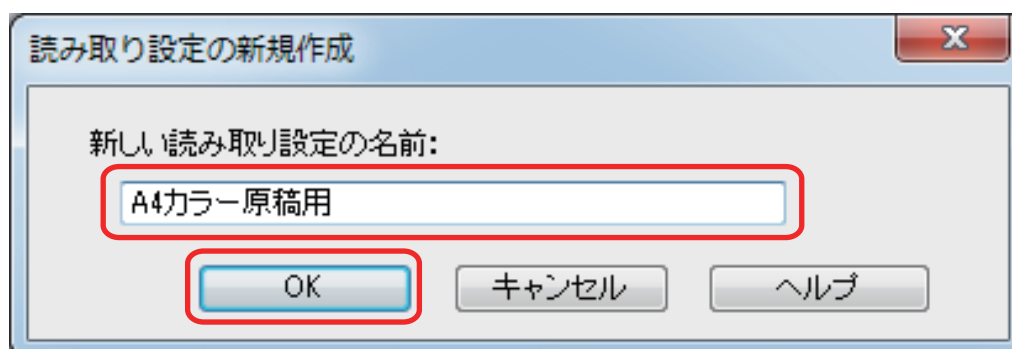


4. 「読み取り設定」から、「新しい読み取り設定」を選択します。



⇒ 「読み取り設定の新規作成」画面が表示されます。

## 5. 読み取り設定の名前を入力して、[OK] ボタンをクリックします。



⇒ ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」に、追加した読み取り設定の名前が表示されます。



## 6. [OK] ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

## 読み取り設定を変更する

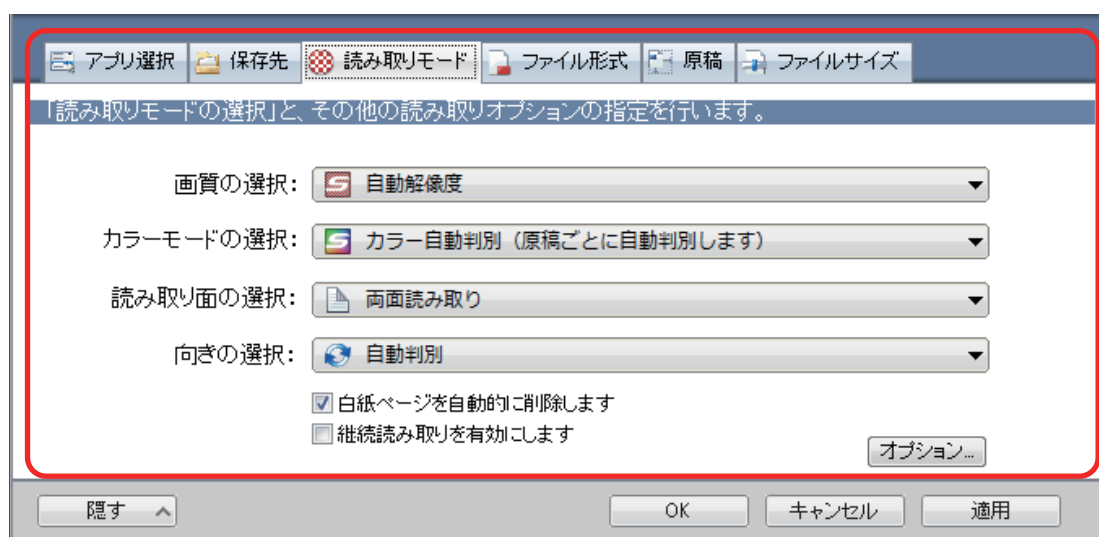
読み取り設定の読み取り条件を変更する方法について説明します。

1. 右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。  
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。
2. 「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックを外します。
3. 「読み取り設定」で、変更する読み取り設定を選択します。

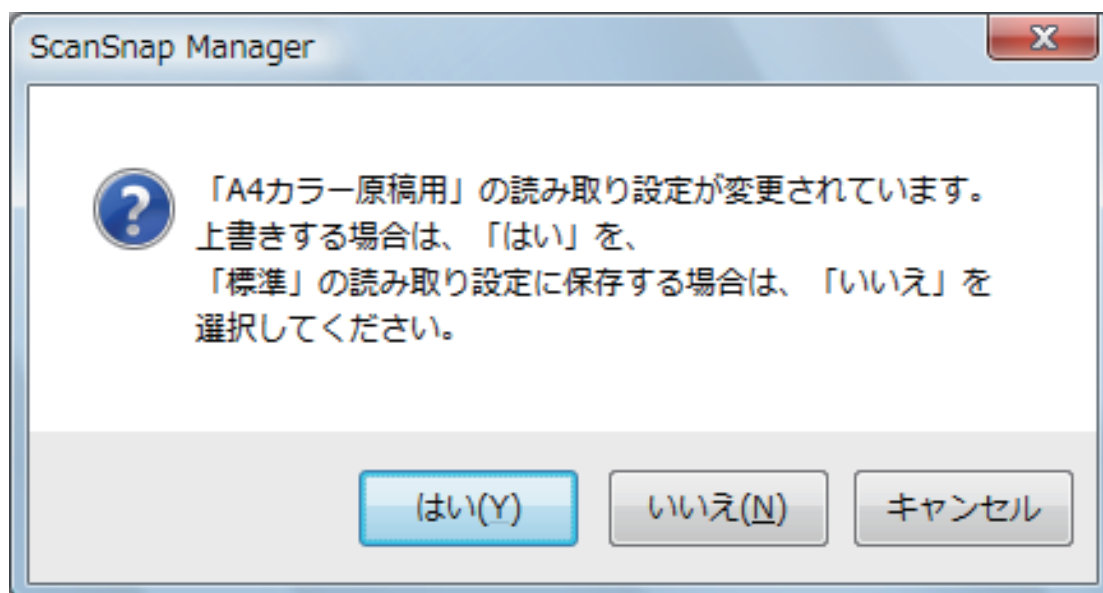


4. 各タブで読み取り条件を設定します。

各タブの詳細は、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。



5. 設定が終わったら、[OK] ボタンをクリックします。  
⇒ 上書き確認の画面が表示されます。
6. 読み取り条件を上書きする場合は [はい] ボタンを、「標準」に保存する場合は [いいえ] ボタンをクリックします。



#### ヒント

手順 3. で選択した読み取り設定が「標準」の場合は、確認画面は表示されません。



## 読み取り設定の名前を変更する

読み取り設定の名前を変更する方法について説明します。

「標準」以外の名前を変更できます。

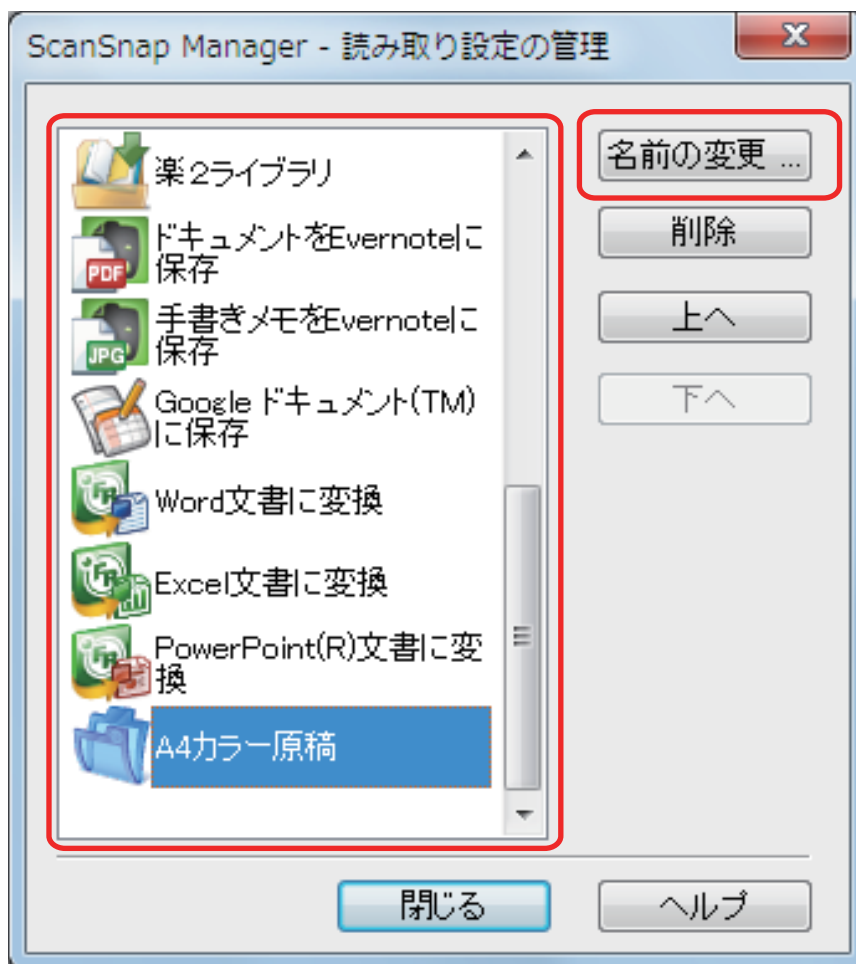
### 1. 右クリックメニューから、「読み取り設定の管理」を選択します。

⇒ 「ScanSnap Manager - 読み取り設定の管理」画面が表示されます。

#### ヒント

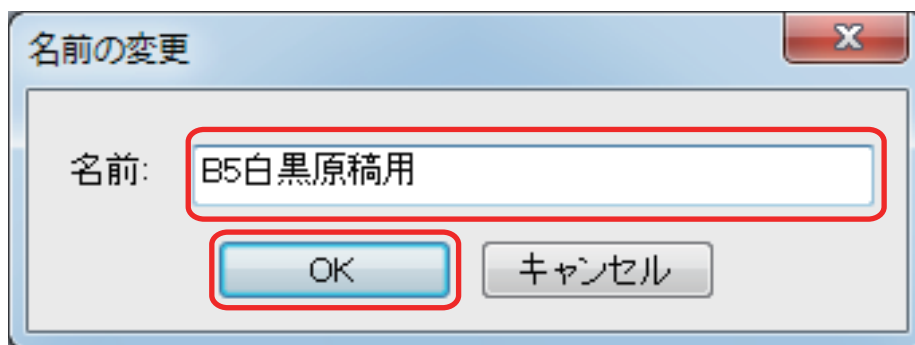
- 右クリックメニューで「読み取り設定の管理」を選択できない場合は、ScanSnap 設定画面の「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックを外してください。
- 「ScanSnap Manager - 読み取り設定の管理」画面は、ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」から「読み取り設定の管理」を選択しても表示できます。

### 2. 名前を変更したい読み取り設定を選択し、[名前の変更] ボタンをクリックします。

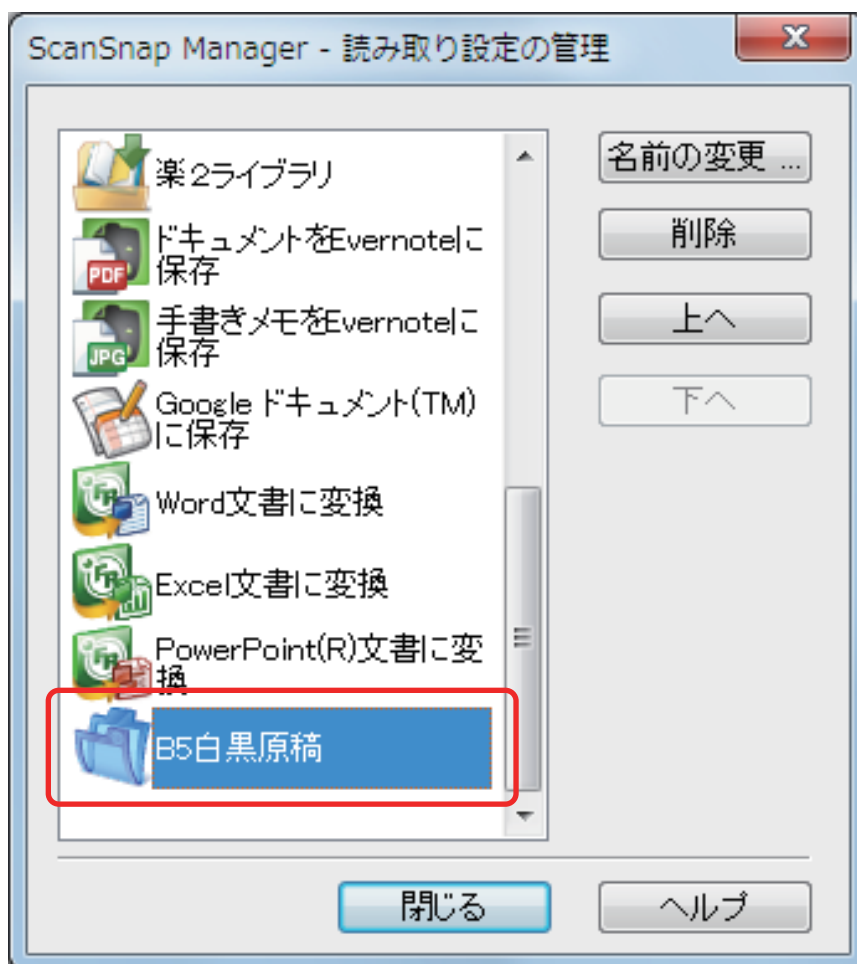


⇒ 「名前の変更」画面が表示されます。

### 3. 新しい名前を入力して、[OK] ボタンをクリックします。



⇒ 読み取り設定の名前が変更されます。



4. [閉じる] ボタンをクリックして、「ScanSnap Manager - 読み取り設定の管理」画面を閉じます。

## 読み取り設定の表示順を変更する

読み取り設定の表示順を変更する方法について説明します。

ただし、「標準」の表示順は変更できません。

### 1. 右クリックメニューから、「読み取り設定の管理」を選択します。

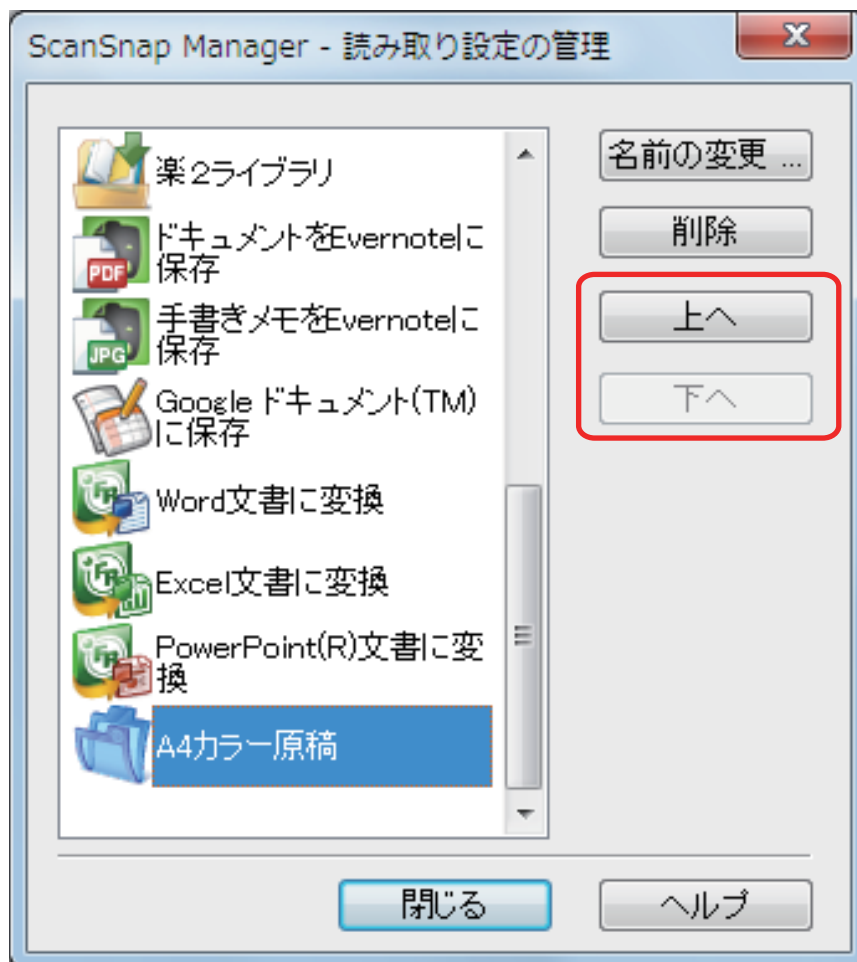
⇒ 「ScanSnap Manager - 読み取り設定の管理」画面が表示されます。

#### ヒント

- 右クリックメニューで「読み取り設定の管理」を選択できない場合は、ScanSnap 設定画面の「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックを外してください。
- 「ScanSnap Manager - 読み取り設定の管理」画面は、ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」から「読み取り設定の管理」を選択しても表示できます。

### 2. 表示順を変更したい読み取り設定を、一覧から選択します。

### 3. [上へ] ボタンまたは [下へ] ボタンをクリックして、表示したい順番の位置に読み取り設定を移動します。



4. 「閉じる」ボタンをクリックして、「ScanSnap Manager - 読み取り設定の管理」画面を閉じます。

## 読み取り設定を削除する

読み取り設定の名前を削除する方法について説明します。

「標準」以外の読み取り設定を削除できます。

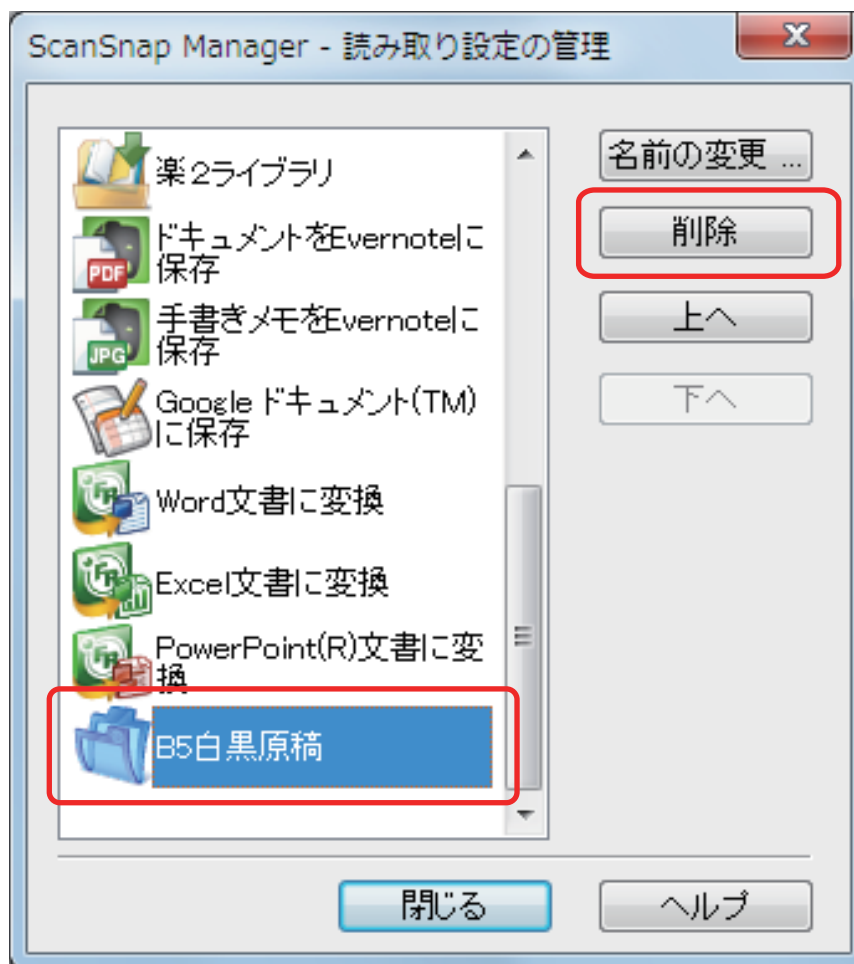
### 1. 右クリックメニューから、「読み取り設定の管理」を選択します。

⇒ 「ScanSnap Manager - 読み取り設定の管理」画面が表示されます。

#### ヒント

- 右クリックメニューで「読み取り設定の管理」を選択できない場合は、ScanSnap 設定画面の「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックを外してください。
- 「ScanSnap Manager - 読み取り設定の管理」画面は、ScanSnap 設定画面の「読み取り設定」から「読み取り設定の管理」を選択しても表示できます。

### 2. 削除したい読み取り設定を選択し、[削除] ボタンをクリックします。



⇒ 「読み取り設定の削除」画面が表示されます。

### 3. [はい] ボタンをクリックします。

⇒ 選択した読み取り設定が削除されます。

4. [閉じる] ボタンをクリックして、「ScanSnap Manager - 読み取り設定の管理」画面を閉じます。

# ScanSnap Folder の操作

ScanSnap Folder について説明します。

ScanSnap Folder は、ScanSnap で読み取った原稿のファイルを、アプリケーションにアップロードしたり、メールに添付したりするとき、一時的に保存するためのフォルダーです。

ScanSnap Folder を使用すると、Web アプリケーションなども含めた幅広いアプリケーションと連携できます。

アプリケーションのファイル選択画面から ScanSnap Folder を選択すると、ScanSnap から原稿を読み取れるようになります。読み取った原稿のファイルは、アプリケーションでダイレクトに利用できます。



- ScanSnap Folder を使って原稿を読み取る方法  
「ScanSnap Folder で読み取る」(84 ページ)
- イメージデータの使用目的に合わせて、ScanSnap Folder の読み取り条件を設定する方法  
「読み取り条件の設定方法」(163 ページ)

## 重要

ScanSnap Folder は、以下に対応しているアプリケーションまたはクラウドサービスで使用できます。

- PDF ファイルまたは JPEG ファイル
- ファイル形式を特定しない

## ヒント

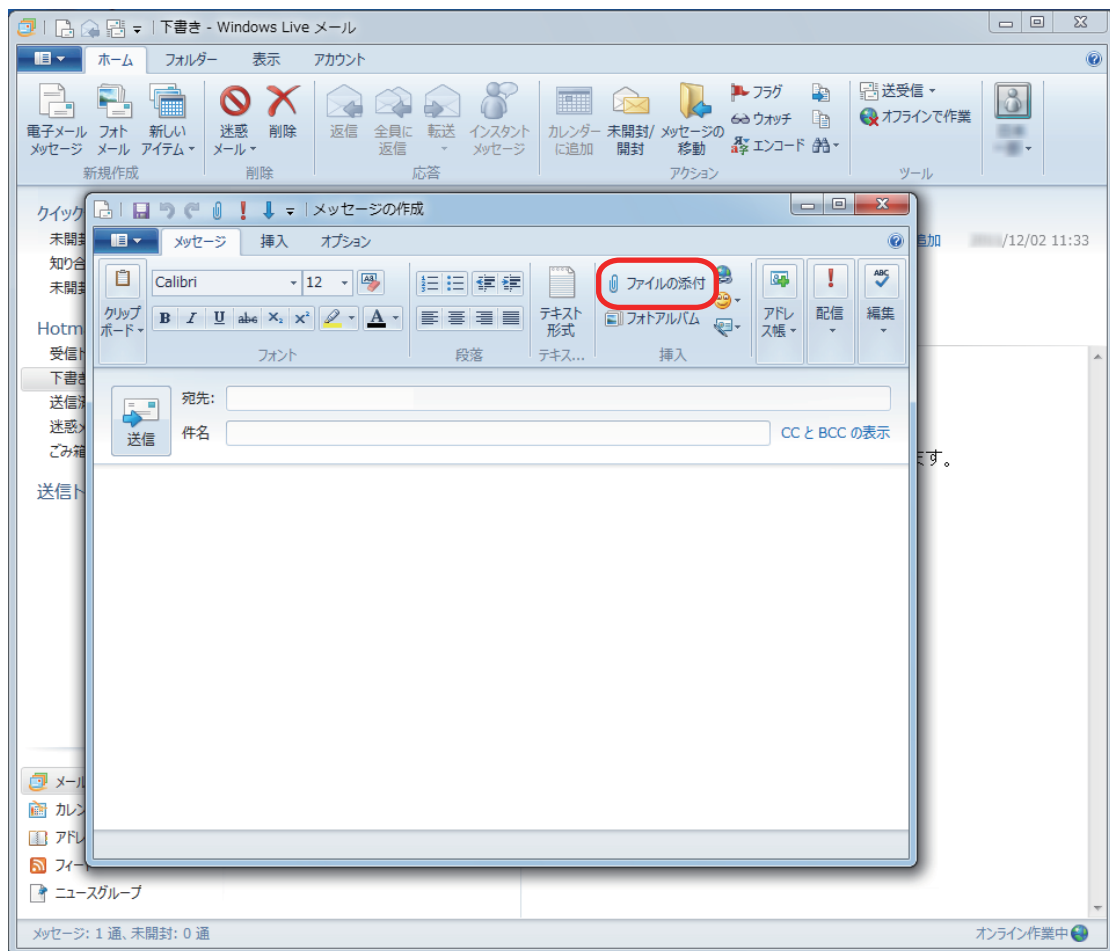
ScanSnap Folder は、一時的に利用するフォルダーのため、設定した保存日数が経過するとファイルが自動的に削除されます。保存日数の設定は、変更できます。詳細は、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

# ScanSnap Folder で読み取る

ScanSnap Folder を使って原稿を読み取る方法について説明します。

ここでは、Windows Live メールを使用して、読み取った原稿のファイルをメールの添付資料とする場合を例に説明します。

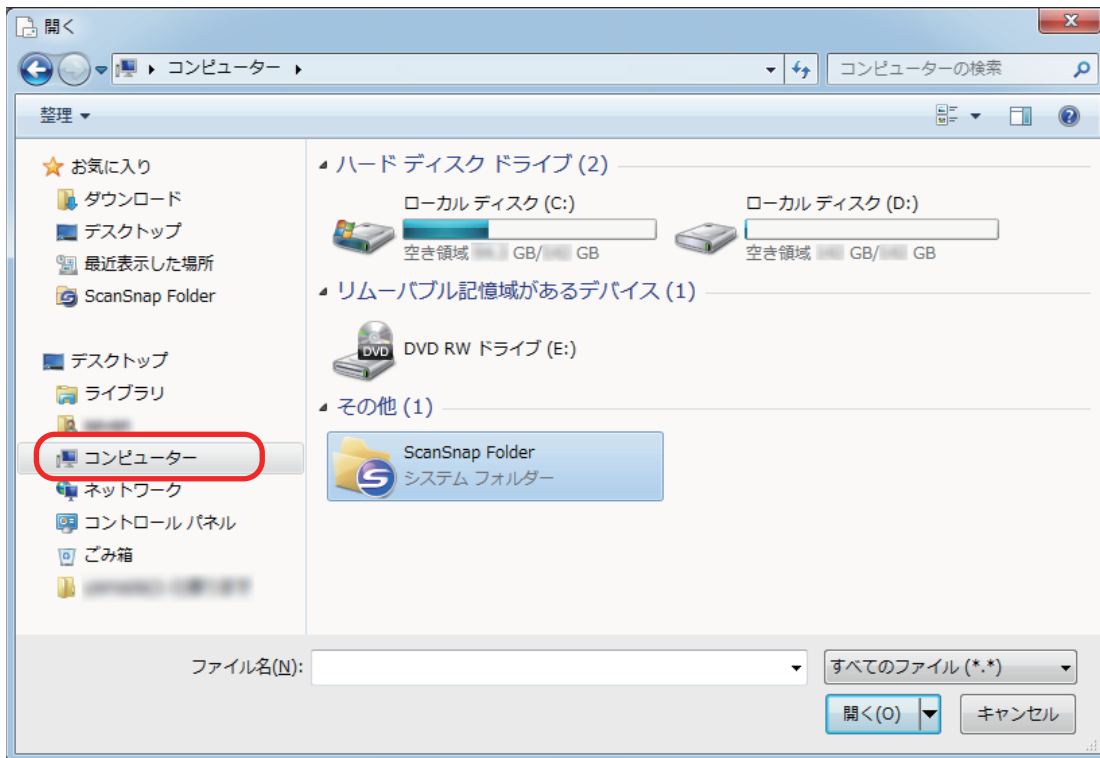
## 1. [ファイルの添付] ボタンをクリックします。



⇒ 「開く」画面が表示されます。

## 2. 「コンピューター」(Windows Vista の場合は「コンピューター」、Windows XP の場合は「マイ コンピュータ」) をクリックします。



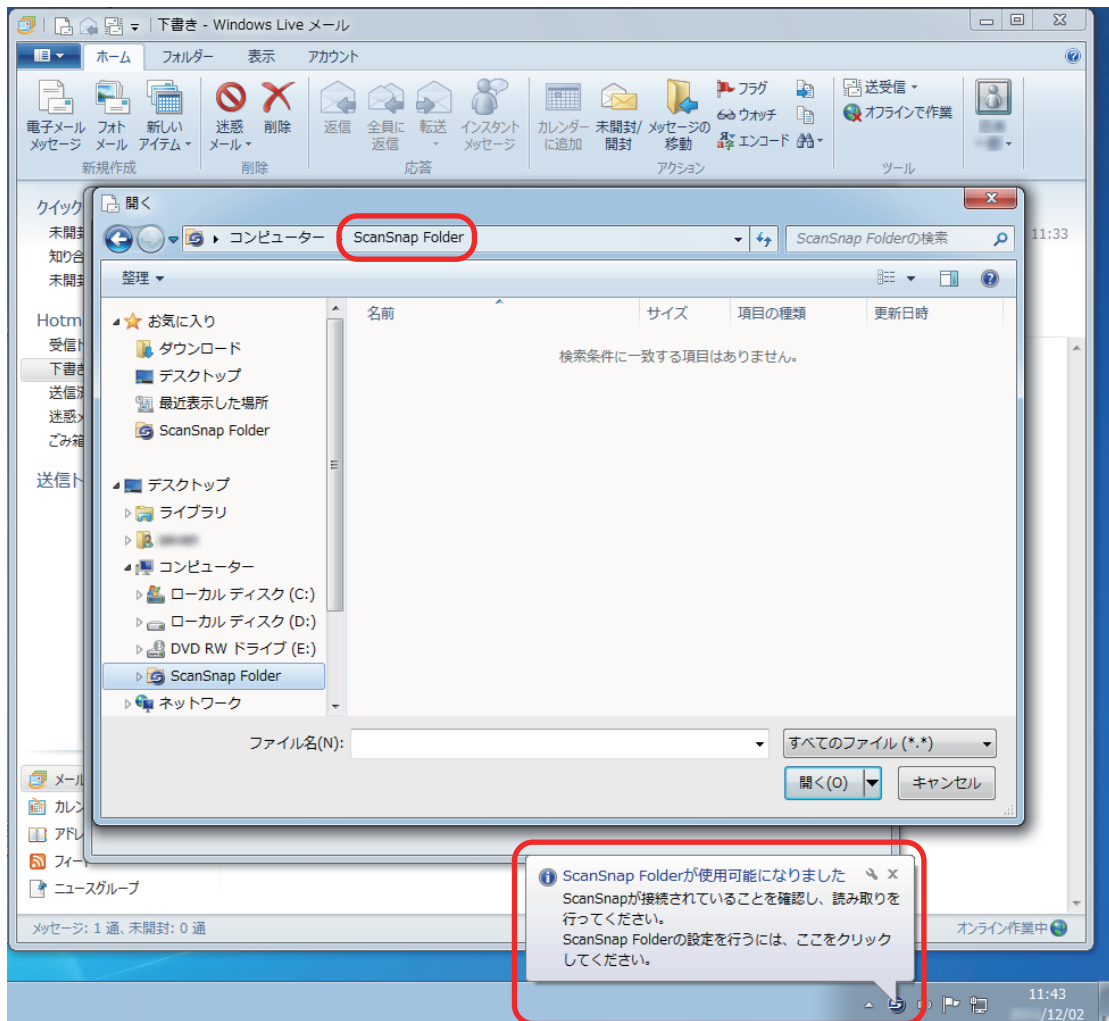


#### ヒント

Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista の場合、アプリケーションによっては、「お気に入り」(Windows Vista の場合は「お気に入りリンク」)に登録されている ScanSnap Folder を選択すると、原稿を読み取れるようになります。

### 3. ScanSnap Folder を選択します。

⇒ 画面右下の通知領域にある ScanSnap Manager のアイコンからポップアップバルーンが表示され、原稿を読み取れるようになります。



### 重要

アプリケーションによっては、ScanSnap Folder を選択すると、アプリケーションが終了される場合があります。

アプリケーションが終了された場合、クイックメニューなどの別の読み取り方法で、原稿を読み取ってからアプリケーションと連携してください。

## 4. ScanSnap で原稿を読み取ります。

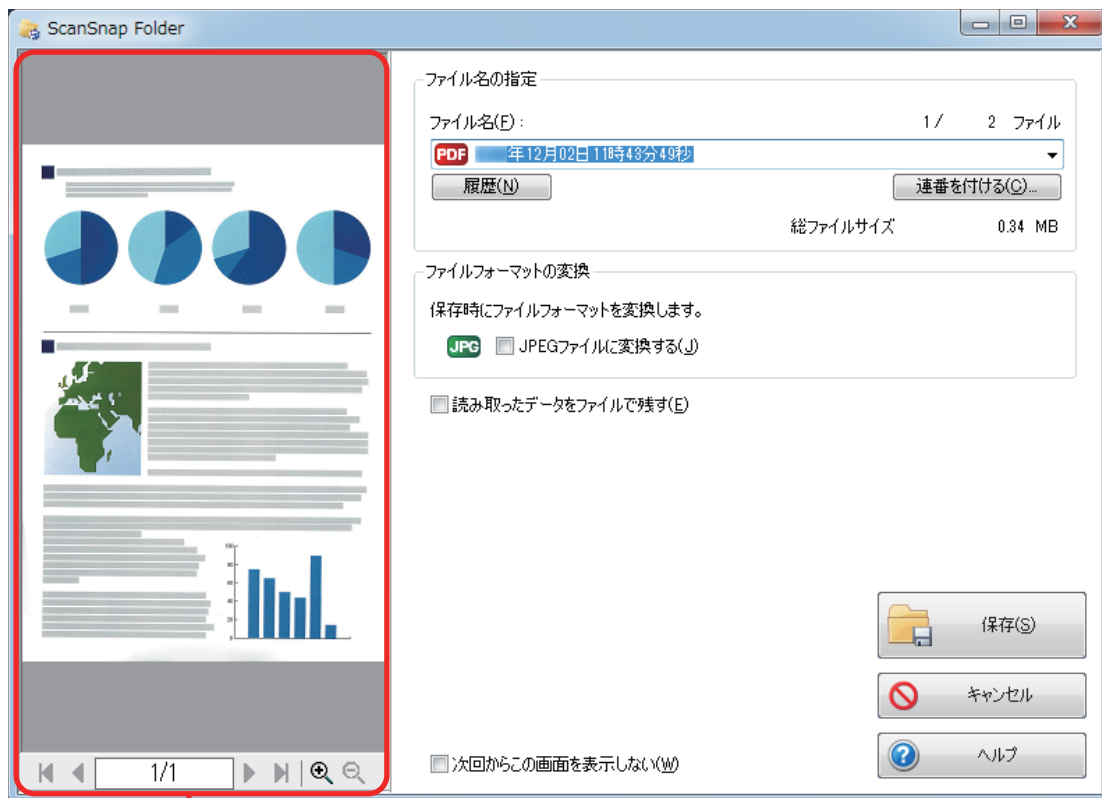
原稿の読み取り方法は、かんたんガイドを参照してください。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、「ScanSnap Folder」画面が表示されます。

## 5. プレビューで読み取り結果を確認します。

「ScanSnap Folder」画面では、ファイル名を変更したり、保存形式を変換したりできます。

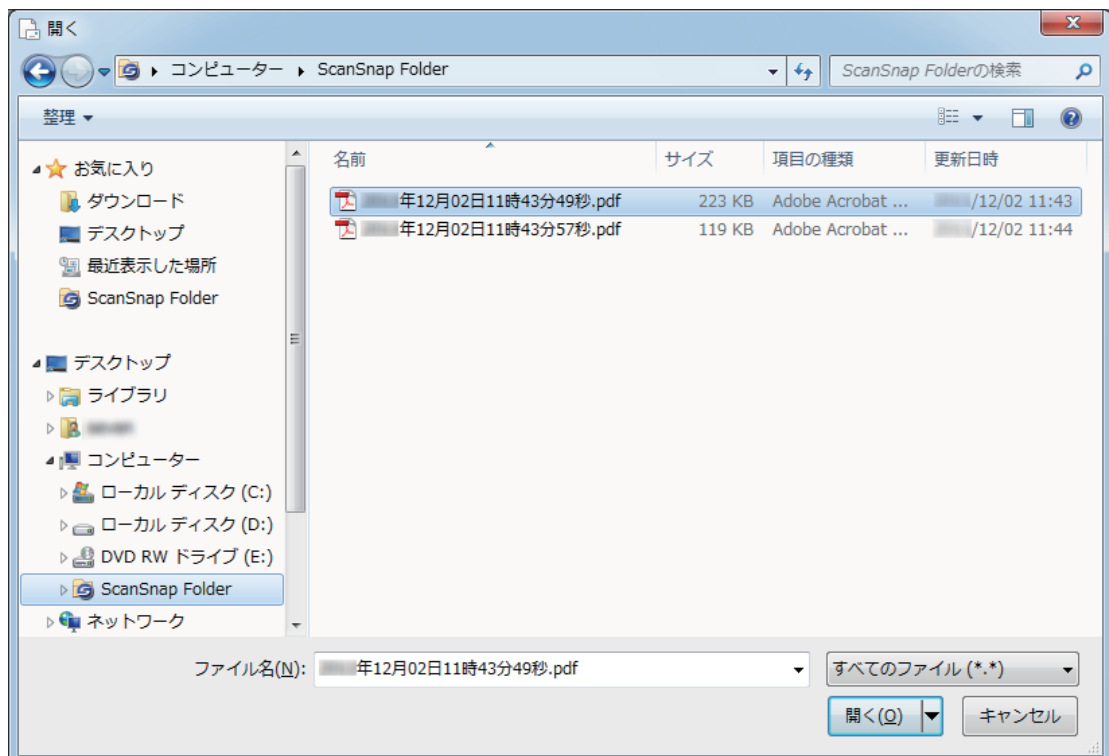
「ScanSnap Folder」画面の詳細は、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。



プレビュー

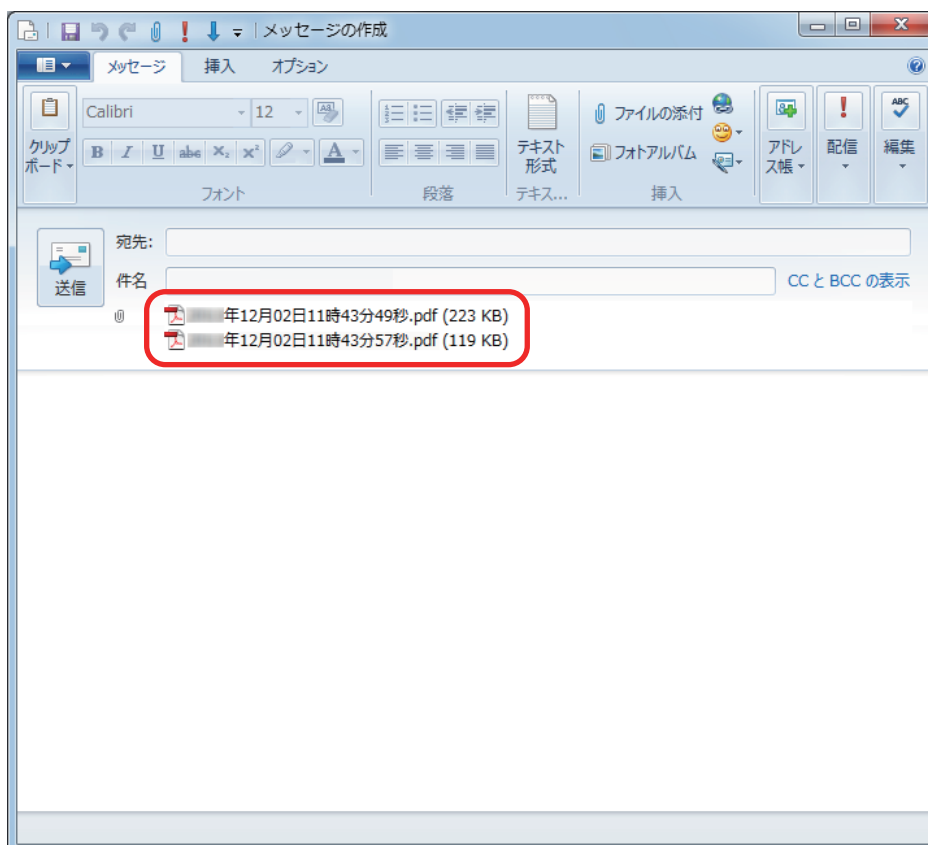
## 6. [保存] ボタンをクリックします。

⇒ ScanSnap Folder にファイルが保存されます。



## 7. 添付するファイルを選択して、[開く] ボタンをクリックします。

⇒ ファイルが添付されます。



### ヒント

ScanSnap Folder の有効 / 無効を切り替えできます。詳細は、「ScanSnap Folder の有効 / 無効を切り替える」(89 ページ)を参照してください。

# ScanSnap Folder の有効 / 無効を切り替える

ScanSnap Folder の有効 / 無効を切り替えられます。

有効 / 無効を切り替えると、以下が変更されます。

- 「コンピューター」(Windows Vista の場合は「コンピュータ」、Windows XP の場合は「マイ コンピュータ」) 配下の「ScanSnap Folder」フォルダーの有無
- Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista の場合、「お気に入り」(Windows Vista の場合は「お気に入りリンク」) の「ScanSnap Folder」フォルダーへのショートカットの有無

## 重要

ScanSnap Folder の有効 / 無効を切り替えるには、管理者権限を持つユーザーでログオンしてください。

ScanSnap Folder の有効 / 無効を切り替える手順は、以下のとおりです。

- 1. 右クリックメニューから、「ScanSnap Folder の設定」を選択します。**  
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。
- 2. 「アプリ選択」タブの [アプリケーションの設定] ボタンをクリックします。**  
⇒ 「ScanSnap Folder - 設定」画面が表示されます。
- 3. [有効化] ボタンまたは [無効化] ボタンをクリックします。**  
⇒ 有効 / 無効を切り替えるかどうかの確認メッセージが表示されます。
- 4. [はい] ボタンをクリックします。**  
⇒ 有効 / 無効の切り替えが実行されます。  
有効 / 無効の切り替えが完了すると、完了を通知するメッセージが表示されます。

## ヒント

Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista の場合、[はい] ボタンをクリックしたあとに、確認メッセージが表示されることがあります。

確認メッセージが表示された場合は、[はい] ボタンをクリックすると、有効 / 無効の切り替えが実行されます。

- 5. [OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。**

# e-文書法に対応した原稿の読み取り (iX500 / S1500 / S1500M)

ScanSnap には、e-文書法（通称）に基づき、イメージデータを e-文書として利用できる形にして保存する機能を e-スキャンモードとして用意しています。

e-文書法とは、紙での原本保存が義務化されていた文書や帳票について、一部例外を除き、原則として電子化したイメージデータを原本として認め、保存を容認する法律です。

（正式名称は、「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律案」および「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」です。）

この法律が施行されると、紙による原本保存の必要がなくなるため、紙文書は ScanSnap で読み取り、PDF ファイルまたは JPEG ファイルとして保存し、電子ファイルとして管理および運営、不要な紙文書を廃却するという運用ができます。

ScanSnap では、以下の電子文書要件に対応したイメージデータの保存を前提にして、e-スキャンモードを設定しております。

## 財務省令の国税庁告示に定められた要件

解像度：200dpi（8 ドット /mm）以上

カラー：24bit カラー（RGB 各色 256 階調）以上

「読み取りモード：ファイン（200dpi 相当）、カラー（24bit）」で対応

## 厚生労働省の省令に定められた要件

解像度：300dpi（12 ドット /mm）以上

「読み取りモード：スーパーファイン（300dpi 相当）、カラー（24bit）」で対応

- e-スキャンモードを使って原稿を読み取る方法
  - 「[e-スキャンモードで読み取る \(iX500 / S1500 / S1500M\)](#)」(92 ページ)
- イメージデータの使用法に合わせて、e-スキャンモードの読み取り条件を設定する方法
  - 「[読み取り条件の設定方法](#)」(163 ページ)

## 重要

- e-スキャンモードの読み取り条件は、財務省令に対応してデフォルトを決めています（2013 年 5 月現在）。  
各省庁が規定する最新の読み取り条件に設定する場合は、お客様の責任において行ってください。
- 読み取った電子ファイルの原本再現性および画質確認（文章が解読できることなど）はお客様の責任において行ってください。
- ScanSnap は、各省令に合った読み取りを行う機能を持っていますが、それだけでは、イメージデータを e-文書として使用できません。各省令より出される省令、およびガイドラインに従い、場合によっては、電子署名・タイムスタンプをイメージデータに付与し、管理および運用していく必要があります。これらの部分につきましては、お客様側で対応していただく必要がありますのでご了承ください。
- 原稿サイズを「サイズ自動検出」にして、e-スキャンモードで読み取る場合、原稿の端を検出して、原稿と同じサイズでイメージデータが保存されます。  
ただし以下のような原稿は、原稿の端をうまく検出できずに、イメージデータの幅方向が最大サイズで保存される場合があります。
  - 正方形または長方形以外の原稿

- 薄い色が付いた原稿
- 厚さが薄い原稿
- 光沢の入った原稿
- 極端に傾いて読み取られた原稿
- 原稿サイズを指定して、e-スキャンモードで読み取る場合、イメージデータの欠落が起こらないようにするために、指定した原稿サイズよりも、一回り大きいサイズで読み取ります。そのため、原稿の周りに枠（背景部）が付いた状態で保存されます。

通常の読み取り結果	e-スキャンモードの読み取り結果
<p>指定した原稿サイズのまま読み取られます。</p> 	<p>指定した原稿サイズより一回り大きいサイズで読み取られます。</p> 

- A3 キャリアシートを使用して、e-スキャンモードで読み取る場合は、A3 キャリアシートの黒横線の下 5mm 部分から読み取りを開始し、常に 220 × 306mm のサイズで保存されます。
- 読み取り中に、ユーザーを切り替えしないでください。読み取りがキャンセルされます。

# e-スキャンモードで読み取る (iX500 / S1500 / S1500M)

e-スキャンモードで原稿を読み取る方法について説明します。

## 1. 右クリックメニューから、「e-スキャンモード」を選択します。

⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

### ヒント

- ScanSnap 設定画面の「クイックメニューを使用する」チェックボックスにチェックが付いている場合でも、e-スキャンモードに切り替わります。
- 右クリックメニューの「e-スキャンモード」の横にチェックが付いている状態で、「e-スキャンモード」を選択すると、通常の読み取りに戻ります。

## 2. ScanSnap に原稿をセットします。

原稿のセット方法については、かんたんガイドを参照してください。

## 3. ScanSnap の [Scan] ボタンを押して、原稿の読み取りを開始します。

⇒ 原稿の読み取りが開始されます。

### 重要

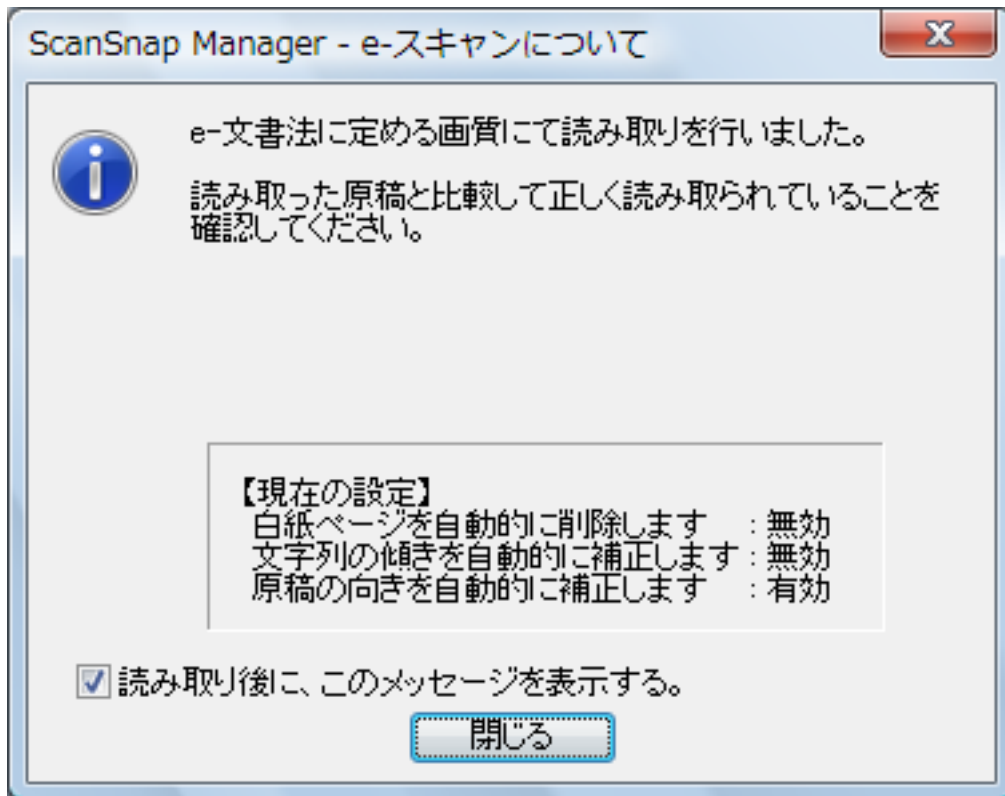
電源を ON にした直後や、ADF カバーの開閉直後に e-スキャンモードで原稿を読み取る場合、「ScanSnap Manager - イメージ読み取りとファイル保存」画面に「読み取り準備中です。しばらくお待ちください。」というメッセージが表示されることがあります。準備が完了すると自動的に読み取りを開始します。しばらくお待ちください。

⇒ 原稿の読み取り中は、ScanSnap の [Scan] ボタンが青色に点滅します。

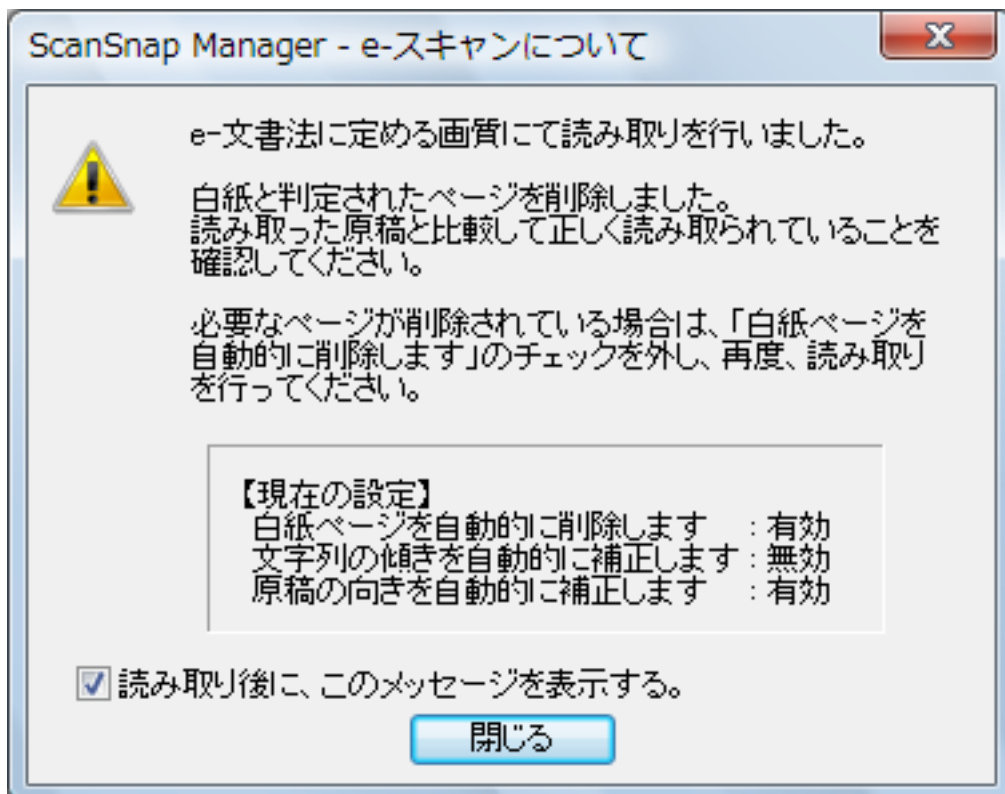
コンピュータには、「ScanSnap Manager - イメージ読み取りとファイル保存」画面が表示されます。

⇒ 原稿の読み取りが完了すると、読み取り完了画面が表示され、添付のアプリケーション (ScanSnap Organizer など) が起動されて、イメージデータが表示されます。





- ⇒ 「白紙ページを自動的に削除します」チェックボックスにチェックが付いている場合、白紙が削除されると、以下の画面が表示されます。



### 重要

イメージデータのファイルを廃棄される場合は、誤って削除されたページがないかどうかを必ずご確認ください。

#### 4. [OK] ボタンをクリックし、イメージデータの抜けや欠け、または不鮮明な箇所がないか、イメージデータを確認します。

イメージデータ上の文字がつぶれて文章として読み取れないような場合は、「画質の選択」を、「スーパーファイン」(300dpi 相当 [12 ドット/mm]) に切り替えて、再度読み取ってください。

読み取り条件の変更方法については、「[読み取り条件の設定方法](#)」(163 ページ)を参照してください。

#### ヒント

デフォルトでは、以下の読み取り条件で読み取られます。

- 読み取り面の選択：両面読み取り
- 画質の選択：ファイン (200dpi 相当 [8 ドット/mm])

厚生労働省令に定められた要件に従う場合は、「画質の選択」を「スーパーファイン」(300dpi 相当 [12 ドット/mm]) に切り替えてください。

読み取り条件の変更方法は、「[読み取り条件の設定方法](#)」(163 ページ)を参照してください。

なお、以下の読み取り条件は変更できません。

- カラーモードの選択：カラー
- ファイルサイズ

圧縮率： 2 (「画質の選択」が「ファイン」の場合)

3 (「画質の選択」が「スーパーファイン」の場合)

# 目的別読み取り条件

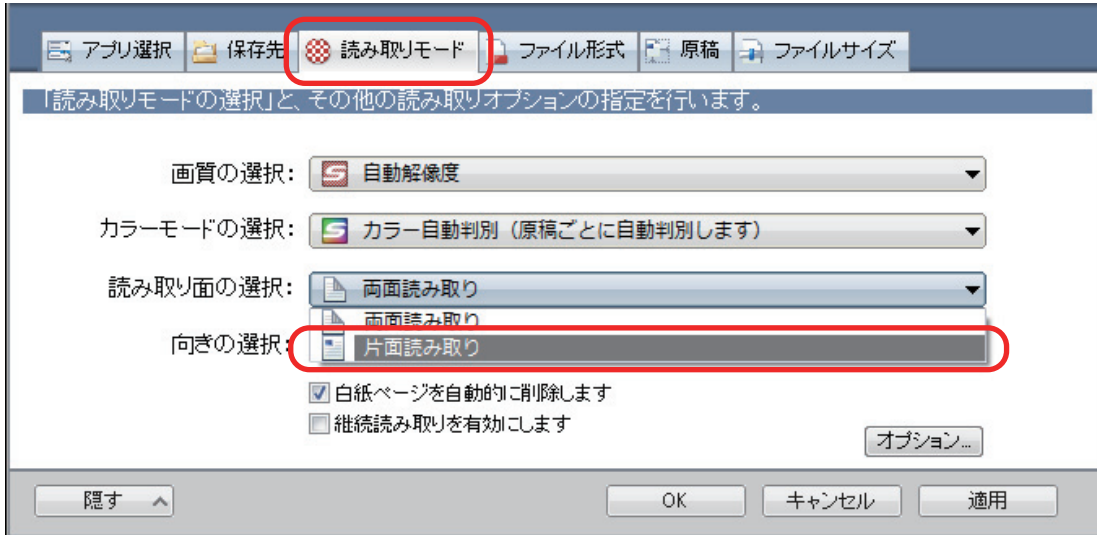
目的に合ったイメージデータを作成するための読み取り条件設定について説明します。

読み取り条件は、ScanSnap 設定画面で設定します。

- 「片面だけを読み取る (iX500 / S1500 / S1500M / S1300i / S1300 / S300)」 (96 ページ)
- 「カラー原稿をグレーまたは白黒で読み取る」 (97 ページ)
- 「カラー原稿を高圧縮する」 (98 ページ)
- 「白紙ページを削除する (SV600 除く)」 (99 ページ)
- 「文字列の傾きを補正する」 (100 ページ)
- 「原稿の向きを回転する」 (102 ページ)
- 「裏写りを軽減する」 (104 ページ)
- 「照明の影響を軽減する (SV600)」 (106 ページ)
- 「かすれや白飛びを軽減する (SV600)」 (108 ページ)
- 「文字列のゆがみを補正する (SV600)」 (110 ページ)
- 「複数の PDF ファイルに分割して保存する」 (112 ページ)
- 「本を片面ページずつ分割して保存する (SV600)」 (114 ページ)
- 「検索可能な PDF ファイルを作成する」 (115 ページ)
- 「PDF ファイルにキーワードを設定する」 (118 ページ)
- 「PDF ファイルにパスワードを設定する」 (123 ページ)
- 「PDF/A ファイルを作成する」 (128 ページ)
- 「自動的に原稿の読み取りを開始する (SV600)」 (130 ページ)

## 片面だけを読み取る (iX500 / S1500 / S1500M / S1300i / S1300 / S300)

原稿の片面だけを読み取る場合は、ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブの「読み取り面の選択」で、「片面読み取り」を選択します。



### ヒント

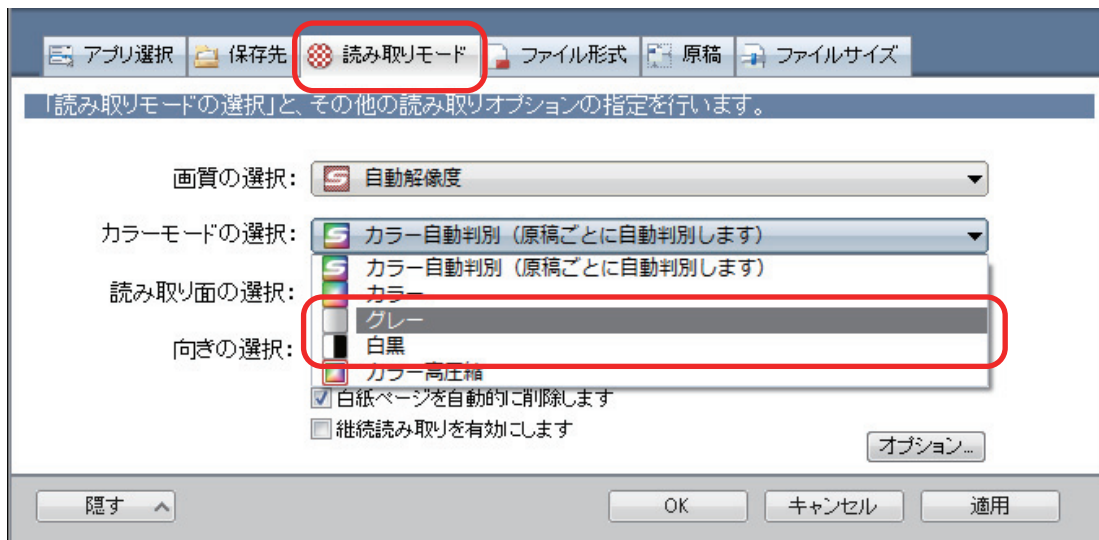
右クリックメニューから「片面読み取り」を選択すると、「読み取りモード」タブの「読み取り面の選択」が「両面読み取り」に設定されている場合でも、片面読み取りが開始されます。

## カラー原稿をグレーまたは白黒で読み取る

カラー原稿を読み取って、グレーまたは白黒のイメージデータを保存する場合は、ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブの「カラーモードの選択」で、「グレー」または「白黒」を選択します。

### 重要

e-スキャンモードで読み取る場合は、カラー原稿を白黒またはグレーで読み取れません (iX500 / S1500 / S1500M)。



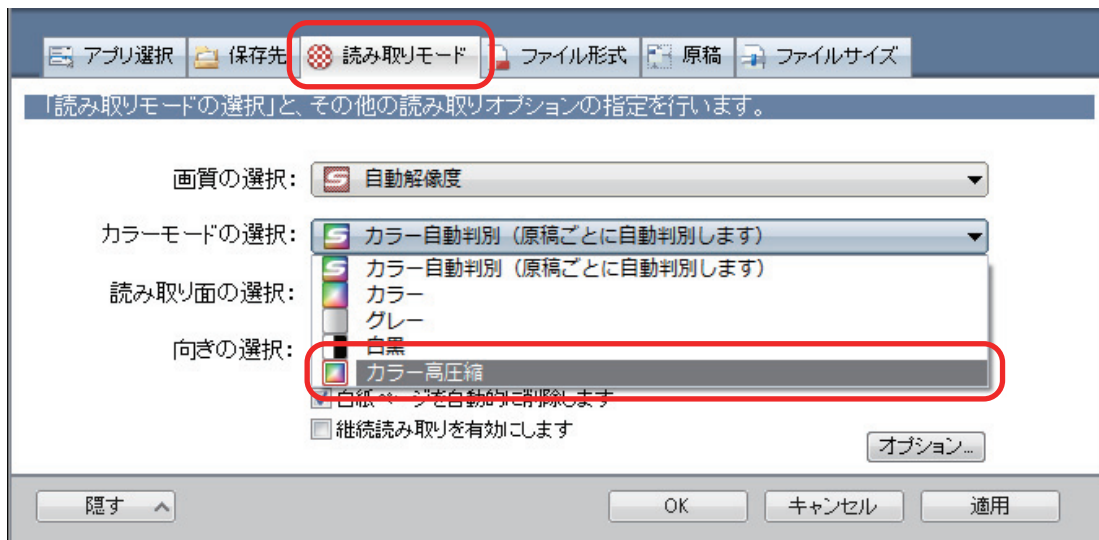
## カラー原稿を高圧縮する

膨大な量のカラー原稿でも高圧縮して読み取れば、コンパクトな PDF ファイルにまとめて保存できます。

### 重要

- 「カラー高圧縮」では、文字部分と背景部分を分離して背景部分だけを高圧縮します。そのため、文字ベースの原稿を読み取ると、文字はきれいなままでファイルサイズを小さくできます。一方、写真や図ベースの原稿は、背景とみなされて高圧縮されるため、イメージデータが劣化します。そのため、写真などのカラー原稿の読み取りには適していません。
- e-スキャンモードで読み取る場合は、カラー原稿を高圧縮して読み取れません (iX500 / S1500 / S1500M)。

カラー原稿を高圧縮する場合は、ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブの「カラーモードの選択」で、「カラー高圧縮」を選択します。



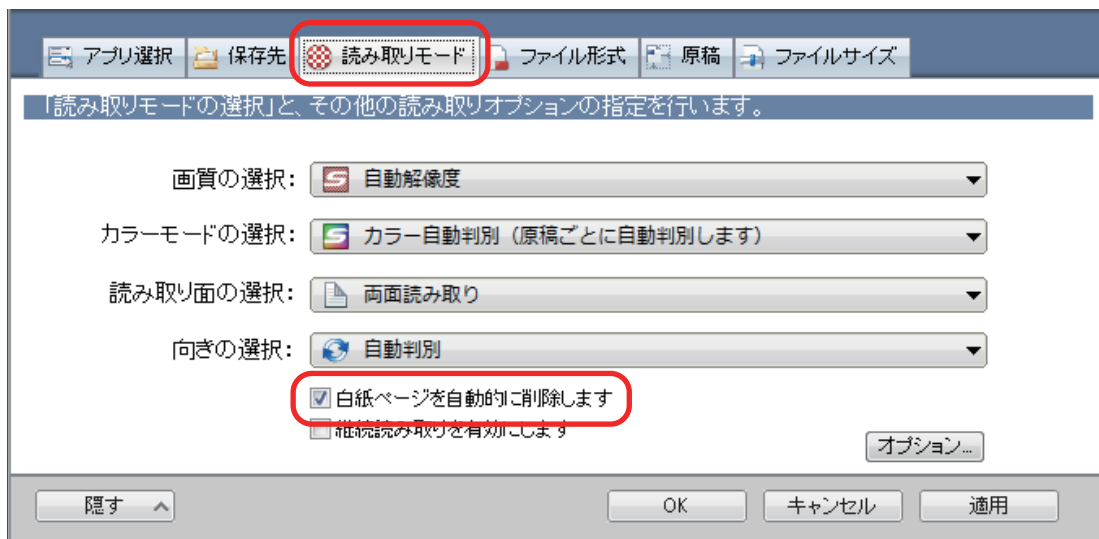
## 白紙ページを削除する（SV600 除く）

イメージデータから、不要な白紙ページを自動的に削除できます。例えば、両面および片面原稿が混在している場合、両面を読み取れば、片面原稿の裏面（白紙ページ）のイメージデータは削除されます。

### 重要

CardMinder または名刺ファイリングOCR と連携する場合は、白紙ページは削除されません。

白紙ページを削除する場合は、ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブで、「白紙ページを自動的に削除します」を選択します。



### 重要

以下のような原稿は、白紙ページとして識別される場合があります。

- 白紙原稿内に、文字が極端に少ない場合
- 白色でなくても、ページ全体が一様色（無地）の場合（黒色も含まれます）

このような原稿を読み取る場合は、「白紙ページを自動的に削除します」チェックボックスのチェックを外してください。

また、読み取った原稿を廃棄する場合は、誤って削除されたページがないかどうかを必ずご確認ください。

# 文字列の傾きを補正する

文字列が傾いて印刷されている原稿を読み取った場合に、文字列の傾きを検出し、その傾きを補正できます。

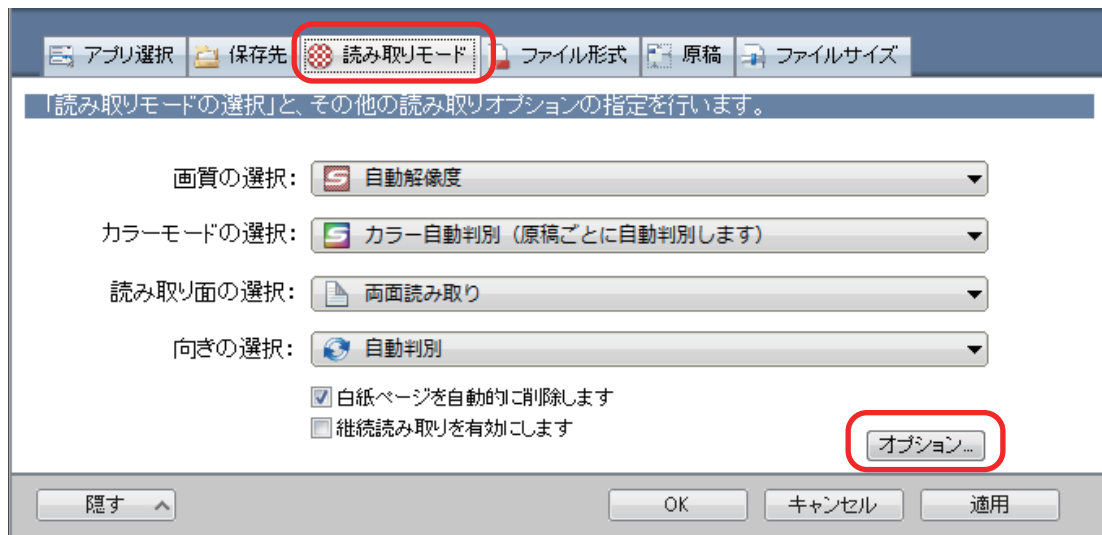
## 重要

A3 キャリアシートで読み取る場合、文字列の傾きは補正されません。

## ヒント

ScanSnap 設定画面の「原稿」タブ→「原稿サイズの選択」の設定が「サイズ自動検出」の場合は、常に原稿の傾きを補正します。そのため、「文字列の傾きを自動的に補正します」を有効にする必要はありません。

1. ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブで、[オプション] ボタンをクリックします。

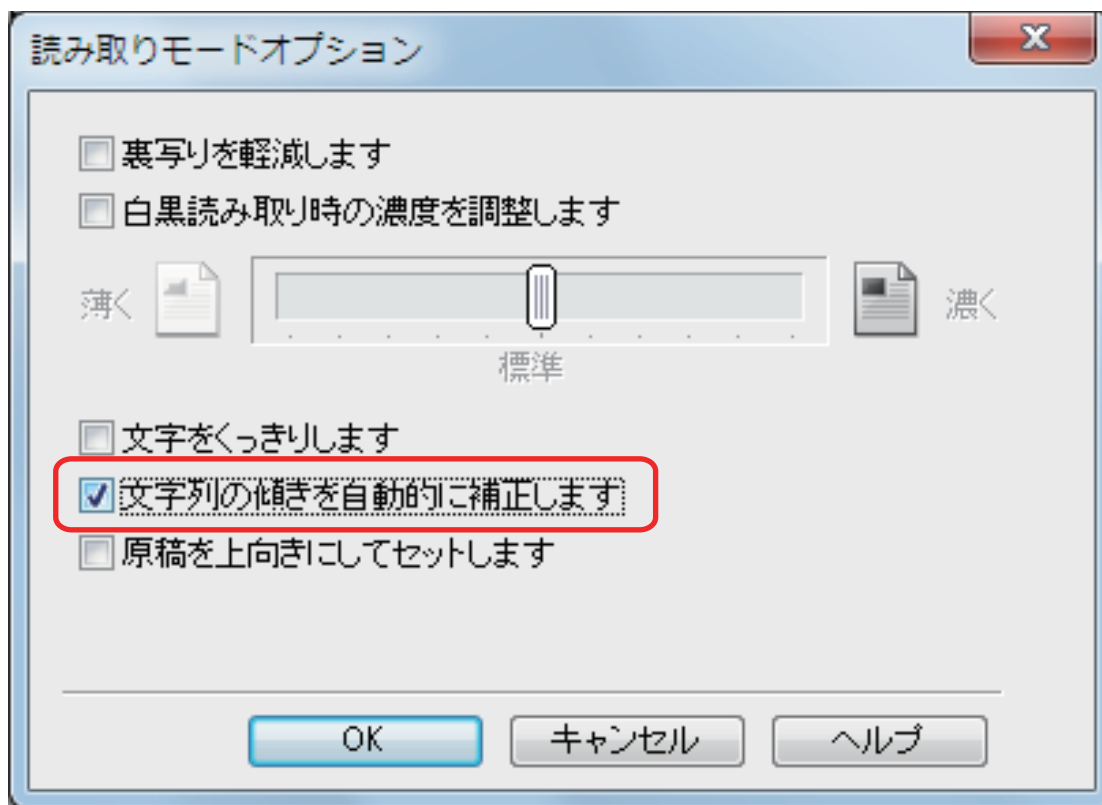


⇒ 「読み取りモードオプション」画面が表示されます。

2. 「文字列の傾きを自動的に補正します」チェックボックスにチェックを付けます。

SV600 の場合は、「読み取りモードオプション」画面の「画質」タブに、「文字列の傾きを自動的に補正します」チェックボックスがあります。





3. [OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

**重要**

- 最大± 5 度までの傾きを補正できます。
- 文字の傾きは、原稿中の文字列を基準にして補正します。そのため、以下のような原稿を読み取ると、誤って補正されてイメージデータが傾く場合があります。

その場合は、「文字列の傾きを自動的に補正します」チェックボックスのチェックを外してください。

- 文字間や行間が極端に狭い、または文字が接触している原稿
- 白抜きや装飾文字が多い原稿
- 写真や図などのイメージが多く、文字の少ない原稿
- 文字の背景に模様がある原稿

例： 絵や図と重なっている文字

- 斜め方向の長い直線がある原稿
- 手書き文字の原稿

## 原稿の向きを回転する

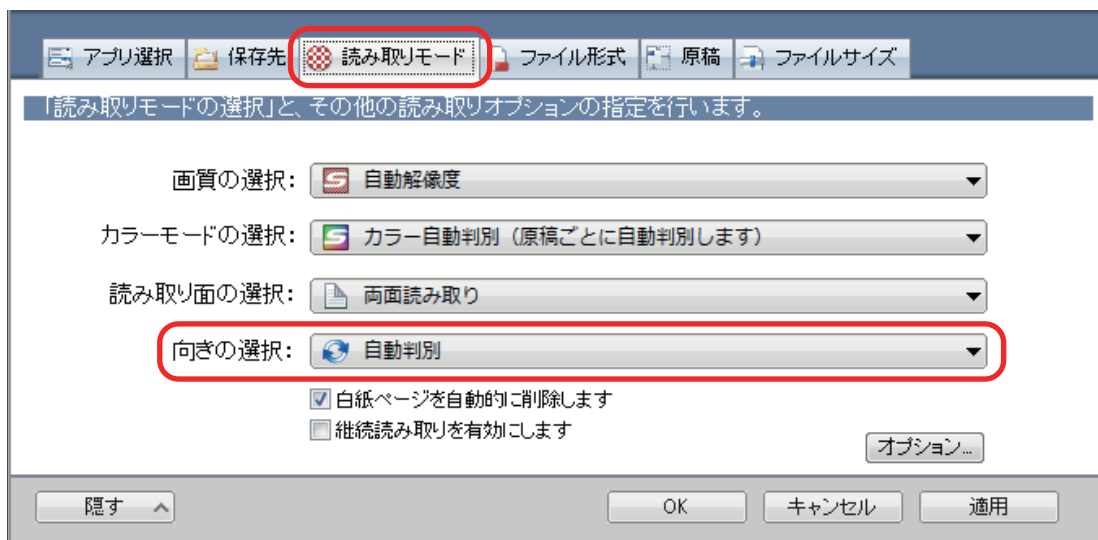
イメージデータの向きを自動的、または指定した向きに回転できます。

オフィスで使用されている文書の中には、同じ用紙サイズの前稿でも、原稿の向きが縦 / 横混在している場合があります。自動判別は、このような原稿を読み取った場合に便利です。

イメージデータの向きを回転する場合は、ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブの「向きの選択」で設定します。

### 重要

SV600 の場合、ScanSnap 設定画面の「原稿」タブの「読み取る原稿の選択」で、「後から選択する」を選択してから原稿を読み取り、「ScanSnap Manager - イメージ読み取りとファイル保存」画面で「本や雑誌などの見開き原稿を、歪みの補正をして保存します」を選択すると、原稿の向きが自動的に回転されません。



### 重要

イメージデータの向きは、原稿中の文字列を基準にして回転します。そのため、「向きの選択」で「自動判別」を選択した状態で、以下のような原稿を読み取ると、イメージデータの向きが回転されない場合があります。

その場合は、「自動判別」を選択しないでください。

- 極端に大きい文字や小さい文字が多い原稿
- 文字間や行間が極端に狭い、または文字が接触している原稿
- 下線や罫線に接触している文字が多い原稿
- 写真や図などのイメージが多く、文字の少ない原稿
- 文字の背景が不均一色の原稿

例： 網掛けされている文字

- 装飾文字が多い原稿

例： 影、白抜きなどの装飾がされている文字

- 文字の背景に模様がある原稿

例： 絵や図と重なっている文字

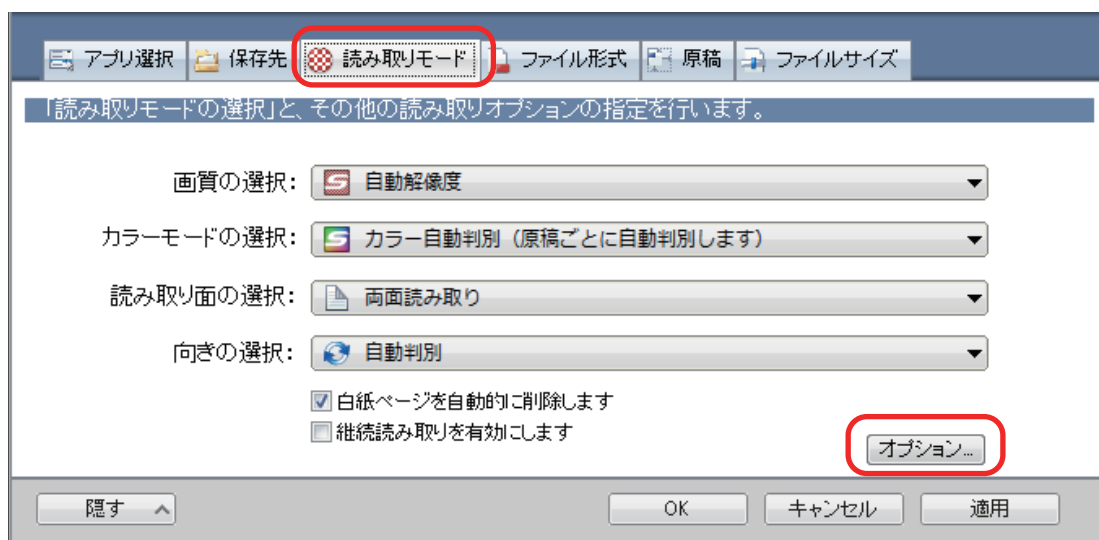
- 図面など、文字が一定方向を向いていない原稿
- アルファベット大文字だけで書かれている原稿

- 手書き文字の原稿
- 傾いた原稿
- サポート言語（日本語 / 英語 / フランス語 / ドイツ語 / イタリア語 / スペイン語 / 中国語（簡体字） / 中国語（繁体字） / 韓国語 / ロシア語 / ポルトガル語）以外の言語の原稿
- 複雑なレイアウトの原稿
- ノイズの多い原稿
- 薄い文字の原稿
- かすれた文字の原稿

## 裏写りを軽減する

イメージデータに原稿の裏面の文字や絵が透けてしまう、裏写り現象を軽減できます。

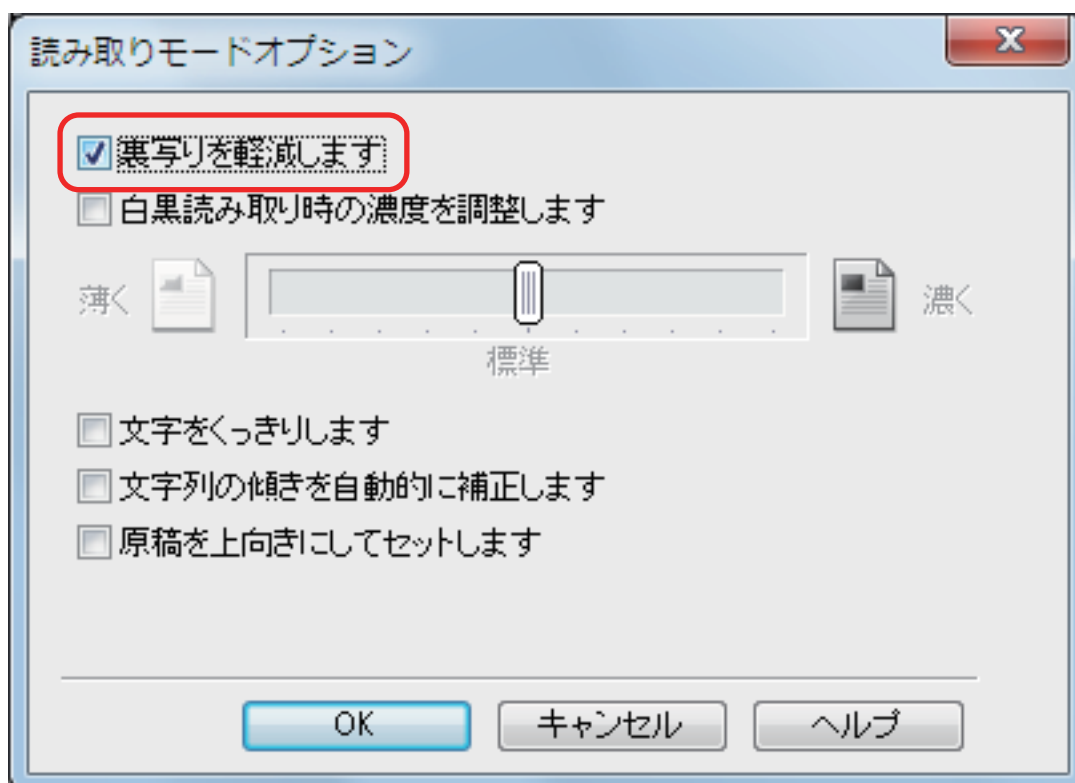
1. ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブで、[オプション] ボタンをクリックします。



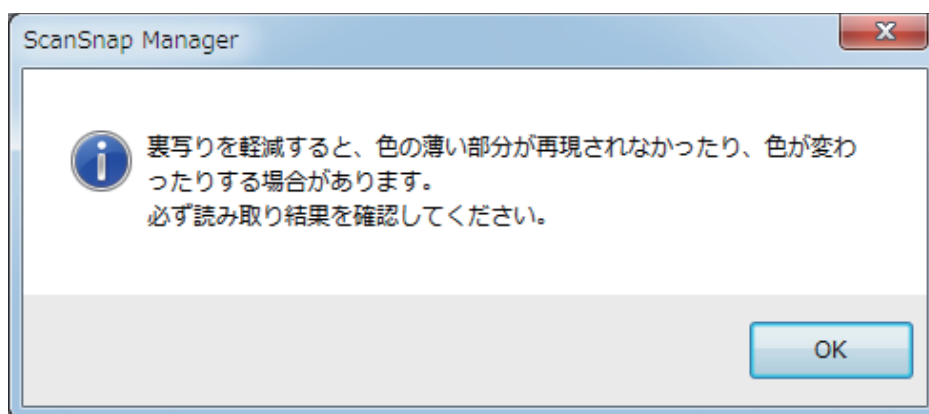
⇒ 「読み取りモードオプション」画面が表示されます。

2. 「裏写りを軽減します」チェックボックスにチェックを付けます。

SV600 の場合は、「読み取りモードオプション」画面の「画質」タブに、「裏写りを軽減します」チェックボックスがあります。



⇒ 以下のメッセージが表示されます。



### 3. [OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

#### 重要

以下のような原稿は、裏写り軽減が有効に機能しない場合があります。その場合は、「裏写りを軽減します」チェックボックスのチェックを外してください。

- 文字や絵柄の色が薄い原稿 / 文字や線の太さが細い原稿 / 地色が濃い原稿  
色が再現されなかったり、色が変わったりする場合があります。マーカ一部分の文字列を認識したい場合は、文字列の認識率が低下する可能性があります。
- 文字の色が薄いまたは文字の太さが細い原稿  
文字の認識率が低下する場合があります。
- 裏写りが強い原稿  
裏写りを強調する場合があります。

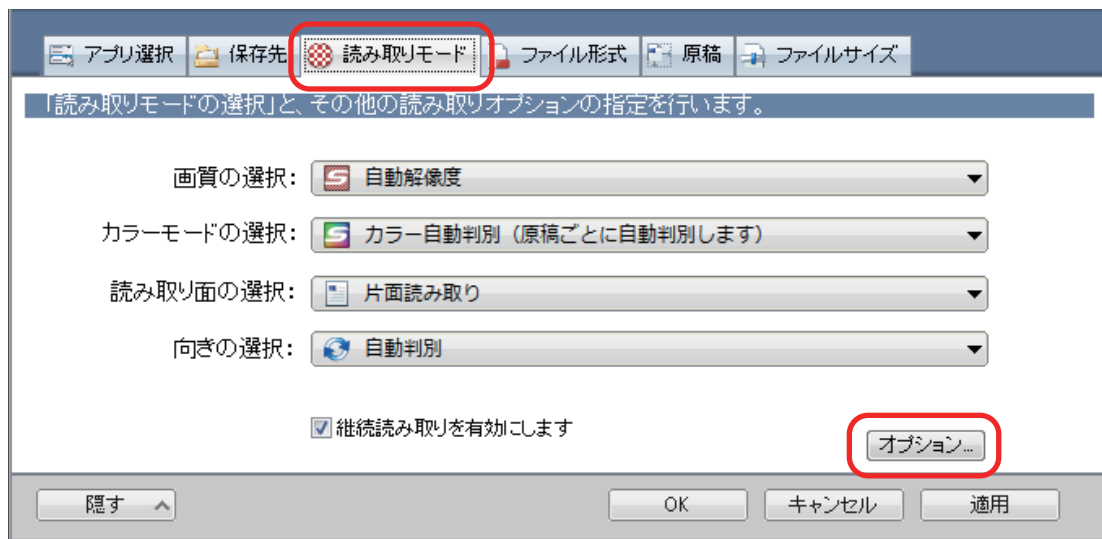
## 照明の影響を軽減する (SV600)

蛍光灯などの照明の影響により、イメージデータに横縞が入る現象を軽減できます。

### 重要

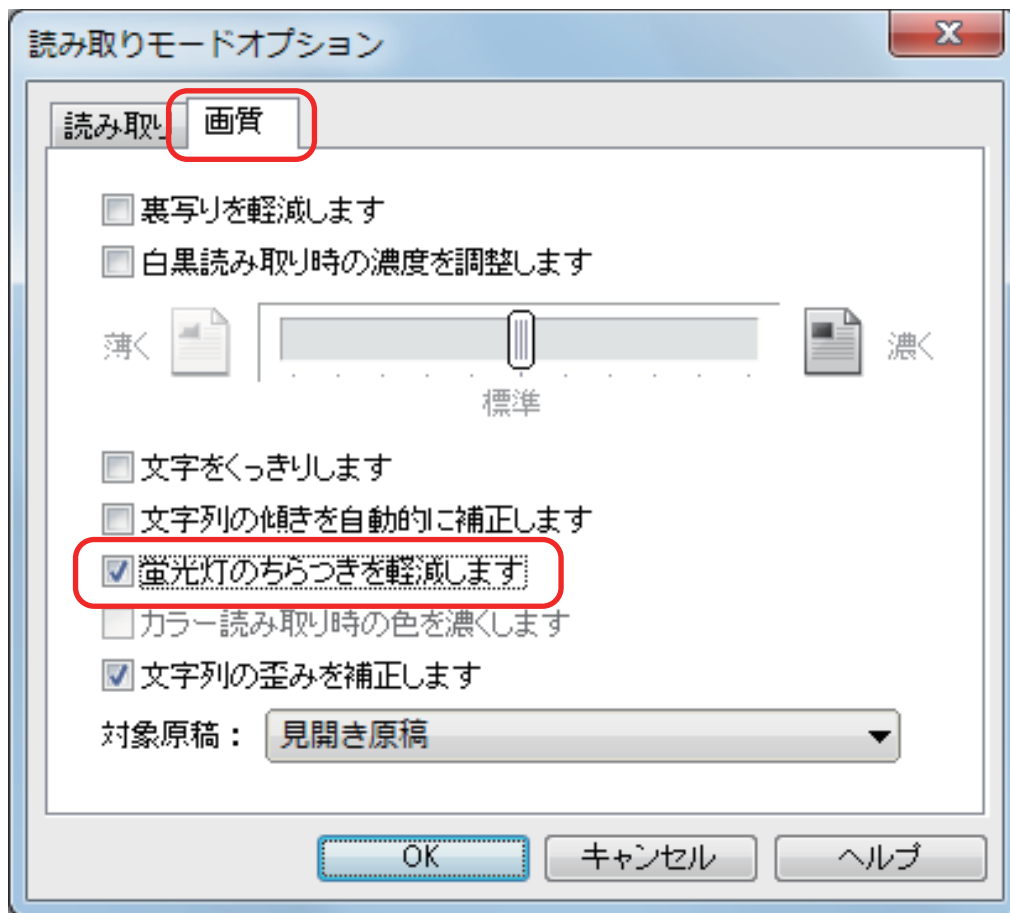
- 通常より読み取りスピードが遅くなります。また、継続して読み取る場合は、次の読み取り開始までの待ち時間が長くなります。
- お使いのコンピュータの環境によっては、処理に時間がかかる場合があります。

1. ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブで、[オプション] ボタンをクリックします。

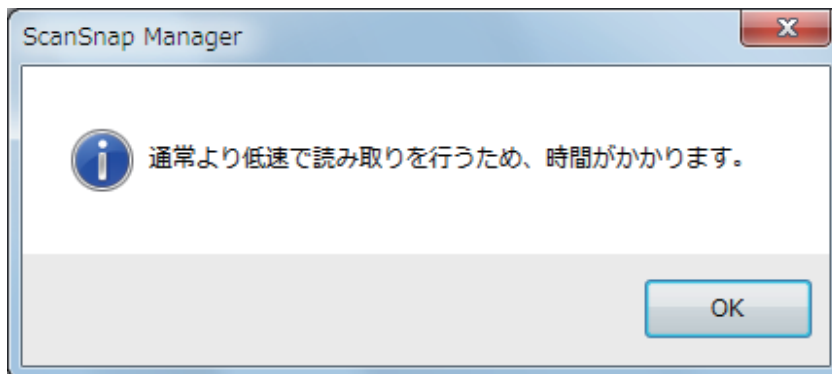


⇒ 「読み取りモードオプション」画面が表示されます。

2. 「画質」タブをクリックして、「蛍光灯のちらつきを軽減します」チェックボックスにチェックを付けます。



⇒ 以下のメッセージが表示されます。



3. [OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

## かすれや白飛びを軽減する (SV600)

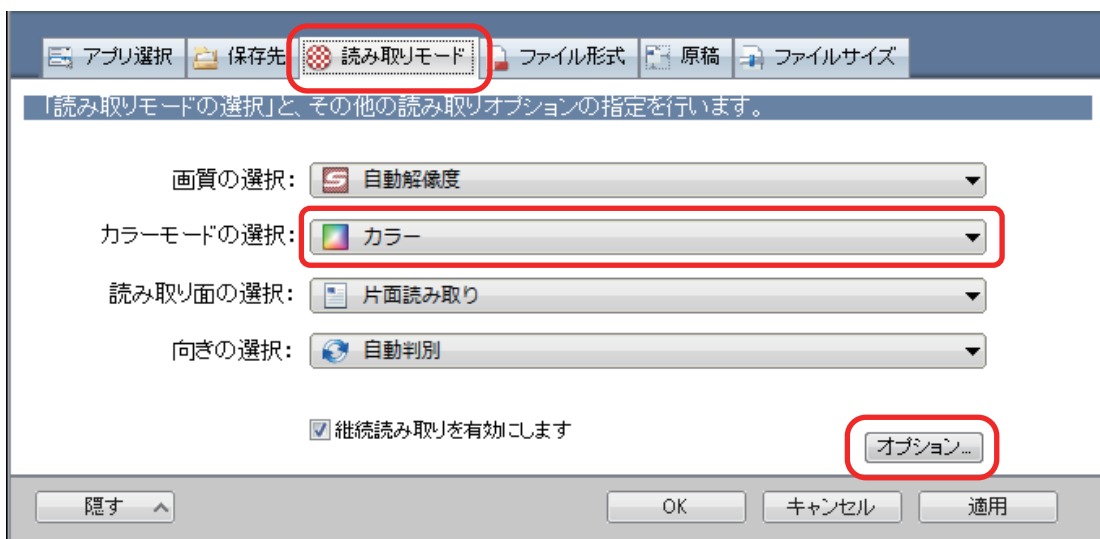
イメージデータがかすれたり、白く塗りつぶされたりするのを軽減できます。

### 重要

「カラー読み取り時の色を濃くします」チェックボックスを有効にした場合、以下は無効になります。

- 「裏写りを軽減します」チェックボックス
- 「白黒読み取り時の濃度を調整します」チェックボックス
- 「文字をくっきりします」チェックボックス

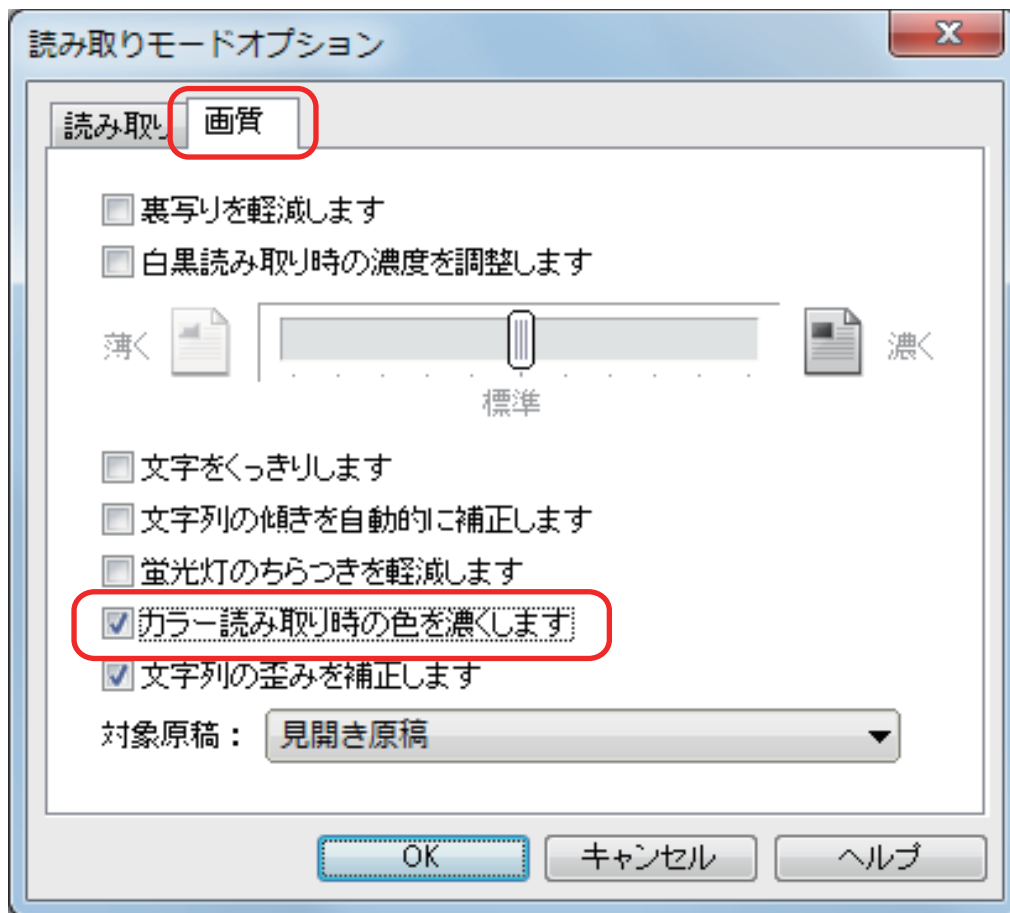
1. ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブで、「カラーモードの選択」を「カラー」に設定してから、[オプション] ボタンをクリックします。



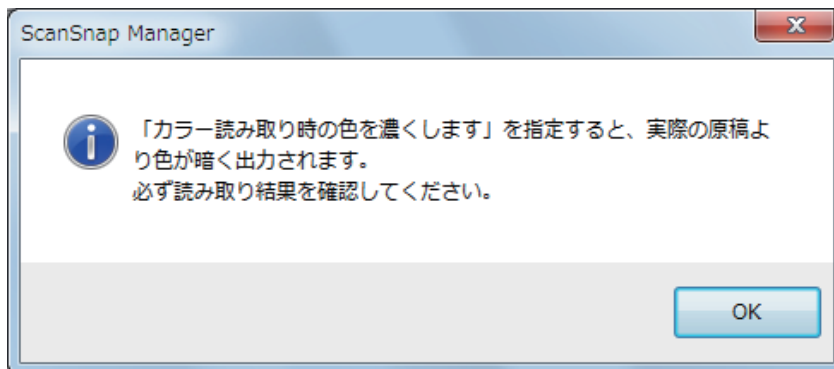
⇒ 「読み取りモードオプション」画面が表示されます。

2. 「画質」タブをクリックして、「カラー読み取り時の色を濃くします」チェックボックスにチェックを付けます。





⇒ 以下のメッセージが表示されます。



3. [OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

## 文字列のゆがみを補正する (SV600)

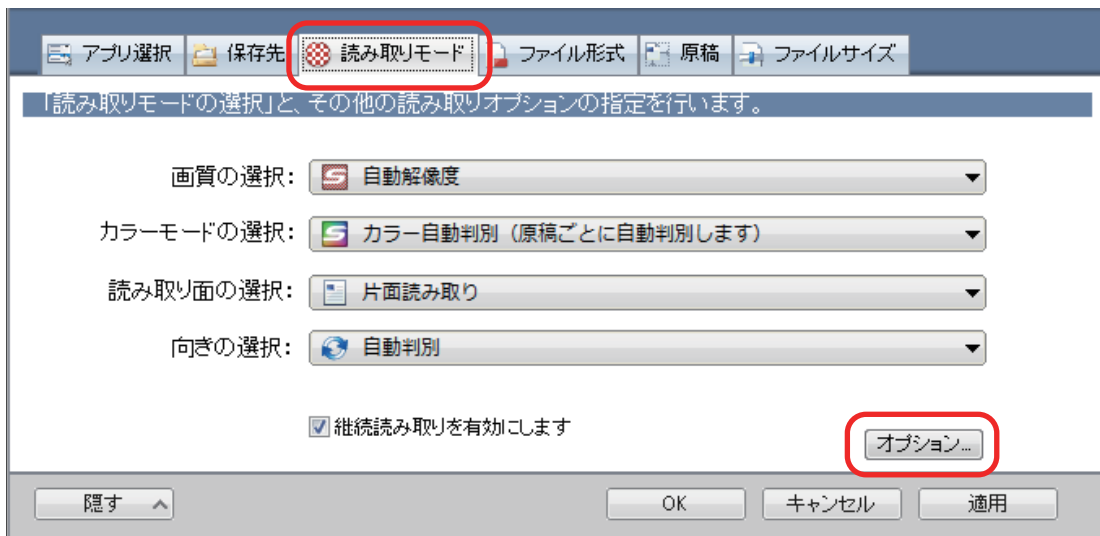
イメージデータの文字列、線、および図形の水平方向のゆがみを補正できます。

### 重要

以下のような原稿の場合には、ゆがみが補正されません。

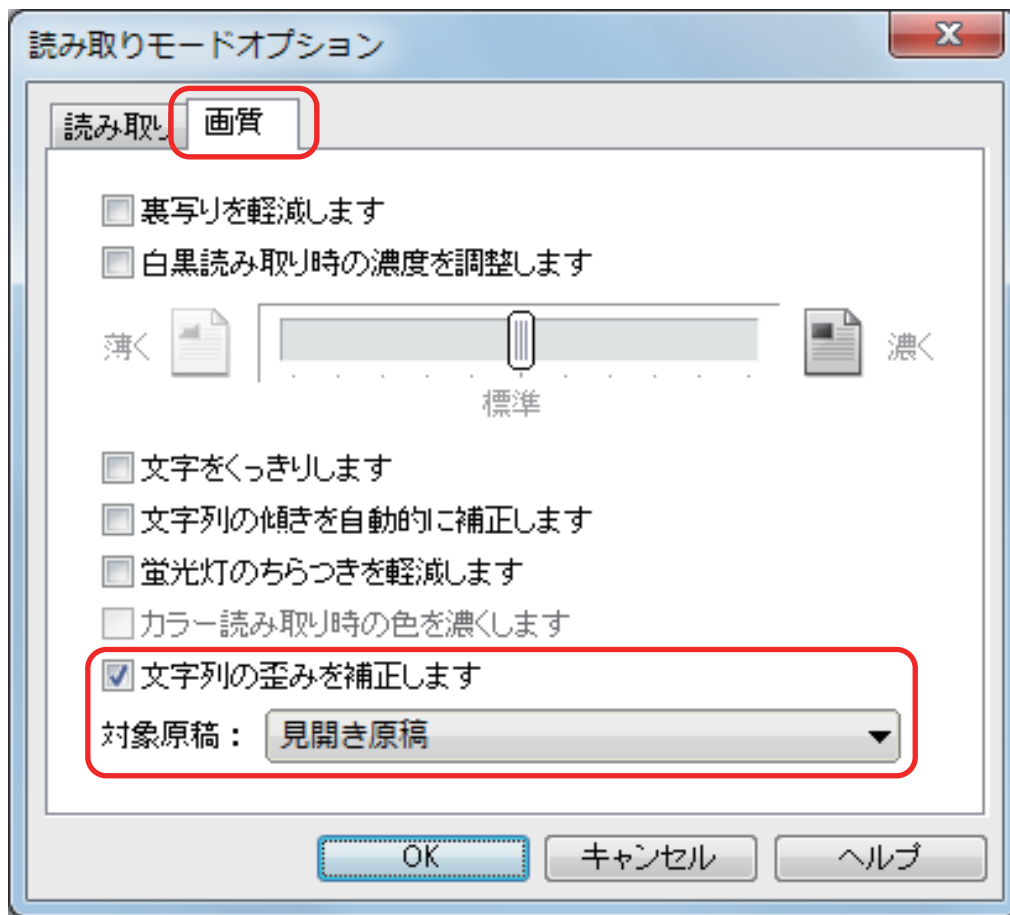
- 水平な線がない原稿
- 細い線（太さが 0.5 ポイント未満の線）、破線、点線、波線、または色の淡い線が使われている原稿

1. ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブで、[オプション] ボタンをクリックします。



⇒ 「読み取りモードオプション」画面が表示されます。

2. 「画質」タブをクリックして、「文字列の歪みを補正します」チェックボックスにチェックを付けてから、「対象原稿」ドロップダウンリストで、補正する原稿を選択します。



**3.** [OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

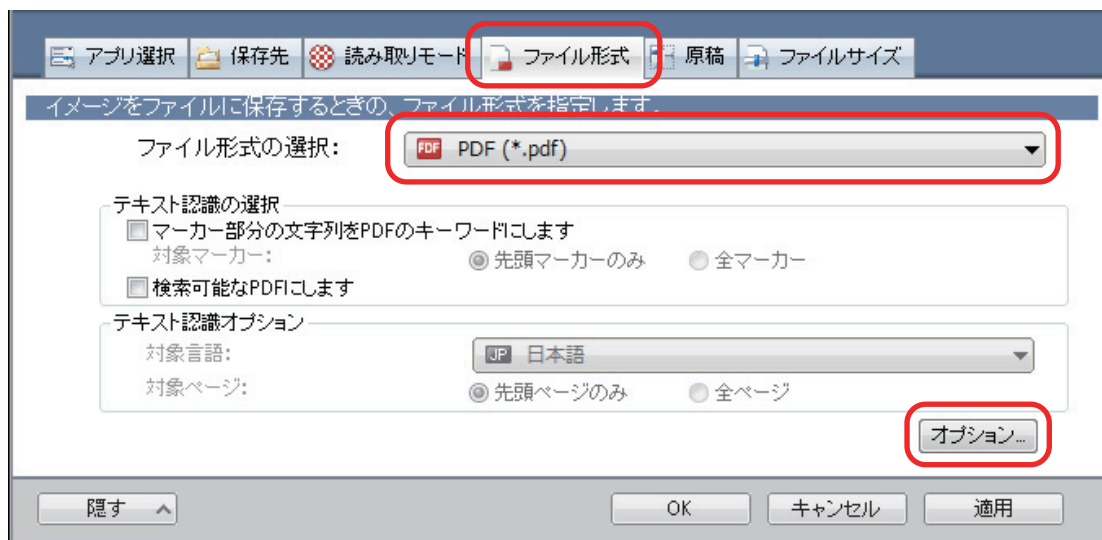
**ヒント**

本を読み取った場合、「補正ビューア」画面の「文字列の歪みを補正する」チェックボックスをチェックすることでも、イメージデータの文字列、線、および図形の水平方向のゆがみを補正できます。

## 複数の PDF ファイルに分割して保存する

イメージデータを一定のページごとに区切って、別々の PDF ファイルとして保存できます。例えば、定型の伝票を一度に読み取って、1 枚ごとに 1 つの PDF ファイルにして保存できます。

1. ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブの「ファイル形式の選択」で「PDF (\*.pdf)」を選択してから、[オプション] ボタンをクリックします。



⇒ 「PDF フォーマットオプション」画面が表示されます。

2. 「設定ページごとに PDF ファイルを作ります」を選択し、分割するページ数を指定します。

ここで指定したページ数のイメージデータが保存されるごとに、PDF ファイルが 1 つ作成されます。

PDFフォーマットオプション

PDFページ分割

すべてのページを1つのPDFファイルにします

設定ページごとにPDFファイルを作ります

1 ページ

出力モード

PDF/A-1bに準拠した形式で出力します

パスワード

読み取ったPDFファイルにパスワードを付けます

固定パスワードを使用します

パスワード:

確認:

電子署名・タイムスタンプ

読み取ったPDFファイルに電子署名・タイムスタンプを付けます

設定...

OK キャンセル ヘルプ

#### ヒント

「両面読み取り」の場合、1枚の原稿は、表面と裏面で2ページとなります。

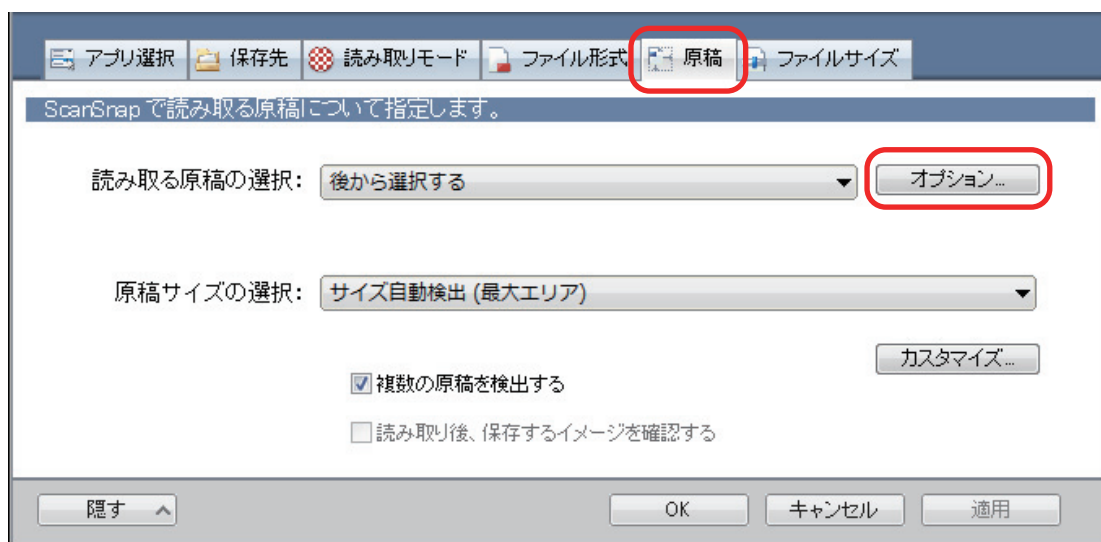
また、「読み取りモード」タブの「白紙ページを自動的に削除します」チェックボックスにチェックが付いていると、白紙ページが混在していた場合にページがずれることがありますので、チェックを外しておくことを推奨します。

3. [OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

## 本を片面ページずつ分割して保存する (SV600)

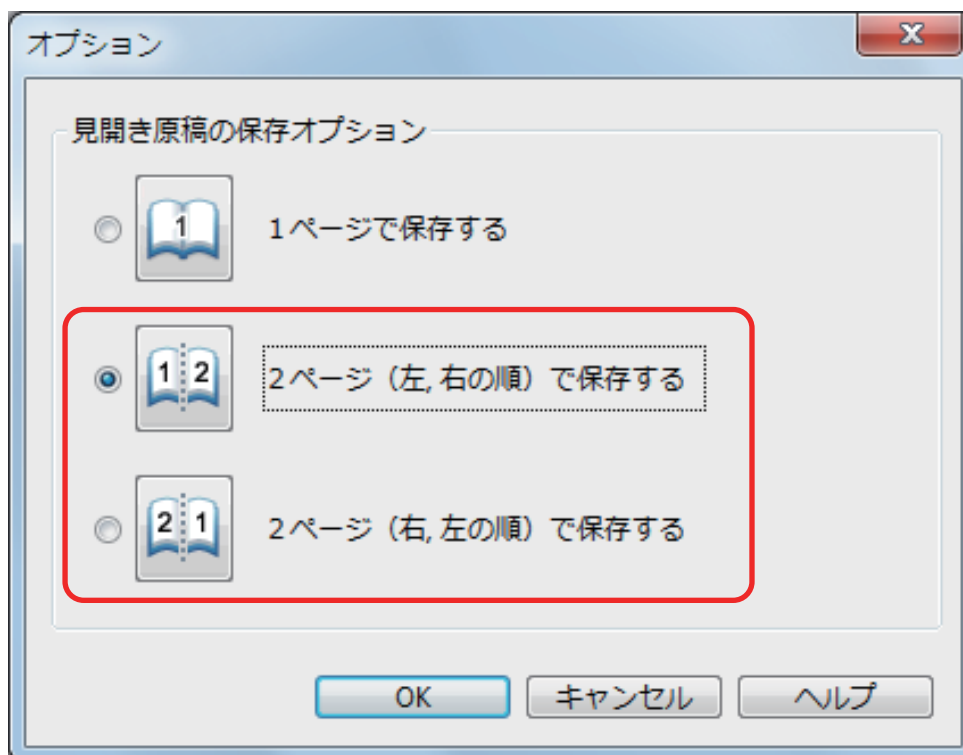
本を読み取った場合に、見開きページを右ページと左ページに分割できます。

1. ScanSnap 設定画面の「原稿」タブで、[オプション] ボタンをクリックします。



⇒ 「オプション」画面が表示されます。

2. ページを片面ずつ保存する順番を選択します。

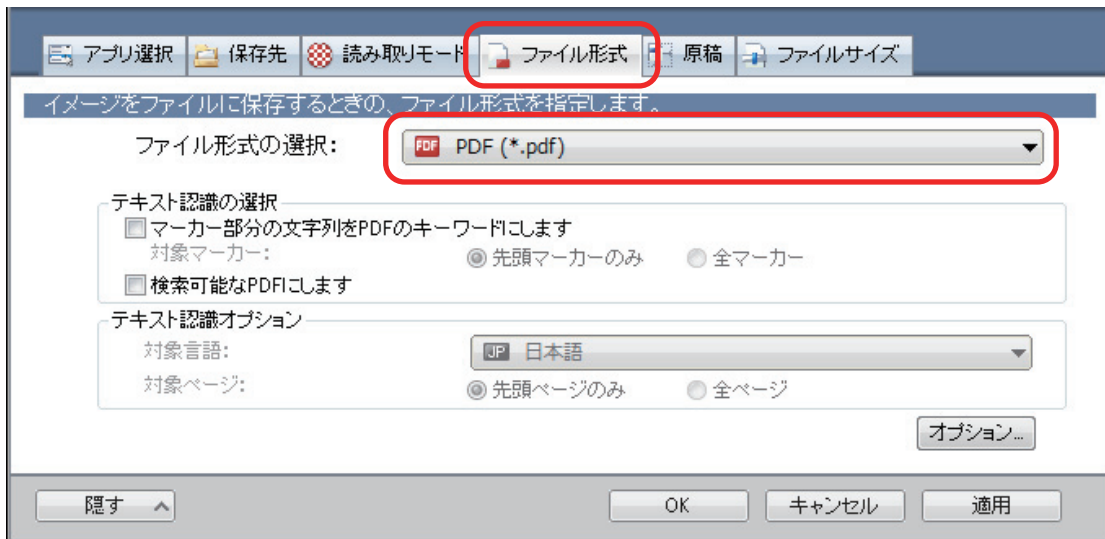


3. [OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

# 検索可能な PDF ファイルを作成する

イメージデータのテキストを自動的に認識して、検索可能な PDF ファイルを作成できます。

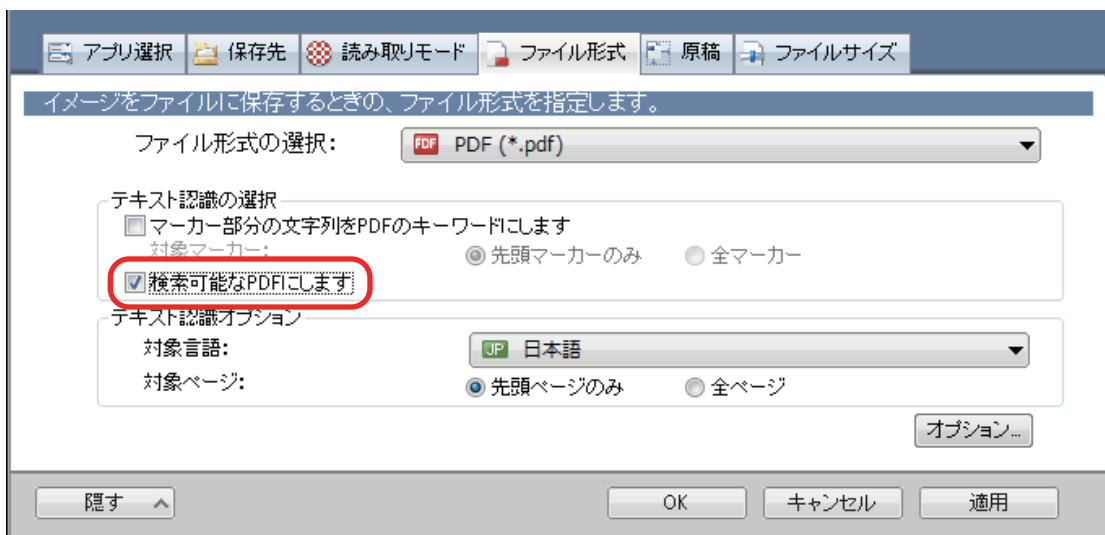
1. ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブの「ファイル形式の選択」で「PDF (\*.pdf)」を選択します。



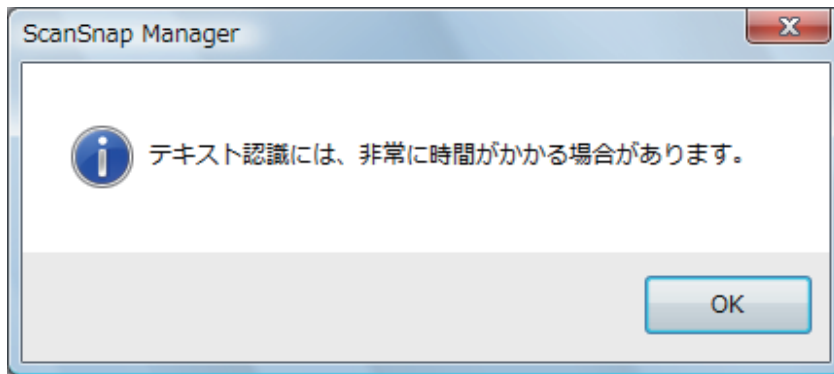
## ヒント

ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブ→「画質の選択」の設定は、「ファイン」または「スーパーファイン」を推奨します。

2. 「検索可能な PDF にします」チェックボックスにチェックを付けます。

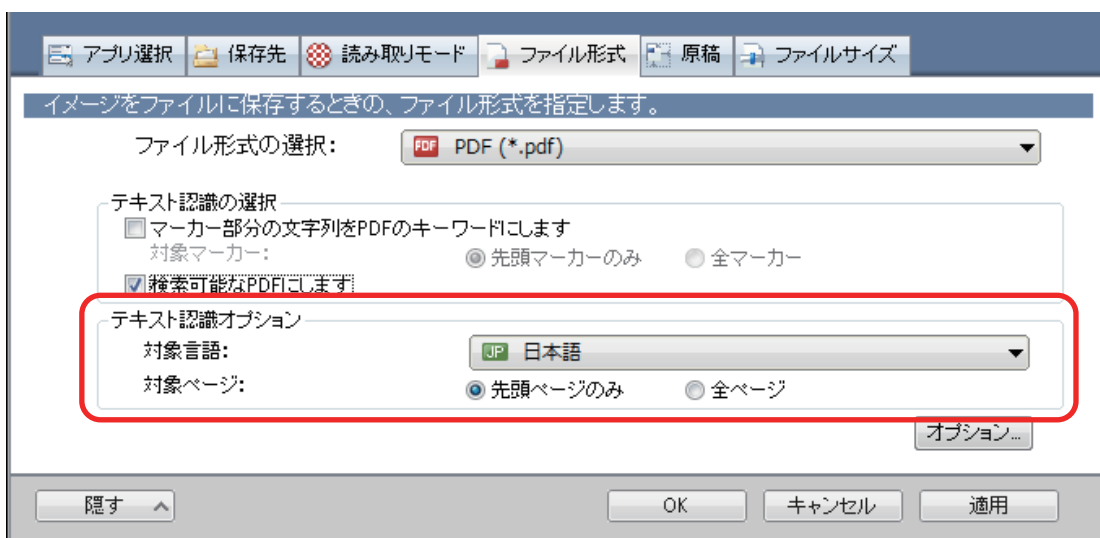


⇒ 以下のメッセージが表示されます。



3. [OK] ボタンをクリックしてメッセージを閉じます。

4. 「テキスト認識オプション」を設定します。



5. [OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

### 重要

- 以下のような原稿（文字）のイメージデータは、正しくテキスト認識されない場合があります。その場合は、読み取り条件の「カラーモードの選択」を変更したり、「画質の選択」を高い解像度に変更したりすると、正しくテキスト認識されることがあります。
  - 手書き文字の原稿
  - 低解像度で読み取った小さな文字
  - 傾いた原稿
  - 指定した言語以外で書かれた原稿
  - イタリック文字で書かれた原稿
  - 上下添え字、複雑な数式
  - 文字の背景が不均一色の原稿
- 例： 網掛けされている文字
- 装飾文字が多い原稿
- 例： 影、白抜きなどの装飾がされている文字
- 文字の背景に模様がある原稿



例： 絵や図と重なっている文字

- 下線や罫線に接触している文字が多い原稿
- 図表と文字が混在している原稿
- 原稿を読み取ったあとに、ブック補正を実行した場合は、正しくテキスト認識されない場合があります。その場合は、以下の設定を変更すると、正しくテキスト認識されることがあります。
  - カラーモードの選択
  - 画質の選択
- 以下のような原稿は、テキスト認識するのに非常に時間がかかる場合があります。
  - 複雑なレイアウトの原稿
  - 文字以外の情報が多い原稿

例： よごれ、文字背景の網掛け

- 裏写り軽減を有効にしている場合は、認識率が低下することがあります。その場合は、以下の手順で無効にしてください。

右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」→「読み取りモード」タブ→ [オプション] ボタンをクリックすると表示される「読み取りモードオプション」画面で、「裏写りを軽減します」チェックボックスのチェックを外します（SV600 の場合は、「読み取りモードオプション」画面の「画質」タブに、「裏写りを軽減します」チェックボックスがあります）。

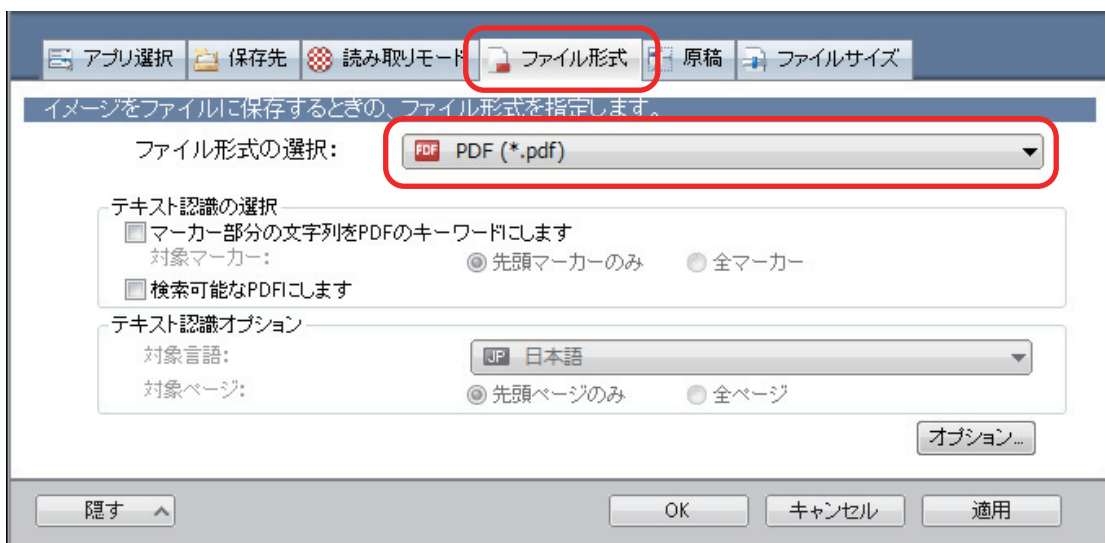
# PDF ファイルにキーワードを設定する

白黒原稿のタイトルなどの文字列を PDF ファイルのキーワードに設定して、PDF ファイルの検索に利用できます。

PDF ファイルにキーワードを設定するには、キーワードにしたい文字列を覆うように半透明の水性蛍光ペンで線を引きます。水性蛍光ペンで線を引いた原稿を読み取ると、線を引いた文字列がテキスト認識されて、PDF ファイルのキーワードに設定されます。

水性蛍光ペンの引き方については、「[マーカーの引き方](#)」(121 ページ)を参照してください。

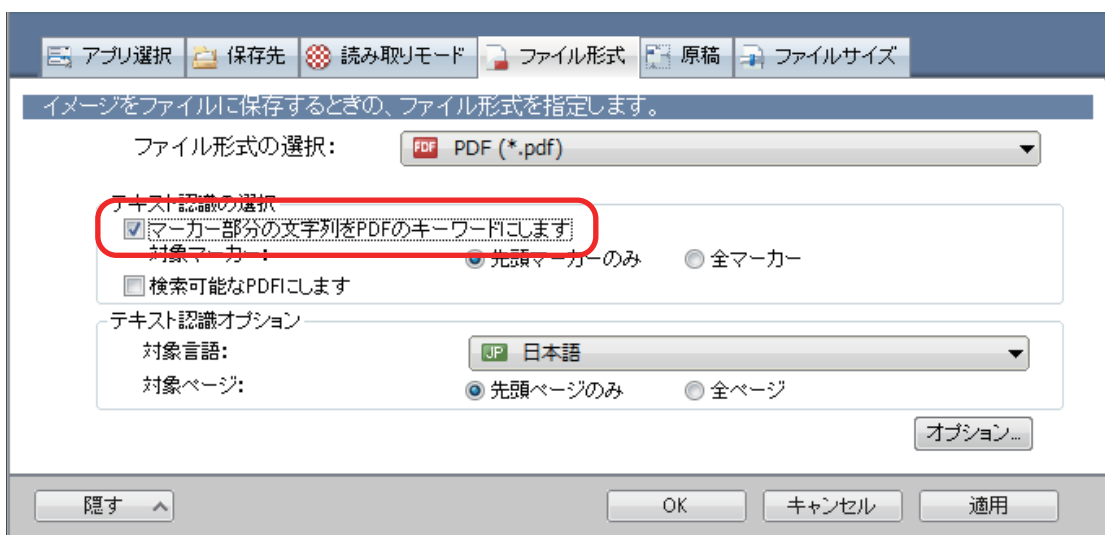
1. ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブの「ファイル形式の選択」で「PDF (\*.pdf)」を選択します。



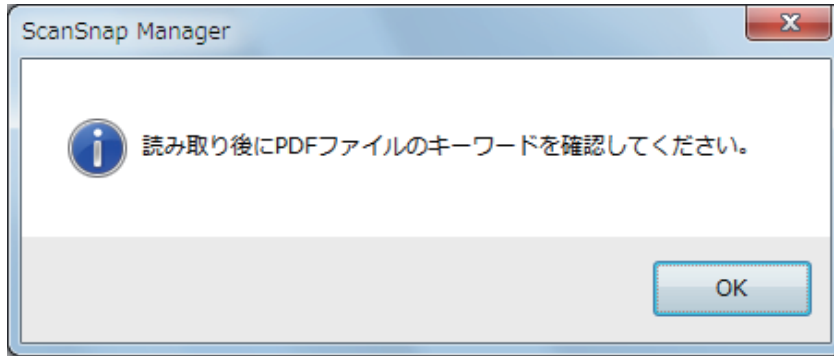
## ヒント

ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブ→「画質の選択」の設定は、「ファイン」または「スーパーファイン」を推奨します。

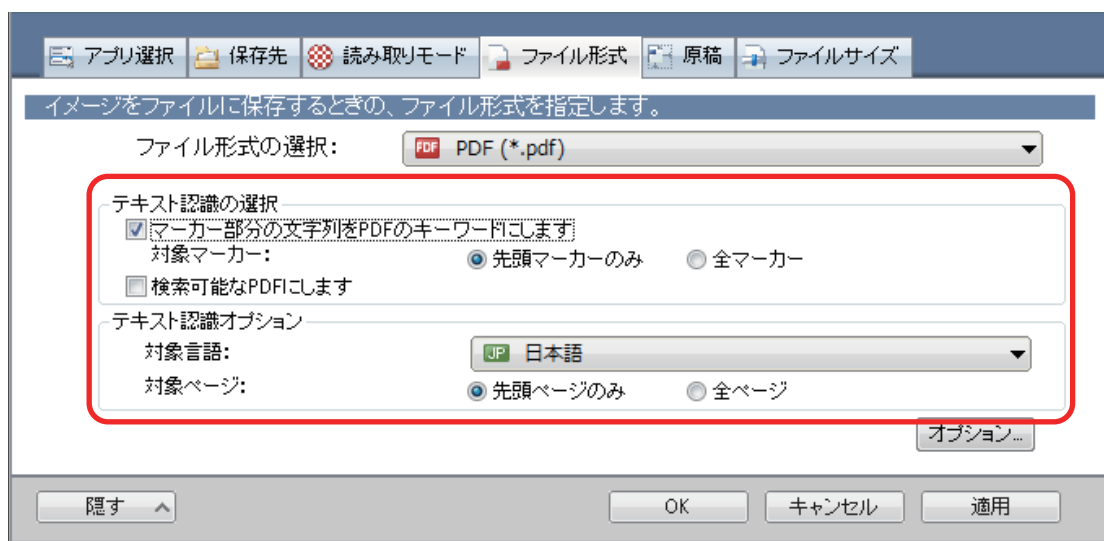
2. 「マーカー部分の文字列を PDF のキーワードにします」チェックボックスにチェックを付けます。



⇒ 以下のメッセージが表示されます。



3. [OK] ボタンをクリックしてメッセージを閉じます。
4. 「テキスト認識の選択」および「テキスト認識オプション」を設定します。



### 重要

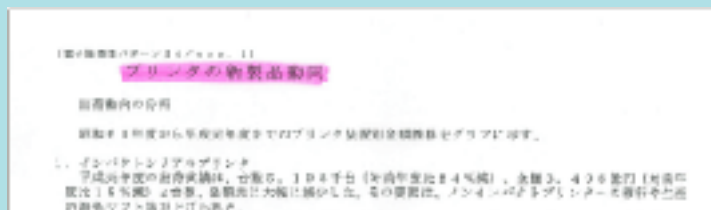
縦書き原稿の場合は、「全マーカ」を選択してください。

### ヒント

「テキスト認識の選択」で設定可能な「先頭マーカのみ」の使い方は、以下のとおりです。

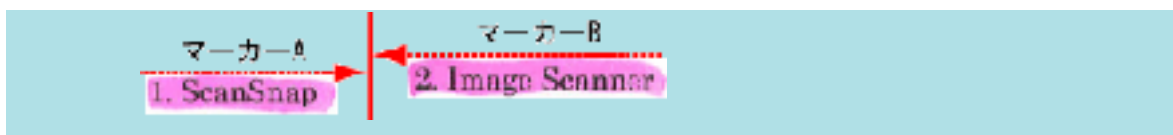
- 横書き原稿の表題などの文字列を PDF のキーワードにしたい場合に使用してください。

例： 文書の表題だけにマーカを引くと、マーカを引いた文字列が PDF のキーワードに設定され、表題の文字列で PDF ファイルを検索できるようになります。



- 複数のマーカが並んでいる場合、原稿の最上部にあるマーカ一部分の文字列がキーワードとして設定されます。

例： 以下の場合、マーカ A より上部にあるマーカ B の文字列がキーワードに設定されます。



## 5. [OK] ボタンをクリックして、ScanSnap 設定画面を閉じます。

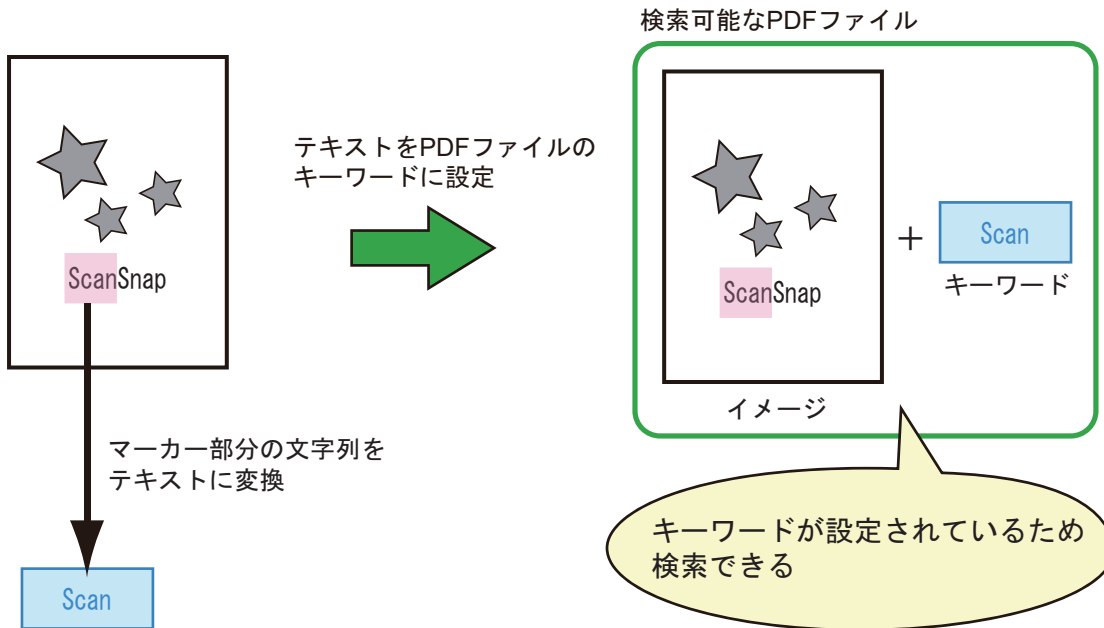
### 重要

- 「マーカー部分の文字列を PDF のキーワードにします」チェックボックスにチェックを付けると、お使いのコンピュータ環境によっては、処理に時間がかかる場合があります。
- 以下のような原稿（文字）のイメージデータは、正しくテキスト認識されない場合があります。その場合は、読み取り条件の「画質の選択」を高い解像度に変更すると、正しくテキスト認識されることがあります。
  - 手書き文字の原稿
  - 低解像度で読み取った小さな文字
  - 傾いた原稿
  - 指定した言語以外で書かれた原稿
  - イタリック文字で書かれた原稿
  - 上下添え字、複雑な数式
  - 文字の背景が不均一色の原稿  
例： 網掛けされている文字
  - 装飾文字が多い原稿  
例： 影、白抜きなどの装飾がされている文字
  - 文字の背景に模様がある原稿  
例： 絵や図と重なっている文字
  - 下線や罫線に接触している文字が多い原稿
- 以下のような原稿は、テキスト認識するのに非常に時間がかかる場合があります。
  - 複雑なレイアウトの原稿
  - 文字以外の情報が多い原稿  
例： よごれ、文字背景の網掛け
- 裏写り軽減を有効にしている場合は、マーカーが消えるまたは薄くなるため認識率が低下することがあります。その場合は、以下の手順で無効にしてください。  
右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」→「読み取りモード」タブ→[オプション] ボタンをクリックすると表示される「読み取りモードオプション」画面で、「裏写りを軽減します」チェックボックスのチェックを外します（SV600 の場合は、「読み取りモードオプション」画面の「画質」タブに、「裏写りを軽減します」チェックボックスがあります）。
- 原稿内の複数箇所、同じ文字列にマーカーが引かれている場合は、PDF ファイルに同じキーワードが複数追加されます。
- キーワードとして追加する文字数の上限は、複数のキーワード間の区切り文字を含め、255 文字です。
- Adobe Acrobat および Adobe Reader でキーワードを確認すると、追加されたキーワードの先頭と末尾に「"」が表示される場合があります。

## マーカースの引き方

PDF ファイルにキーワードを設定するには、キーワードにしたい文字列を覆うように半透明の水性蛍光ペンで線を引きます。水性蛍光ペンで線を引いた原稿を読み取ると、線を引いた文字列がテキスト認識されて、PDF ファイルのキーワードに設定されます。

以降、水性蛍光ペンで引いた線を「マーカー」、水性蛍光ペンを「マーカーペン」と表記します。



マーカーは、白黒原稿に以下のように引いてください。

- 半透明のマーカーペン（市販品で可）を使用してください。  
推奨するマーカーの色と濃さは、以下のとおりです。

ピンク	イエロー	ブルー	グリーン
ScanSnap	ScanSnap	ScanSnap	ScanSnap

- 1つのマーカーは、1行（横書き）または1列（縦書き）の文字列に、まっすぐに引いてください。
- サポート範囲のマーカーのサイズは、以下のとおりです。  
最小サイズ：短辺 3mm × 長辺 10mm  
最大サイズ：短辺 20mm × 長辺 150mm
- 1ページに使用するマーカーの色は、1色にしてください。
- キーワードにする文字列の上下左右が、完全に覆われるようにマーカーを引いてください。  
なお、マーカー全体の色が均一になるように引いてください。

良い例	悪い例 1 (塗り残しがある)	悪い例 2 (色が不均一)
ScanSnap	ScanSnap	ScanSnap

- マーカーの数は、1ページにつき 10 か所以下にしてください。

**重要**

- iX100 / S1300i / S1300 / S1100 の場合
  - ブルーまたはグリーンのマーカーペンでマーカーを引くことを推奨します。ピンクまたはイエローのマーカーペンでマーカーを引くと、マーカーが検出されない場合があります。
  - 新聞紙のように地色が濃い原稿の場合は、ブルーのマーカーペンを使用してください。ブルー以外のマーカーペンを使用すると、マーカーが検出されないことがあります。
- 以下の原稿に対しては、マーカー部分の文字列をキーワードとして設定できません。
  - カタログ、パンフレットなどのカラー原稿
  - 2色以上のマーカーペンが使用されている原稿
  - マーカー以外の色が付いている原稿（マーカーペン以外のペンが使われている場合や、原稿がよごれている場合）
  - 1ページに多数のマーカーが存在する原稿
- 以下に該当するマーカー部分の文字列は、キーワードとして設定できません。
  - マーカーのサイズがサポート範囲外の場合
  - 特殊なマーカーの引き方をした場合（斜めに引くなど）
  - 複数のマーカーが密集している場合
  - マーカーペンの色が薄い、または色がかすれている場合

**ScanSnap**

- 複数の文字列にマーカーを引く場合は、マーカー同士の間隔を 5mm 以上空けてください。マーカー同士の間隔が狭すぎると、複数のマーカーがつながって、1つのマーカーとして検出される場合があります。
- マーカーが上下（横書きの場合）または左右（縦書きの場合）の行に重なっている場合は、マーカー周辺の文字列がキーワードとして設定されることがあります。
- 以下の場合、マーカーが引かれていない文字列が、キーワードとして設定されることがあります。
  - カタログ、パンフレットなどのカラー原稿
  - 文字、図、絵、表、または線に色が付いている原稿
  - マーカーで囲まれた部分が存在する原稿
  - よごれている原稿

**ヒント**

- 正しくキーワードが設定できない場合は、解像度を上げて読み取ると、キーワードを設定できることがあります。
- PDF ファイルに設定したキーワードは、ScanSnap Organizer のメイン画面（サムネイル表示）や Adobe Acrobat および Adobe Reader の文書のプロパティで確認できます。

# PDF ファイルにパスワードを設定する

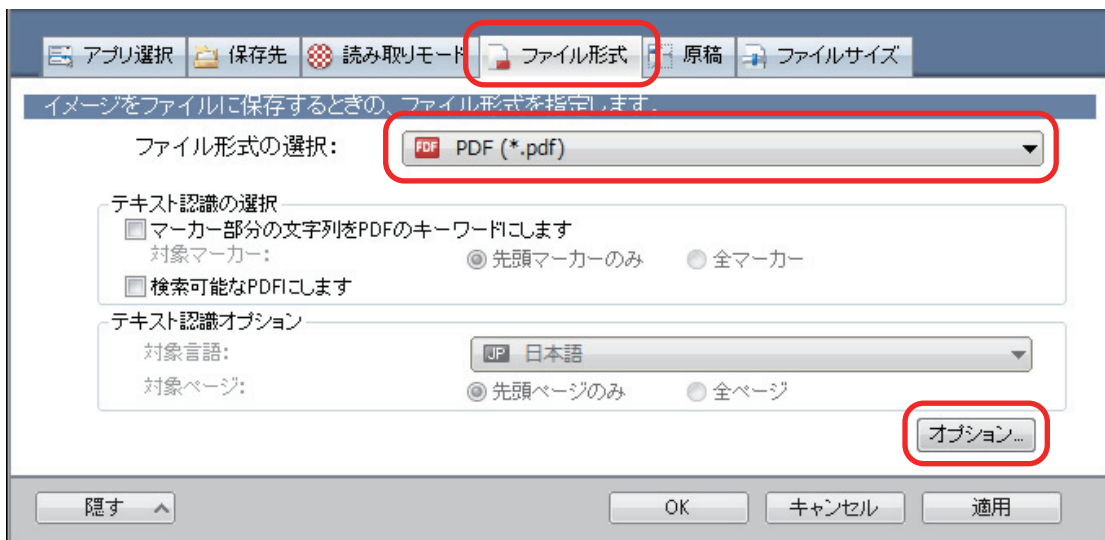
イメージデータを PDF ファイルとして保存するときに、文書を開くためのパスワードを設定できません。

PDF ファイルにパスワードを設定すると、パスワードを知る人以外は PDF ファイルの内容を見られません。他人に知られたくない文書や、関係者外秘の重要書類などの原稿を読み取る場合、パスワードを設定して保存することで、大切な情報の漏洩を防止します。

## 重要

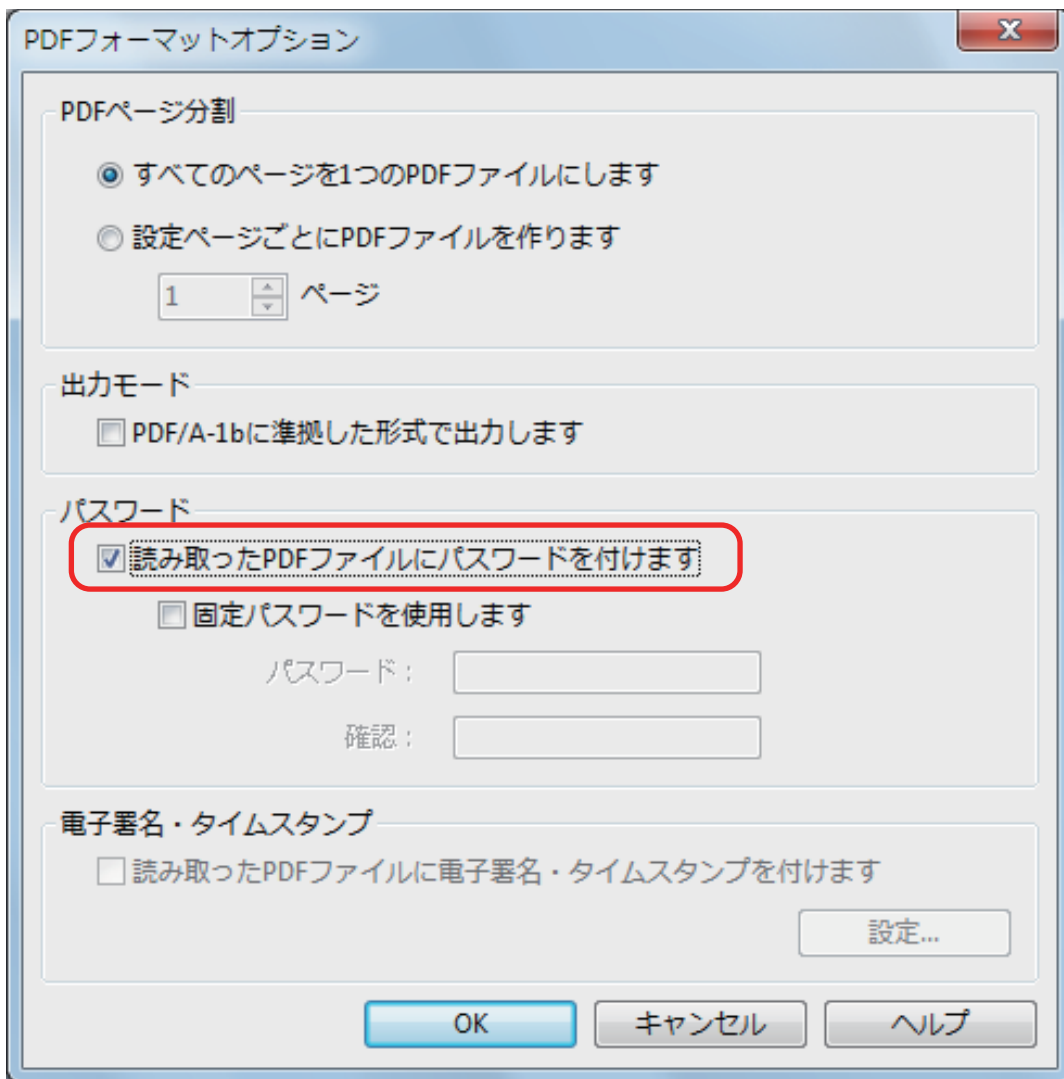
- クイックメニューを使用して読み取る場合は、パスワードを設定できません。
- 作成した PDF/A ファイルにパスワードを設定すると、PDF/A-1b に準拠しなくなります。
- ScanSnap 設定画面の「アプリ選択」タブの「アプリケーションの選択」で、以下を選択して PDF ファイルにパスワードを設定すると、各アプリケーションからのブック補正ができなくなります。
  - ScanSnap Organizer
  - 楽2ライブラリ Smart に保存
  - Magic Desktop に保存

1. ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブの「ファイル形式の選択」で「PDF (\*.pdf)」を選択してから、[オプション] ボタンをクリックします。



⇒ 「PDF フォーマットオプション」画面が表示されます。

2. 「読み取った PDF ファイルにパスワードを付けます」チェックボックスにチェックを付けます。



### ヒント

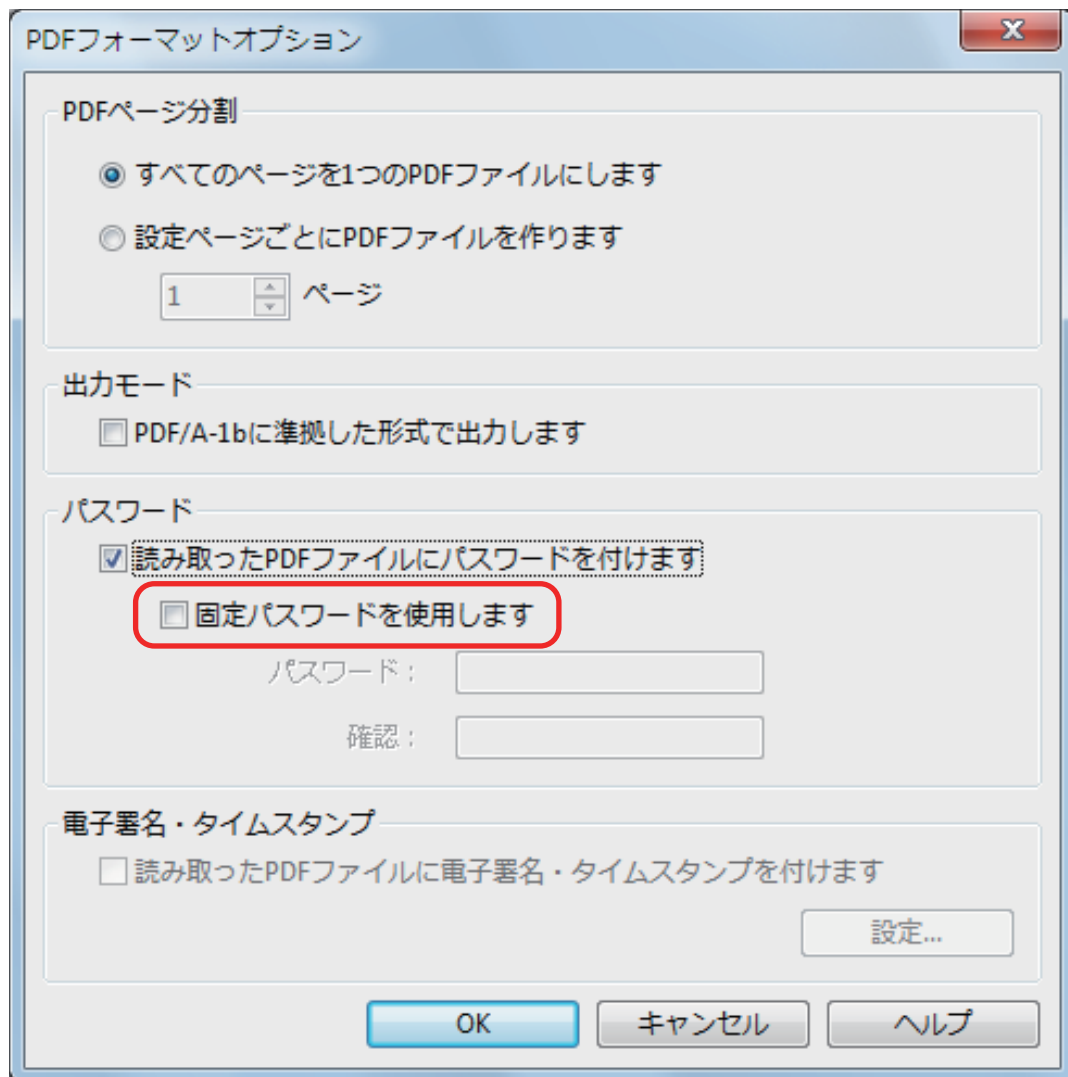
ScanSnap 設定画面の「アプリ選択」タブの「アプリケーションの選択」で以下を選択している場合は、「読み取った PDF ファイルにパスワードを付けます」チェックボックスにチェックを付けると、メッセージが表示されます。

- ScanSnap Organizer
- 楽2ライブラリ Smart に保存
- Magic Desktop に保存

内容を確認してから、[OK] ボタンをクリックしてメッセージを閉じてください。

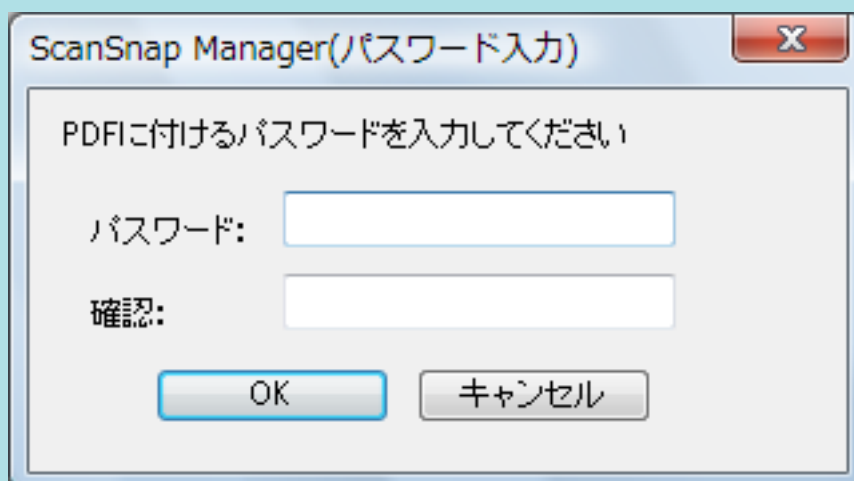
- 読み取りごとにパスワードを入力する場合  
「固定パスワードを使用します」チェックボックスのチェックを外します。  
読み取りごとに、異なるパスワードを設定できます。





#### ヒント

設定後に原稿を読み取ると、以下の画面が表示されるようになります。

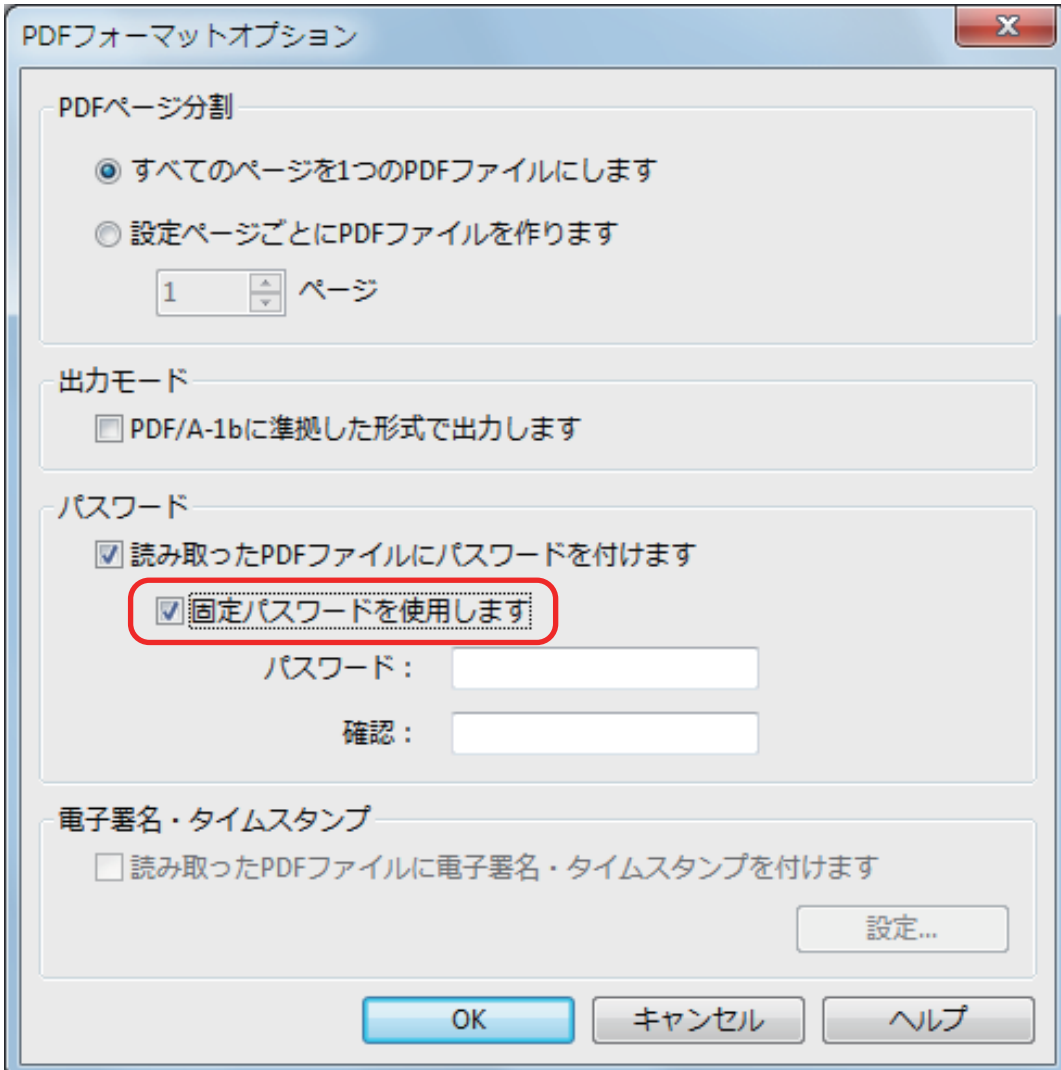


「パスワード」、「確認」の欄に、同じパスワードを入力して、[OK] ボタンをクリックしてください。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、パスワードのない通常の PDF ファイルとして保存されます。

- 事前に設定した固定パスワードを使用する場合

1. 「固定パスワードを使用します」チェックボックスにチェックを付けます。  
すべての PDF ファイルに、同じパスワードが設定されます。読み取りごとに、パスワードを設定する必要はありません。



PDFフォーマットオプション

PDFページ分割

- すべてのページを1つのPDFファイルにします
- 設定ページごとにPDFファイルを作ります

1 ページ

出力モード

- PDF/A-1bに準拠した形式で出力します

パスワード

- 読み取ったPDFファイルにパスワードを付けます
- 固定パスワードを使用します

パスワード:

確認:

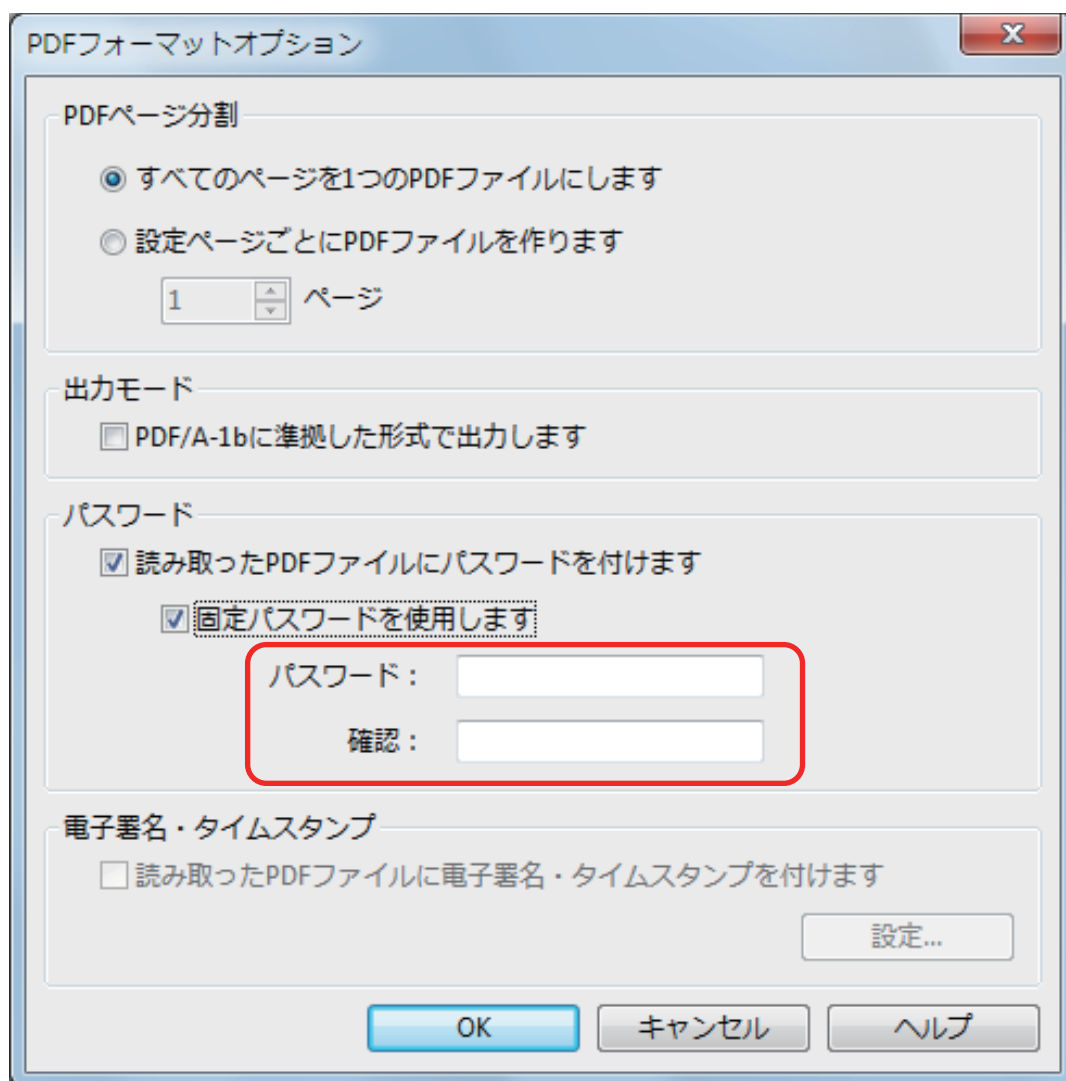
電子署名・タイムスタンプ

- 読み取ったPDFファイルに電子署名・タイムスタンプを付けます

設定...

OK キャンセル ヘルプ

2. 「パスワード」および「確認」の欄に、同じパスワードを入力します。



**3.** [OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

**重要**

パスワードを忘れると、PDF ファイルを開けなくなりますので注意してください。

**ヒント**

パスワードには、以下の半角文字および半角スペースを設定できます。

- 最大文字数：半角 16 文字
- 半角英数字：A~Z、a~z、0~9
- 半角記号：!"#\$%&'()\*+,-./:;<=>@[¥]^\_`{|}~

# PDF/A ファイルを作成する

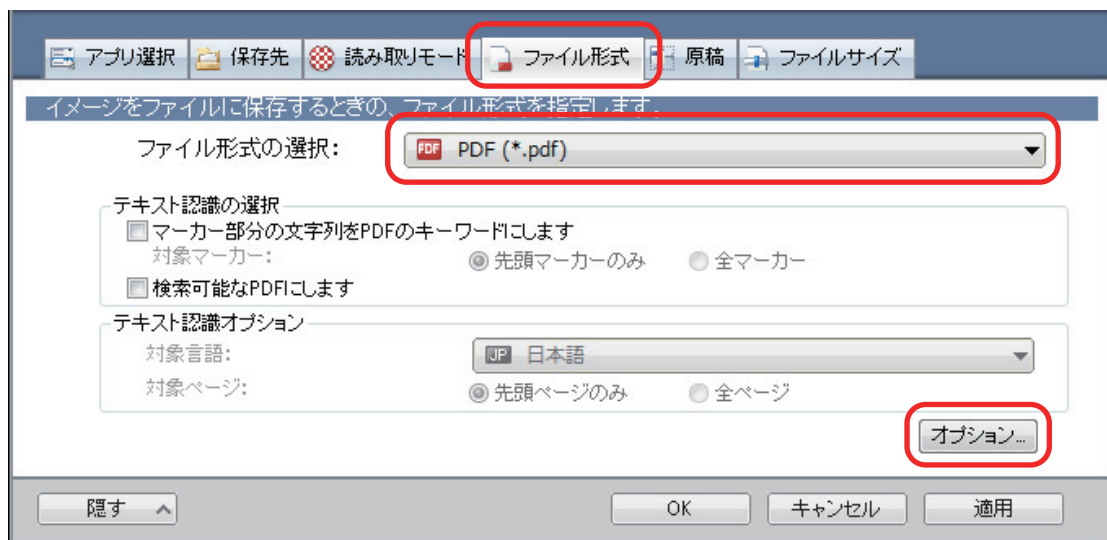
PDF/A-1b に準拠した PDF/A ファイルを作成できます。

PDF/A ファイルは、電子文書の長期保存および管理に対応したファイル形式です。長期の保存が必要な書類をイメージデータ化するファイル形式として適しています。PDF/A-1b は、PDF/A の準拠レベルの 1 つです。

## 重要

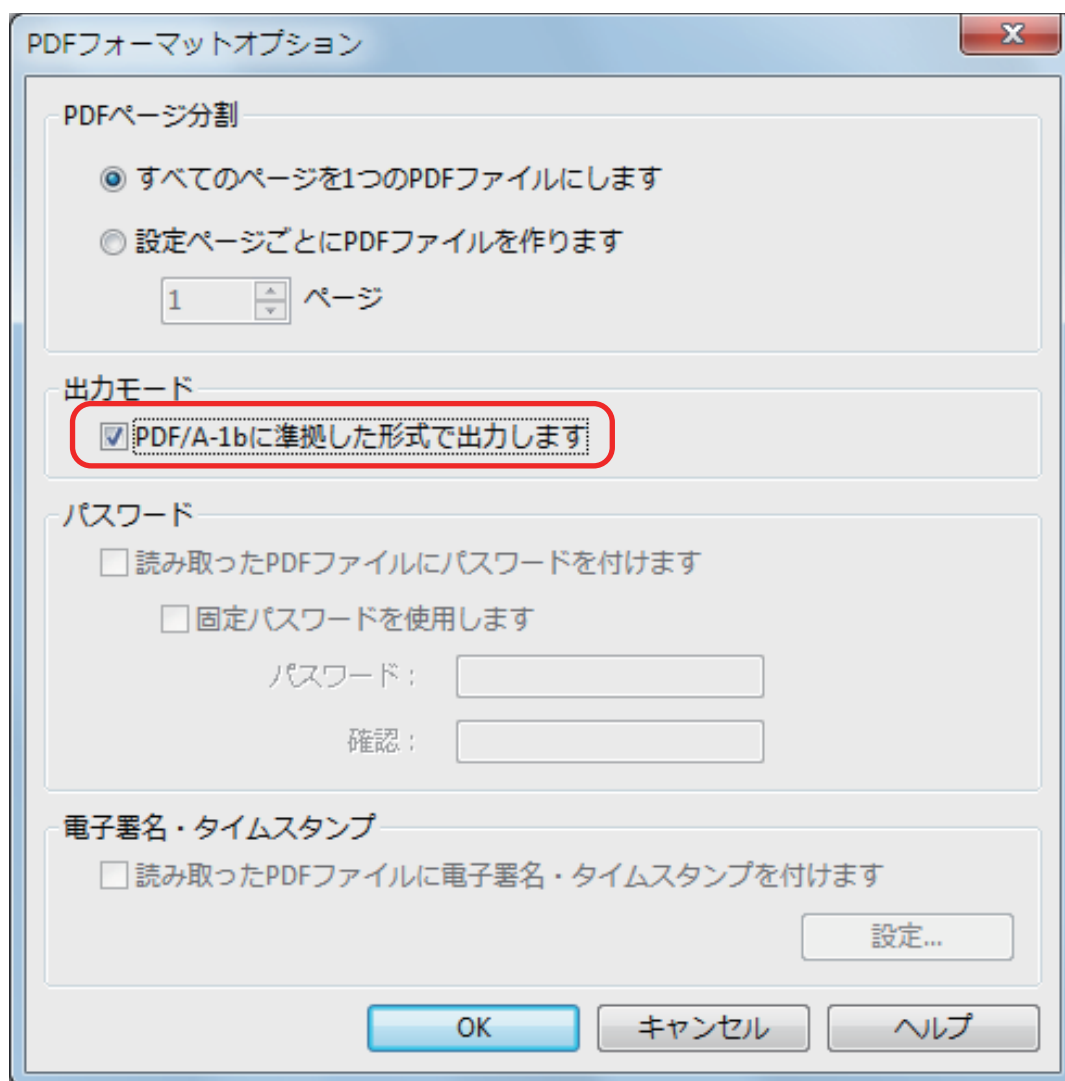
- 作成した PDF/A ファイルを編集すると、PDF/A-1b に準拠しなくなる場合があります。
- PDF/A ファイルには、以下を設定できません。
  - パスワード
  - 電子文書・タイムスタンプ（SV600 除く）

1. ScanSnap 設定画面の「ファイル形式」タブの「ファイル形式の選択」で「PDF (\*.pdf)」を選択してから、[オプション] ボタンをクリックします。

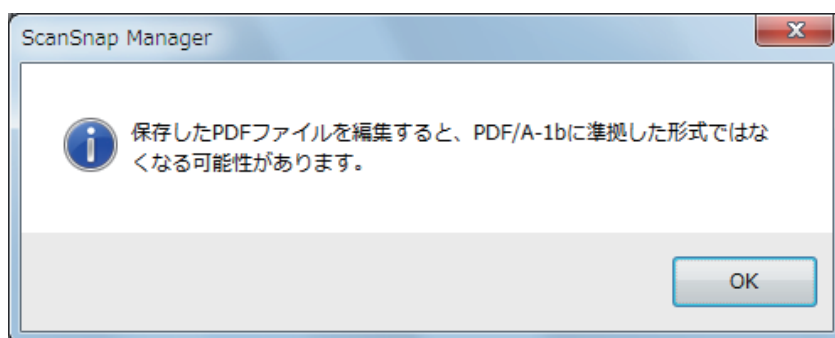


⇒ 「PDF フォーマットオプション」画面が表示されます。

2. 「PDF/A-1b に準拠した形式で出力します」チェックボックスにチェックを付けます。



⇒ 以下のメッセージが表示されます。



3. [OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

## 自動的に原稿の読み取りを開始する (SV600)

以下の機能を使用して、原稿の読み取りを自動的に開始できます。

- ページめくり検出

ページをめくったことを ScanSnap が自動で検出して、継続読み取りを開始します。

本を複数ページ継続して読み取る場合に便利です。

### 重要

- ページめくり検出を使用する場合、セットする本は 1 冊だけにしてください。
- ページを速くめくると正常に検出されない場合があります。ページめくり検出が機能しない場合は、ゆっくりページをめくってください。

### ヒント

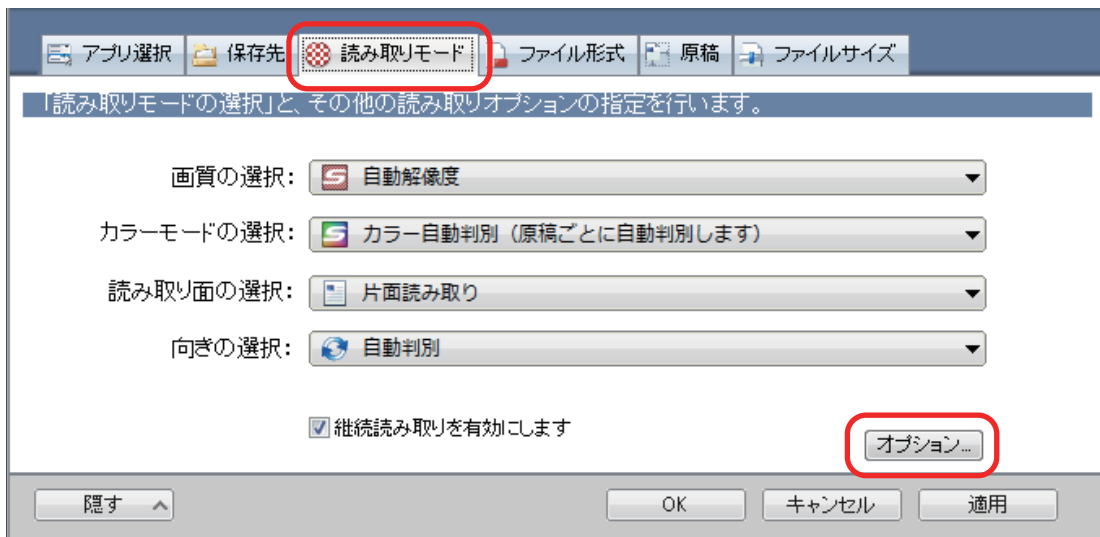
原稿を読み取るときに、ScanSnap の [Scan] ボタンを 2 秒以上長押ししても、ページめくり検出を有効にできます。この場合、1 回の読み取りを終了した時点で、ページめくり検出は無効に戻ります。

- タイマーモード

[Scan] ボタンを押してから原稿の読み取りが開始されるまでの時間を設定したり、設定した時間ごとに継続して原稿を読み取ったりできます。

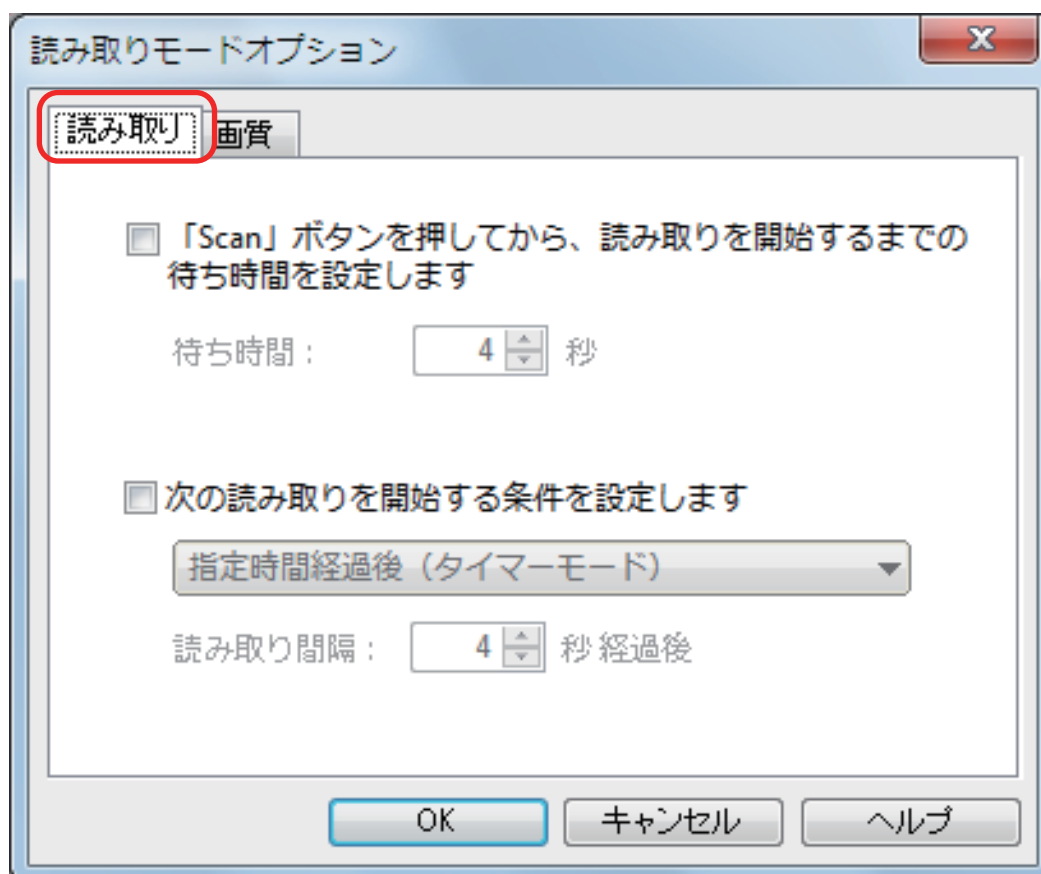
原稿の種類を問わず、複数の原稿を継続して読み取る場合に便利です。

### 1. ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブで、[オプション] ボタンをクリックします。



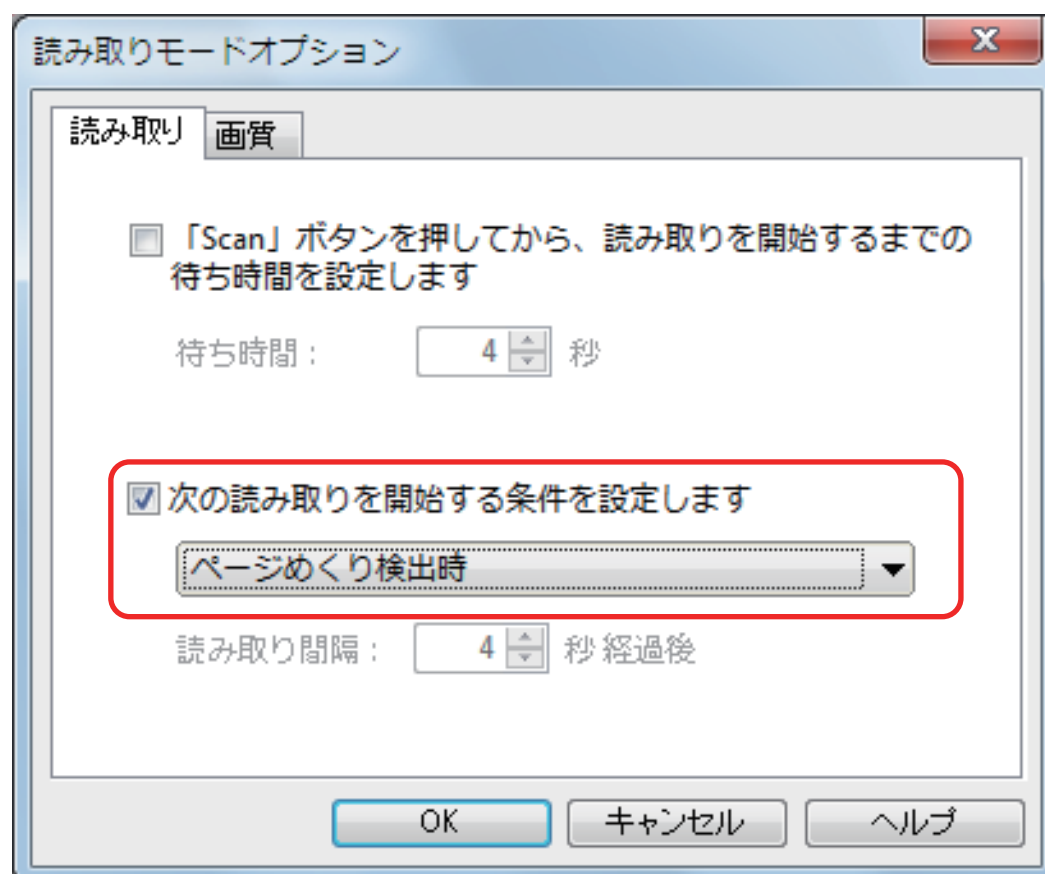
⇒ 「読み取りモードオプション」画面が表示されます。

### 2. 「読み取り」タブをクリックします。



- ページめくり検出の設定

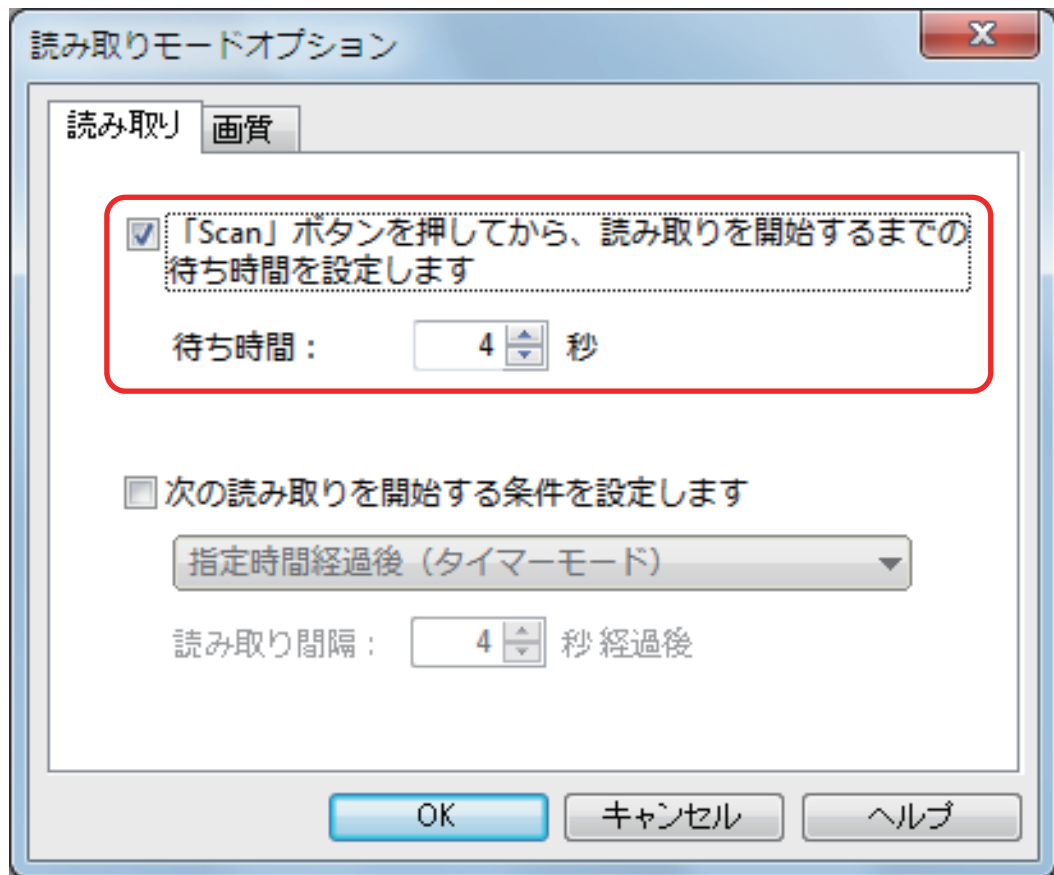
「次の読み取りを開始する条件を設定します」チェックボックスにチェックを付けてから、「ページめくり検出時」を選択します。



## ● タイマーモードの設定

- 原稿の読み取りが開始されるまでの時間を設定する場合

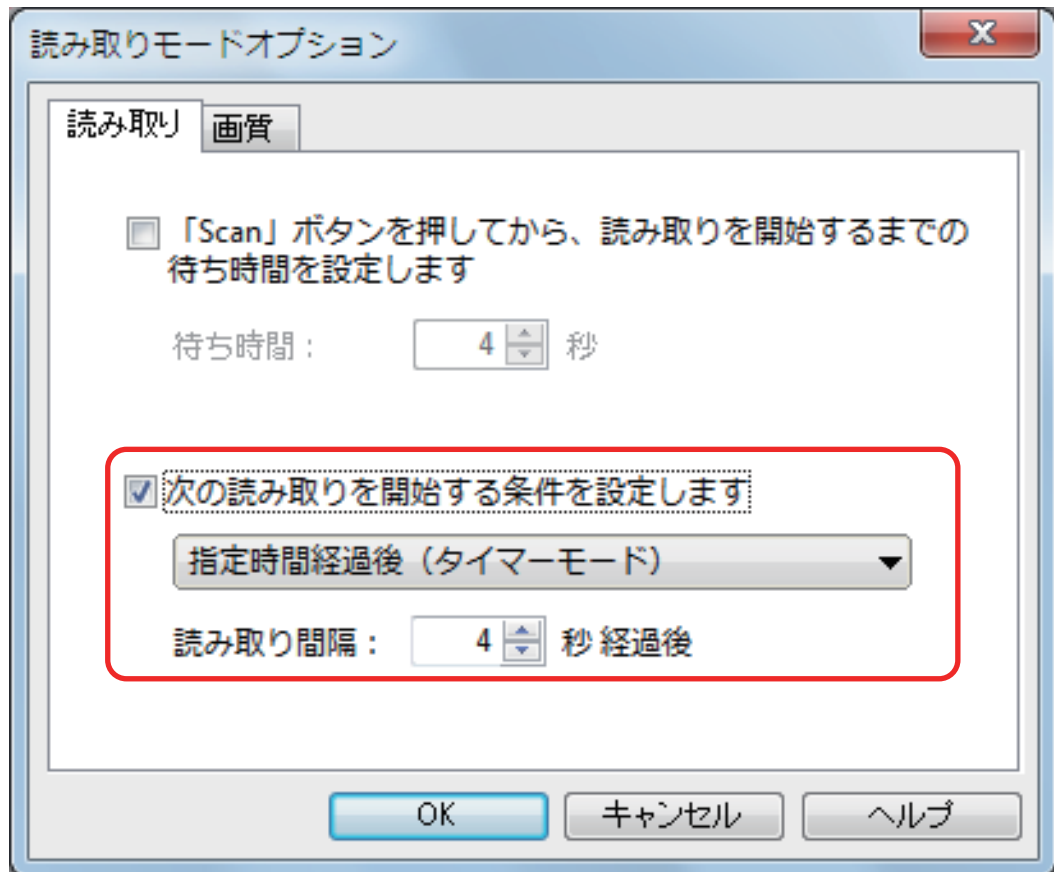
「Scan」ボタンを押してから、読み取りを開始するまでの待ち時間を設定します」  
チェックボックスにチェックを付けてから、「待ち時間」を指定します。



- 設定した時間ごとに継続読み取りするよう設定する場合

1. 「次の読み取りを開始する条件を設定します」チェックボックスにチェックを付けてから、「指定時間経過後 (タイマーモード)」を選択します。
2. 「読み取り間隔」を指定します。





3. [OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

# イメージデータの修正 (SV600)

アプリケーションと連携する前に、イメージデータを修正できます。イメージデータを修正できるのは、以下の場合です。

- 「原稿を読み取った場合」(135 ページ)
- 「本を読み取った場合」(140 ページ)
- 「一度に複数の原稿を読み取った場合」(151 ページ)

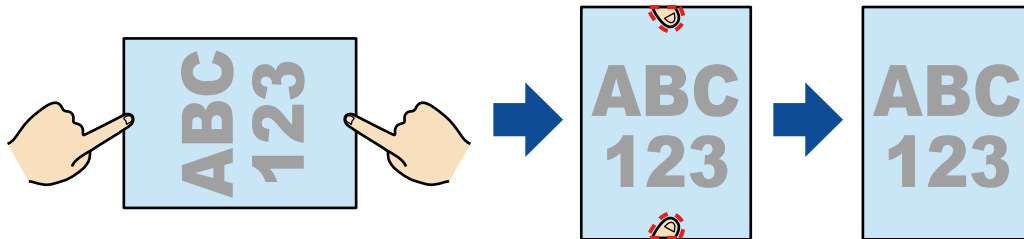
## 原稿を読み取った場合

ScanSnap で原稿を読み取った場合に、イメージデータを以下のように修正できます。

- 「写り込んだ指を塗りつぶす（原稿を読み取ったとき）」(136 ページ)

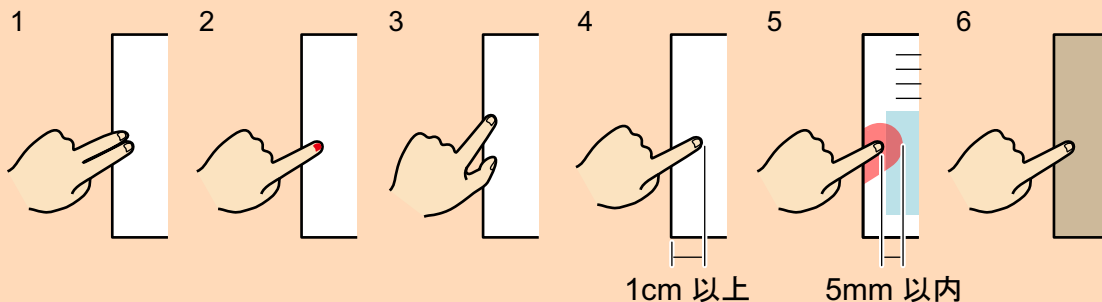
## 写り込んだ指を塗りつぶす（原稿を読み取ったとき）

原稿を読み取ったときに写り込んだ指を塗りつぶします。



### 重要

- 原稿をセットするときは、原稿の角を押さえないでください。  
イメージデータの切り出し枠が正しく認識されないことがあります。
- 写り込んだ指を塗りつぶすには、指を検出する必要があります。  
以下のように原稿を読み取った場合は、写り込んだ指がうまく検出されないことがあります。
  - 原稿を押さえる指が2本以上触れ合っている状態で読み取る（図1）
  - マニキュアやつけ爪をしている指で原稿を押さえて読み取る（図2）
  - 指を曲げた状態で原稿を押さえて読み取る（図3）
  - 原稿を押さえる指が1cm以上写り込むような状態で原稿を読み取る（図4）
  - 指の周り（5mm以内）に文字やイメージがある状態で原稿を読み取る（図5）
  - 地色が白以外の原稿を読み取る（図6）
  - ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブの「カラーモードの選択」で、「グレー」、「白黒」、または「カラー高圧縮」を設定して原稿を読み取る

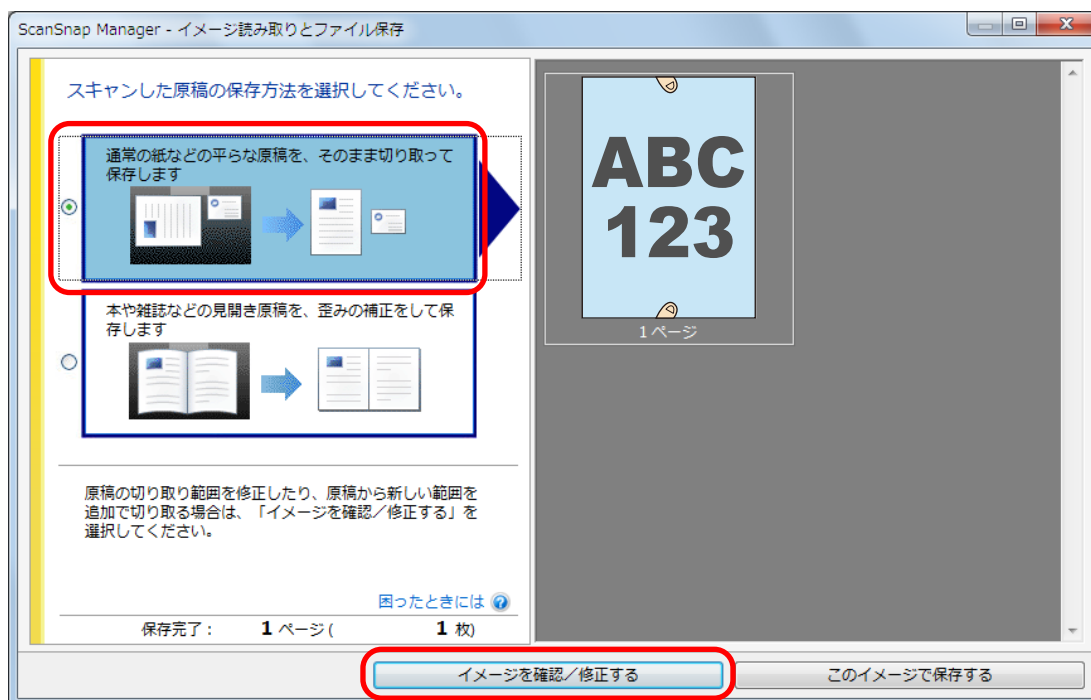


### ヒント

- 塗りつぶせる指の本数は、上下左右それぞれ5本までです。
- イメージデータの画質の劣化を防ぐため、指は複数選択のうえ、できるだけ一度で塗りつぶしてください。

1. 原稿を読み取ったあとに表示される画面で、「通常の紙などの平らな原稿を、そのまま切り取って保存します」を選択して、[イメージを確認／修正する] ボタンをクリックします。

読み取り方法の詳細は、かんたんガイドを参照してください。

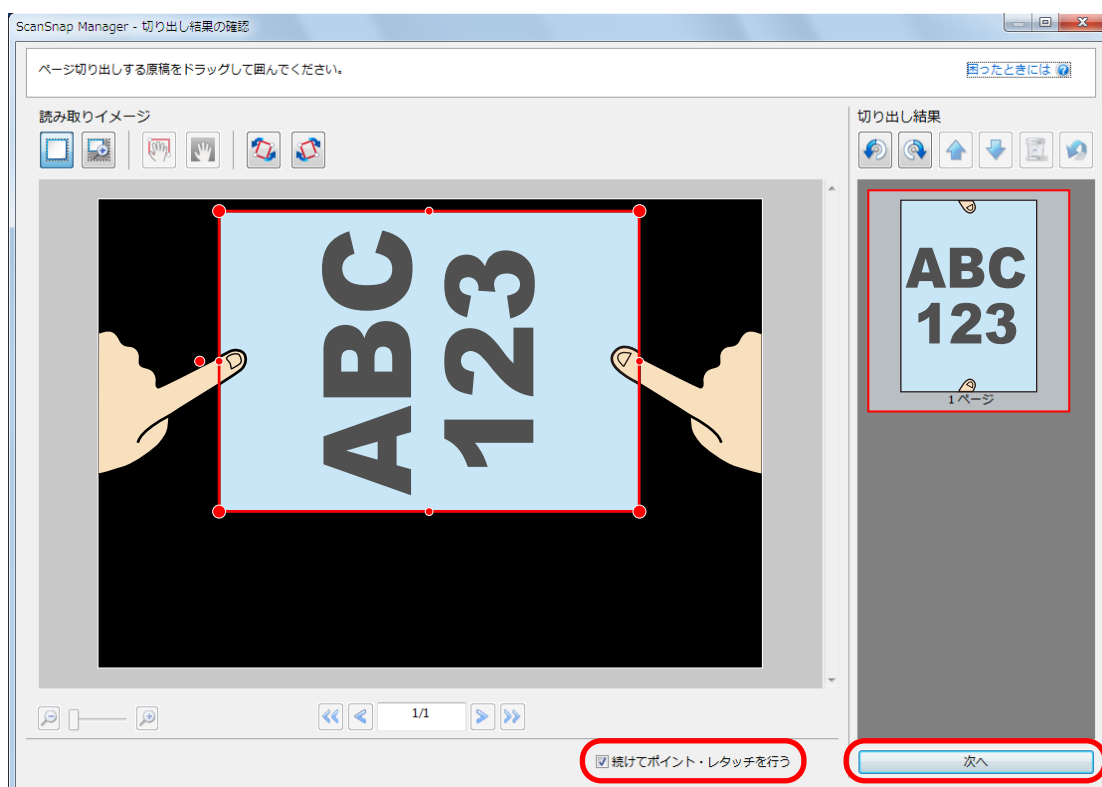


⇒ 「ScanSnap Manager - 切り出し結果の確認」画面が表示されます。

2. 写り込んだ指を塗りつぶすイメージデータを選択します。
3. 「続けてポイント・レタッチを行う」チェックボックスにチェックを付けて、[次へ] ボタンをクリックします。

#### ヒント

「ScanSnap Manager - 補正ビューア」画面では、イメージデータの向き、および切り出し範囲を修正できません。事前に、「ScanSnap Manager - 切り出し結果の確認」画面でイメージデータの修正を済ませてください。



⇒ 「ScanSnap Manager - 補正ビューア」画面がポイント・レタッチモードの状態が表示されます。

#### 4. 写り込んだ指の上で、マウスをクリックします。

⇒ 指を検出すると、輪郭線が赤色の破線で表示されます。

輪郭線の範囲を変更する場合は、輪郭線上の白い点をドラッグしてください。



#### ヒント

写り込んだ指が検出されなかった場合は、指の輪郭線がデフォルトの形で表示されます。その場合は、輪郭線上の白い点をドラッグして、写り込んだ指に輪郭線を合わせてください。



**5. [補正実行] ボタンをクリックします。**

⇒ 写り込んだ指が塗りつぶされます。

写り込んだ指の塗りつぶしが終了したら、[保存して終了] ボタンをクリックしてください。

## 本を読み取った場合

ブック補正を使用して、イメージデータを修正できます。

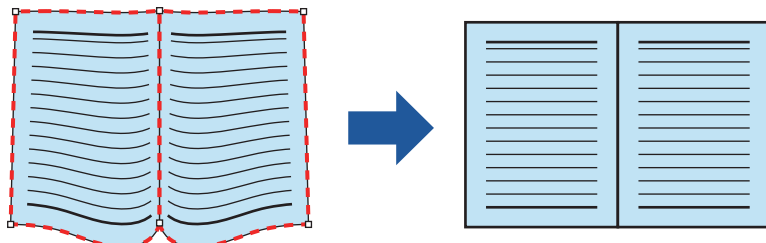
ブック補正とは、ScanSnap で読み取った本のイメージデータに、以下の補正処理をすることです。

- 「本のゆがみを補正する」(141 ページ)
- 「見開きのページを分割する」(145 ページ)
- 「写り込んだ指を塗りつぶす (本を読み取ったとき)」(148 ページ)



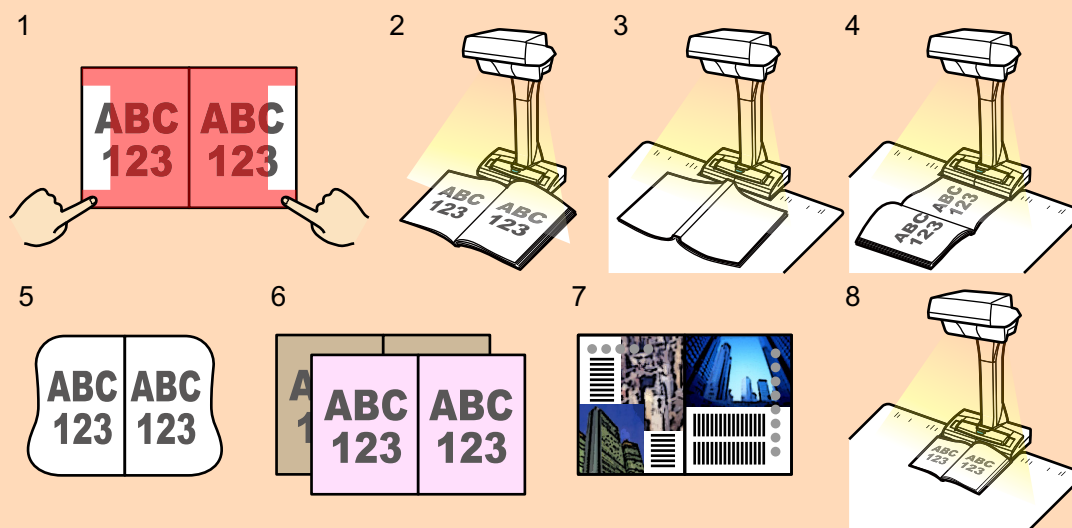
## 本のゆがみを補正する

本のイメージデータのゆがみを補正します。





### 重要

- ゆがみを補正するには、本の輪郭を検出する必要があります。  
以下のように原稿を読み取った場合は、本の輪郭がうまく検出されないことがあります。
  - 本を押さえる範囲外を押さえて読み取る（図 1）
  - 背景マットを敷かずに読み取る（図 2）
  - ページを開いた状態で伏せて読み取る（図 3）
  - ページを縦に開いて読み取る（図 4）
  - 長方形または正方形以外の本を読み取る（図 5）
  - 漫画雑誌などの地色が白以外の本を読み取る（図 6）
  - カタログや雑誌などの余白が少ない本を読み取る（図 7）
  - 見開きの状態で、A5 サイズ（148 × 210mm）よりも小さい本を読み取る（図 8）



- 1つのページに対してブック補正を複数実行する場合は、以下の順序で編集してください。

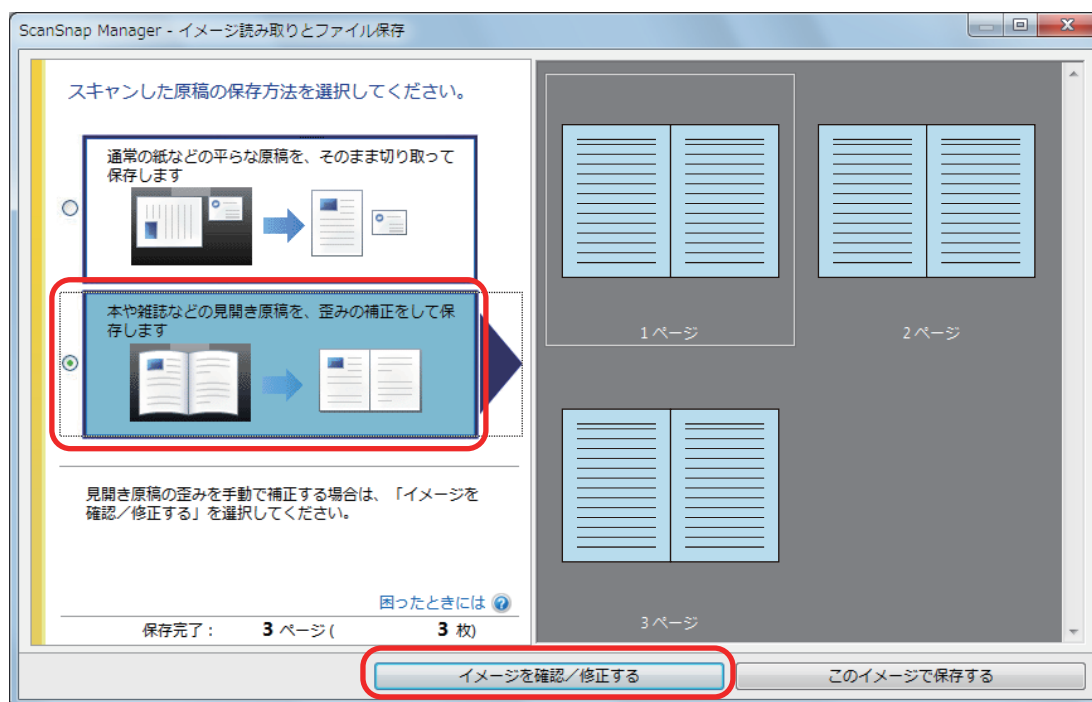
1.  ブック補正モードでの編集
  - 本のゆがみの補正
  - 見開きページの分割

2.  ポイント・レタッチモードでの編集
  - 写り込んだ指の塗りつぶし

ポイント・レタッチモードで編集したあとに、ブック補正モードで編集すると、ポイント・レタッチモードでの編集が無効になります。

1. 本を読み取ったあとに表示される画面で、「本や雑誌などの見開き原稿を、歪みの補正をして保存します」を選択して、[イメージを確認／修正する] ボタンをクリックします。

読み取り方法の詳細は、かんたんガイドを参照してください。



⇒ 「ScanSnap Manager - 補正ビューア」画面が表示されます。

2. 「保存イメージ」で、ゆがみを補正するページを選択します。



3. をクリックします。

⇒ 本の輪郭を自動検出して、ページ上に以下が表示されます。

- コーナー一点  
本の角と中央の折り目の両端に表示されます。
- 輪郭線  
本の輪郭が赤い色の破線で表示されます。

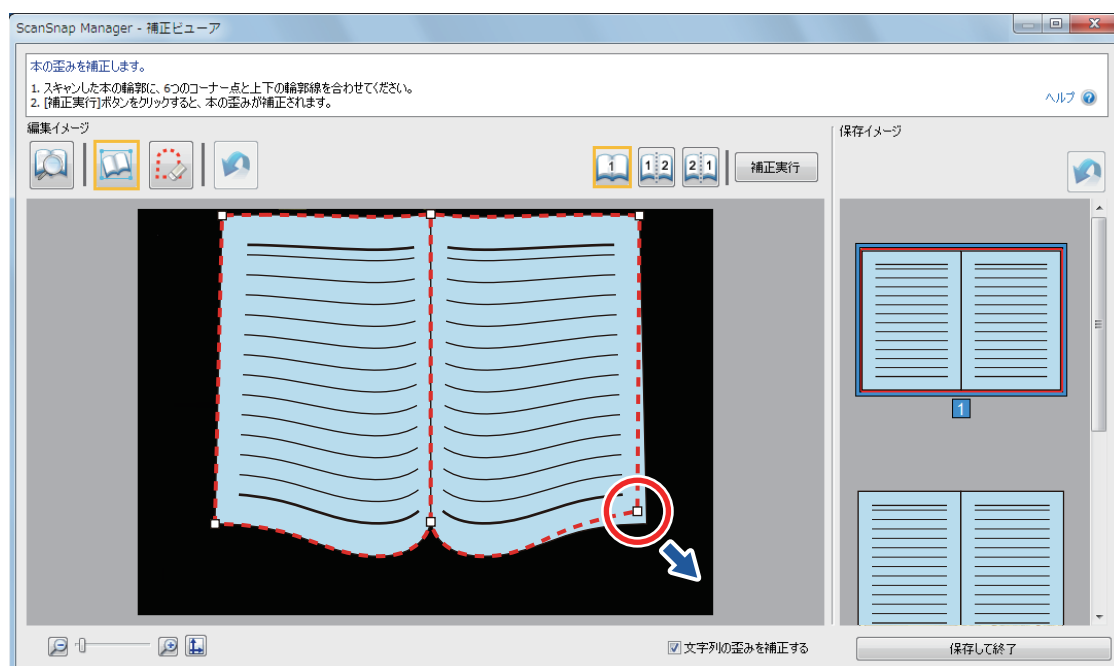
#### ヒント



出力形式ボタンは、 を選択してください。

4. ページ上でコーナー一点をドラッグして、本の角と、中央の折り目の両端を任意の位置に移動します。

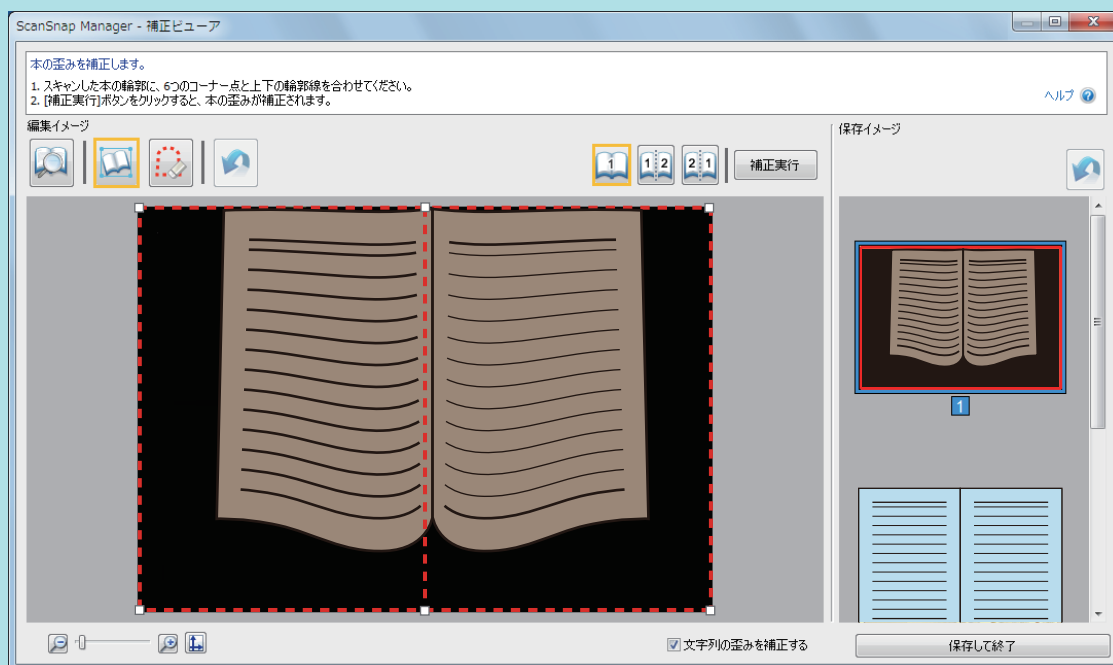
本の表紙および裏表紙の場合は、中央の折り目にあたる輪郭線を、左右の輪郭線に対して平行にしてください。



本の輪郭がずれている場合は、上下の輪郭線をドラッグして補正します。

### ヒント

本の輪郭が検出されなかった場合は、コーナー点と輪郭線が、画面の全体に表示されます。その場合は、コーナー点と輪郭線を本の輪郭に合わせてください。



コーナー点と輪郭線は、以下の順序で修正してください。

#### 1. コーナー点の修正

以下のどちらかの方法で、コーナー点の位置を修正できます。

- コーナー点を移動したい位置で、マウスをダブルクリックする
    - ⇒ マウスをダブルクリックした位置に、コーナー点が自動的に移動します。
- うまく修正できない場合は、コーナー点をドラッグして移動してください。

- コーナー点を、移動したい位置までドラッグする  
コーナー点は、本の中央にある折り目の両端から、本の角の順番で修正してください。

## 2. 輪郭線の修正

輪郭線をドラッグして、本の輪郭に合わせます。輪郭に合わせにくい場合は、輪郭線を少しずつ調整してください。

コーナー点付近の輪郭線をクリックしてつまんでから、本の輪郭をなぞるように、ドラッグ&ドロップを繰り返すと、輪郭を合わせやすいです。

## 5. [補正実行] ボタンをクリックします。

⇒ 補正を適用する対象を確認するメッセージが表示されます。

## 6. [選択しているページ] ボタンをクリックします。

⇒ ページのゆがみが補正されます。

ページのゆがみの補正が終了したら、[保存して終了] ボタンをクリックしてください。

### ヒント

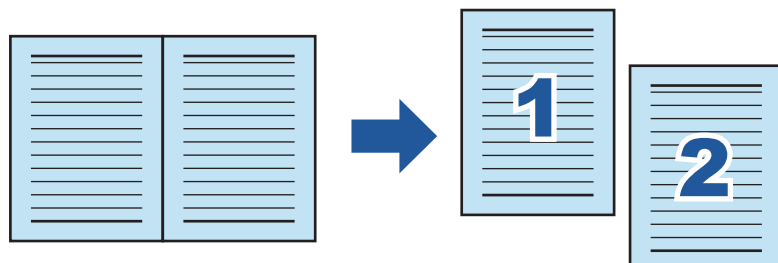
- 続けてほかのページのゆがみを補正する場合は、「保存イメージ」からゆがみを補正するページを選択して、手順 2. ～ 6. を繰り返してください。
- イメージデータの文字列、線、および図形の水平方向のゆがみが大きい場合は、「文字列の歪みを補正する」チェックボックスのチェックを外してください。

原稿に湾曲した線や図、斜めの線がある場合は、ゆがみが正しく補正されず、レイアウトが不自然になることがあります。

## 見開きのページを分割する



見開きで読み取ったページを、右ページと左ページに分割できます。

JPEG ファイルの場合は、ページを分割するとファイル自体が2つに分割されます。



### 重要

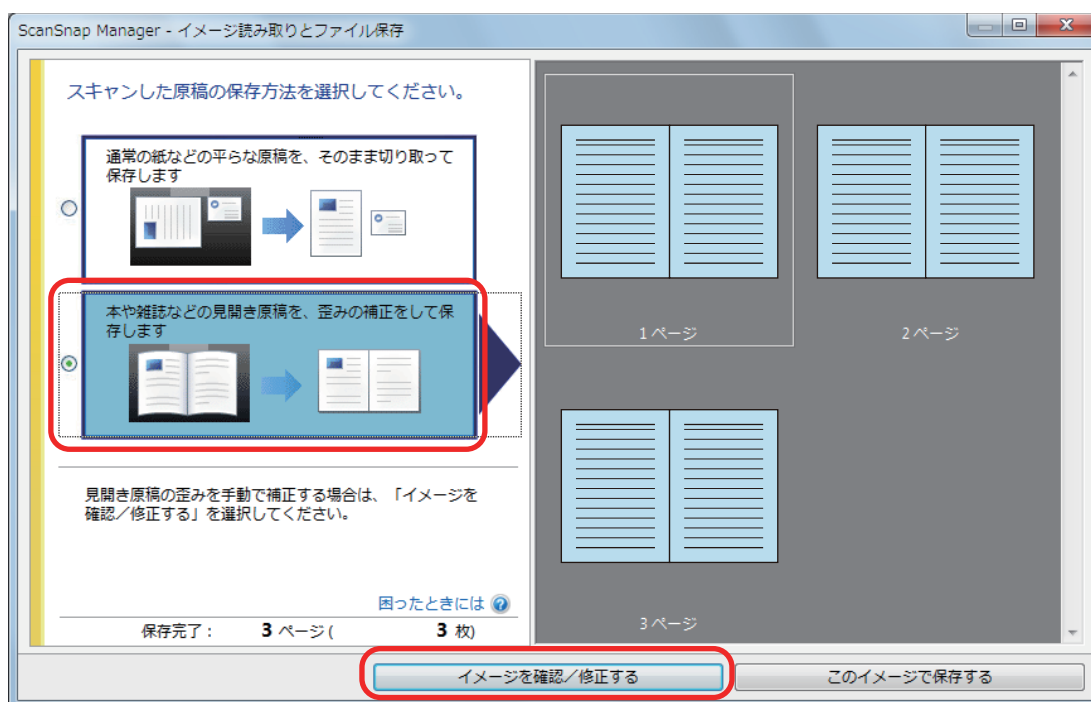
1つのページに対してブック補正を複数実行する場合は、以下の順序で編集してください。

-  ブック補正モードでの編集
  - 本のゆがみの補正
  - 見開きページの分割
-  ポイント・レタッチモードでの編集
  - 写り込んだ指の塗りつぶし

ポイント・レタッチモードで編集したあとに、ブック補正モードで編集すると、ポイント・レタッチモードでの編集が無効になります。

1. 本を読み取ったあとに表示される画面で、「本や雑誌などの見開き原稿を、歪みの補正をして保存します」を選択して、[イメージを確認／修正する] ボタンをクリックします。

読み取り方法の詳細は、かんたんガイドを参照してください。



⇒ 「ScanSnap Manager - 補正ビューア」画面が表示されます。

## 2. 「保存イメージ」で、分割するページを選択します。



3.

をクリックしてから、

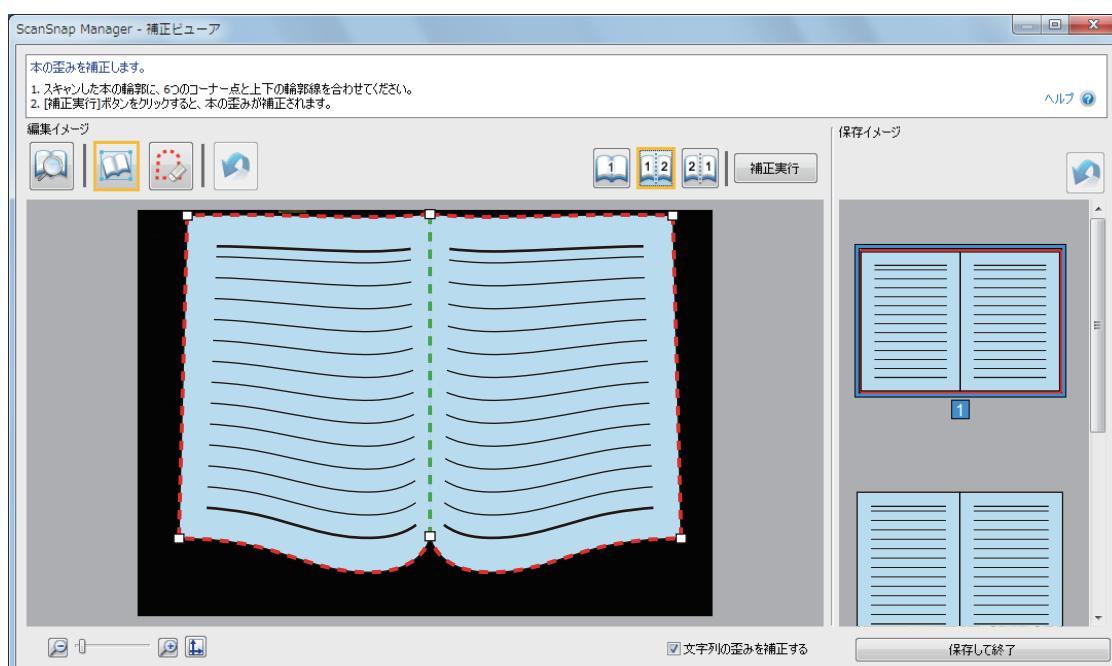


または



をクリックします。

⇒ ページ上に、分割線が緑色の破線で表示されます。



分割線の位置が本の中央の折り目からずれている場合は、コーナー点をドラッグして修正します。

## 4. [補正実行] ボタンをクリックします。

⇒ 分割を適用する対象を確認するメッセージが表示されます。

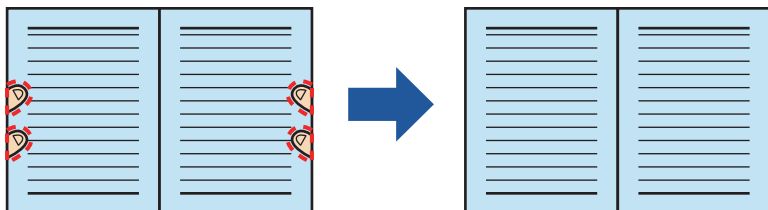
**5. [選択しているページ] ボタンをクリックします。**

⇒ ページが分割されます。

ページの分割が終了したら、[保存して終了] ボタンをクリックしてください。

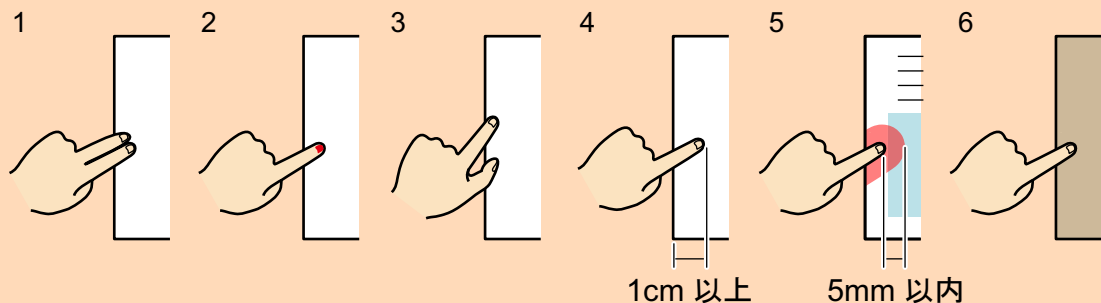
## 写り込んだ指を塗りつぶす（本を読み取ったとき）

本を読み取ったときに写り込んだ指を塗りつぶします。





### 重要

- 写り込んだ指を塗りつぶすには、指を検出する必要があります。  
以下のように原稿を読み取った場合は、写り込んだ指がうまく検出されないことがあります。
  - 本を押さえる指が2本以上触れ合っている状態で読み取る（図1）
  - マニキュアやつけ爪をしている指で本を押さえて読み取る（図2）
  - 指を曲げた状態で本を押さえて読み取る（図3）
  - 本を押さえる指が1cm以上写り込むような状態で本を読み取る（図4）
  - 指の周り（5mm以内）に文字やイメージがある状態で本を読み取る（図5）
  - 漫画雑誌などの地色が白以外の本を読み取る（図6）
  - ScanSnap 設定画面の「読み取りモード」タブの「カラーモードの選択」で、「グレー」、「白黒」、または「カラー高圧縮」を設定して本を読み取る



- 1つのページに対してブック補正を複数実行する場合は、以下の順序で編集してください。

- 
 ブック補正モードでの編集
  - 本のゆがみの補正
  - 見開きページの分割
- 
 ポイント・レタッチモードでの編集
  - 写り込んだ指の塗りつぶし

ポイント・レタッチモードで編集したあとに、ブック補正モードで編集すると、ポイント・レタッチモードでの編集が無効になります。

### ヒント

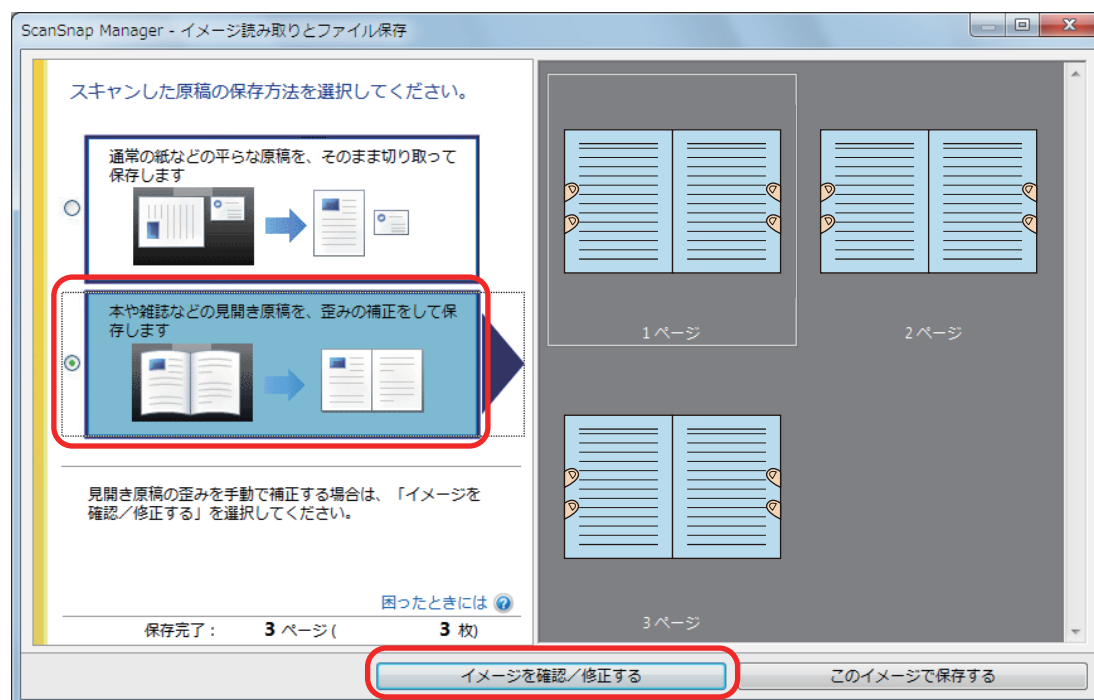
- 塗りつぶせる指の本数は、左右それぞれ5本までです。



- イメージデータの画質の劣化を防ぐため、指は複数選択のうえ、できるだけ一度で塗りつぶしてください。

1. 本を読み取ったあとに表示される画面で、「本や雑誌などの見開き原稿を、歪みの補正をして保存します」を選択して、[イメージを確認／修正する] ボタンをクリックします。

読み取り方法の詳細は、かんたんガイドを参照してください。



⇒ 「ScanSnap Manager - 補正ビューア」画面が表示されます。

2. 「保存イメージ」で、写り込んだ指を塗りつぶすページを選択します。

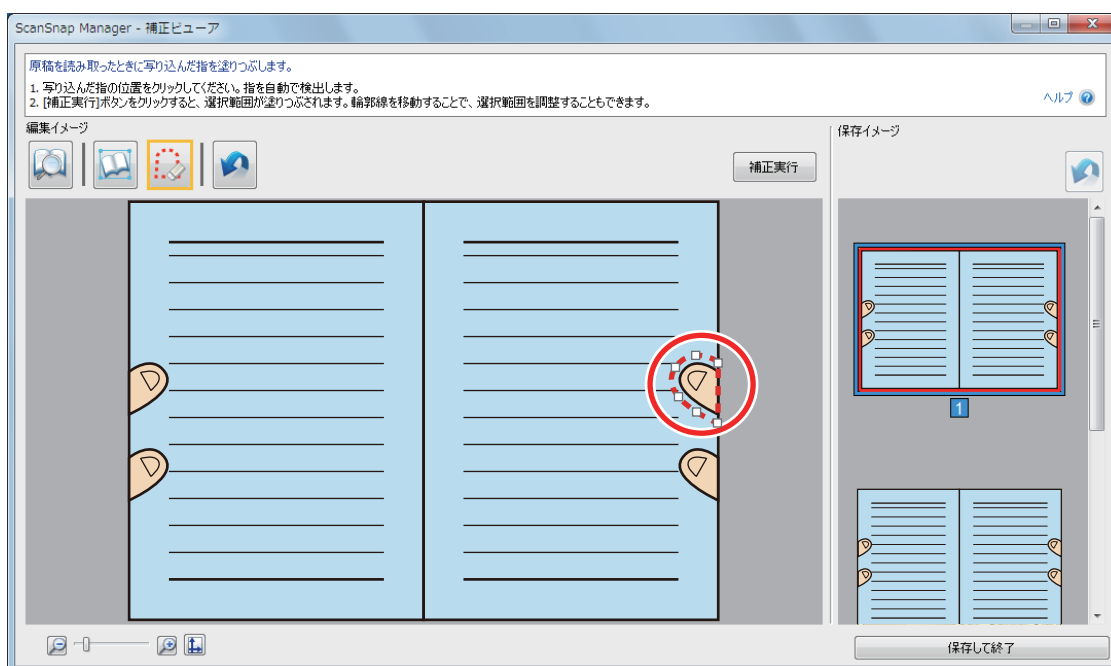


3. をクリックします。

4. 写り込んだ指の上で、マウスをクリックします。

⇒ 指を検出すると、輪郭線が赤色の破線で表示されます。

輪郭線の範囲を変更する場合は、輪郭線上の白い点をドラッグしてください。



## ヒント

写り込んだ指が検出されなかった場合は、指の輪郭線がデフォルトの形で表示されます。  
その場合は、輪郭線上の白い点をドラッグして、写り込んだ指に輪郭線を合わせてください。



## 5. [補正実行] ボタンをクリックします。

⇒ 写り込んだ指が塗りつぶされます。

写り込んだ指の塗りつぶしが終了したら、[保存して終了] ボタンをクリックしてください。

## 一度に複数の原稿を読み取った場合

ScanSnap で、複数枚の原稿を一度に読み取った場合に、イメージデータを以下のように修正できます。

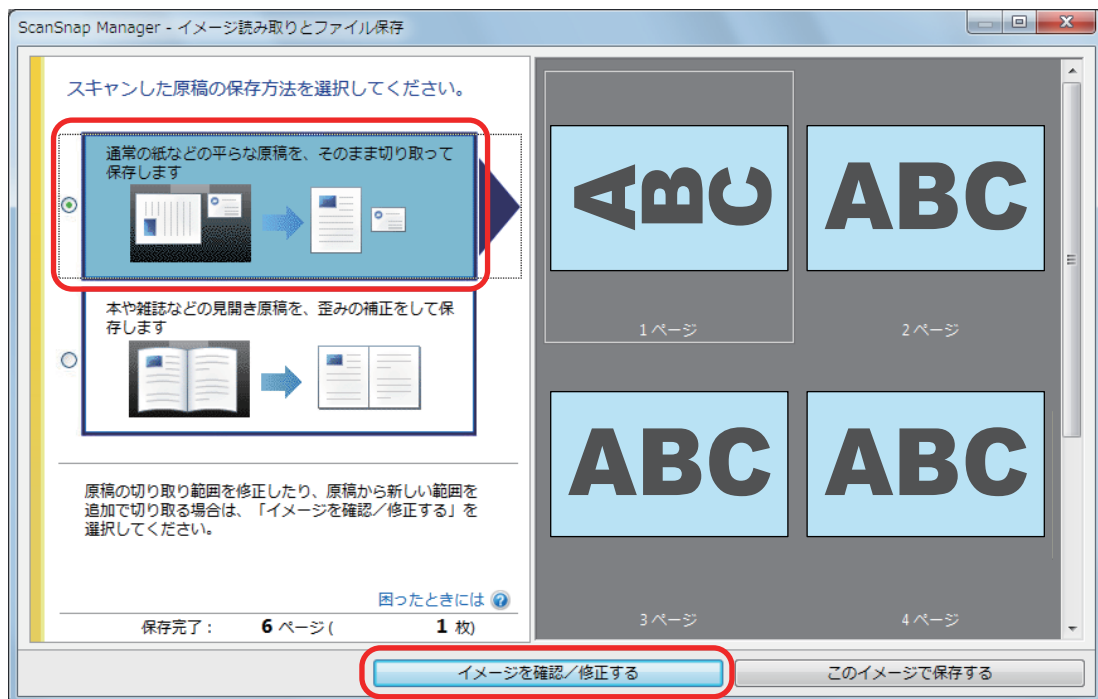
- 「イメージデータの向きを修正する」(152 ページ)
- 「切り出し範囲を修正する」(155 ページ)
- 「必要なイメージデータを追加する」(157 ページ)
- 「不要なイメージデータを削除する」(159 ページ)

## イメージデータの向きを修正する

傾いたり逆向きに読み取られたりしたイメージデータの向きを修正できます。

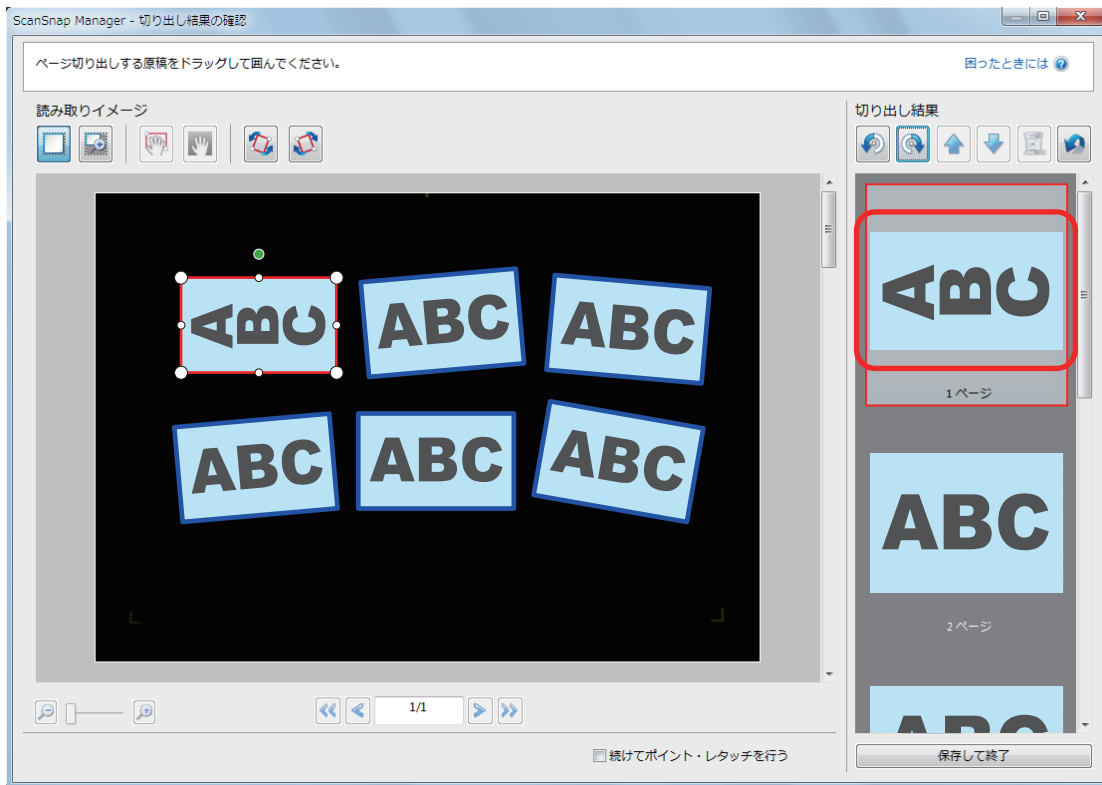
1. 一度に複数の原稿を読み取ったあとに表示される画面で、「通常の紙などの平らな原稿を、そのまま切り取って保存します」を選択して、「イメージを確認／修正する」ボタンをクリックします。

読み取り方法の詳細は、かんたんガイドを参照してください。

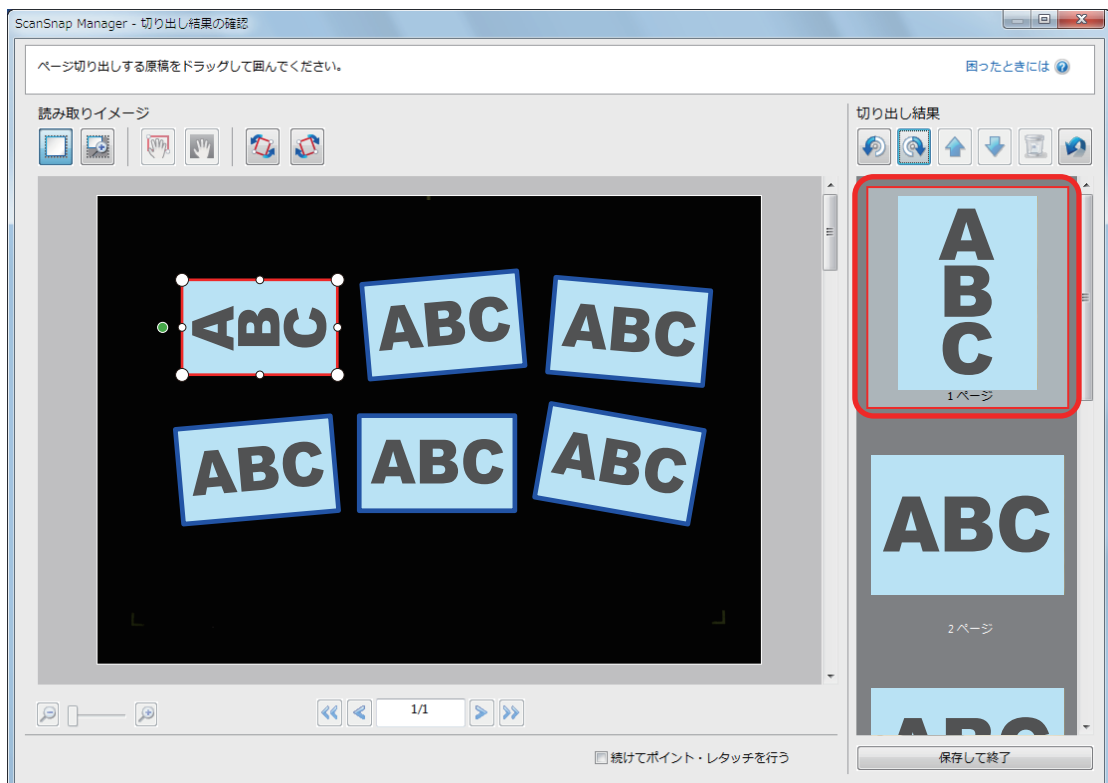


⇒ 「ScanSnap Manager - 切り出し結果の確認」画面が表示されます。

2. 向きを修正するイメージデータを選択します。

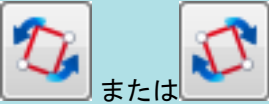



3.  または  をクリックします。  
⇒ イメージデータが 90 度回転します。



向きの修正が終了したら、[保存して終了] ボタンをクリックしてください。

## ヒント

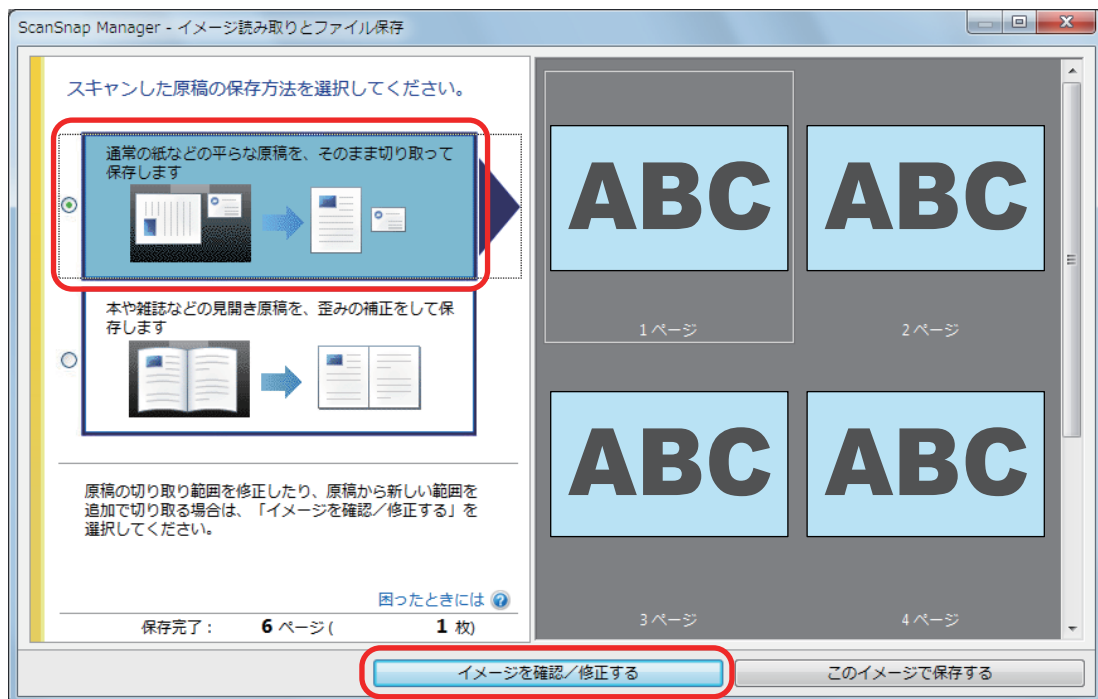
- 切り出し枠を少しずつ傾けたい場合は、傾けたいイメージデータを選択してから、以下のどちらかの操作をしてください。
    - 切り出し枠上部に表示される、緑色の操作点をドラッグする
- 
- または  をクリックする
- [次へ] ボタンが表示されている場合は、「続けてポイント・レタッチを行う」チェックボックスのチェックを外してください。[次へ] ボタンが [保存して終了] ボタンに切り替わります。

## 切り出し範囲を修正する

イメージデータを切り出すための、切り出し枠のサイズを修正できます。

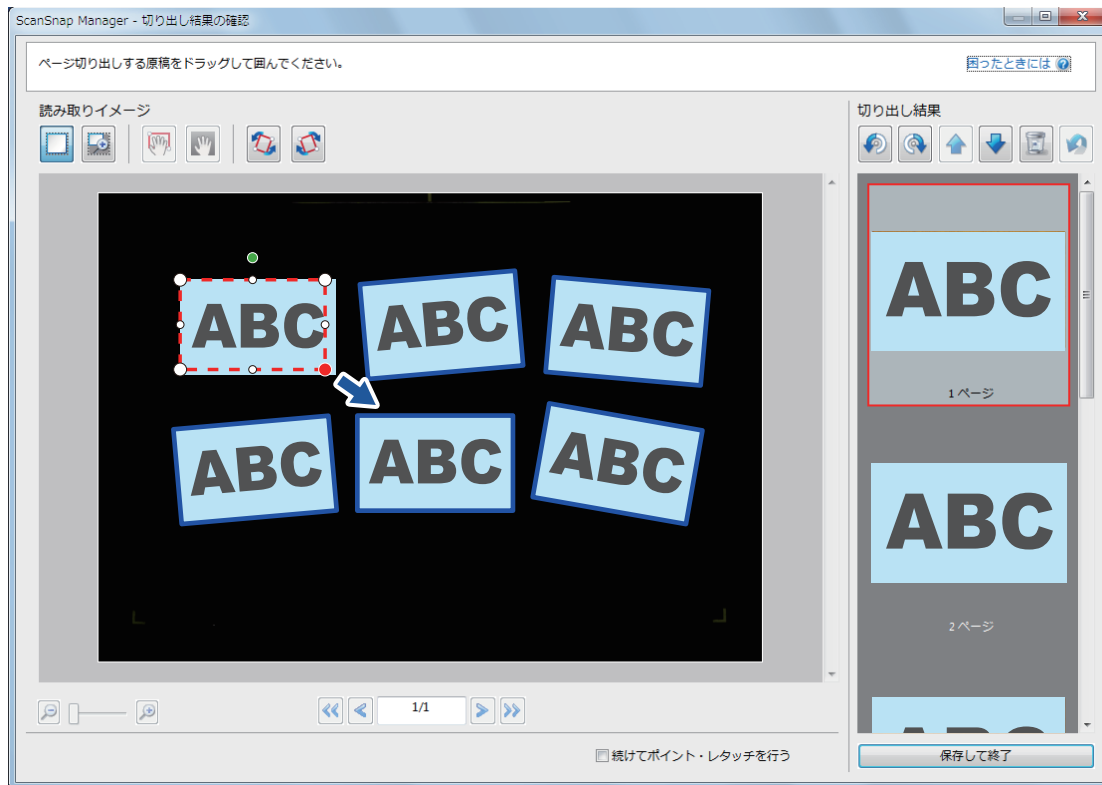
1. 一度に複数の原稿を読み取ったあとに表示される画面で、「通常の紙などの平らな原稿を、そのまま切り取って保存します」を選択して、[イメージを確認／修正する] ボタンをクリックします。

読み取り方法の詳細は、かんたんガイドを参照してください。



⇒ 「ScanSnap Manager - 切り出し結果の確認」画面が表示されます。

2. 切り出し範囲を修正したいイメージデータを選択します。
3. 切り出し枠の操作点をドラッグして、切り出し範囲を修正します。



#### 4. 画面上の任意の位置をクリックします。

⇒ 切り出し範囲が確定されます。

切り出し範囲の修正が終了したら、[保存して終了] ボタンをクリックしてください。

#### ヒント

- 切り出し枠の位置を修正したい場合は、切り出し枠の内部にマウスを位置づけて、操作点がすべて赤くなった状態でドラッグしてください。
- [次へ] ボタンが表示されている場合は、「続けてポイント・レタッチを行う」チェックボックスのチェックを外してください。[次へ] ボタンが [保存して終了] ボタンに切り替わります。

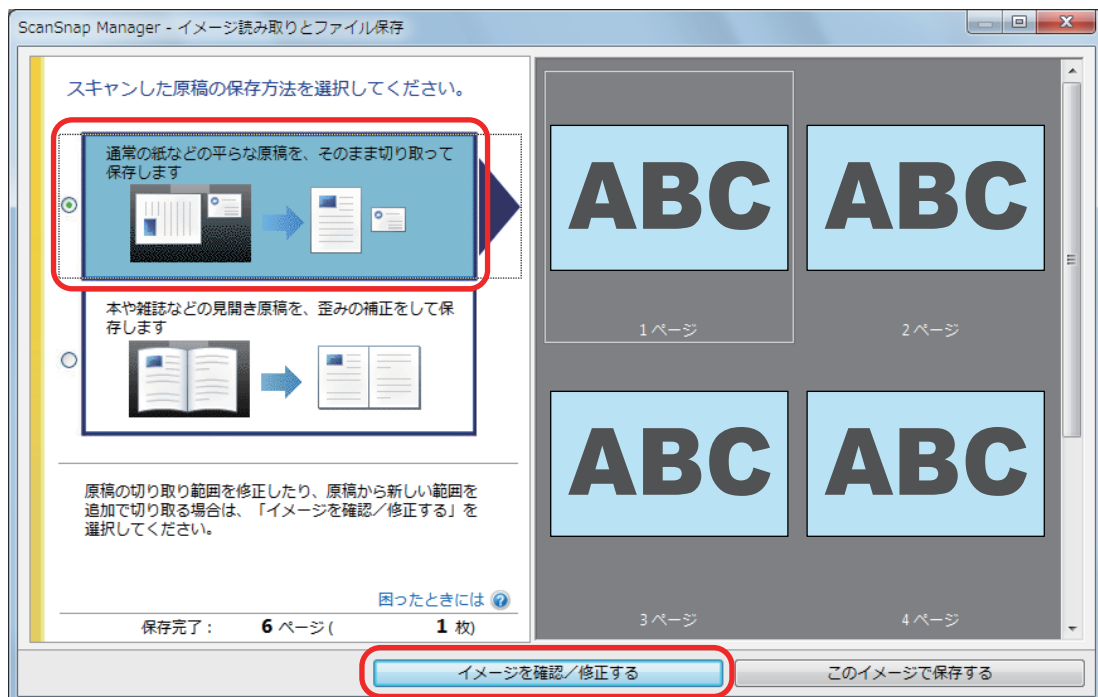


## 必要なイメージデータを追加する

切り出し対象になっていないイメージデータを、切り出し対象として追加できます。  
切り出し枠は、1回の読み取りに対して20個まで追加できます。

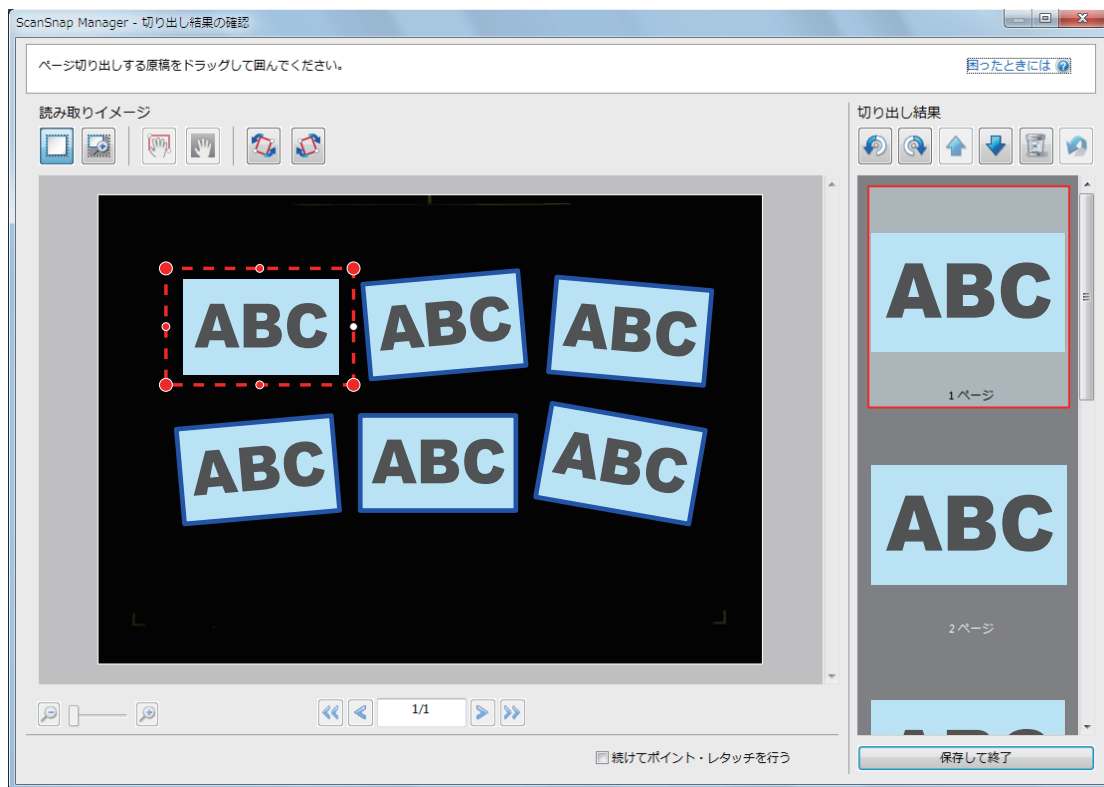
1. 一度に複数の原稿を読み取ったあとに表示される画面で、「通常の紙などの平らな原稿を、そのまま切り取って保存します」を選択して、「イメージを確認／修正する」ボタンをクリックします。

読み取り方法の詳細は、かんたんガイドを参照してください。



⇒ 「ScanSnap Manager - 切り出し結果の確認」画面が表示されます。

2. 切り出したいイメージデータをドラッグして囲みます。



⇒ イメージデータを自動認識して切り出し枠が追加され、「切り出し結果」の最後にドラッグして囲んだイメージデータが追加されます。

切り出し枠の追加が終了したら、[保存して終了] ボタンをクリックしてください。

#### ヒント

[次へ] ボタンが表示されている場合は、「続けてポイント・レタッチを行う」チェックボックスのチェックを外してください。[次へ] ボタンが [保存して終了] ボタンに切り替わります。

## 不要なイメージデータを削除する

複数のイメージデータがある場合に、不要な切り出し枠を削除します。

切り出し枠を削除したイメージデータは出力されなくなるため、アプリケーションと連携されません。

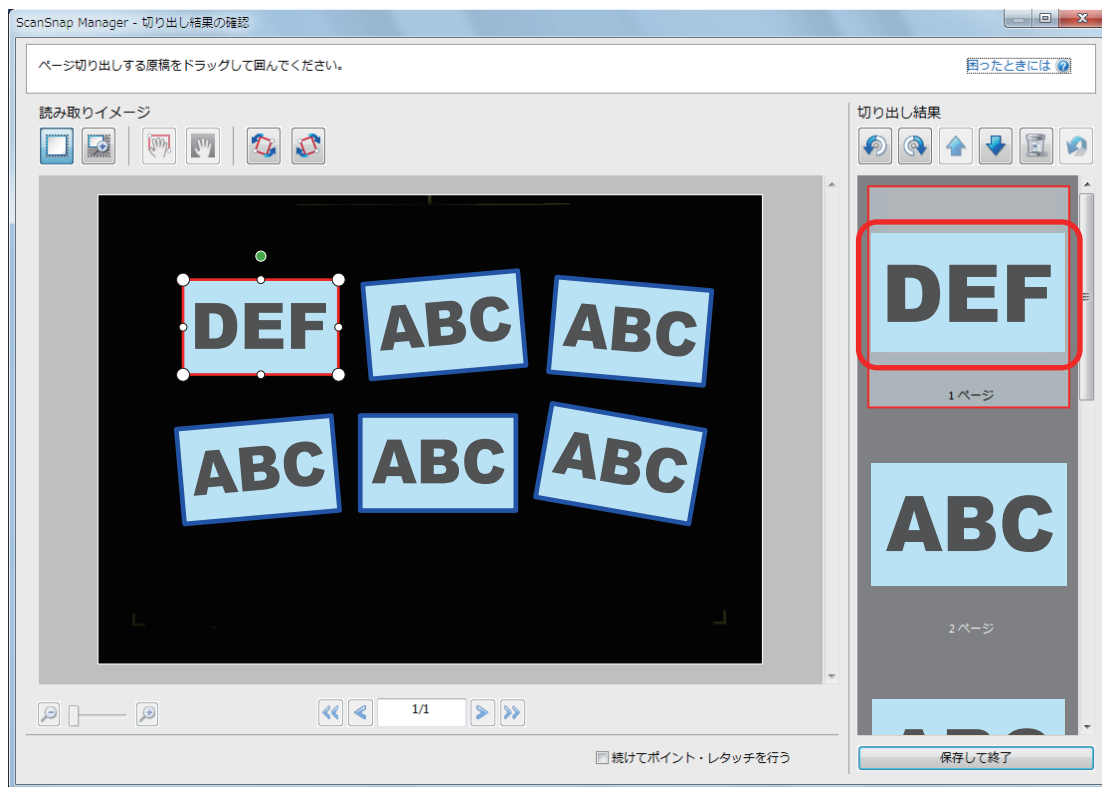
1. 一度に複数の原稿を読み取ったあとに表示される画面で、「通常の紙などの平らな原稿を、そのまま切り取って保存します」を選択して、「[イメージを確認／修正する] ボタンをクリックします。

読み取り方法の詳細は、かんたんガイドを参照してください。



⇒ 「ScanSnap Manager - 切り出し結果の確認」画面が表示されます。

2. 切り出し枠を削除するイメージデータを選択します。

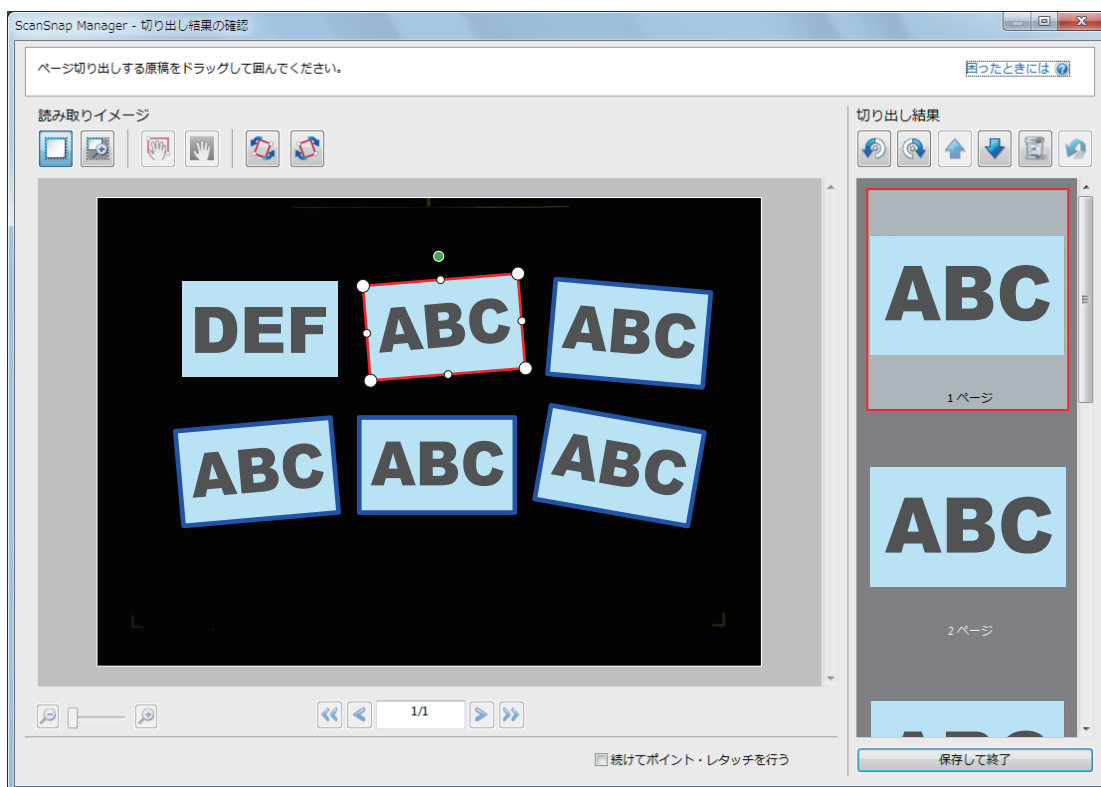


**3.** をクリックします。

⇒ 確認メッセージが表示されます。

**4.** [はい] ボタンをクリックします。

⇒ 選択したイメージデータから切り出し枠が削除され、「切り出し結果」に表示されなくなります。



不要なイメージデータの、切り出し枠の削除が終了したら、[保存して終了] ボタンをクリックしてください。

#### ヒント

[次へ] ボタンが表示されている場合は、「続けてポイント・レタッチを行う」チェックボックスのチェックを外してください。[次へ] ボタンが [保存して終了] ボタンに切り替わります。

# ScanSnap Manager の設定

ScanSnap Manager では、原稿の読み取りに関する設定ができます。

- 「読み取り条件の設定方法」(163 ページ)
- 「クイックメニューの設定方法」(165 ページ)
- 「連携するアプリケーションの設定変更」(171 ページ)
- 「連携する任意のアプリケーションの管理」(172 ページ)
- 「カスタム原稿サイズの管理」(179 ページ)
- 「アプリケーションの自動連携」(185 ページ)
- 「ScanSnap を 2 台接続した場合 (SV600)」(189 ページ)
- 「ScanSnap を無線 LAN に接続して使用する場合 (iX500 / iX100)」(191 ページ)

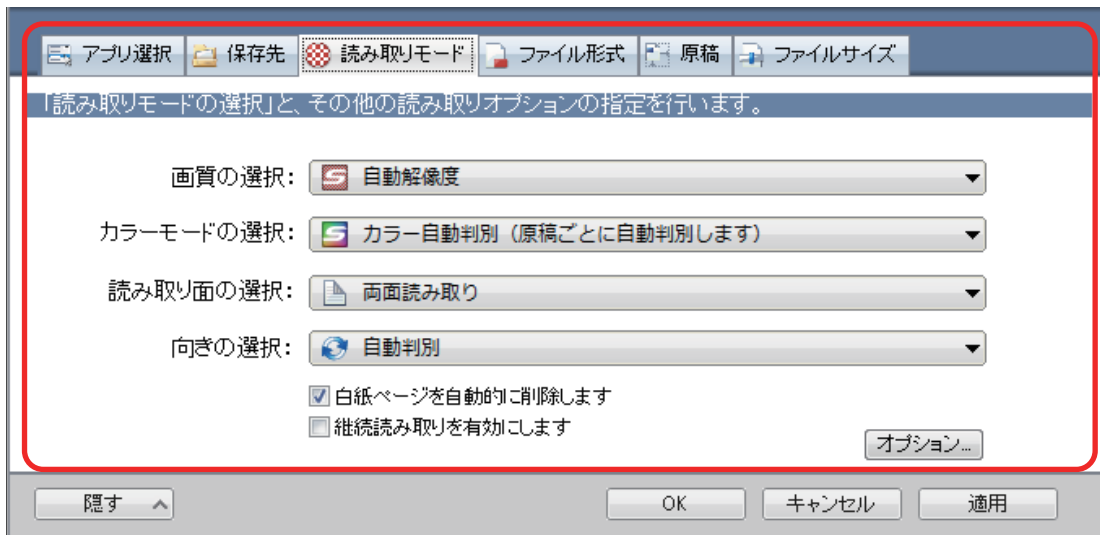
# 読み取り条件の設定方法

イメージデータの使用目的に合わせて、ScanSnap 設定画面で ScanSnap Manager の読み取り条件を設定できます。

## 1. ScanSnap 設定画面を表示します。

- クイックメニューまたは読み取り設定を使用して読み取る場合  
右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。
  - e-スキャンモードを使用して読み取る場合  
右クリックメニューから、「e-スキャンの設定」を選択します。
  - ScanSnap Folder を使用して読み取る場合  
右クリックメニューから、「ScanSnap Folder の設定」を選択します。
- ⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。

## 2. 各タブで読み取り条件を設定します。



各タブの詳細は、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

## 3. [OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。

⇒ 読み取り条件が変更されます。


- クイックメニューを使用する場合は、[カスタマイズ] ボタンの読み取り条件が変更されます。
- 読み取り設定を使用する場合は、現在選択されている読み取り設定の読み取り条件が変更されます。

### ヒント

ScanSnap 設定画面の表示中に ScanSnap の [Scan] ボタンを押すと、ScanSnap 設定画面は閉じられ、原稿の読み取りが開始されます。このとき、設定中の読み取り条件は保存され、その読み取り条件で原稿が読み取られます。

ただし、ScanSnap 設定画面以外の画面が表示されている場合は、ScanSnap の [Scan] ボタンを押しても、画面は閉じられず、読み取りも開始されません。

## ヒント

- 1台のコンピュータに、SV600 とそのほかの ScanSnap を接続している場合は、ScanSnap ごとに設定を変更できます。詳細は、「ScanSnap を 2 台接続した場合 (SV600)」(189 ページ) を参照してください。
- ScanSnap 設定画面は、以下の方法でも表示できます。なお、「ScanSnap Folder」フォルダーを開いている場合は、ScanSnap Folder の ScanSnap 設定画面が表示されます。
  - ScanSnap Manager のアイコン  をダブルクリックする
  - キーボードの「Ctrl」+「Shift」+「Space」キーを同時に押す
  - 「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「ScanSnap Manager」→「ScanSnap Manager の設定」を選択する (Windows 8.1 / Windows 8 の場合は、すべてのアプリ画面で「ScanSnap Manager」→「ScanSnap Manager の設定」を選択します)



## クイックメニューの設定方法

クイックメニューで、以下の設定ができます。

- 「表示モードの変更」(166 ページ)
- 「表示順の変更」(167 ページ)
- 「お気に入りアプリケーションへの追加」(170 ページ)

---

## 表示モードの変更

クイックメニューには、以下の2種類の表示モードがあります。

### 「お気に入り」モード

お気に入りとして設定したアプリケーションがクイックメニューに表示されます。

使用頻度の高いアプリケーションをお気に入りに設定して「お気に入り」モードで表示すれば、連携したいアプリケーションを素早く見つけることができ便利です。

お気に入りとして設定する方法については、「[お気に入りアプリケーションへの追加](#)」(170 ページ)を参照してください。

### 「すべてのアプリケーション」モード


登録されているすべてのアプリケーションがクイックメニューに表示されます。

デフォルトでは、「お気に入り」モードで表示されます。また、すべてのアプリケーションがお気に入りとして設定されています。

表示モードを切り替える場合は、クイックメニューの「すべてのアプリケーションを表示」または「お気に入りを表示」をクリックしてください。

## 表示順の変更

クイックメニューに表示されるアプリケーションの表示順を変更できます。  
変更する方法は、以下のとおりです。



- クイックメニューから、をクリックします。

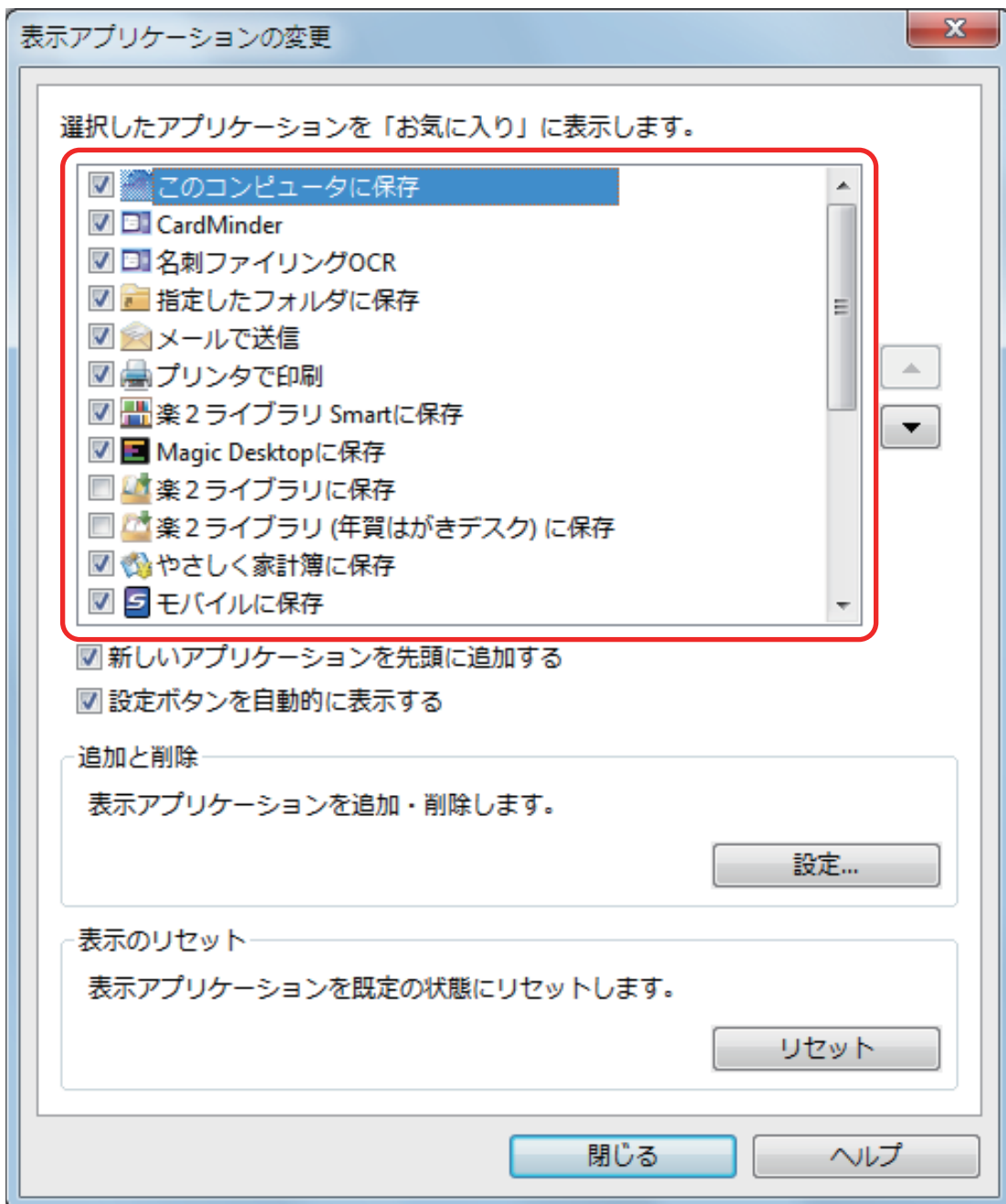


⇒ 「表示アプリケーションの変更」画面が表示されます。

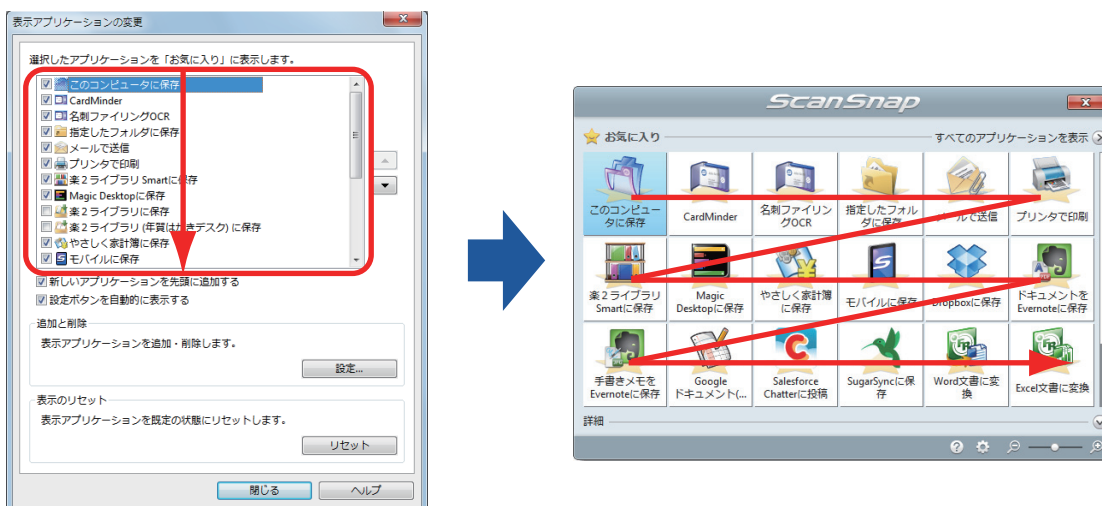
- クイックメニューに表示されるアプリケーションの表示順を設定します。

「表示アプリケーションの変更」画面に表示されているアプリケーションの表示順で、クイックメニューに表示されます。

表示順を変更したいアプリケーションを選択してから、 /  をクリックして、アプリケーションの表示位置を変更します。



クイックメニューおよび「表示アプリケーションの変更」画面のアプリケーションの一覧に表示されるアプリケーションの表示順は、以下のように対応します。



3. **「閉じる」ボタンをクリックして、「表示アプリケーションの変更」画面を閉じます。**

⇒ クイックメニューに表示されるアプリケーションの表示順が変更されます。

## お気に入りアプリケーションへの追加

よく使うアプリケーションをお気に入りとして設定しておけば、クイックメニューから素早く選択できるようになります。

設定方法は、以下のとおりです。

- 1. クイックメニューで、「すべてのアプリケーションを表示」をクリックします。**  
⇒ クイックメニューが「すべてのアプリケーション」モードに切り替わります。
- 2. お気に入りに設定したいアプリケーションを右クリックして、表示されたメニューから「お気に入りに追加」をクリックします。**  
⇒ お気に入りとして設定されます。  
「お気に入りに追加」の先頭にチェックが付き、アプリケーションのアイコンの背景に星が表示されます。

### ヒント


- デフォルトでは、すべてのアプリケーションがお気に入りとして設定されています。お気に入りの設定を解除したい場合は、「お気に入りに追加」のチェックを外してください。
- 「表示アプリケーションの変更」画面でも、お気に入りアプリケーションを設定できます。


## 連携するアプリケーションの設定変更

連携するアプリケーションによっては、アプリケーション固有の設定ができたり、連携するアプリケーション側で設定した内容が有効になったりするものがあります。

連携するアプリケーションの設定がどこでできるかを説明します。

### クイックメニューで変更する場合

アプリケーションのアイコンにマウスを位置づけると表示される  をクリックします。

設定を変更できないアプリケーションでは、 は表示されません。

### ScanSnap 設定画面で変更する場合

ScanSnap 設定画面の「アプリ選択」タブで、連携するアプリケーションを選択し、[アプリケーションの設定] ボタンをクリックします。設定を変更できないアプリケーションでは、[アプリケーションの設定] ボタンをクリックできません。

各アプリケーションで設定できる項目については、ScanSnap Manager のヘルプまたは各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

## 連携する任意のアプリケーションの管理

クイックメニューおよび ScanSnap 設定画面の「アプリ選択」タブの「アプリケーションの選択」ドロップダウンリストに追加する、任意のアプリケーションを追加、変更、および削除できます。

- 「アプリケーションを追加する」(173 ページ)
- 「アプリケーションの設定を変更する」(177 ページ)
- 「アプリケーションを削除する」(178 ページ)

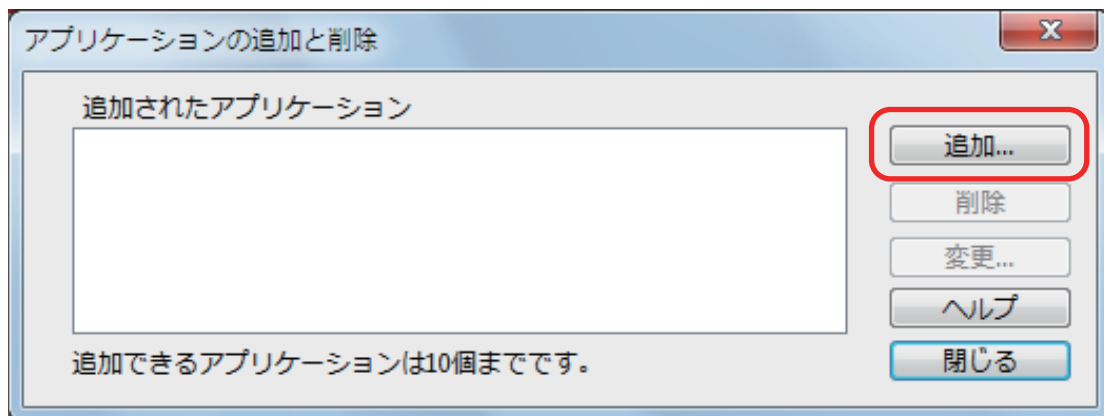


## アプリケーションを追加する

任意のアプリケーションを追加する方法について説明します。

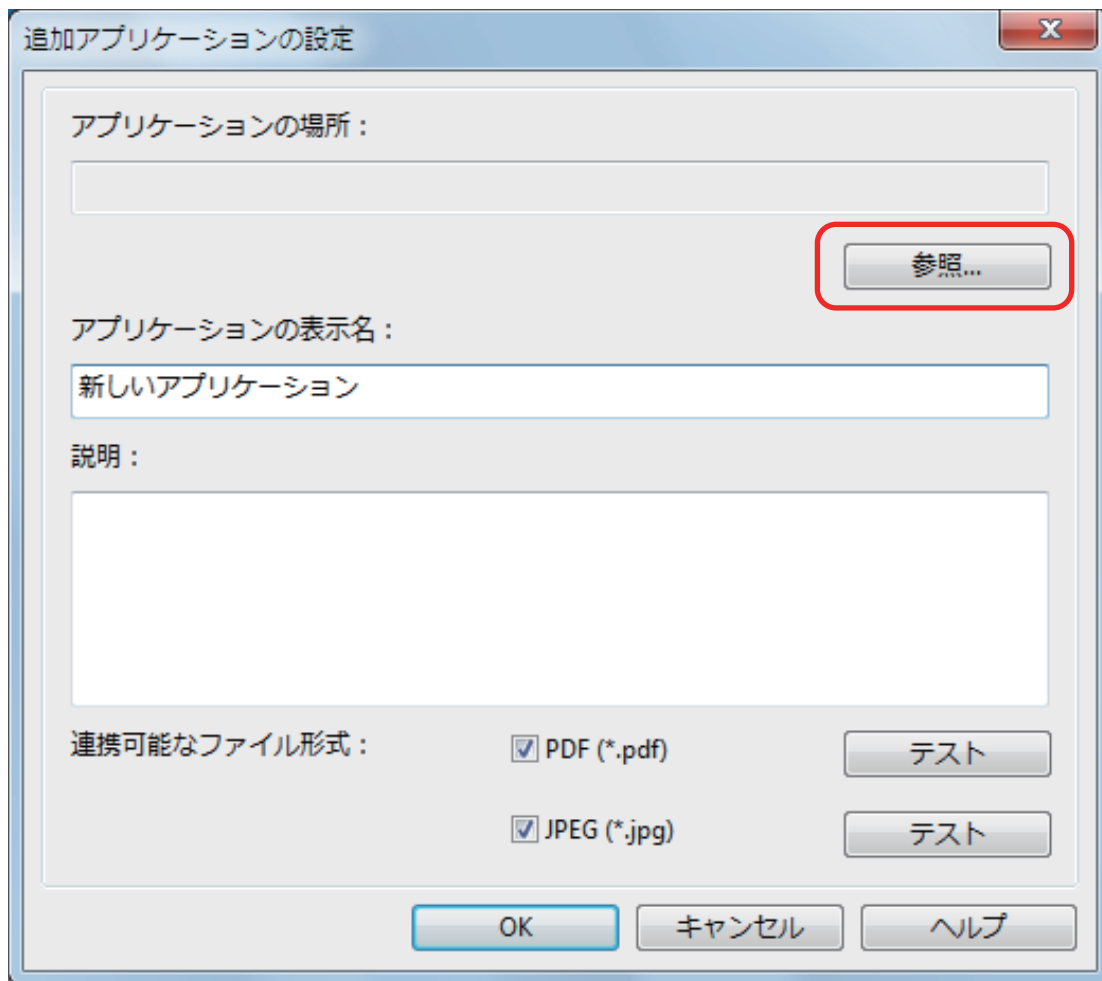
任意のアプリケーションは、最大 10 個まで登録できます。

1. 右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。  
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。
2. 「アプリ選択」タブで、[アプリケーションの設定] ボタンをクリックします。  
⇒ 「表示アプリケーションの変更」画面が表示されます。
3. [設定] ボタンをクリックします。  
⇒ 「アプリケーションの追加と削除」画面が表示されます。
4. [追加] ボタンをクリックします。



⇒ 「追加アプリケーションの設定」画面が表示されます。

5. [参照] ボタンをクリックします。



⇒ 「追加するアプリケーションの選択」画面が表示されます。

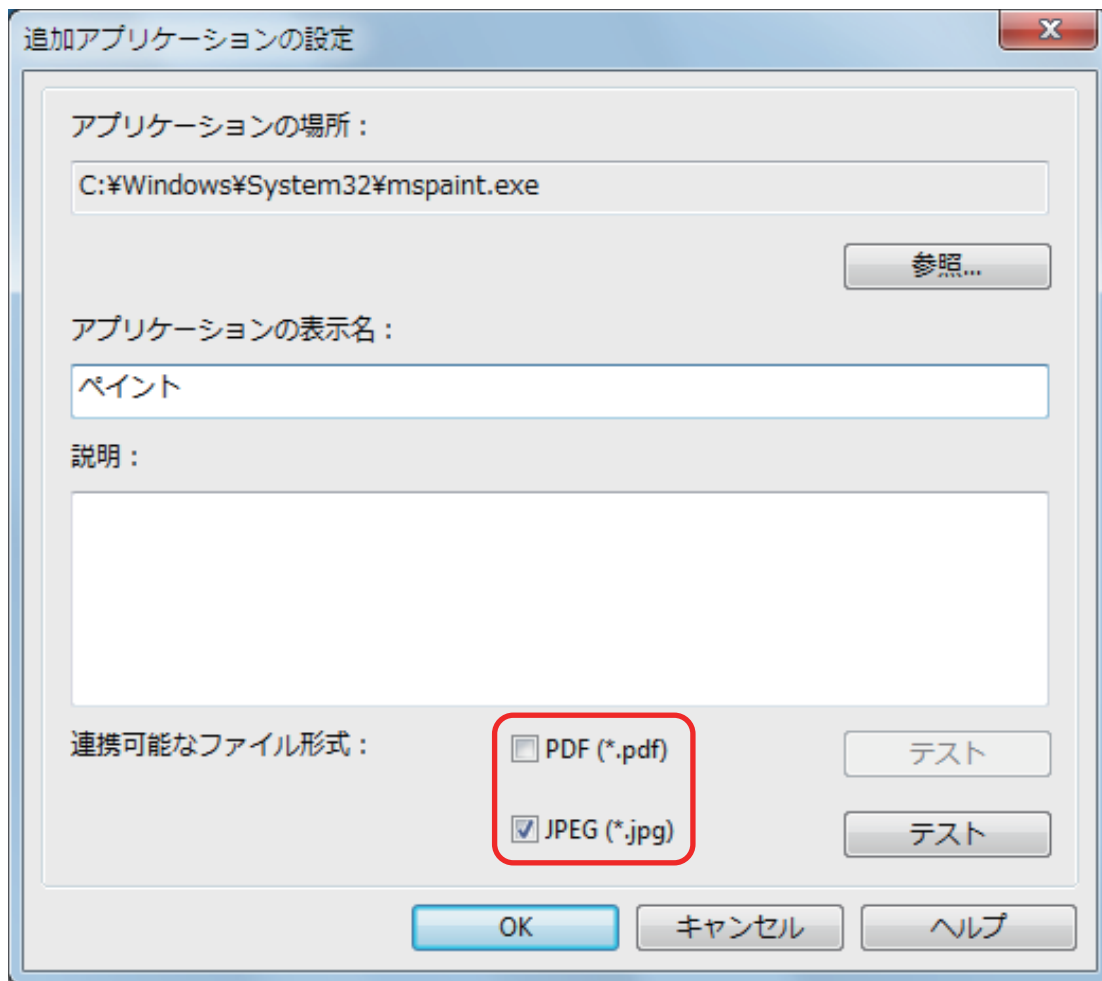
**6. 追加するアプリケーションを選択し、[開く] ボタンをクリックします。**

⇒ 「追加アプリケーションの設定」画面の「アプリケーションの場所」にアプリケーションの格納先が表示されます。

**7. 以下を入力します。**

- アプリケーションの表示名
- 説明

**8. 「連携可能なファイル形式」で連携したいファイル形式のチェックボックスにチェックを付けます。**



#### ヒント

必要に応じて、追加するアプリケーションがファイル形式に対応しているか確認してください。対応しているか確認する方法は、以下のとおりです。

1. チェックボックスの横にある [テスト] ボタンをクリックします。  
⇒ 確認メッセージが表示されます。
2. [OK] ボタンをクリックします。  
⇒ 「ファイルを選択してください」画面が表示されます。
3. 連携したいファイルと同じ形式のファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。  
⇒ 追加するアプリケーションが、ファイル形式に対応している場合は、選択したファイルが開きます。選択したファイルが開かない場合、ファイル形式を変更するか、アプリケーションを変更してください。

#### 9. 設定が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。

⇒ 「アプリケーションの追加と削除」画面に、アプリケーションが追加されます。

#### 10. [閉じる] ボタンをクリックして、画面を閉じます。

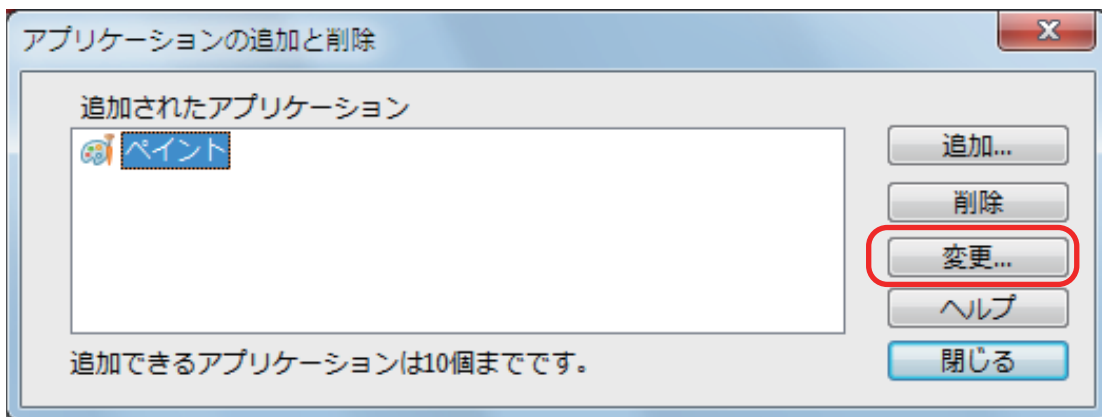
⇒ 「アプリケーションの選択」ドロップダウンリストに、アプリケーションの名前が追加されます。

## ヒント

ScanSnap 設定画面の「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている場合は、「アプリ選択」タブで [追加と削除] ボタンをクリックすると、「アプリケーションの追加と削除」画面が表示されます。

## アプリケーションの設定を変更する

1. 右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。  
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。
2. 「アプリ選択」タブで、[アプリケーションの設定] ボタンをクリックします。  
⇒ 「表示アプリケーションの変更」画面が表示されます。
3. [設定] ボタンをクリックします。  
⇒ 「アプリケーションの追加と削除」画面が表示されます。
4. 変更するアプリケーションを選択して、[変更] ボタンをクリックします。



⇒ 「追加アプリケーションの設定」画面が表示されます。

5. 以下の設定を変更します。
  - アプリケーションの場所
  - アプリケーションの表示名
  - 説明
  - 連携可能なファイル形式
6. 変更が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。  
⇒ 「アプリケーションの追加と削除」画面が表示され、アプリケーションが変更されます。
7. [閉じる] ボタンをクリックして、画面を閉じます。

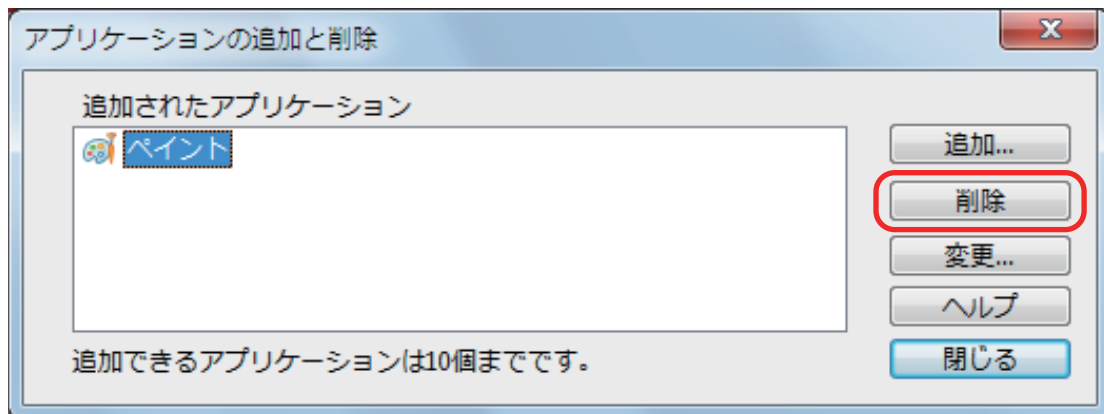
### ヒント

ScanSnap 設定画面の「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている場合は、「アプリ選択」タブで [追加と削除] ボタンをクリックすると、「アプリケーションの追加と削除」画面が表示されます。

## アプリケーションを削除する

任意のアプリケーションを削除する方法について説明します。

1. 右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。  
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。
2. 「アプリ選択」タブで、[アプリケーションの設定] ボタンをクリックします。  
⇒ 「表示アプリケーションの変更」画面が表示されます。
3. [設定] ボタンをクリックします。  
⇒ 「アプリケーションの追加と削除」画面が表示されます。
4. 変更するアプリケーションを選択して、[削除] ボタンをクリックします。



⇒ 確認メッセージが表示されます。

5. メッセージを確認して、[はい] ボタンをクリックします。  
⇒ 「アプリケーションの追加と削除」画面から、アプリケーションが削除されます。
6. [閉じる] ボタンをクリックして、画面を閉じます。  
⇒ 「アプリケーションの選択」およびクイックメニューから、アプリケーションが削除されま  
す。

### ヒント

ScanSnap 設定画面の「クイックメニューを使用する」チェックボックスのチェックが外れている場合は、「アプリ選択」タブで [追加と削除] ボタンをクリックすると、「アプリケーションの追加と削除」画面が表示されます。

## カスタム原稿サイズの管理

任意の原稿サイズを、カスタム原稿として管理（追加 / 変更 / 削除）できます。

カスタム原稿サイズは、ScanSnap 設定画面の「原稿」タブの「原稿サイズの選択」に登録できます。

- 「原稿サイズを追加する」(180 ページ)
- 「原稿サイズの設定を変更する」(182 ページ)
- 「原稿サイズを削除する」(184 ページ)

## 原稿サイズを追加する

カスタム原稿サイズを追加する方法について説明します。

カスタム原稿サイズは、最大 10 個まで登録できます。

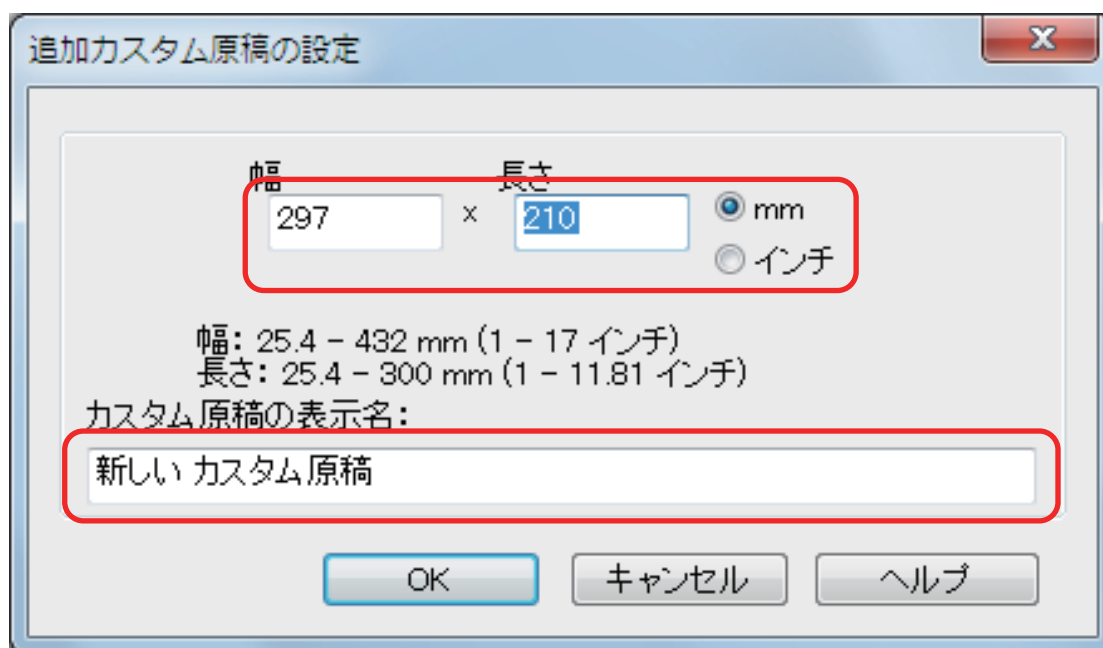
1. 右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。  
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。
2. ScanSnap 設定画面の「原稿」タブで、[カスタマイズ] ボタンをクリックします。  
⇒ 「カスタム原稿の追加と削除」画面が表示されます。
3. [追加] ボタンをクリックします。



⇒ 「追加カスタム原稿の設定」画面が表示されます。

4. 以下を入力します。
  - 幅
  - 長さ
  - カスタム原稿の表示名





**5. [OK] ボタンをクリックします。**

⇒ 「カスタム原稿の追加と削除」画面に追加したカスタム原稿名が表示されます。

**6. [閉じる] ボタンをクリックして、画面を閉じます。**

⇒ 「原稿サイズの選択」にカスタム原稿名が追加されます。

## 原稿サイズの設定を変更する

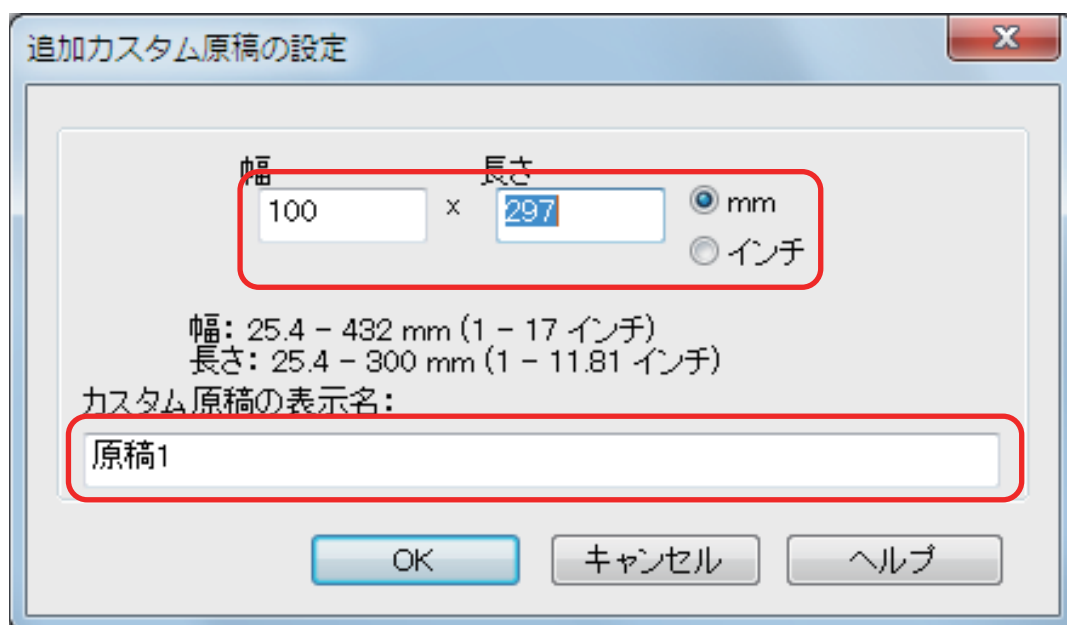
カスタム原稿サイズの設定を変更する方法について説明します。

1. 右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。  
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。
2. ScanSnap 設定画面の「原稿」タブで、[カスタマイズ] ボタンをクリックします。  
⇒ 「カスタム原稿の追加と削除」画面が表示されます。
3. [変更] ボタンをクリックします。



⇒ 「追加カスタム原稿の設定」画面が表示されます。

4. 以下を変更します。
  - 幅
  - 長さ
  - カスタム原稿の表示名



5. [OK] ボタンをクリックします。  
⇒ 「カスタム原稿の追加と削除」画面に追加したカスタム原稿名が表示されます。
6. [閉じる] ボタンをクリックして、画面を閉じます。

## 原稿サイズを削除する

カスタム原稿サイズを削除する方法について説明します。

1. 右クリックメニューから、「Scan ボタンの設定」を選択します。  
⇒ ScanSnap 設定画面が表示されます。
2. ScanSnap 設定画面の「原稿」タブで、[カスタマイズ] ボタンをクリックします。  
⇒ 「カスタム原稿の追加と削除」画面が表示されます。
3. [削除] ボタンをクリックします。



⇒ 確認メッセージが表示されます。

4. メッセージを確認して、[はい] ボタンをクリックします。  
⇒ 「カスタム原稿の追加と削除」画面から、カスタム原稿名が削除されます。
5. [閉じる] ボタンをクリックして、画面を閉じます。  
⇒ 「原稿サイズの選択」から、カスタム原稿名が削除されます。

## アプリケーションの自動連携

自動連携できるアプリケーションを起動した状態で原稿を読み取ると、クイックメニューの使用および設定した読み取り条件に関係なく、該当アプリケーションに自動的に連携されます。

自動連携できるアプリケーションおよび原稿読み取り後の動作は、以下のとおりです。

- ScanSnap Organizer  
読み取った原稿のイメージデータが、ScanSnap Organizer で表示されます。
- CardMinder  
読み取った名刺のイメージデータが、CardMinder で表示されます。
- 名刺ファイリングOCR  
読み取った名刺のイメージデータが、名刺ファイリングOCRで表示されます。
- 楽<sup>2</sup>ライブラリ Smart  
読み取った原稿のイメージデータが、楽<sup>2</sup>ライブラリ Smart に保存されます。
- 楽<sup>2</sup>ライブラリ  
読み取った原稿のイメージデータが、楽<sup>2</sup>ライブラリに保存されます。
  - 年賀はがきデスクを起動している場合 (\*1)  
年賀はがきを読み取ると、読み取った年賀はがきのイメージデータが楽<sup>2</sup>ライブラリの年賀はがきデスクで表示されます。  
年賀はがきデスクは、楽<sup>2</sup>ライブラリ パーソナル V5.0L30 以降の機能です。
- Magic Desktop  
読み取った原稿のイメージデータが、Magic Desktop に保存されます。
- やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap (\*1)  
読み取ったレシートのイメージデータが、やさしく家計簿 エントリー for ScanSnap で表示されます。
- モバイルに保存 (\*1)  
読み取った原稿のイメージデータが、モバイル機器に送信されます。

### 重要

「モバイルに保存」と自動連携する場合は、事前にモバイル機器をコンピュータに接続する必要があります。

モバイル機器からコンピュータへの接続方法については、使用しているモバイル機器の ScanSnap Connect Application ユーザーズガイドを参照してください。

\*1： アクティブ状態のときだけ自動連携します。

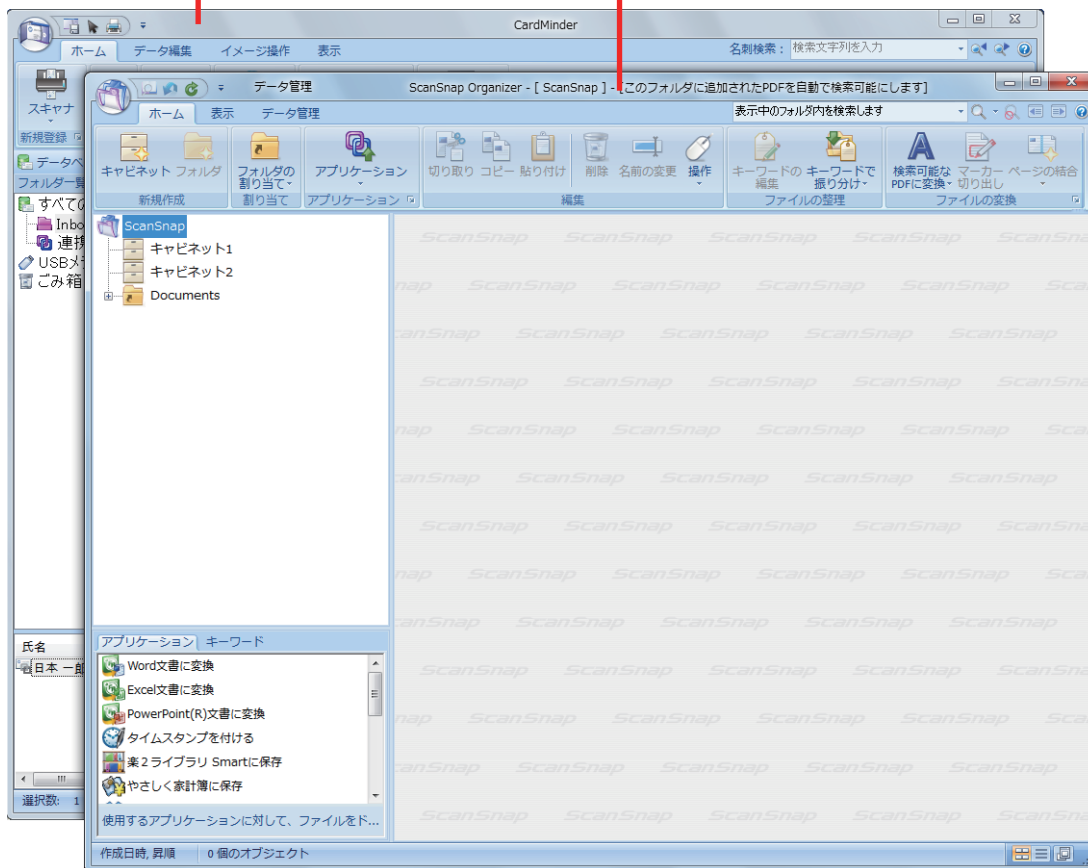
自動連携には、以下の2つの連携方法があります。

### 該当アプリケーションがアクティブ状態のときに連携する（推奨）

該当アプリケーションのどれかがアクティブ状態（タスクバー上でアプリケーションが選択され、アプリケーション画面が最前面に表示されている状態）のときに、ScanSnap の [Scan] ボタンを押して原稿を読み取ると、該当アプリケーションに自動連携されます。

非アクティブ状態

アクティブ状態



上図の場合、ScanSnap Organizer の画面がアクティブ状態であるため、ScanSnap Organizer と自動連携されます。

## 該当アプリケーション起動中は、常に連携する

該当アプリケーションのどれかを起動すると、ScanSnap 設定画面の「アプリ選択」タブ→「アプリケーションの選択」の設定が、該当アプリケーションに自動的に切り替わります。該当アプリケーションの画面が最小化されている、または最前面に表示されていない場合でも自動的に連携します。該当アプリケーションを終了すると、自動連携は解除されます。

なお、複数の該当アプリケーションを同時に起動している場合は、以下の順で優先して連携されます。

1. CardMinder
2. 名刺ファイリングOCR
3. ScanSnap Organizer
4. 楽<sup>2</sup>ライブラリ
5. 楽<sup>2</sup>ライブラリ Smart または Magic Desktop

### 重要

楽<sup>2</sup>ライブラリ Smart および Magic Desktop は、あとから起動した方が優先して連携されます。  
例：

Magic Desktop を起動している状態で、楽<sup>2</sup>ライブラリ Smart を起動すると、楽<sup>2</sup>ライブラリ Smart と連携されます。

クイックメニューを使用していない場合は、左クリックメニューに「<アプリケーション名>+連携中」の項目が、チェックの入った状態で追加されます。



ScanSnap Organizer に自動連携されている場合

#### 重要

CardMinder または名刺ファイリングOCRと自動連携する場合

- 現在設定されている読み取り条件で読み取られます。CardMinder または名刺ファイリングOCR がサポートしていない読み取り条件を設定していた場合は、CardMinder または名刺ファイリングOCR のデフォルトの値で読み取られます。

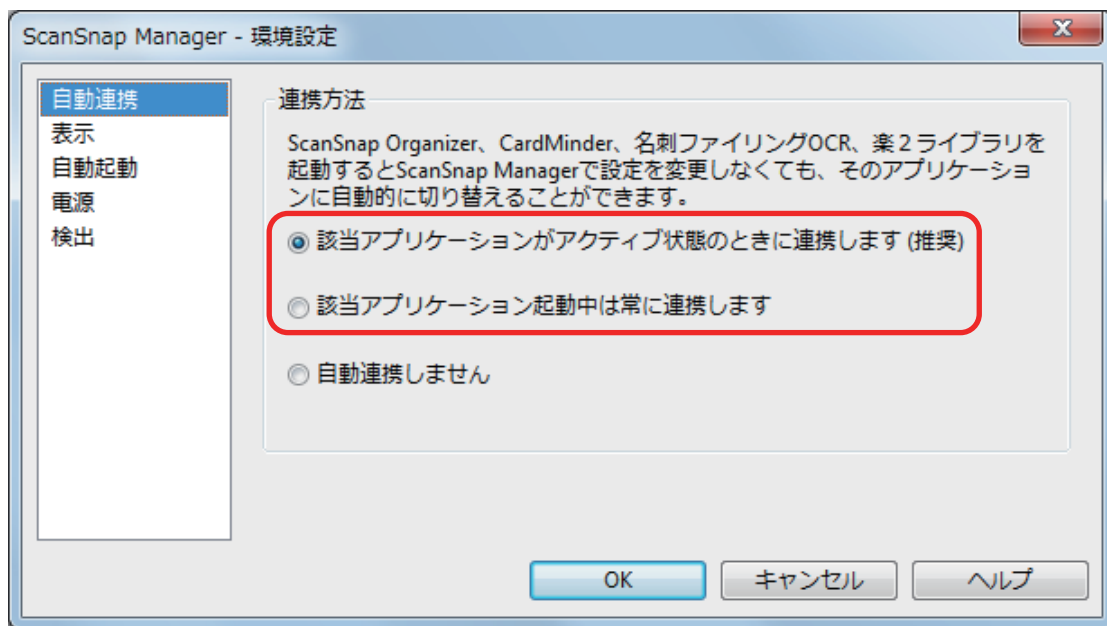
CardMinder または名刺ファイリングOCR のデフォルトの値については、ScanSnap Manager のヘルプを参照してください。

- 名刺サイズの原稿を読み取った場合に自動連携します。名刺サイズ以外の原稿を読み取った場合は自動連携されず、エラーメッセージが表示されます。

## 連携方法を切り替える

連携方法の切り替え手順は、以下のとおりです。

1. 右クリックメニューから、「環境設定」を選択します。  
⇒ 「ScanSnap Manager - 環境設定」画面が表示されます。
2. 「自動連携」タブで連携方法を選択します。



3. [OK] ボタンをクリックして、「ScanSnap Manager - 環境設定」画面を閉じます。  
⇒ 選択した連携方法に切り替えられます。

### ヒント

自動連携しない設定にする場合は、「ScanSnap Manager - 環境設定」画面の「自動連携」タブで「自動連携しません」を選択してください。



## ScanSnap を 2 台接続した場合 (SV600)

ScanSnap を 2 台接続した場合について説明します。

### 接続できる ScanSnap

1 台のコンピュータに、SV600 とそのほかの ScanSnap を接続して使用できます。

SV600 と同時にコンピュータに接続して使用できる ScanSnap は、以下のとおりです。

- iX500
- iX100
- S1500
- S1500M
- S1300i
- S1300
- S1100
- S300

### ScanSnap ごとの設定変更

1 台のコンピュータに、SV600 とそのほかの ScanSnap を接続している場合は、以下の画面で ScanSnap ごとに読み取り条件を変更したり、読み取り設定を管理したりできます。

- ScanSnap 設定画面

「装置の選択」で機種名を選択してから、ScanSnap ごとに読み取り条件を変更します。

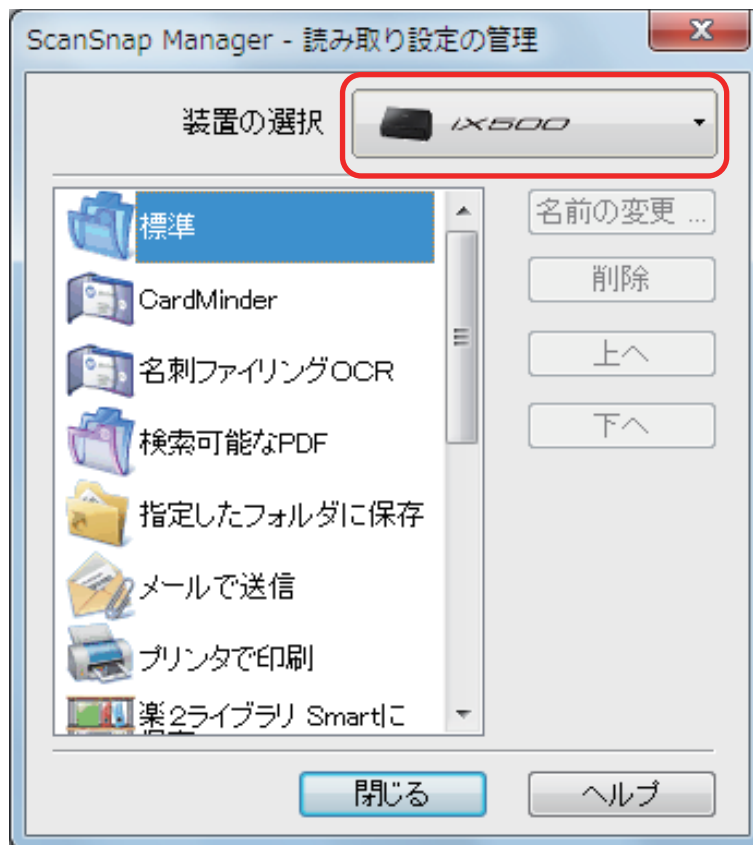


読み取り条件の変更方法の詳細は、「[読み取り条件の設定方法](#)」(163 ページ)を参照してください。

- 「ScanSnap Manager - 読み取り設定の管理」画面

読み取り設定を ScanSnap ごとに管理します。

「装置の選択」で機種名を選択してから操作してください。



詳細は、「読み取り設定の管理」(72 ページ)を参照してください。

## ScanSnap を無線 LAN に接続して使用する場合 (iX500 / iX100)

ScanSnap Manager をインストールしたコンピュータから、iX500 または iX100 に無線 LAN で接続して原稿を読み取れます。

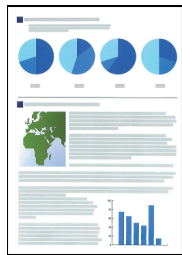
本機能を使用するには、無線 LAN が使用できる環境が必要です。

詳細は、かんたんガイドを参照してください。

# ScanSnap Organizer を使う

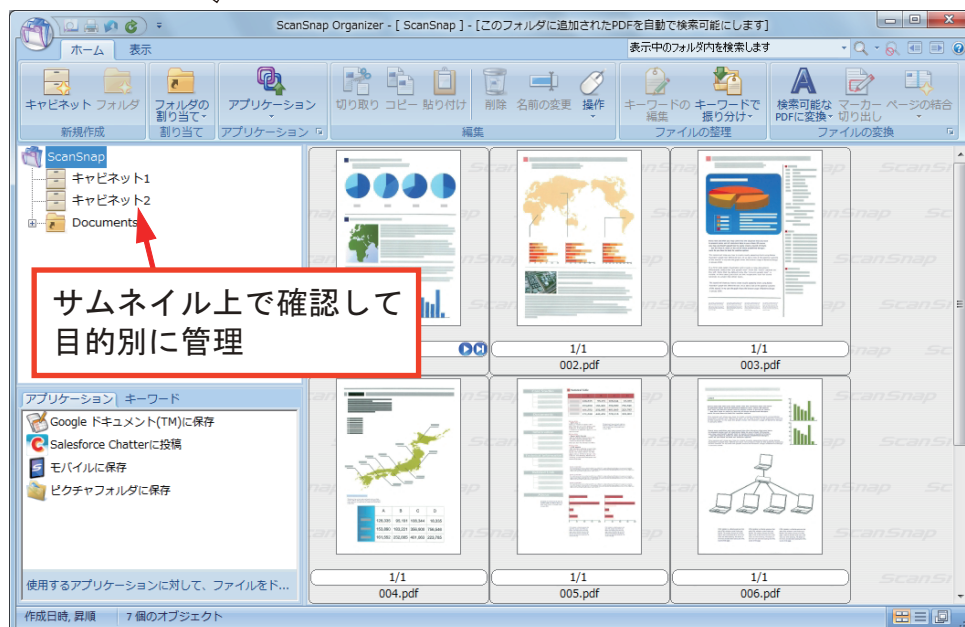
ScanSnap Organizer は、ScanSnap で読み取った原稿のイメージデータ（PDF ファイルおよび JPEG ファイル）を一覧表示して、整理および管理するためのアプリケーションです。

ファイルを開かずに閲覧したり、目的別にフォルダーを作成して、ファイルを整理したりできます。また、複数ページの PDF ファイルは、サムネイル上で、ページをめくってイメージデータを確認できます。



ScanSnapで原稿を読み取る

メイン画面



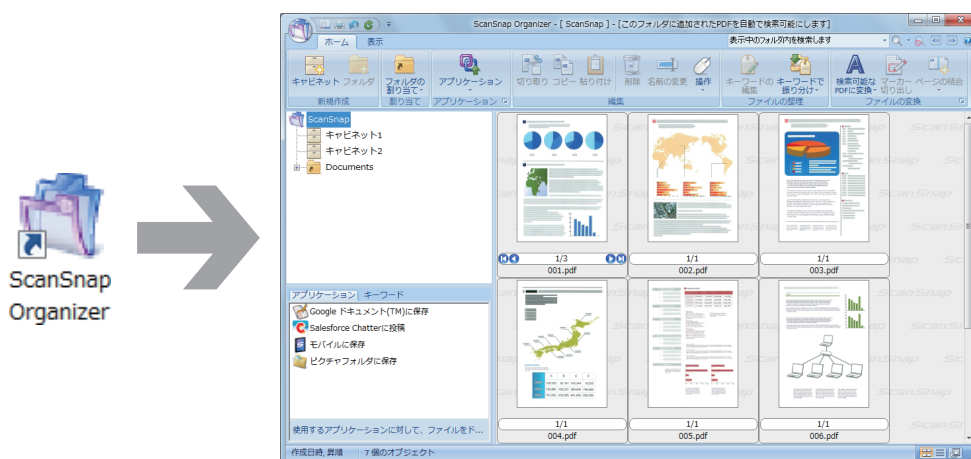
- 「基本的な操作手順」(193 ページ)
- 「ファイルを管理する」(195 ページ)
- 「ファイルを編集する (SV600)」(197 ページ)
- 「ファイルを活用する」(198 ページ)

# 基本的な操作手順

ScanSnap Organizer の基本的な操作の流れを説明します。

## 1. ScanSnap Organizer を起動します。

デスクトップにある「ScanSnap Organizer」アイコンをダブルクリックすると、ScanSnap Organizer が起動されます。

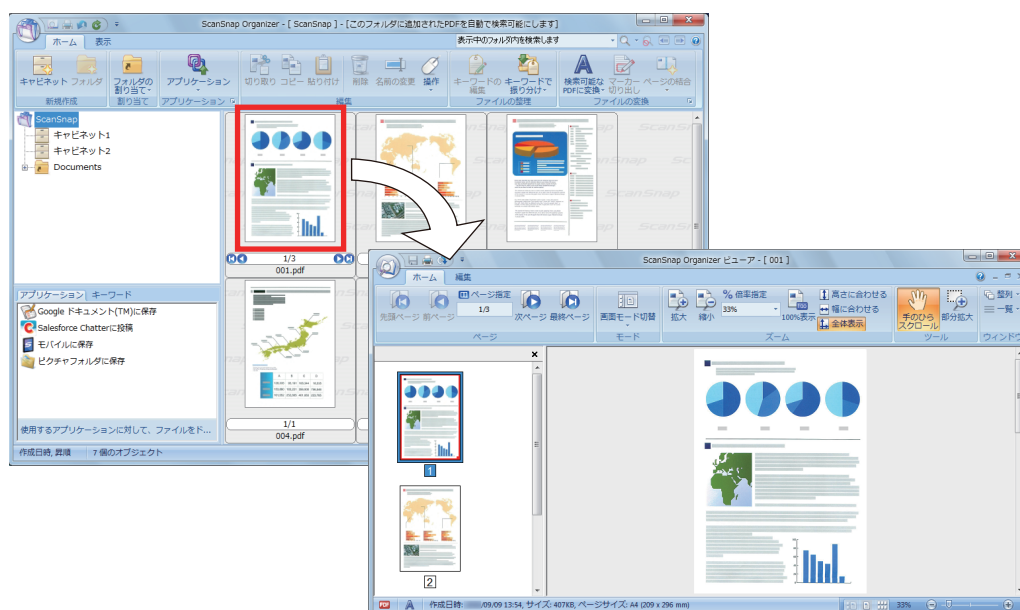


## 2. ScanSnap で原稿を読み取ります。

⇒ ScanSnap Organizer に、読み取ったイメージデータが一覧表示されます。

## 3. ScanSnap Organizer ビューアを起動します。

イメージデータをダブルクリックすると、イメージデータを表示および編集できるビューア画面が起動されます。



## 4. ビューア画面で、読み取ったイメージデータの向きや、不要なページがないかを確認します。

イメージデータの向きが違う場合は、回転させてください。また、不要なページがある場合は削除してください。

そのほか、必要に応じてページの挿入などの編集をしてください。

## **5. ScanSnap Organizer ビューアを終了します。**

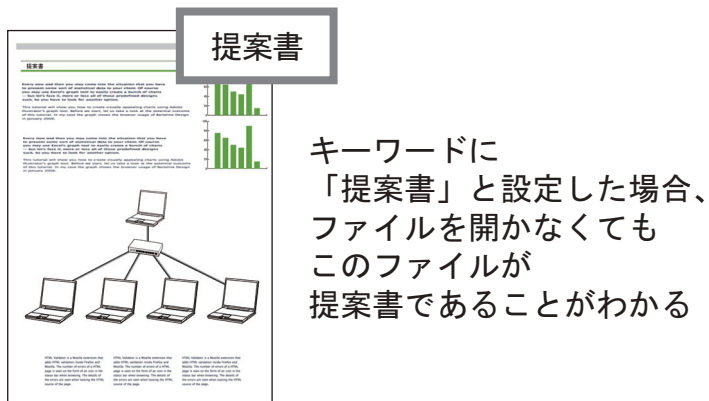
アプリケーションボタンをクリックして表示されるメニューの [アプリケーションの終了] ボタンをクリックして、ScanSnap Organizer ビューアを終了します。

## ファイルを管理する

操作手順の詳細は、ScanSnap Organizer のヘルプを参照してください。

### ファイルにキーワードを設定する

ファイルを開かなくても内容がわかるように、内容を表現した文字列（キーワード）を、PDF ファイルに設定できます。

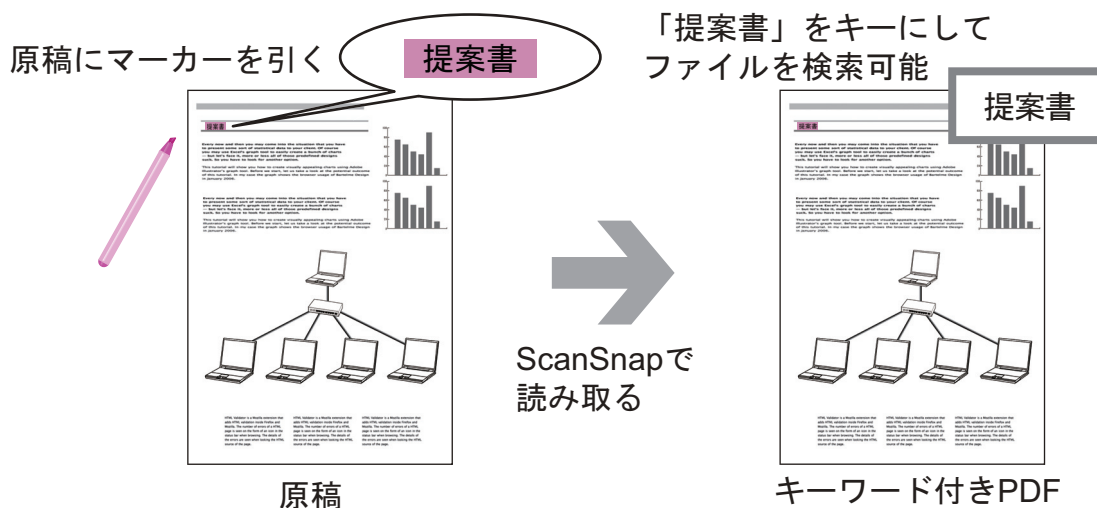


### マーカーが引かれている部分の文字列をキーワードとして設定する

キーワード設定機能を使用すると、PDF ファイルにキーワードを設定できます。

キーワードは、PDF ファイルの検索に利用できます。

マーカーを引いた白黒原稿を ScanSnap で読み取ると、マーカー部分の文字列が PDF ファイルのキーワードに設定されます。



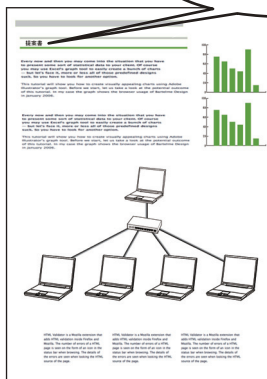
そのほかのキーワード設定方法については、ScanSnap Organizer のヘルプを参照してください。

### ページ内の文字列を認識して埋め込む

ScanSnap で読み取った PDF ファイルに文字認識（OCR 処理）をかけて、文字列をページに埋め込むと、その文字列で PDF ファイルを検索できます。

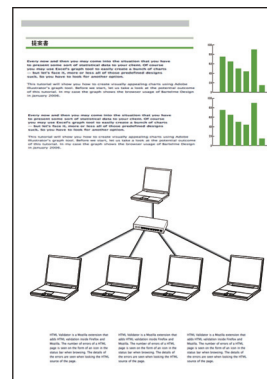
OCR処理をして、  
「提案書」を文字情報  
として認識させる

提案書



PDFファイル

「提案書」をキーにして  
ファイルを検索可能



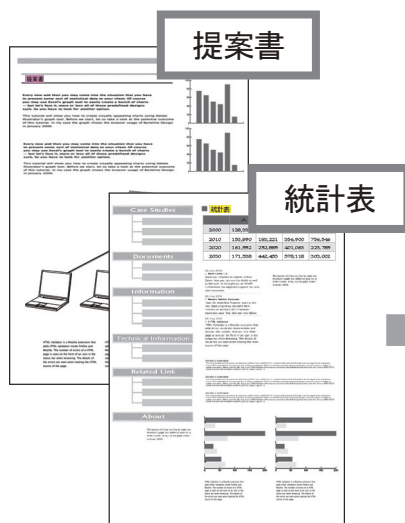
## ファイルを検索する

ScanSnap Organizer で管理しているファイルを検索できます。

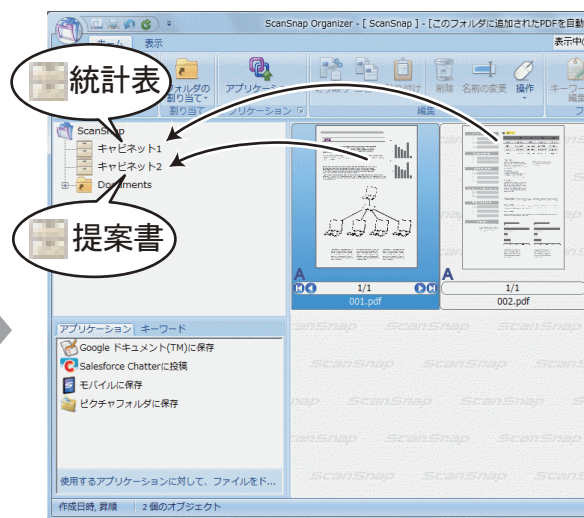
検索方法には、Adobe Acrobat 検索と Windows デスクトップサーチがあります。

## ファイルを設定した条件に従って自動で振り分ける

キーワードの振り分け機能を使用すると、設定したキーワードをキーにして、PDF ファイルをキャビネットやフォルダーに自動で振り分けられます。



キーワード付きPDF



メイン画面

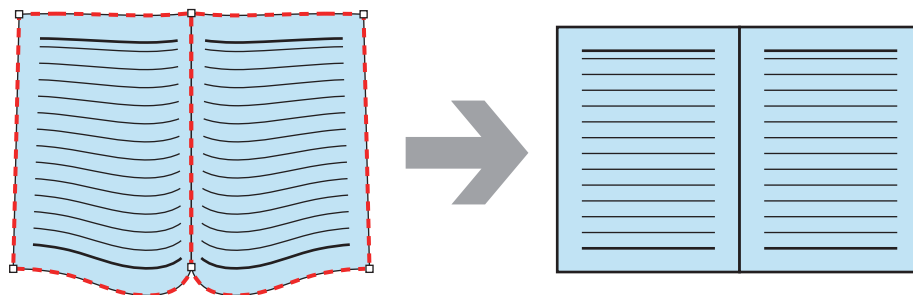


## ファイルを編集する (SV600)

操作手順の詳細は、ScanSnap Organizer のヘルプを参照してください。

### 読み取った本のゆがみを補正する

ScanSnap Organizer ビューアのブック補正を使用すると、読み取った本の、イメージデータのゆがみを補正できます。



そのほかの補正機能については、ScanSnap Organizer のヘルプを参照してください。

# ファイルを活用する

操作手順の詳細は、ScanSnap Organizer のヘルプを参照してください。

## ファイルをほかのアプリケーションと連携する

ファイルをいろいろなアプリケーションで利用できます。

利用できるアプリケーションは、メイン画面左下のアプリケーション一覧に表示されます。

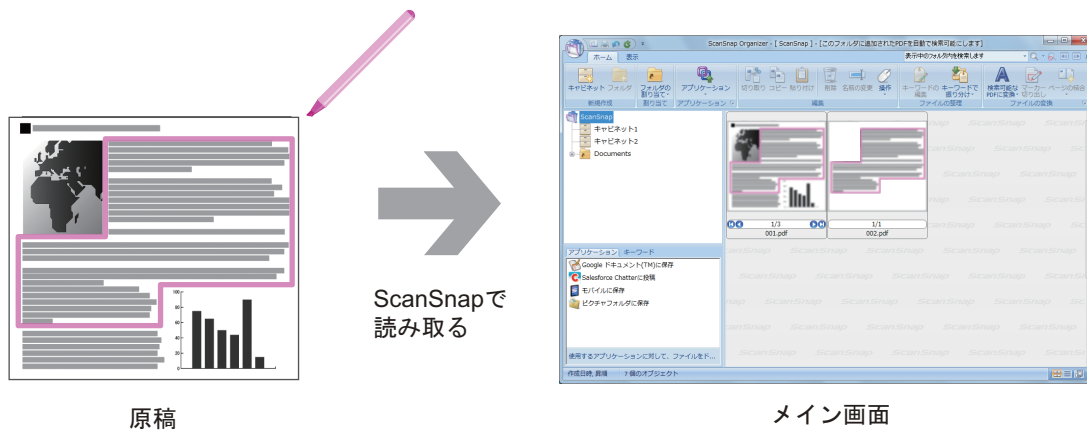
## ファイルをメールに添付する

ファイルをメールに添付して送信できます。

## 大事な記事を切り出す

マーカー切り出し機能を使用すると、大事な記事のスクラップを作成できます。

必要な部分をマーカーで囲んだ白黒原稿を ScanSnap で読み取ると、PDF ファイル内のマーカーで囲まれている範囲を切り出して、PDF ファイルまたは JPEG ファイルを作成します。



## CardMinder を使う

CardMinder は、スキャナで読み取った名刺のイメージデータを表示して、整理および管理するためのアプリケーションです。

大量の名刺を効率よく電子化し、名刺データの検索や名刺から顧客情報のデータベースを効率よく作成できます。OCR（Optical Character Recognition：光学式文字認識）を利用して名刺の文字を認識し、その認識データを PIM（Personal Information Manager：個人情報管理アプリケーション）と共有できます。

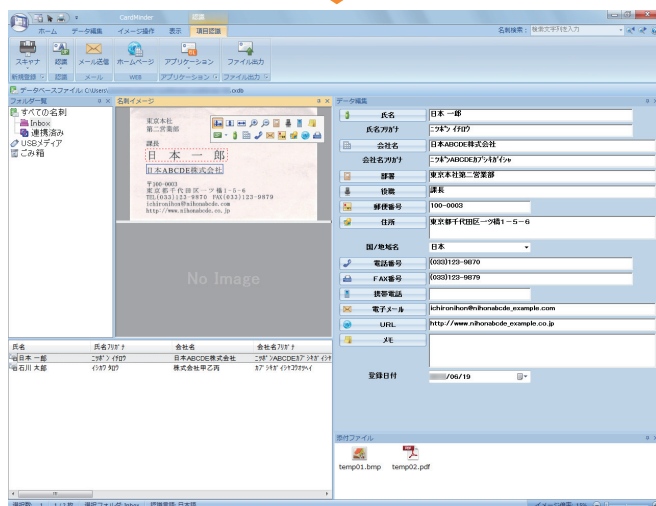
また、ほかのアプリケーションから、素早く名刺データを検索できる「CardMinder Viewer」や、CardMinder がインストールされていないコンピュータでも名刺データを確認できる「CardMinder Mobile Viewer」が用意されています。

## 名刺

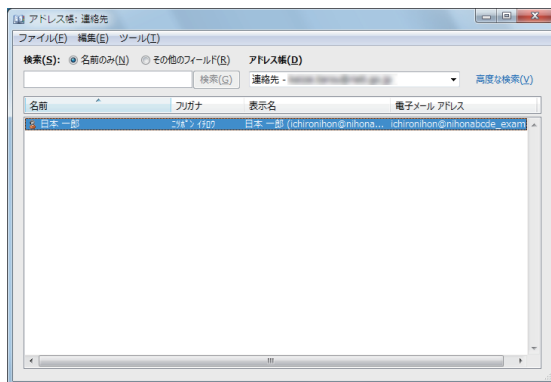


↓ スキャナで読み取る

## CardMinder の画面



↓ 認識されたデータ

PIM の画面  
(例: Outlook)

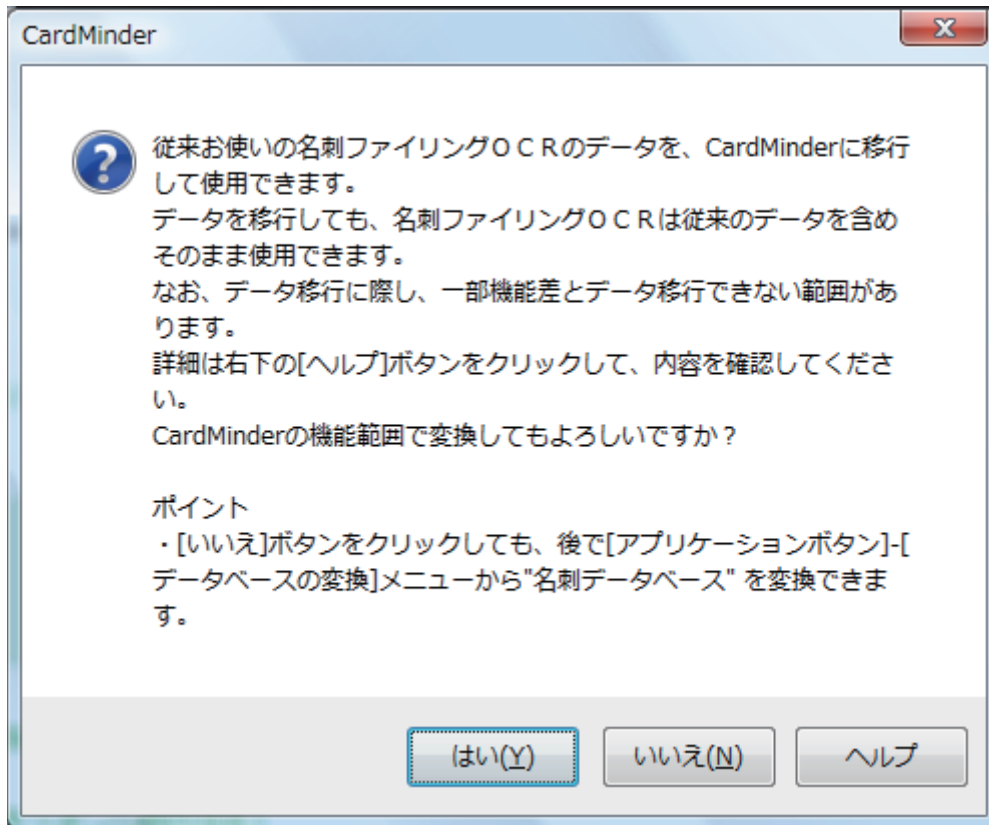
- 「名刺ファイリングOCRをお使いのお客様へ」(201 ページ)
- 「基本的な操作手順」(202 ページ)
- 「名刺データをほかのアプリケーションと連携する」(205 ページ)
- 「名刺データを検索する」(206 ページ)
- 「名刺データにファイルを添付する」(209 ページ)

## 名刺ファイリングOCRをお使いのお客様へ

CardMinder では、名刺ファイリングOCRの名刺データベースを移行して使用できます。

ここでは、初めて CardMinder を使用する場合を例に説明します。

名刺ファイリングOCRを使用しているコンピュータに CardMinder をインストールした場合、CardMinder を初めて起動したときに、以下の確認メッセージが表示されます。



[はい] ボタンをクリックすると、名刺ファイリングOCRで最後に使用していた名刺データベースが CardMinder データベースに変換され、CardMinder に表示されます。

名刺データベースを移行しない場合は、[いいえ] ボタンをクリックしてください。

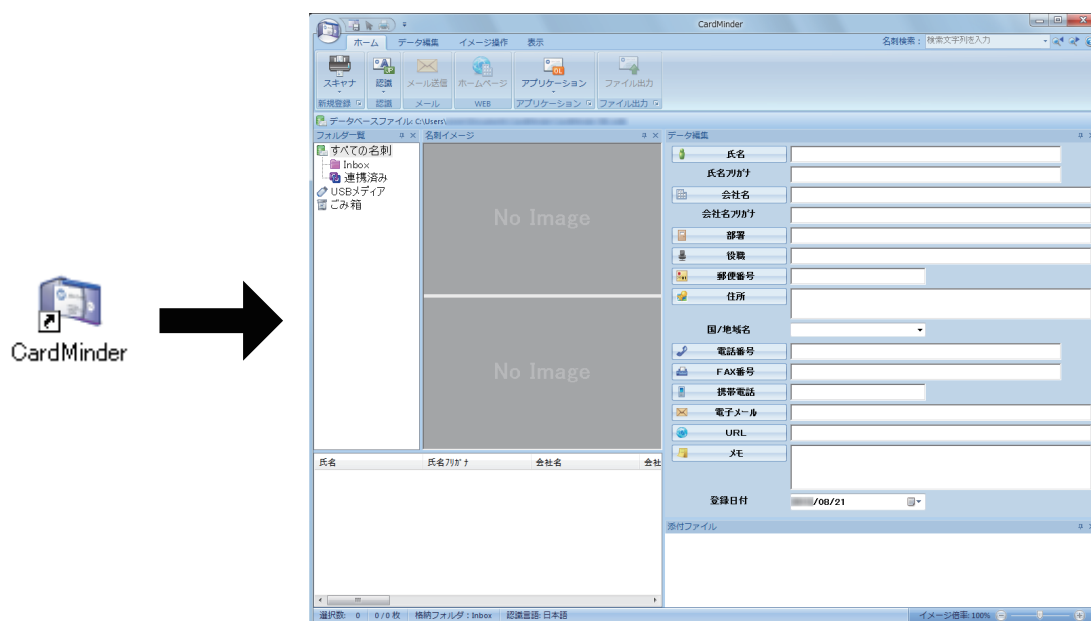
名刺データベース移行の詳細は、CardMinder のヘルプを参照してください。

# 基本的な操作手順

CardMinder の基本的な操作の流れを説明します。

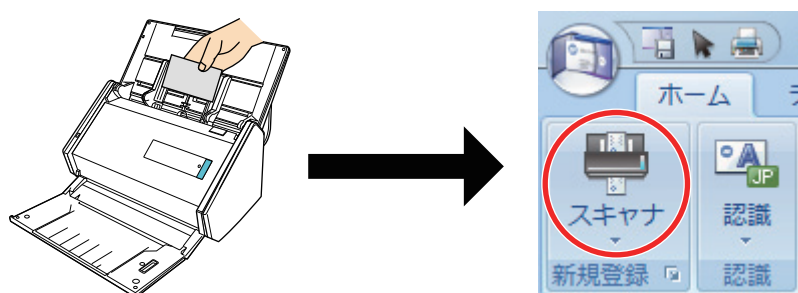
## 1. CardMinder を起動します。

デスクトップにある「CardMinder」アイコンをダブルクリックすると、CardMinder が起動されます。



## 2. 名刺をスキャナで読み取ります。

「ホーム」タブの [スキャナ] ボタンをクリックすると、名刺の読み取りが開始されます。



読み取りが終わると、名刺に印刷されている氏名、会社名、住所などの文字情報が自動的に文字として認識され、データ編集ウィンドウに表示されます。

読み取った名刺のイメージデータが名刺イメージウィンドウに表示されます。

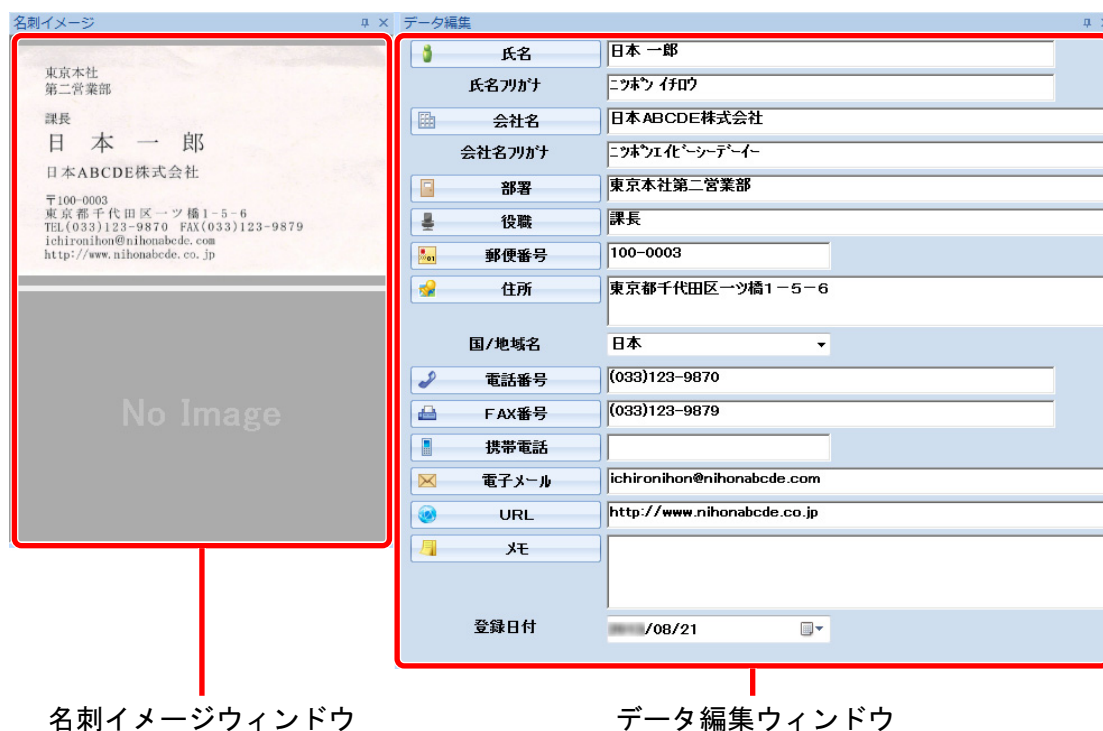
### 重要

以下の言語で認識する場合は、お使いのコンピュータに ScanSnap Manager がインストールされている必要があります。

- 中国語（簡体字）
- 中国語（繁体字）
- 韓国語

### 3. 名刺データを確認します。

名刺イメージの表裏が間違っていないかや、名刺イメージ上の文字がデータ編集ウィンドウに正しく入力されているかどうかを確認します。




名刺イメージウィンドウ


データ編集ウィンドウ

### 4. 認識する言語が異なった場合、以下の手順で再認識します。



1. 「ホーム」タブの  をクリックします。  
⇒ 認識言語が表示されます。
2. 認識する文字列の言語を選択します。  
⇒ [認識] ボタンのアイコンが選択した言語に変わります。
3. [認識] ボタンのアイコンをクリックします。



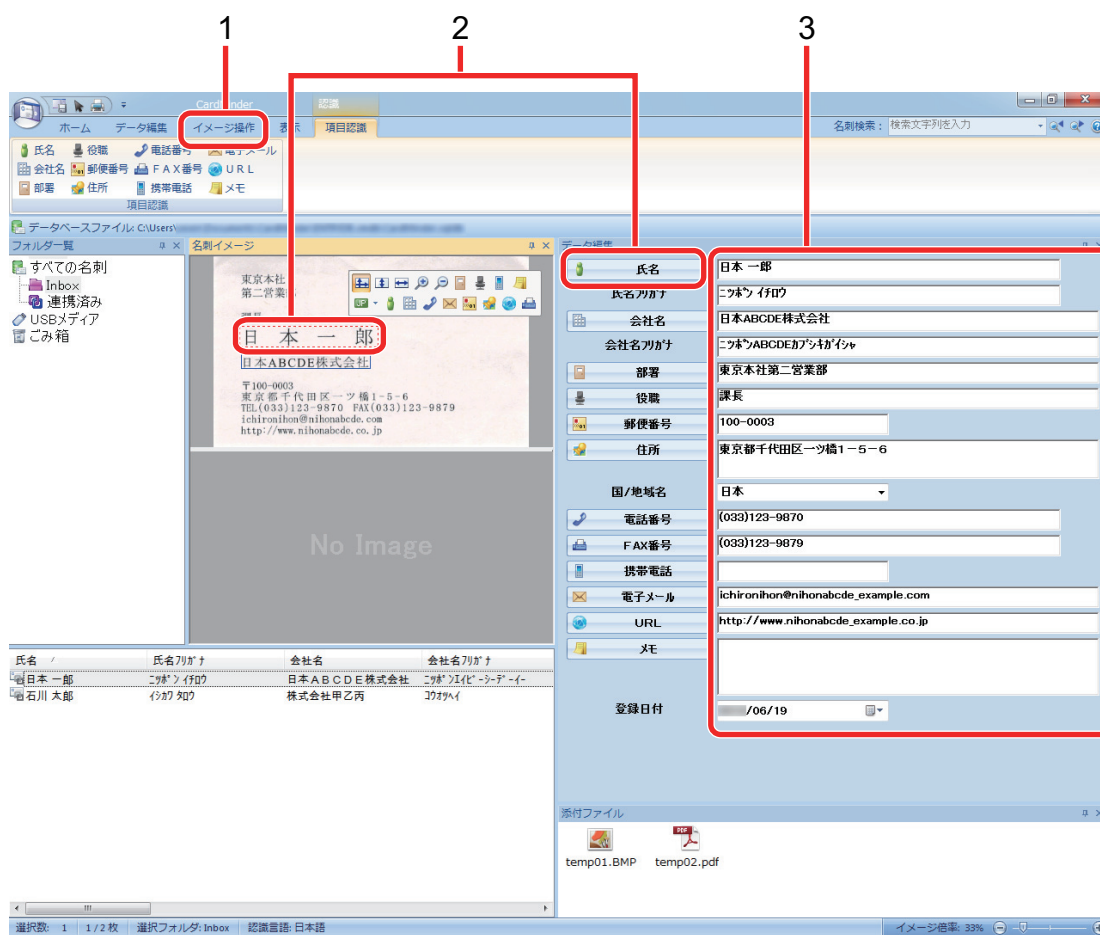
例：英語で認識する場合、 をクリックします。  
⇒ 認識処理を実行する確認メッセージが表示されます。

4. [はい] ボタンをクリックします。  
⇒ 選択した言語で名刺データの文字列が認識されます。

### 5. 必要に応じて、名刺データを修正します。

以下のような修正ができます。詳細は、CardMinder のヘルプを参照してください。

- 範囲選択した文字列の再認識
- データ編集ウィンドウでの直接入力
- 名刺イメージの向き修正や表裏面の入れ替え



番号	説明
1	「イメージ操作」タブから、名刺イメージの回転や表裏面の入れ替えなどの編集ができます。
2	名刺イメージの文字列を範囲選択して、データ編集ウィンドウで該当する項目のボタンをクリックすると、範囲選択した文字列が再認識できます。
3	データ編集ウィンドウの各入力欄で直接修正できます。

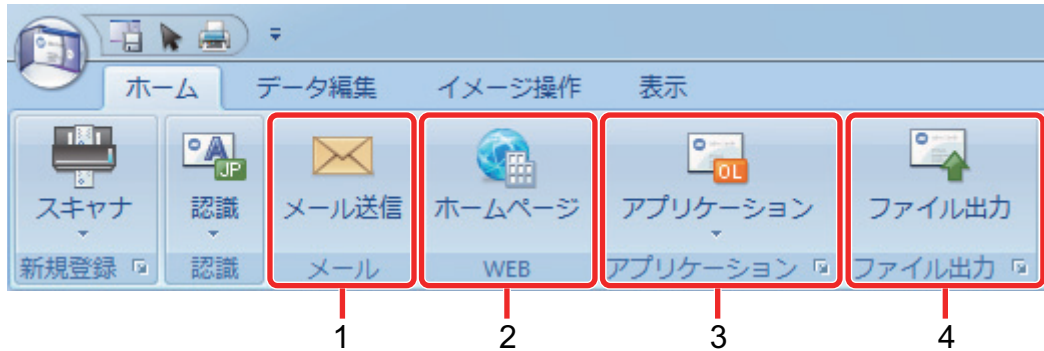
## 6. CardMinder を終了します。

アプリケーションボタンをクリックして表示されるメニューの [終了] ボタンをクリックして、CardMinder を終了します。



## 名刺データをほかのアプリケーションと連携する

「ホーム」タブの以下のボタンをクリックすることで、名刺データをいろいろなアプリケーションで利用できます。



番号	項目	説明
1	メールを送信する	名刺データの「電子メール」のメールアドレスをあて先に設定して、メールソフトを起動します。
2	WEB で検索する	名刺データの「URL」を、Web ブラウザで検索します。
3	ほかのアプリケーションと連携する	Outlook Express、筆まめ、Salesforce CRM などのアプリケーションと連携して名刺データをほかのアプリケーションで利用できます。
4	名刺データをほかの形式で出力する	名刺データを、vCard、CSV、テキスト、ContactXML 形式で出力できます。

詳細な操作手順は、CardMinder のヘルプを参照してください。

## 名刺データを検索する

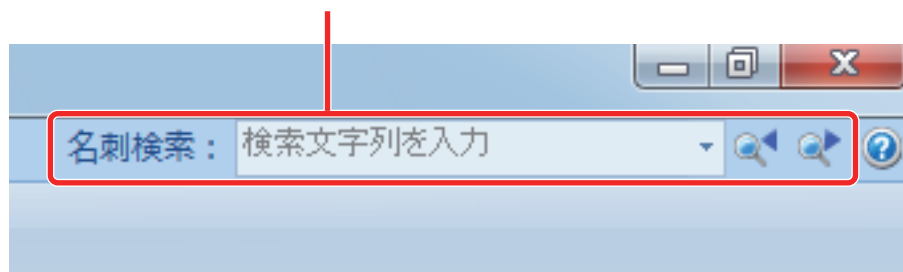
氏名、氏名フリガナ、会社名、または会社名フリガナから名刺データを検索できます。また、CardMinder Viewer から名刺データを検索できます。

- 「[CardMinder の簡易検索ツールバーで検索する](#)」 (207 ページ)
- 「[CardMinder Viewer で検索する](#)」 (208 ページ)

## CardMinder の簡易検索ツールバーで検索する


CardMinder の簡易検索ツールバーで検索する方法を説明します。

### 名刺検索 (簡易検索ツールバー)



簡易検索ツールバーに「氏名」、「氏名フリガナ」、「会社名」、または「会社名フリガナ」の検索文字列を入力して、名刺データを検索します。

検索結果は、メインウィンドウに表示されます。

検索条件に一致した名刺データが複数ある場合、 をクリックすると、次の検索条件に一致した名刺データがメインウィンドウに表示されます。

## CardMinder Viewer で検索する


CardMinder Viewer で検索する方法を説明します。

CardMinder を起動していない状態でも、ほかのアプリケーション（Microsoft メモ帳など）上の文字列を選択して、名刺データを検索できます。


**1. 検索したい任意の文字列をマウスでドラッグして選択します。**

**2. キーボードで「Alt+F3」を同時に押します。**

⇒ CardMinder Viewer が起動し、氏名、氏名フリガナ、会社名、または会社名フリガナから検索した名刺データが画面に表示されます。

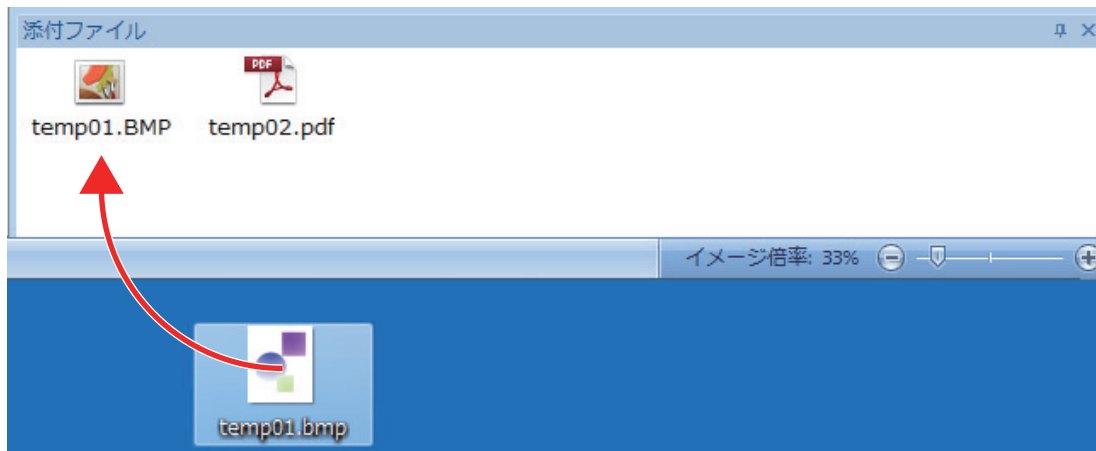
検索条件に一致した名刺データが複数ある場合、 をクリックすると、次の検索条件に一致した名刺データが CardMinder Viewer 画面に表示されます。

### ヒント

- 名刺ファイリングOCR をインストールしている場合は、以下のどちらかを対応してください。
  - 名刺ファイリングOCR Viewer が起動している場合は、終了してください。
  - 名刺ファイリングOCR Viewer または CardMinder Viewer で設定されているショートカットキー（「Alt」キー+「F3」キー）を変更してください。
- CardMinder Viewer 画面に表示された名刺データの詳細を CardMinder 画面で表示したい場合は、 をクリックすると、選択している名刺データが CardMinder 画面に表示されます。

## 名刺データにファイルを添付する

名刺データに関連のあるファイルをドラッグ&ドロップで簡単に添付できます。



# 楽<sup>2</sup>ライブラリ Smart を使う

楽<sup>2</sup>ライブラリ Smart は、ScanSnap で読み取った紙と電子の情報を一元的に管理できるデジタル書棚です。SV600 と連携すると、実際の書棚に書籍を置く感覚で、電子化した本を簡単に扱えます。

- クラウドサービス (\*1) ヘイメージデータを保管し、どこでもバインダーを閲覧できます。

\*1 : SugarSync、Dropbox

- Wi-Fi 経由でモバイル機器にイメージデータを保存できます。
- バインダーのタイトルやページの文字列から、目的のバインダーまたはページを検索できます。

書類も写真も電子ファイルも、  
書庫をそのまま電子化



キャビネット画面



実際の書棚と同じ使用感

ビューア画面



クラウドストレージにアップロードして、モバイル機器で閲覧

### ヒント

楽<sup>2</sup>ライブラリ Smart では、バインダーに取り込んだ Word 文書から Word を起動して、直接更新することもできます。

詳細は、楽<sup>2</sup>ライブラリ Smart を使おう！を参照してください。

# ScanSnap オンラインアップデート

ScanSnap に関連するソフトウェアの、最新のアップデートプログラムは、サーバに公開され、無償で更新（アップデート）できます。これをオンラインアップデートといいます。

安全性や操作性、機能の向上を図るために、最新のアップデートプログラムを適用することを推奨します。

アップデートができるソフトウェアは、以下を参照してください。

<http://scansnap.fujitsu.com/jp/downloads/online-setup-help.html>

ScanSnap オンラインアップデートが、サーバを定期的に確認します。

サーバに最新のアップデートプログラムが公開されている場合、ポップアップバルーンで通知されます。

ポップアップバルーンをクリックして、表示される画面の指示に従ってプログラムをアップデートしてください。

詳細は、ScanSnap オンラインアップデートのヘルプを参照してください。

ScanSnap Manager からも、手動で最新のアップデートプログラムがサーバに公開されているかを確認し、アップデートできます。

## 1. 右クリックメニューから「ヘルプ」→「オンラインアップデート」をクリックします。

⇒ ScanSnap オンラインアップデートが、最新のアップデートプログラムが公開されているかを確認します。画面の指示に従ってプログラムをアップデートしてください。

詳細は、ScanSnap オンラインアップデートのヘルプを参照してください。

### 重要

- アップデートするには、インターネットを使用できる環境が必要です。
- 管理者権限を持つユーザーでログオンしてください。

### ヒント

ScanSnap Manager のアップデート情報は、以下を参照してください。

<http://scansnap.fujitsu.com/jp/downloads/>